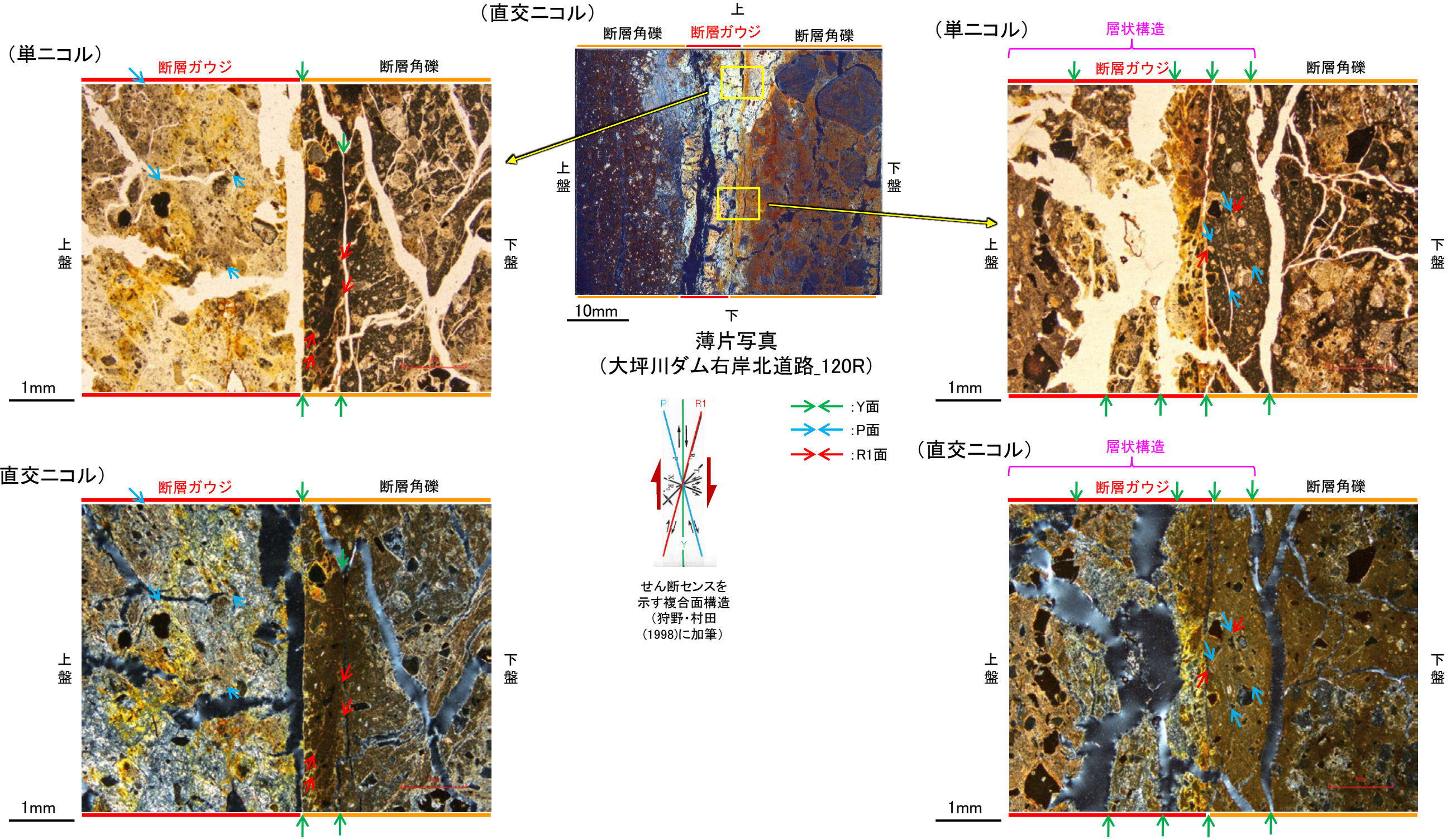
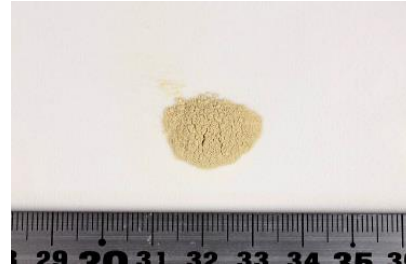


福浦断層\_大坪川ダム右岸北道路

【複合面構造, 層状構造】



- ・断層ガウジ中に明瞭な複合面構造が認められ, 複数認められるY面は直線性・連続性がよく明瞭である。
- ・複合面構造から逆断層センスを推定した。
- ・断層ガウジ中では, 粘土鉱物が層状に分布する層状構造が観察され, 繰り返し活動した構造が認められる。



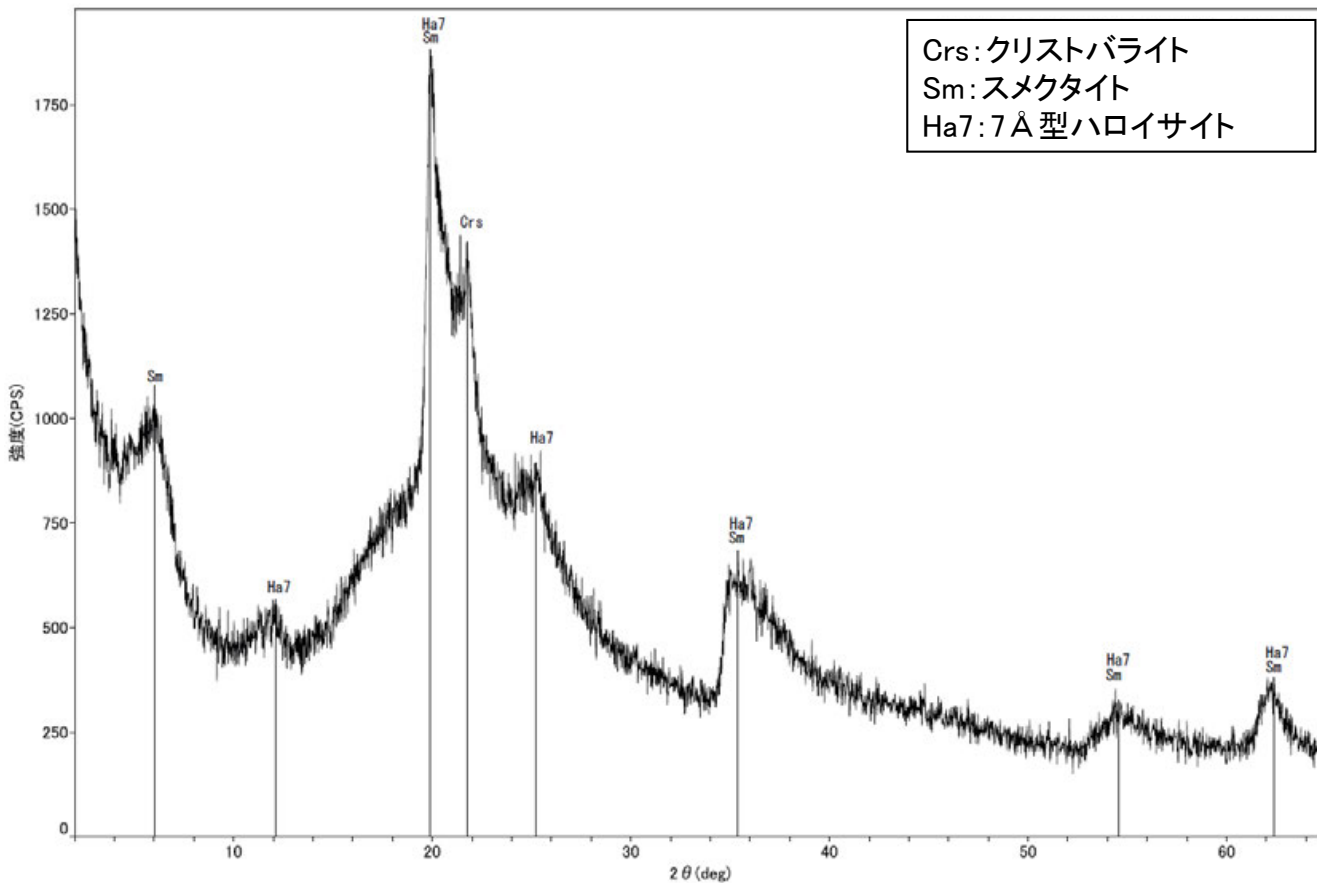
	検出鉱物		
	クリストバライト	スメクタイト	7 Å型ハロイサイト
福浦断層 大坪川ダム 右岸北道路	+	△	±

**XRD分析 測定諸元**  
 装置:理学電気製 MultiFlex  
 Target: Cu(Kα)  
 Voltage: 40kV  
 Detector: SC  
 Divergence Slit: 1°  
 Receiving Slit: 0.3mm  
 Step size: 0.02°

○: 中量 (2,500~5,000cps)  
 △: 少量 (500~2,500cps)  
 +: 微量 (250~500cps)  
 ±: きわめて微量 (<250cps)  
 標準石英最強回折線強度  
 (3回繰り返し測定, 平均53,376cps)

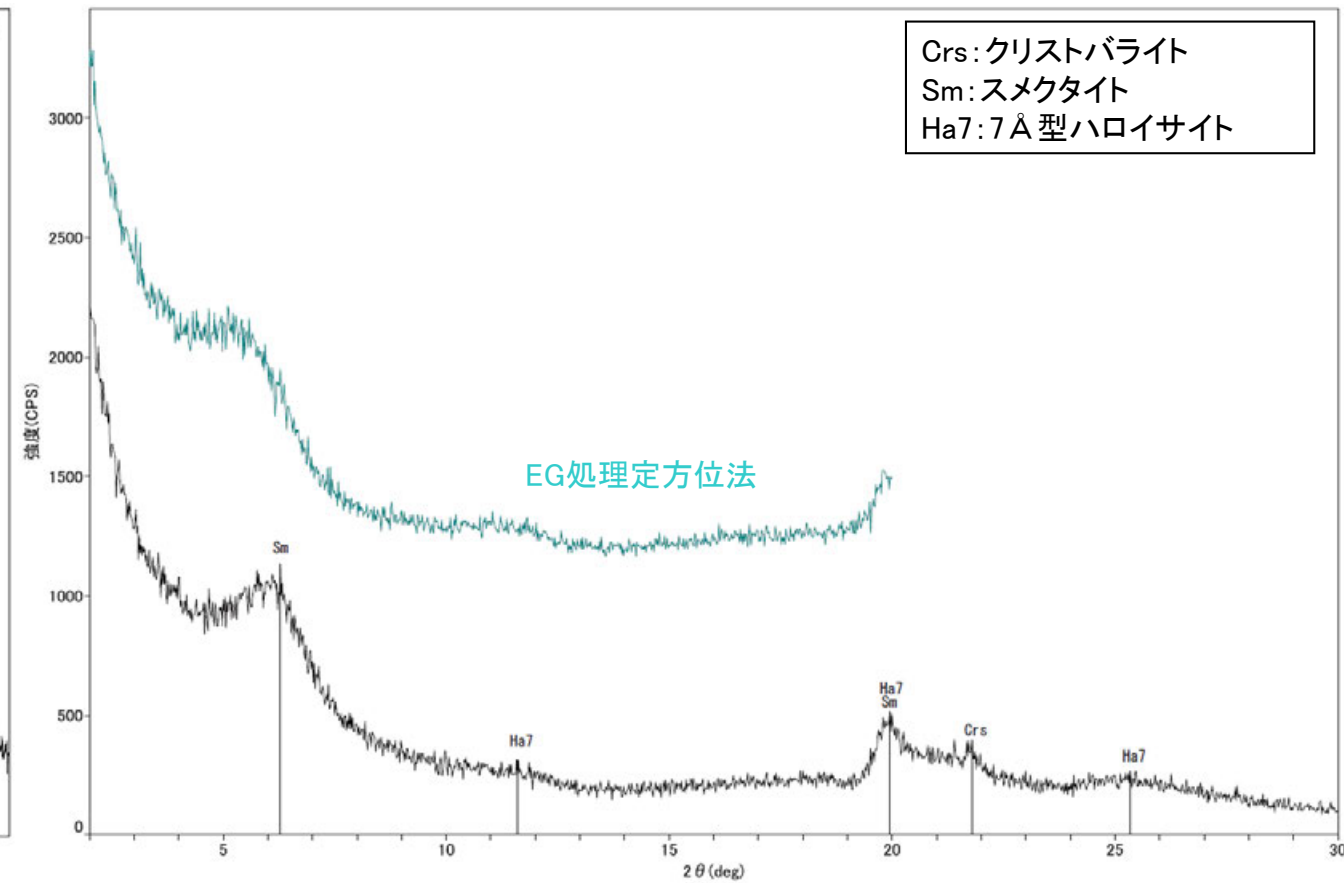
試料採取箇所(大坪川ダム右岸北道路)

分析試料



Crs: クリストバライト  
 Sm: スメクタイト  
 Ha7: 7 Å型ハロイサイト

回折チャート 不定方位



Crs: クリストバライト  
 Sm: スメクタイト  
 Ha7: 7 Å型ハロイサイト

回折チャート 定方位 (EG処理も合わせて表示)

・大坪川ダム右岸北道路の断層位置でXRD分析を実施した結果, 主な粘土鉱物としてスメクタイト及び風化変質鉱物と考えられるハロイサイトが認められる。

---

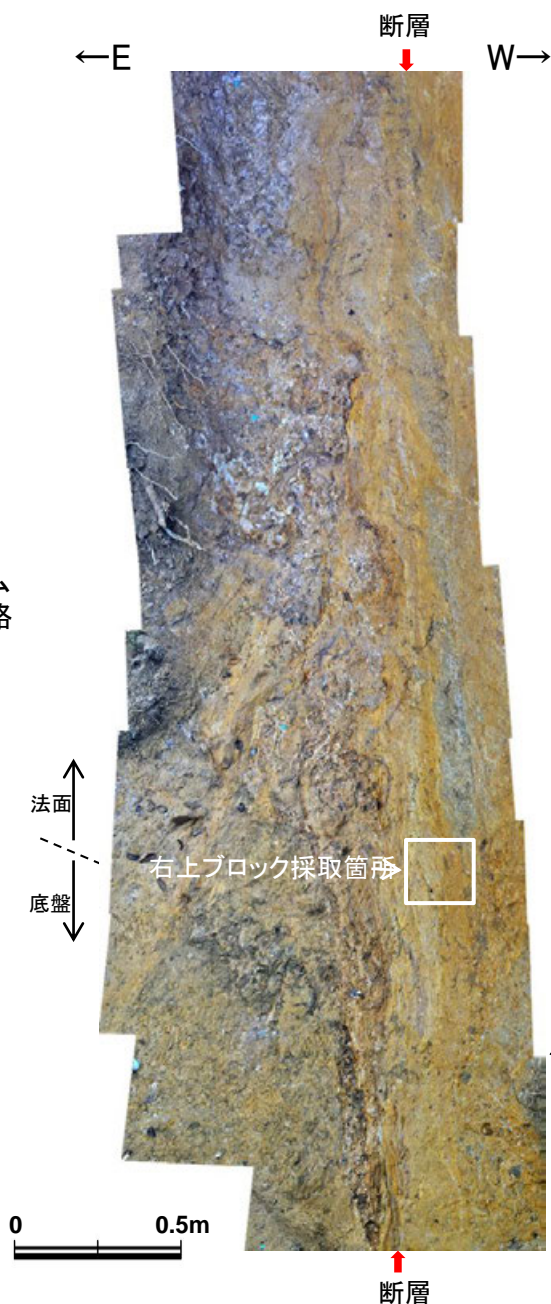
## (3)-4 大坪川ダム右岸南道路



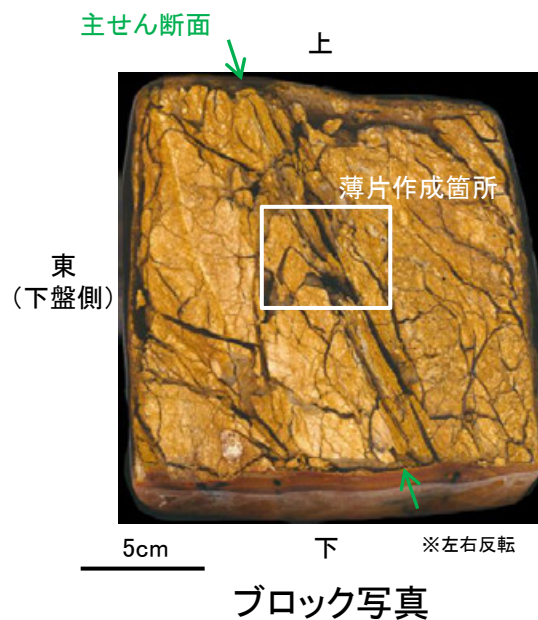
位置図

凡例

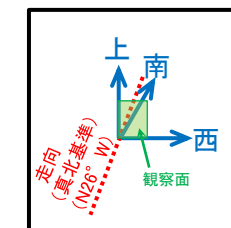
- [段丘面]**
  - 高位段丘V面
  - 高位段丘IV面
  - 高位段丘III面
  - 高位段丘II面
  - 高位段丘Ib面
  - 高位段丘Ia面
  - 中位段丘I面
  - 古期扇状地面
  - 沖積段丘面
- [リニアメント・変動地形]**
  - L<sub>a</sub> (変動地形である可能性がある)
  - L<sub>c</sub> (変動地形である可能性が低い)
  - L<sub>d</sub> (変動地形である可能性は非常に低い)
- クバは低下側を示す。  
↓は地形面の傾斜の向きを示す。
- 敷地内断層(評価対象断層)



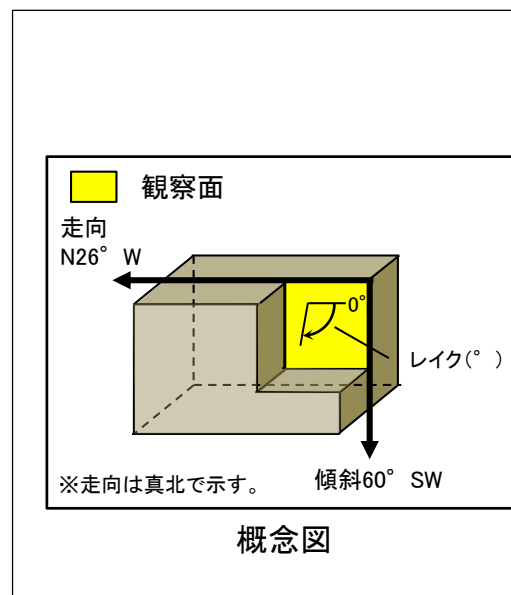
試料採取箇所  
(大坪川ダム右岸南道路)



ブロック写真



・大坪川ダム右岸南道路法面から採取したブロックの主せん断面において、100° Rの条線方向で薄片を作成した。



概念図



観察面写真(下盤側)

条線観察結果

・主せん断面の下盤側の観察面で100° Rの条線が認められる。

## 【薄片観察(解釈線なし)】

(単ニコル)

上

(直交ニコル)

上

断層角礫

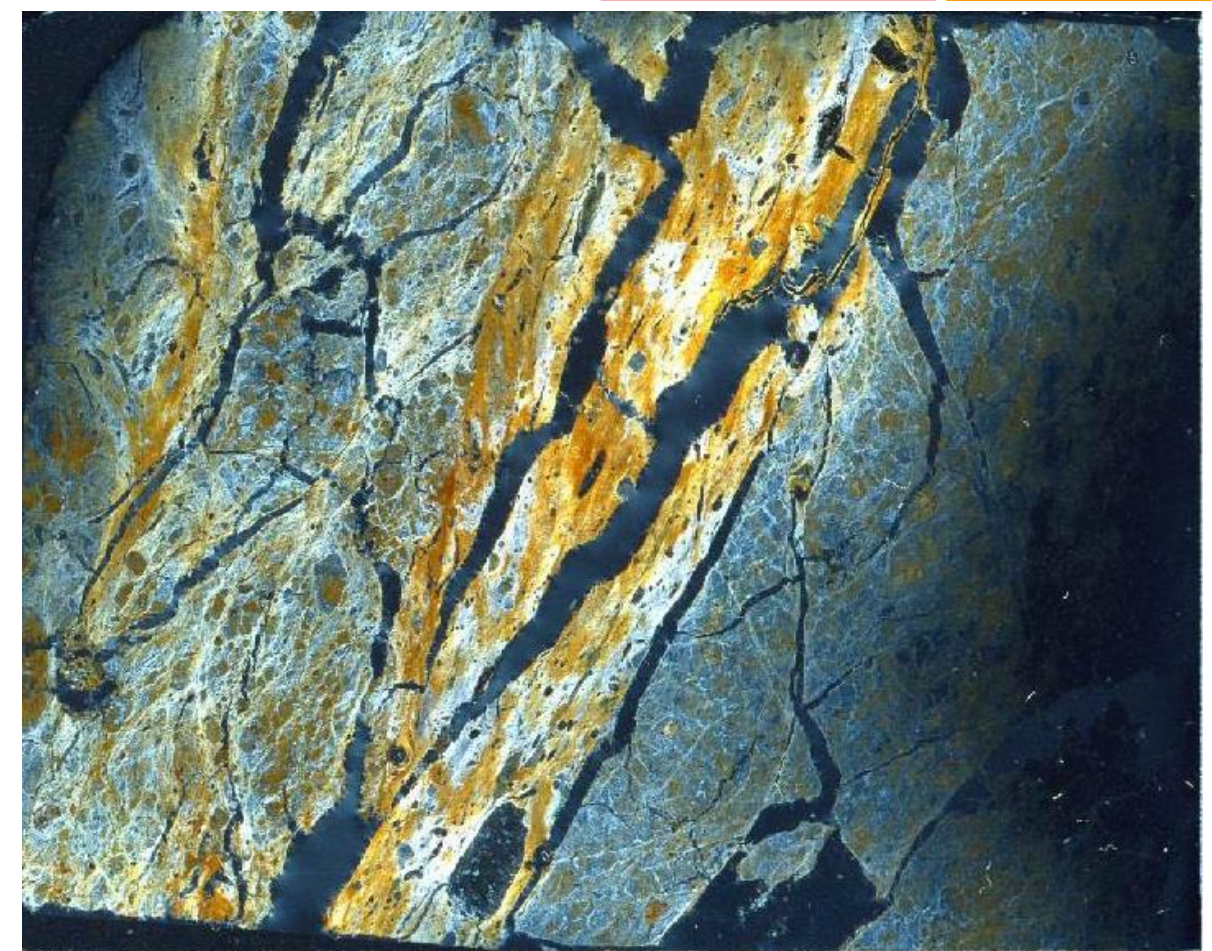
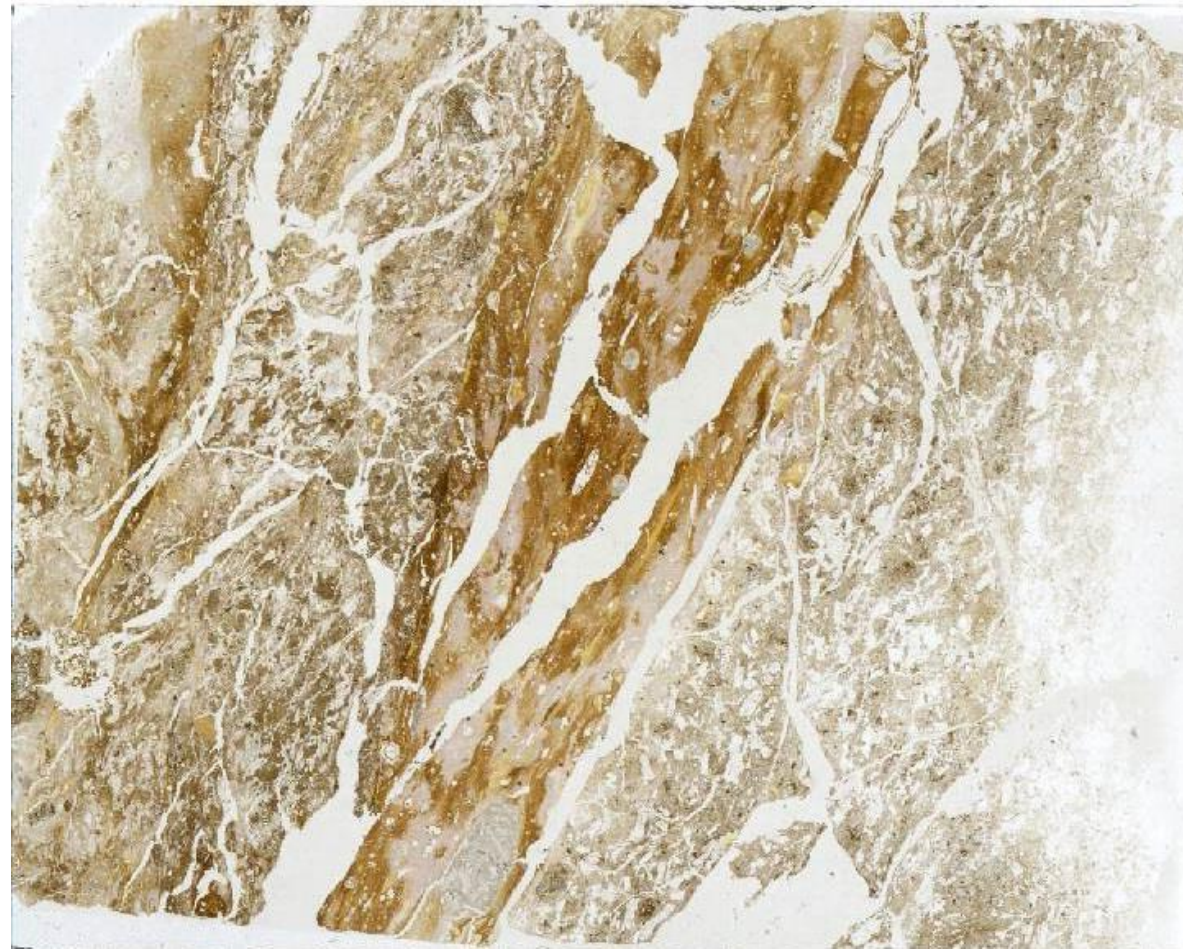
断層ガウジ

断層角礫

断層角礫

断層ガウジ

断層角礫



10mm

下

下

薄片写真(大坪川ダム右岸南道路\_100R)

断層角礫(上盤側): 単ニコルで褐灰色, 直交ニコルで黄~灰色の干渉色を呈する安山岩からなる。径5mm以下の岩片や鉱物片が細粒な基質中に含まれており, 径10mmの岩片も含まれる。岩片, 鉱物片は角~垂円形である。基質中や割れ目, 岩片の縁辺部には粘土鉱物が生成している。

断層ガウジ: 単ニコルで褐灰色, 直交ニコルで黄~白色の干渉色を呈する, 粘土鉱物を含む細粒物からなる。径5mm以下の岩片や鉱物片が細粒な基質中に含まれる。岩片, 鉱物片は角~垂円形である。基質中や割れ目, 岩片の縁辺部には粘土鉱物が生成している。

断層角礫(下盤側): 単ニコルで褐灰色, 直交ニコルで灰色の干渉色を呈する安山岩からなる。径6mm以下の岩片や鉱物片が細粒な基質中に含まれる。岩片, 鉱物片は垂角~垂円形である。基質中や割れ目, 岩片の縁辺部には粘土鉱物が生成している。

福浦断層\_大坪川ダム右岸南道路

【薄片観察(解釈線あり)】

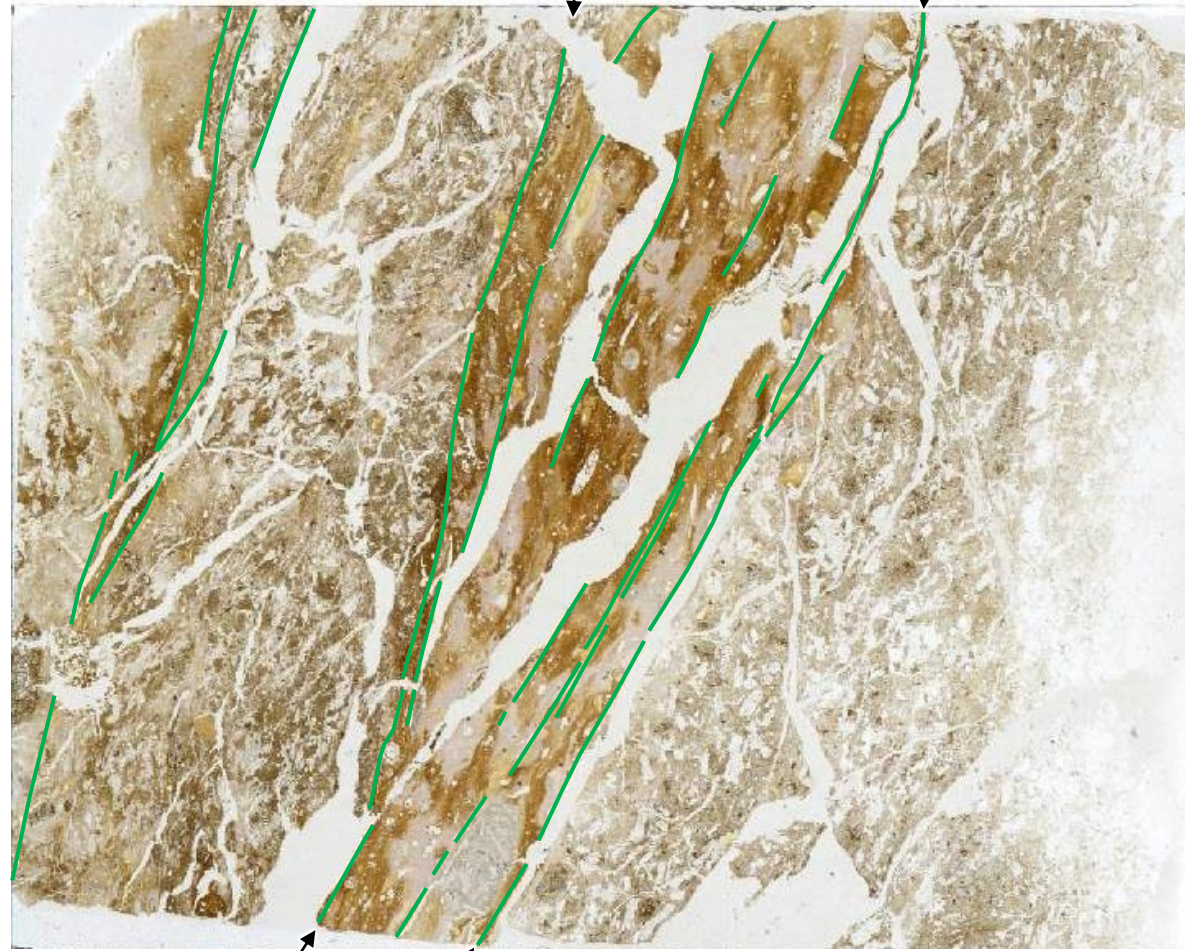
(単ニコル)

上

断層角礫

断層ガウジ

断層角礫



10mm

下

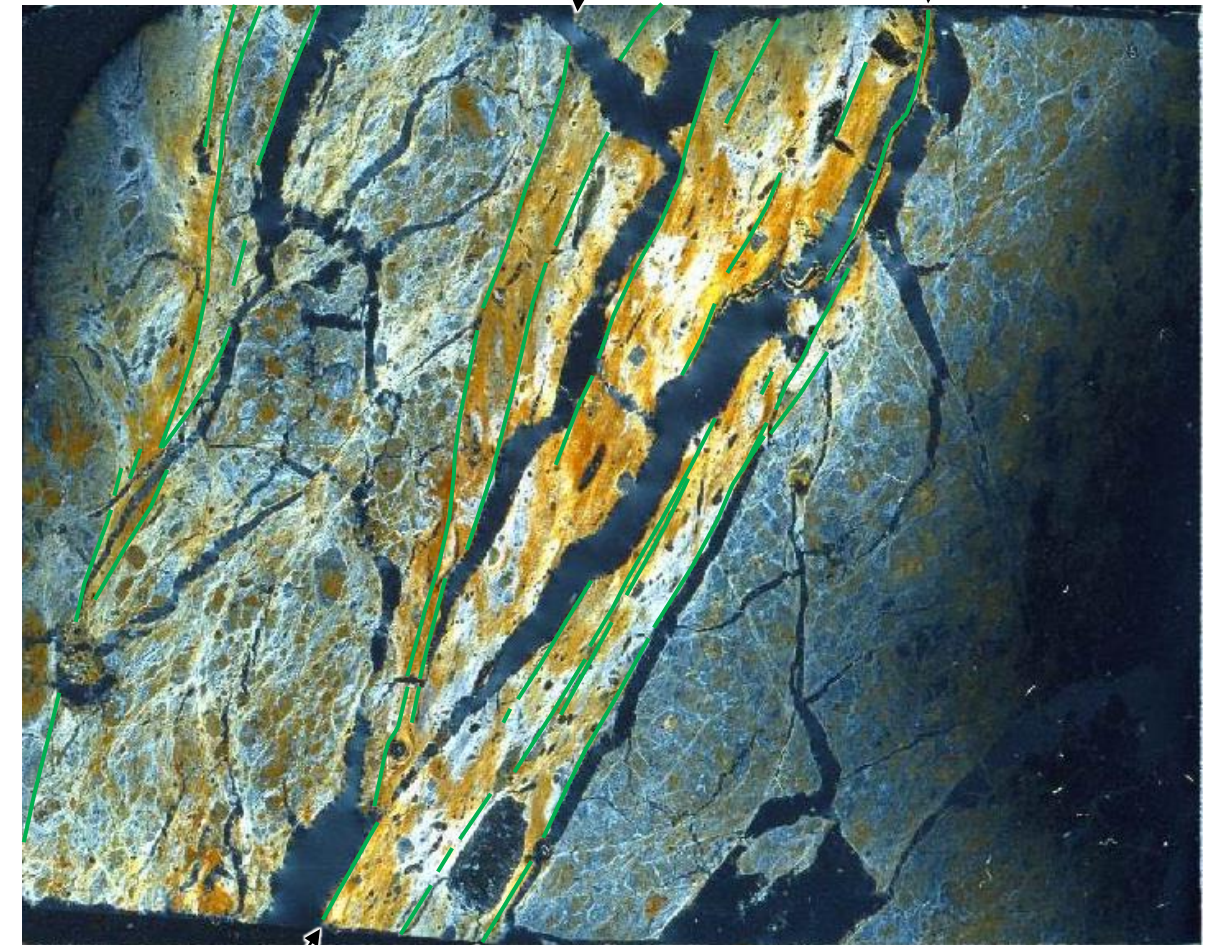
(直交ニコル)

上

断層角礫

断層ガウジ

断層角礫



下

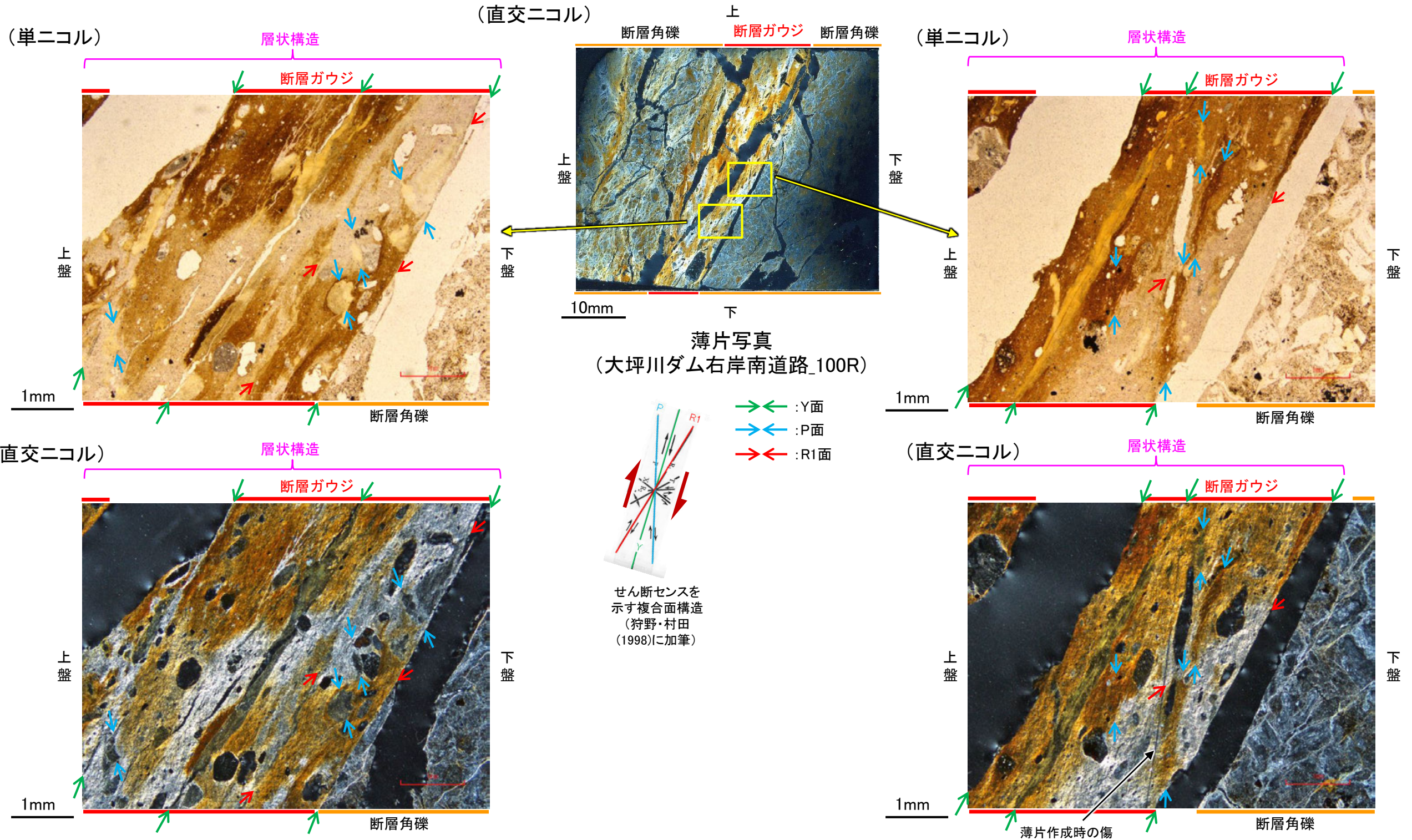
薄片写真(大坪川ダム右岸南道路\_100R)

— : Y面  
→ ← 不連続箇所が認められず連続的に観察されるY面  
(一部途切れる箇所は薄片作成時等の乾燥収縮により開口した割れ目)

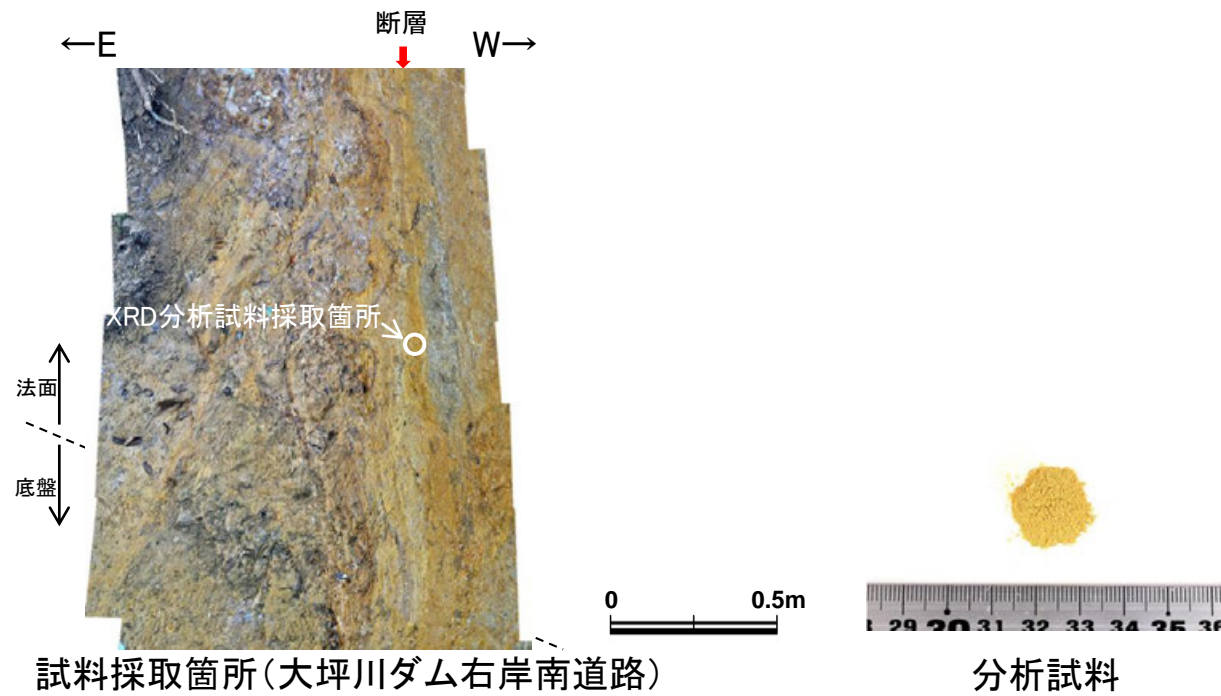
- ・大坪川ダム右岸南道路の薄片観察の結果、不連続箇所が認められない連続的なY面が観察される。
- ・なお、複数認められるY面の一部には、風化変質等の影響で不連続になる箇所も認められる。

福浦断層\_大坪川ダム右岸南道路

【複合面構造, 層状構造】



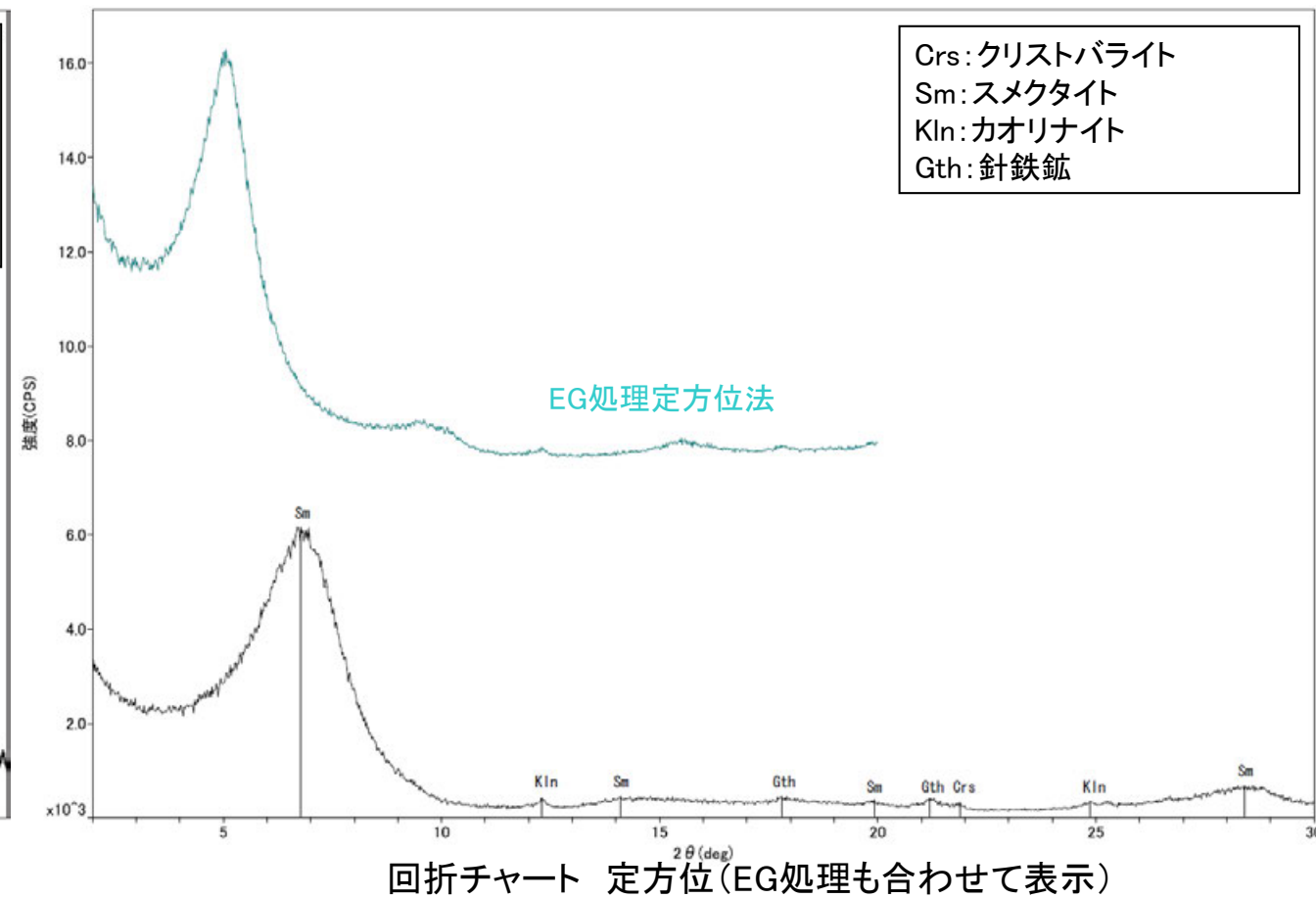
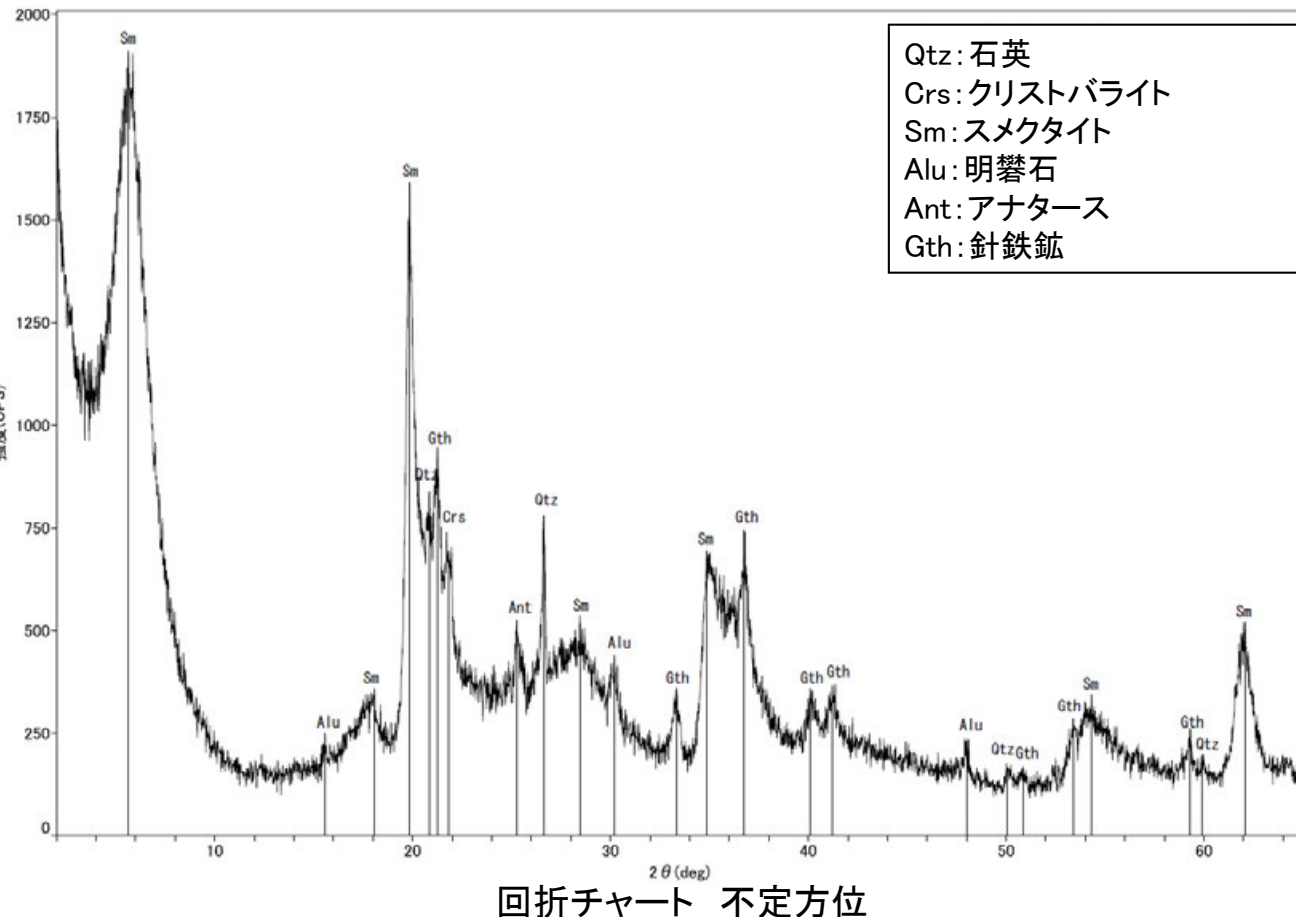
- ・断層ガウジ中に明瞭な複合面構造が認められ, 複数認められるY面は直線性・連続性がよく明瞭である。
- ・複合面構造から逆断層センスを推定した。
- ・断層ガウジ中では, 粘土鉱物が層状に分布する層状構造が観察され, 繰り返し活動した構造が認められる。



	検出鉱物						
	石英	クリストバライト	スメクタイト	カオリナイト	明礬石	アナターズ	針鉄鉱
福浦断層 大坪川ダム 右岸南道路	+	±	△	±	±	±	+

XRD分析 測定諸元  
 装置:理学電気製 MultiFlex  
 Target: Cu(Kα)  
 Voltage: 40kV  
 Detector: SC  
 Divergence Slit: 1°  
 Receiving Slit: 0.3mm  
 Step size: 0.02°

○: 中量 (2,500~5,000cps)  
 △: 少量 (500~2,500cps)  
 +: 微量 (250~500cps)  
 ±: きわめて微量 (<250cps)  
 標準石英最強回折線強度  
 (3回繰り返し測定, 平均53,376cps)



・大坪川ダム右岸南道路の断層位置でXRD分析を実施した結果, 主な粘土鉱物としてスメクタイト及びカオリナイト等が認められる。

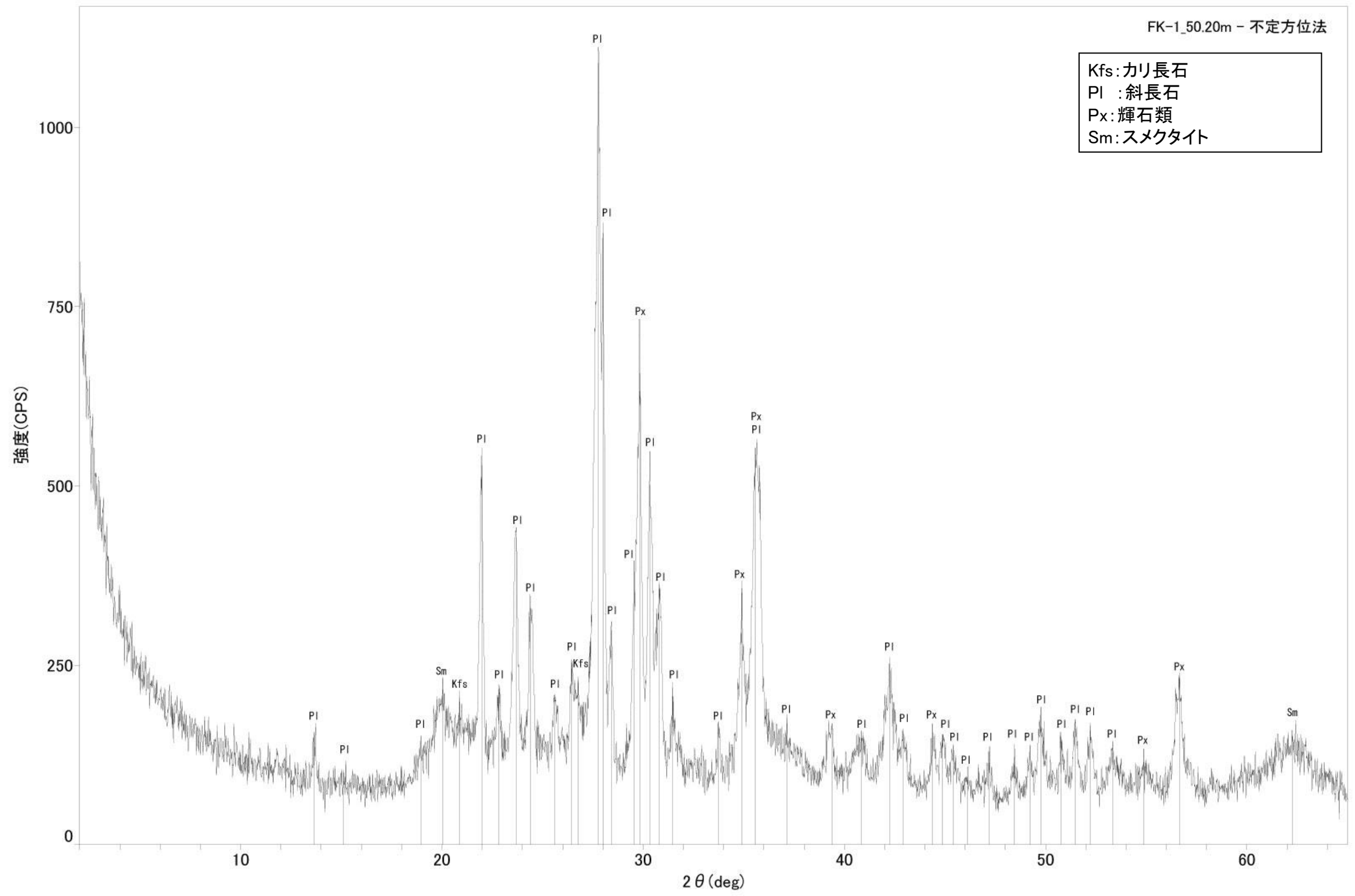


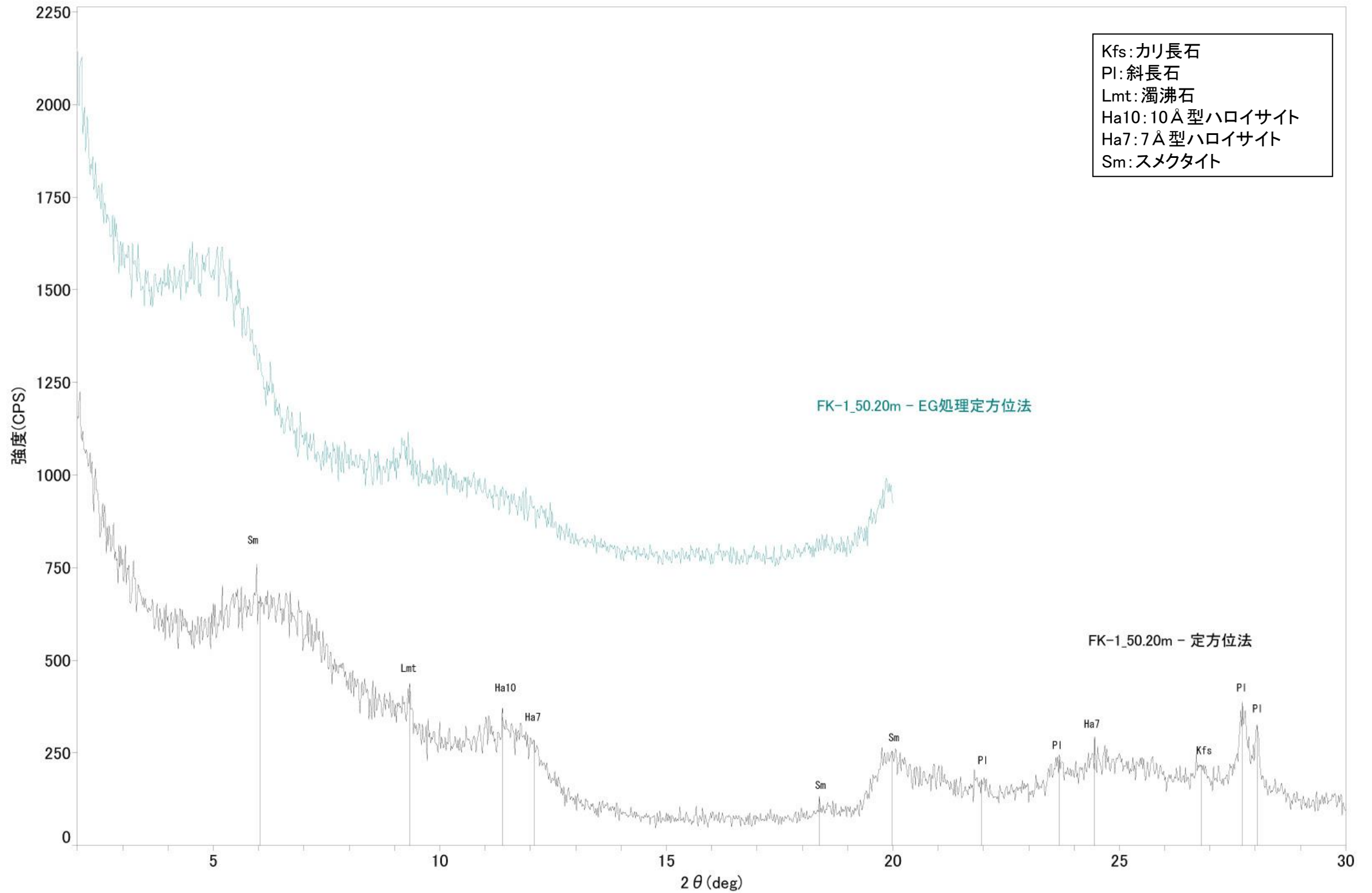
---

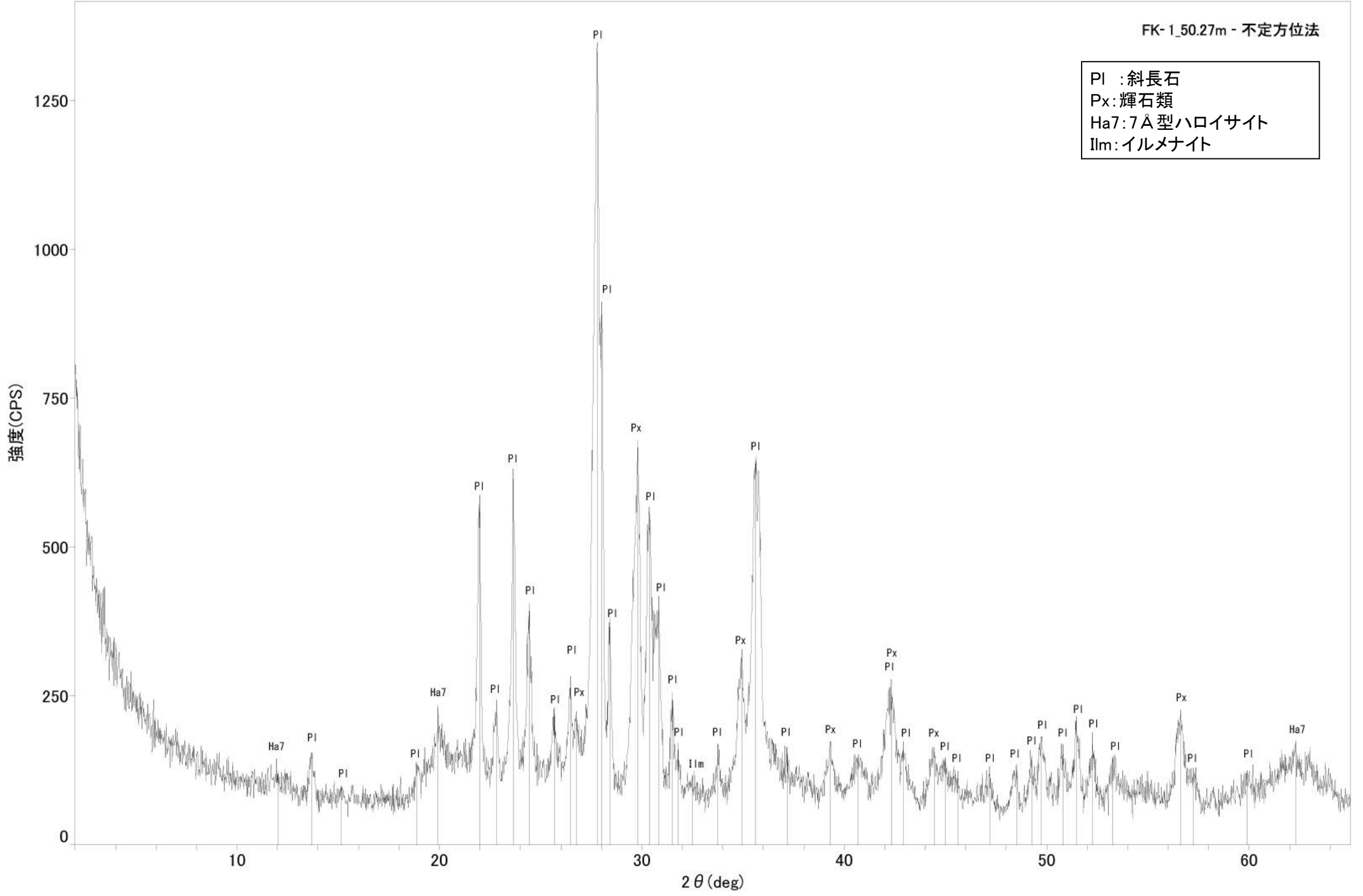
余白

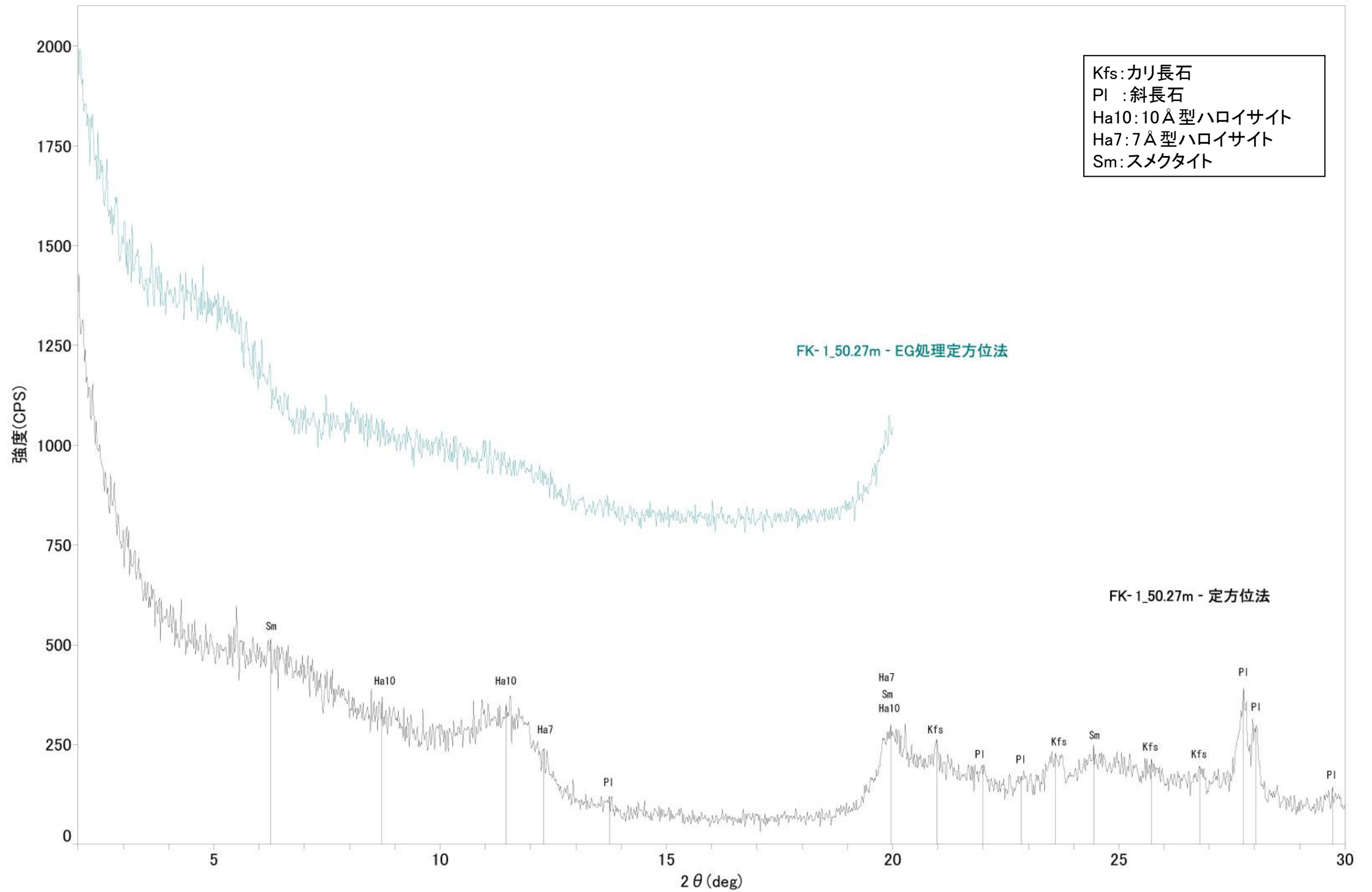
---

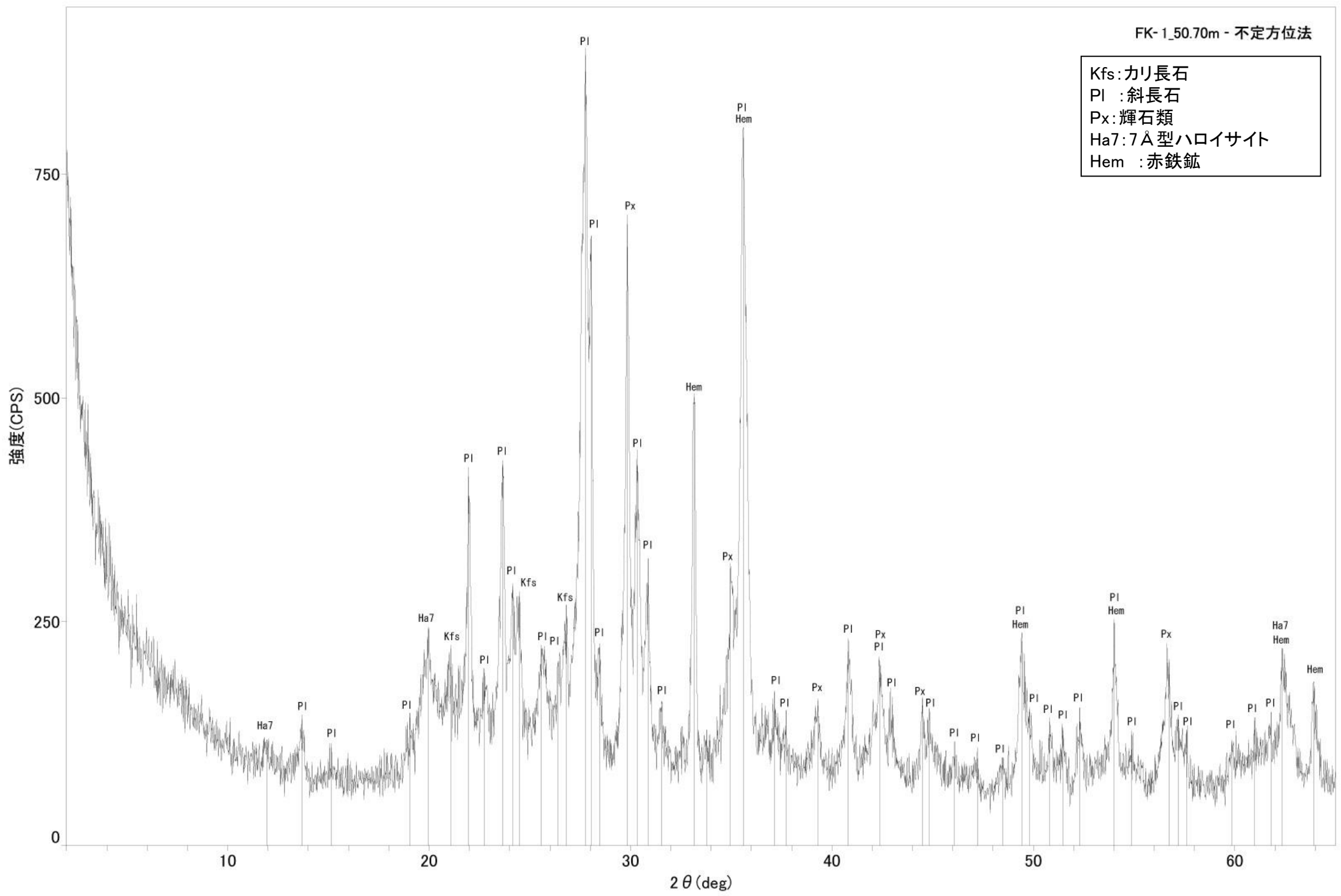
## (4)FK-1孔, 大坪川ダム右岸トレンチ XRD分析

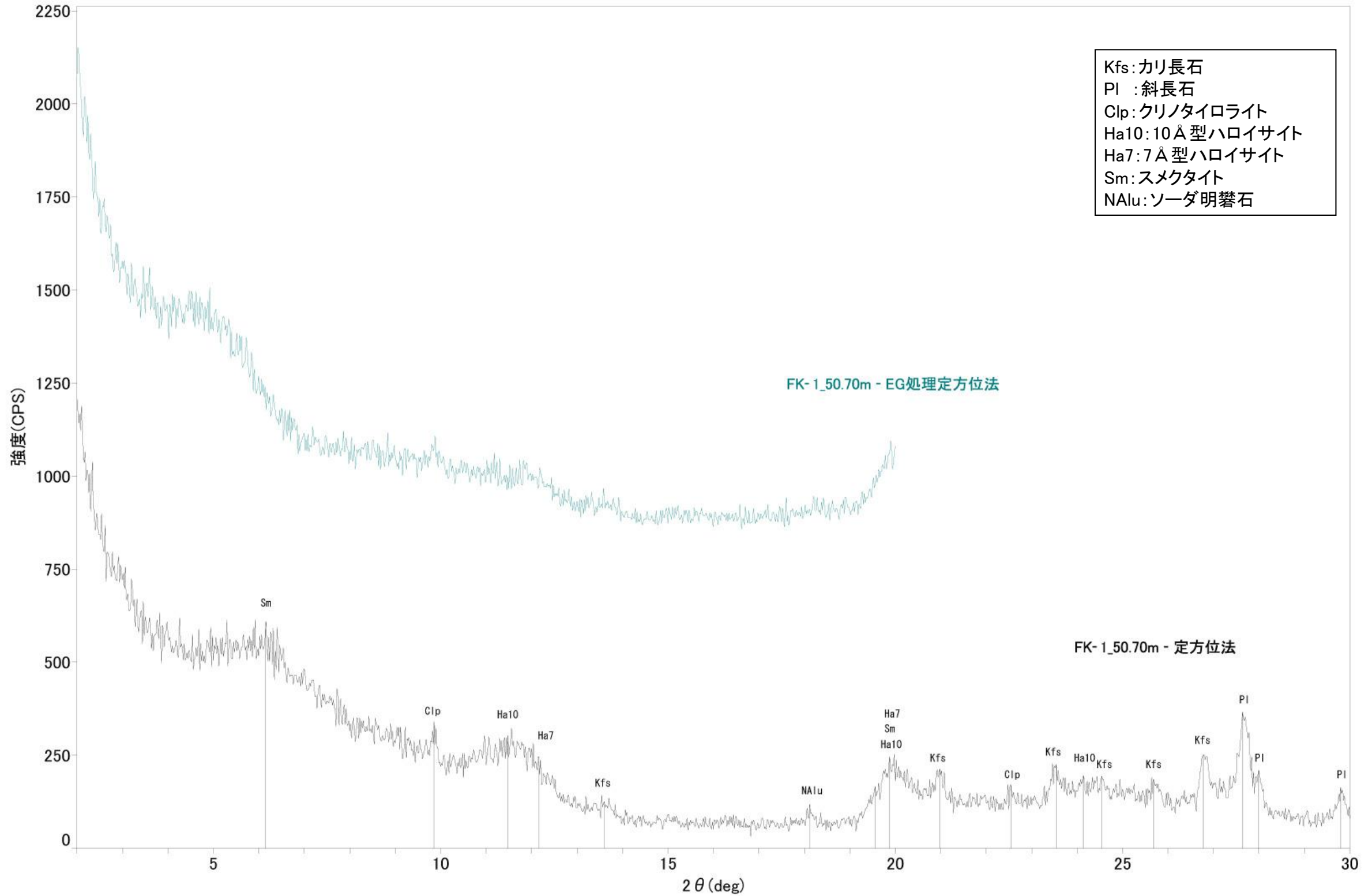




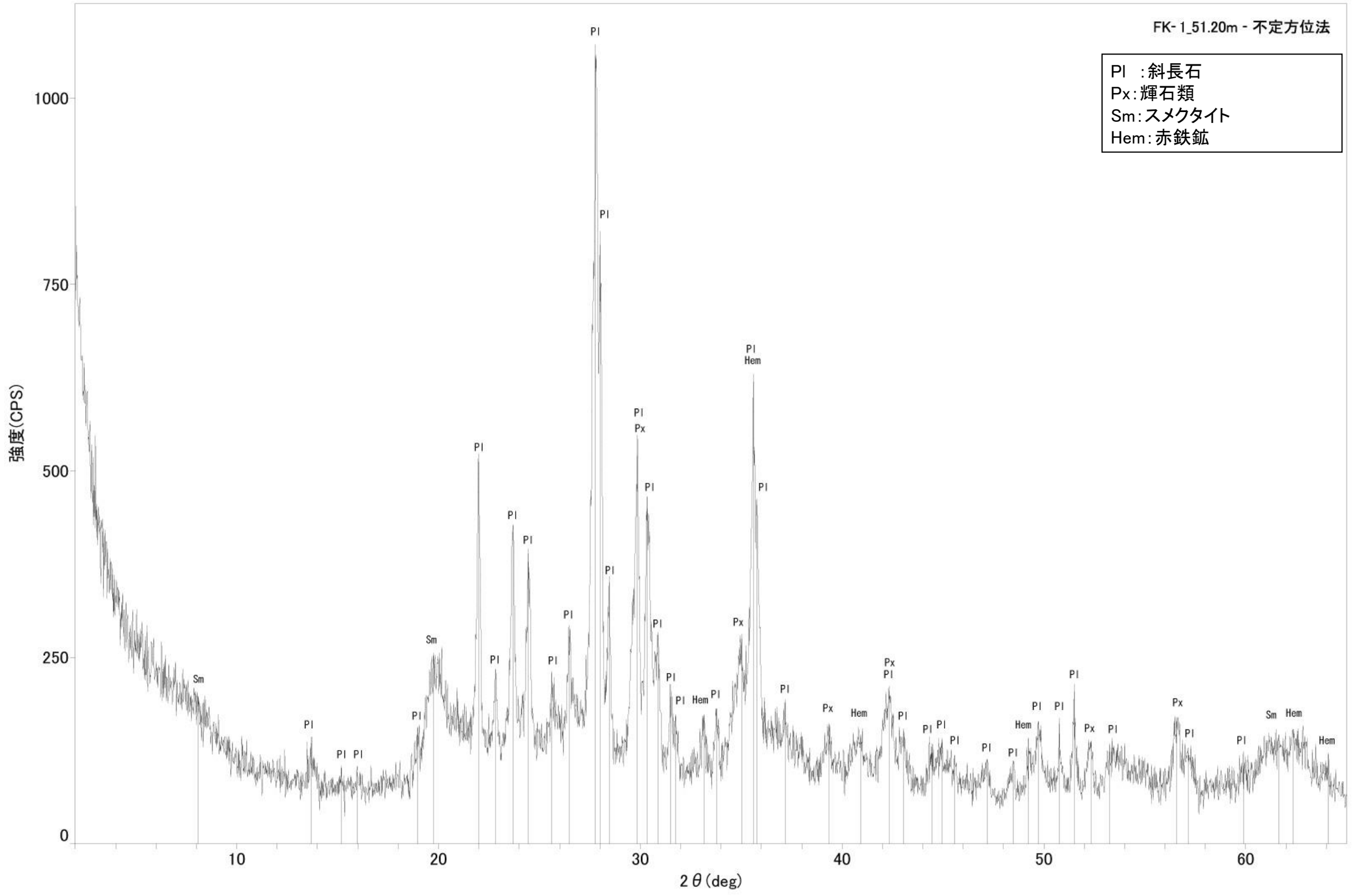


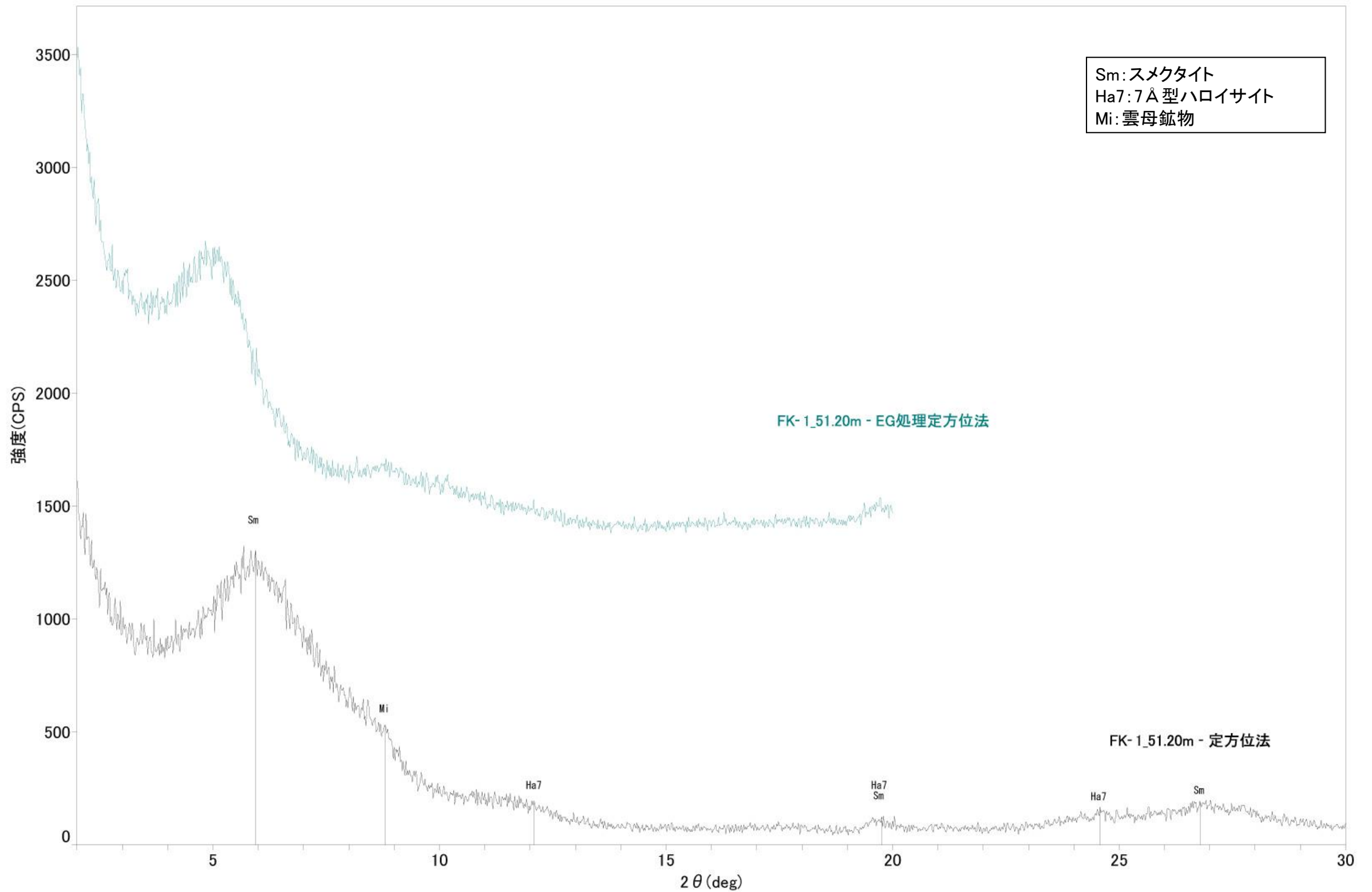


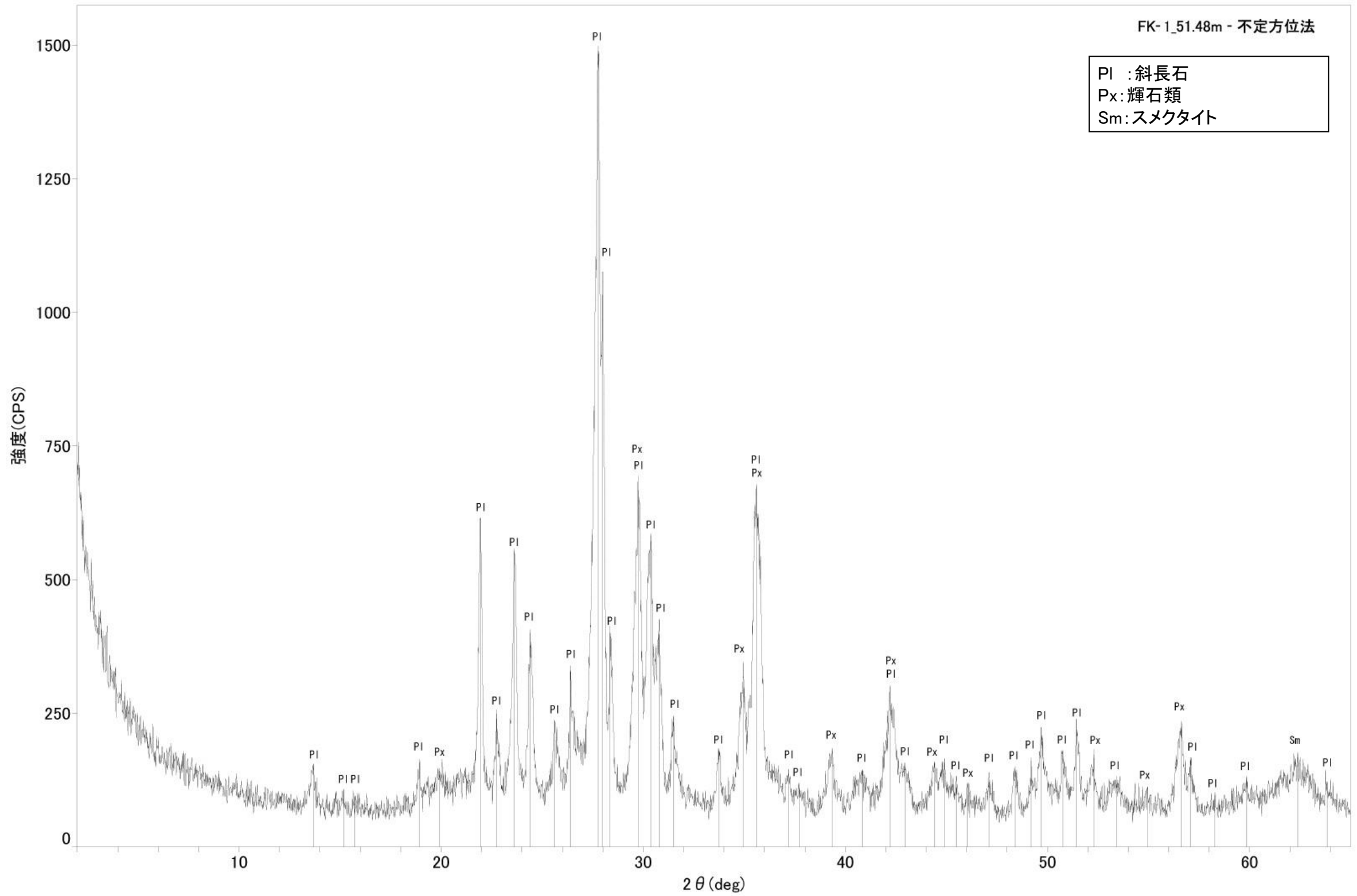


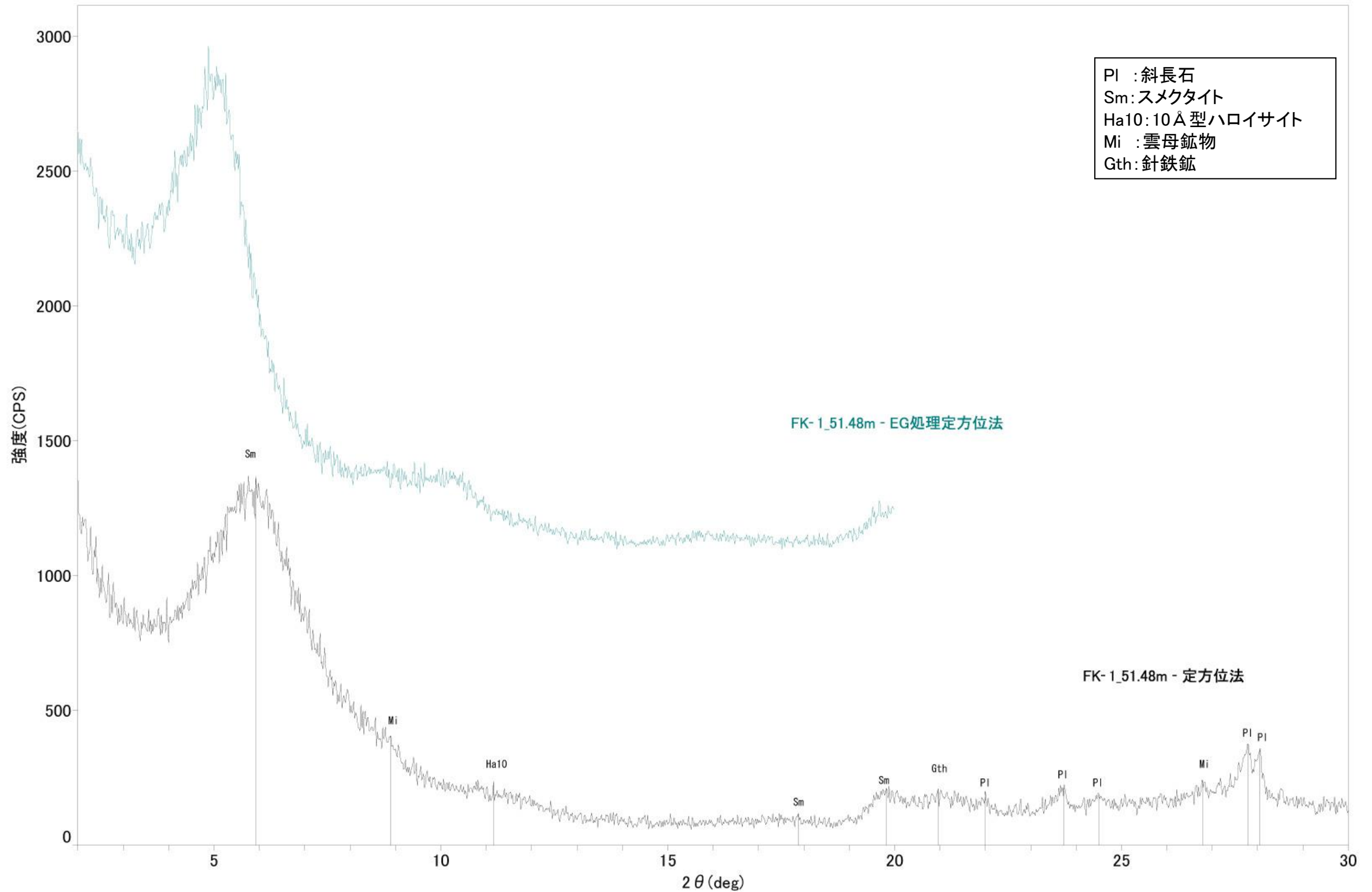


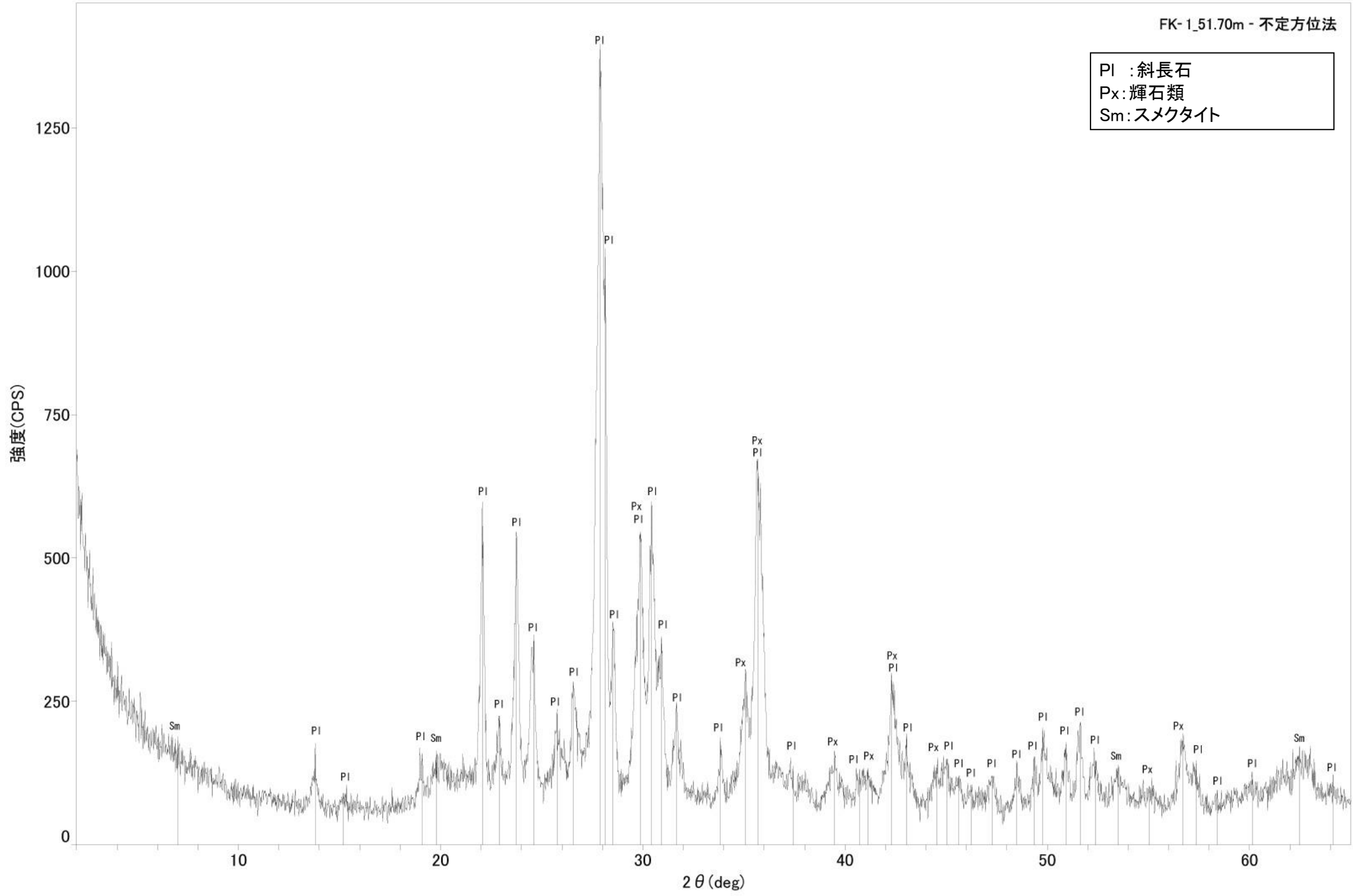


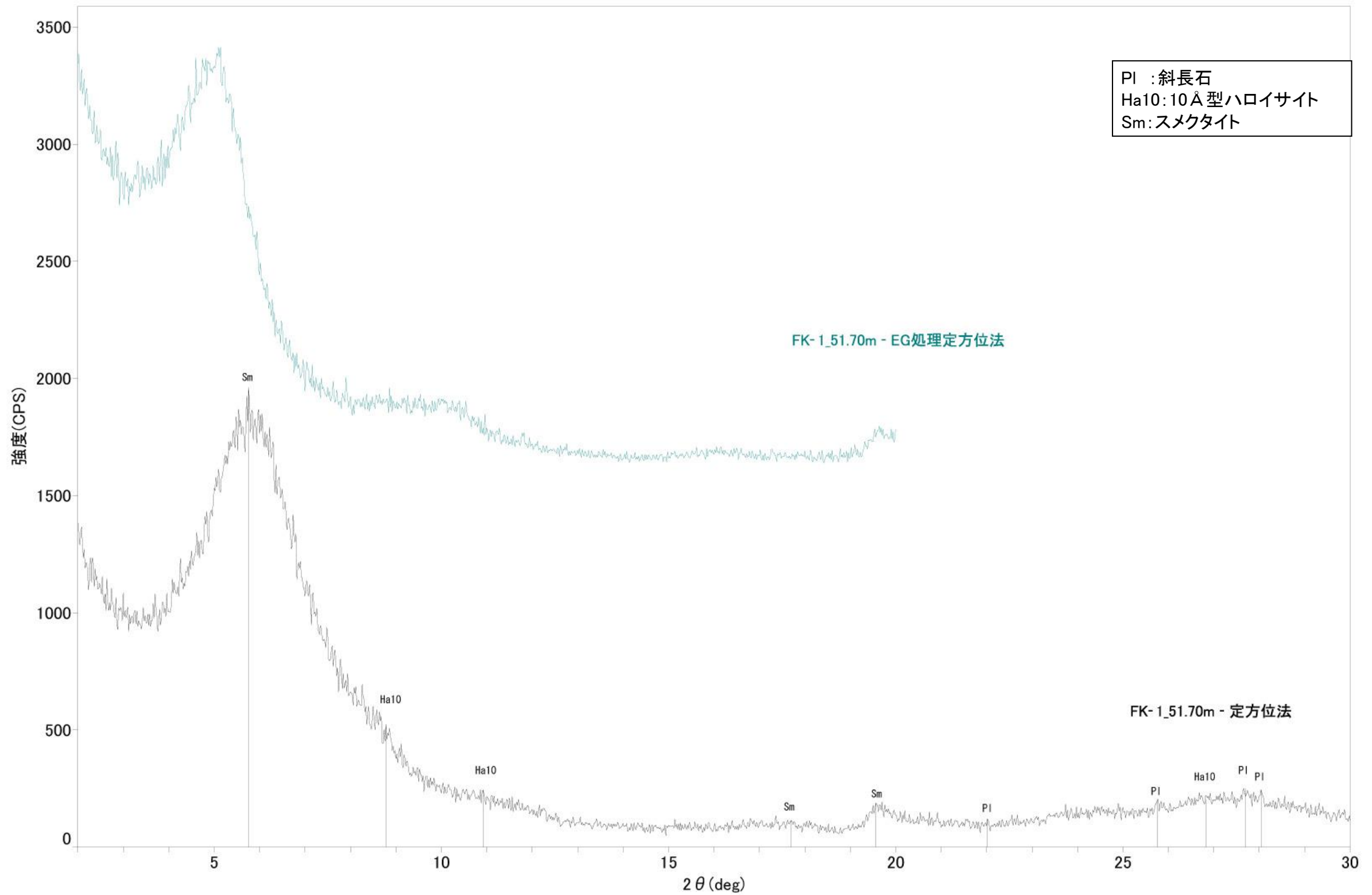


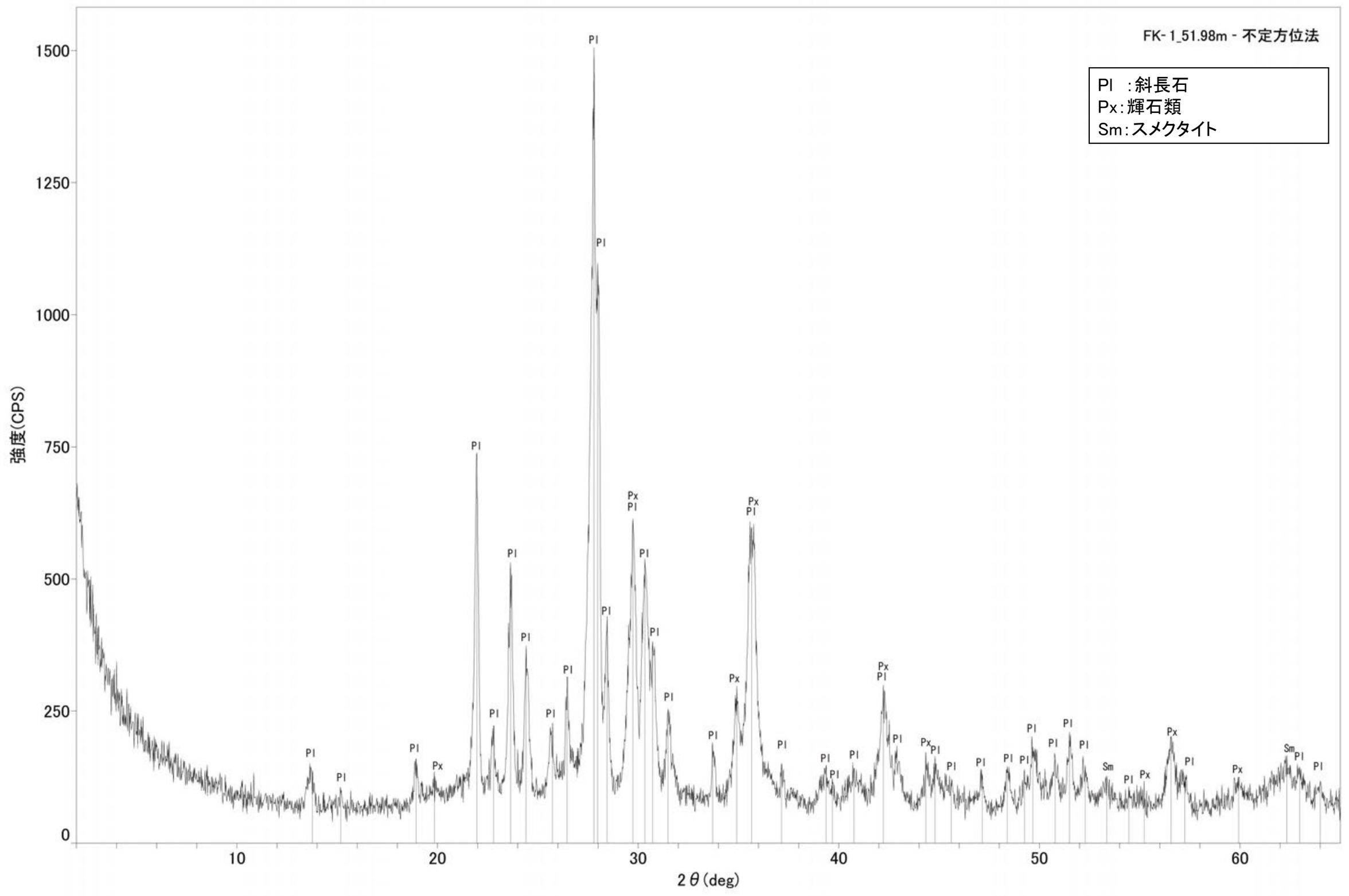


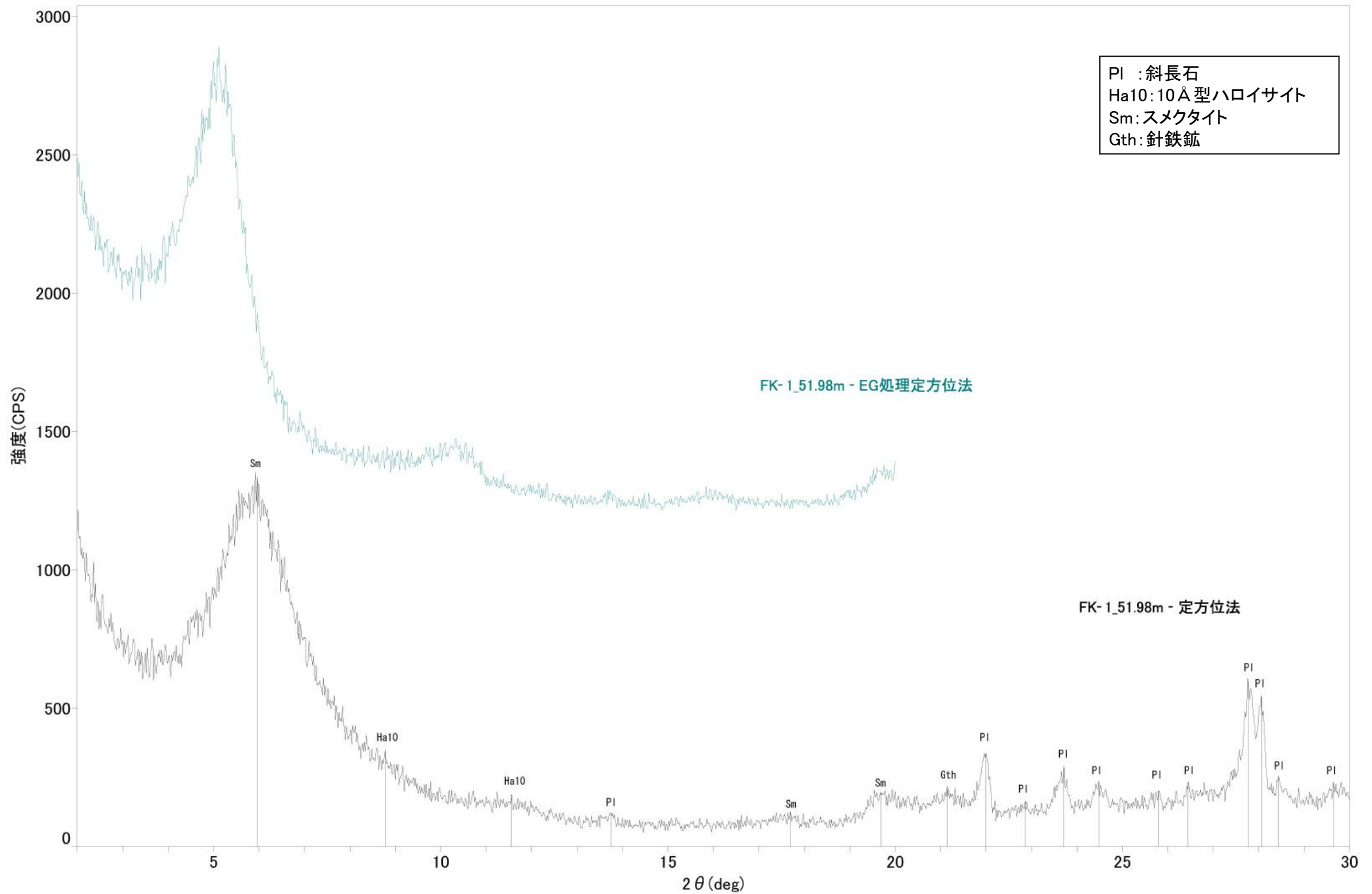




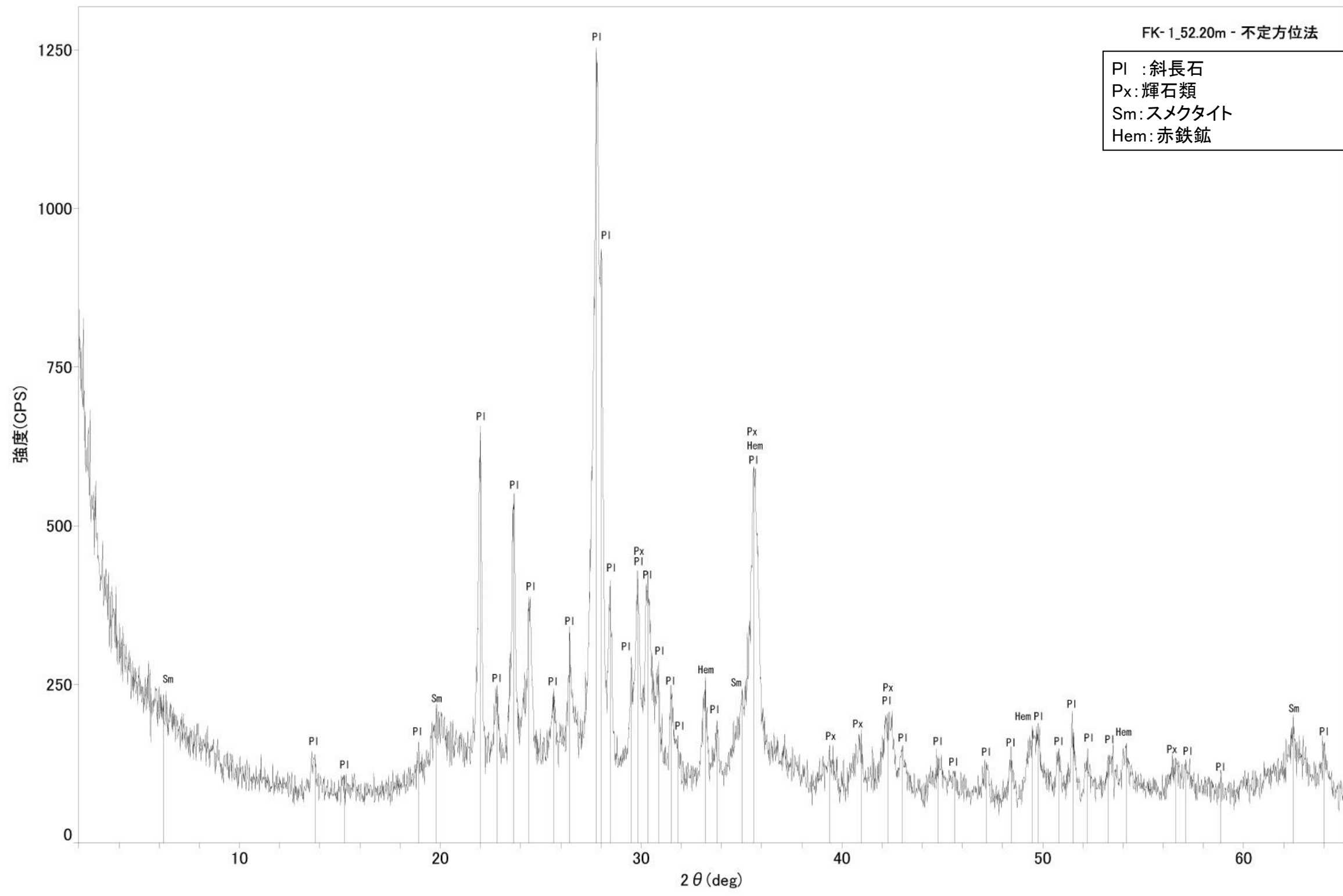


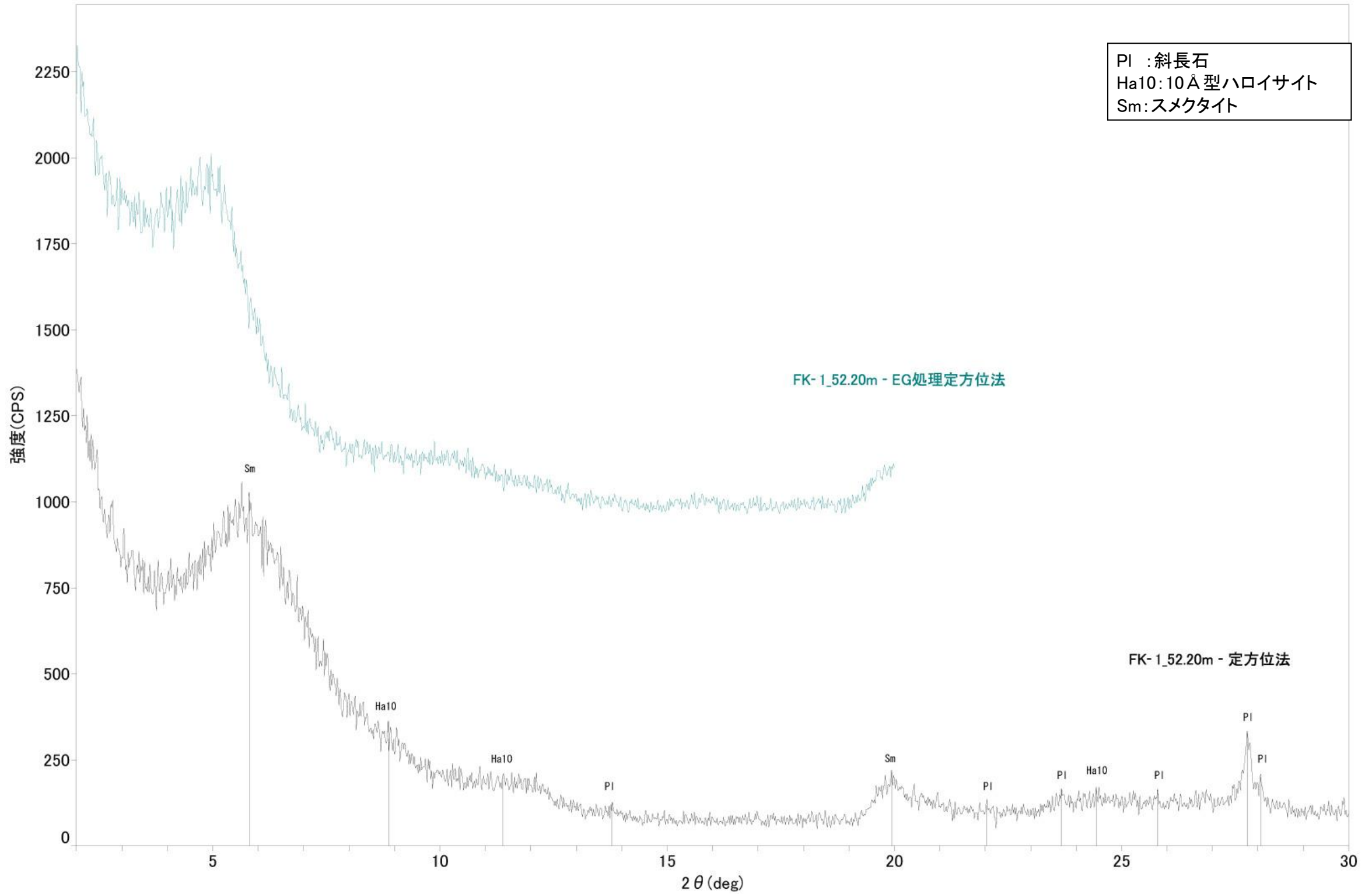


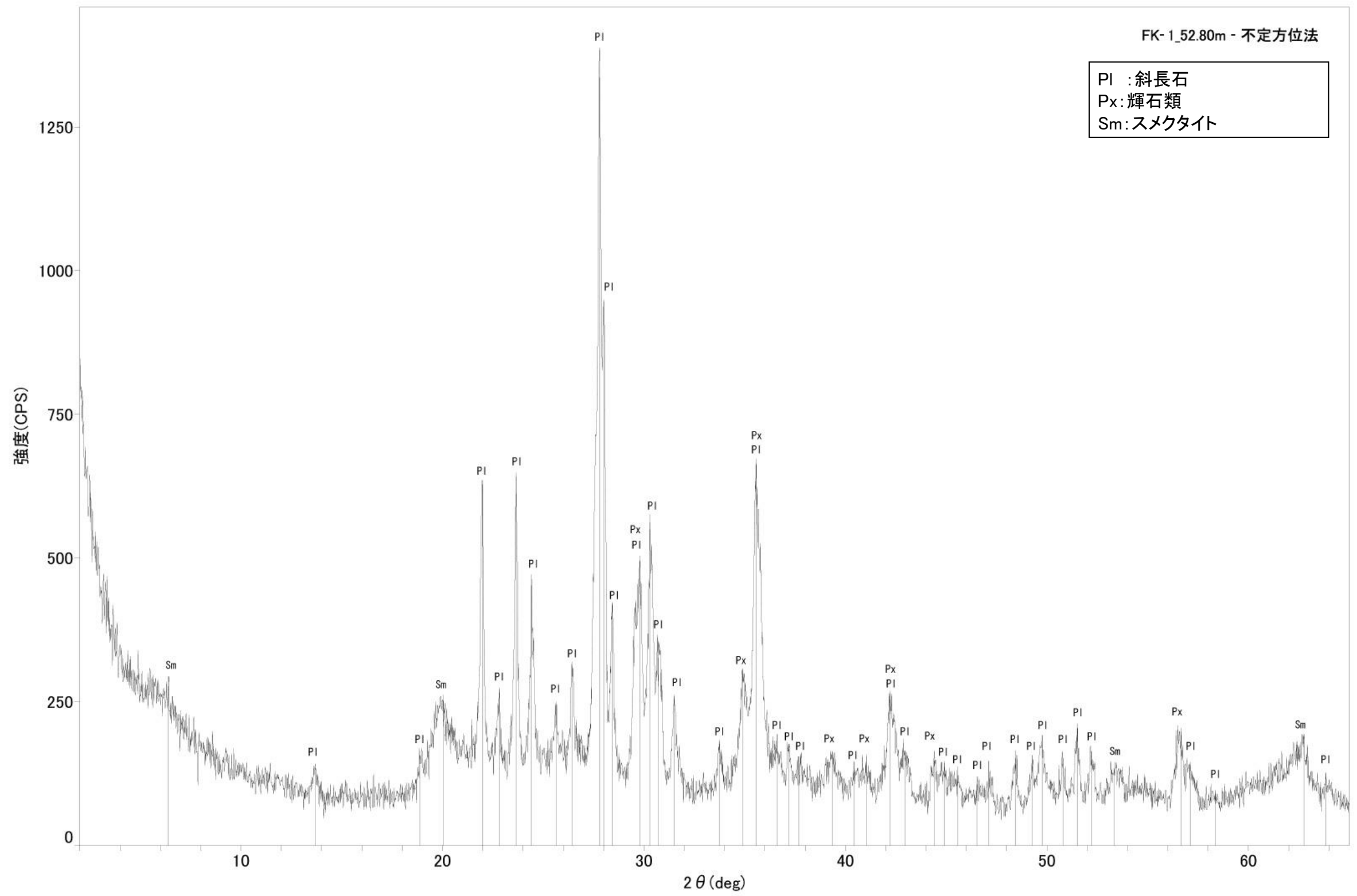


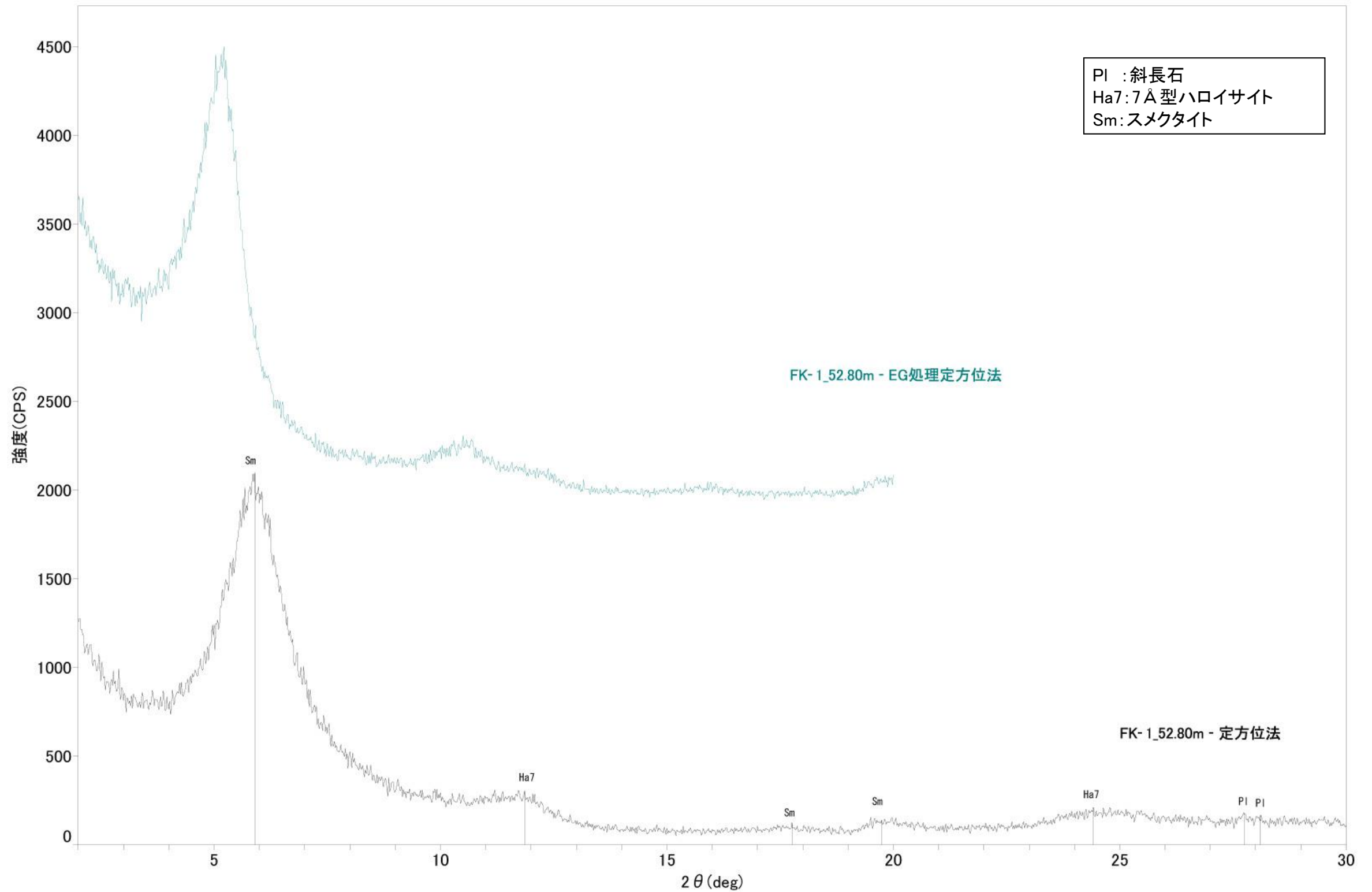


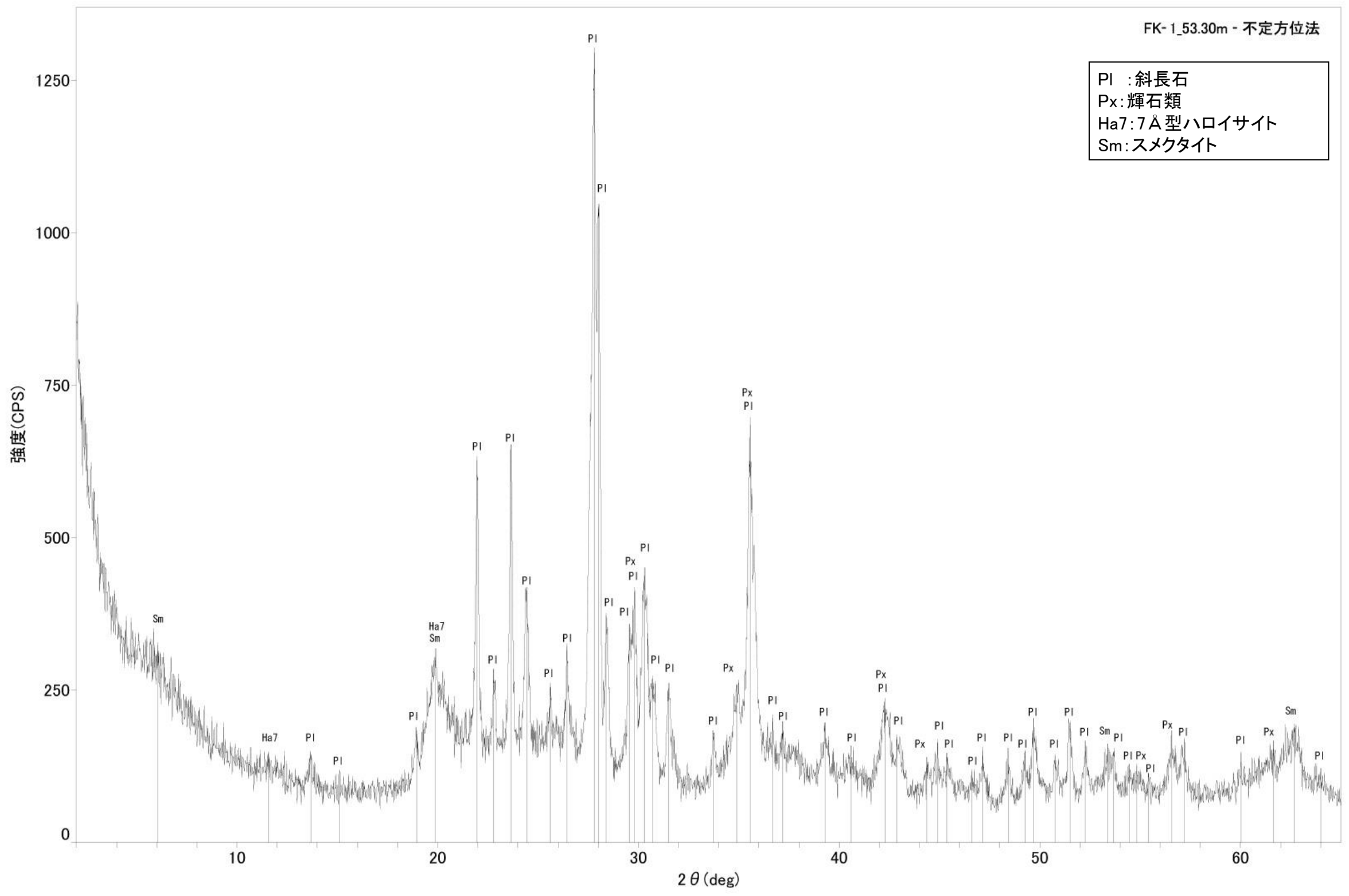


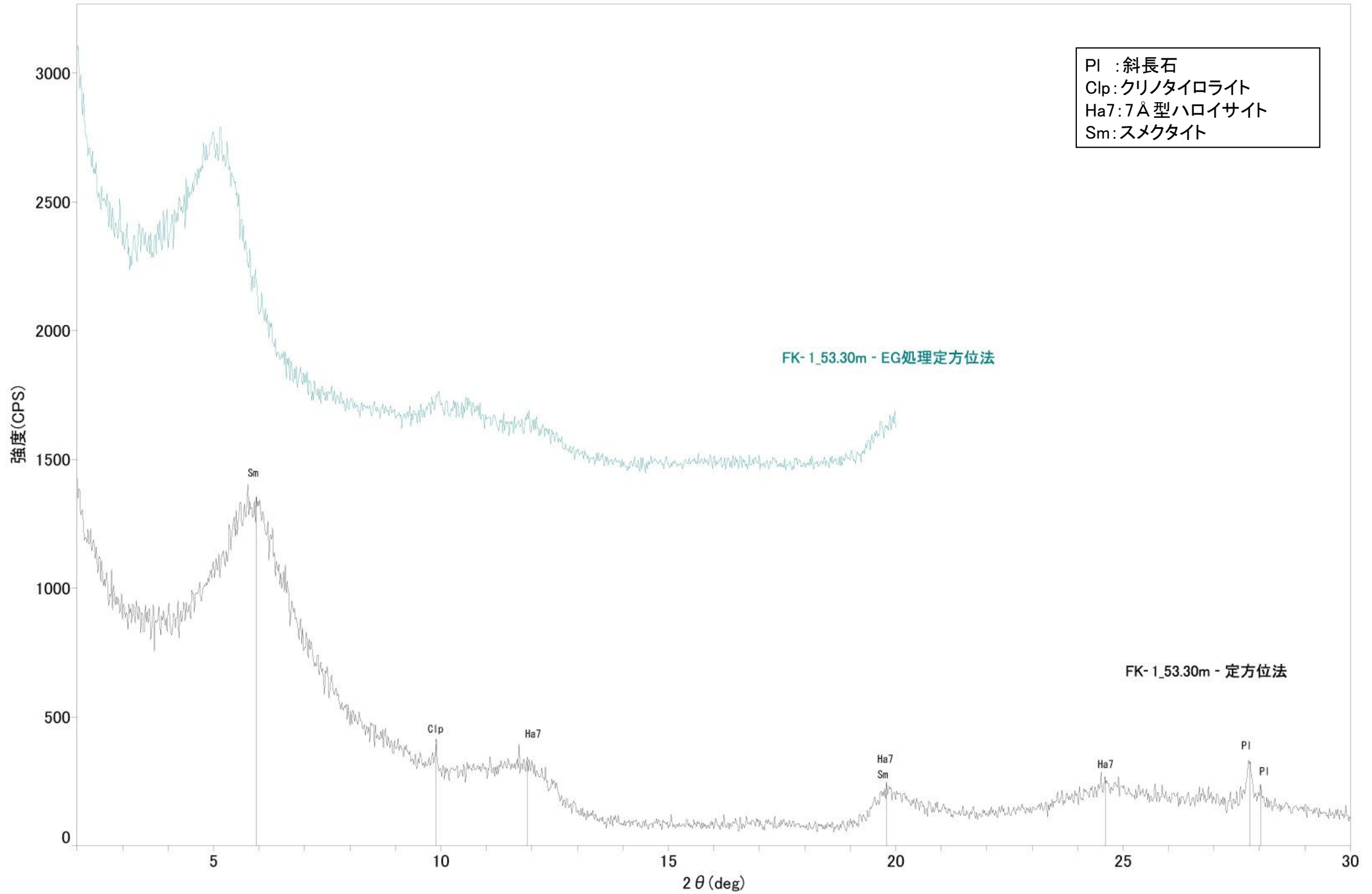


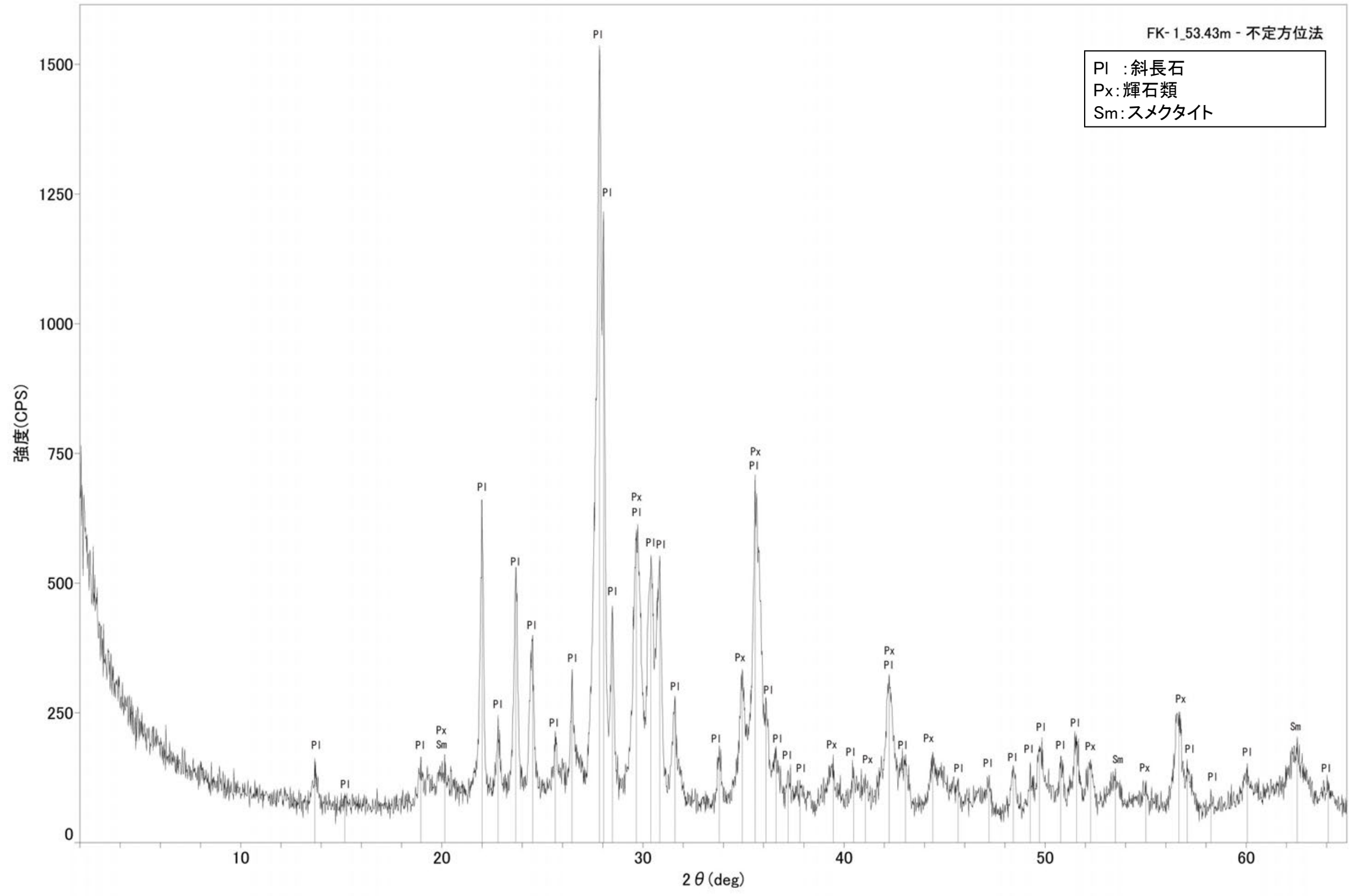


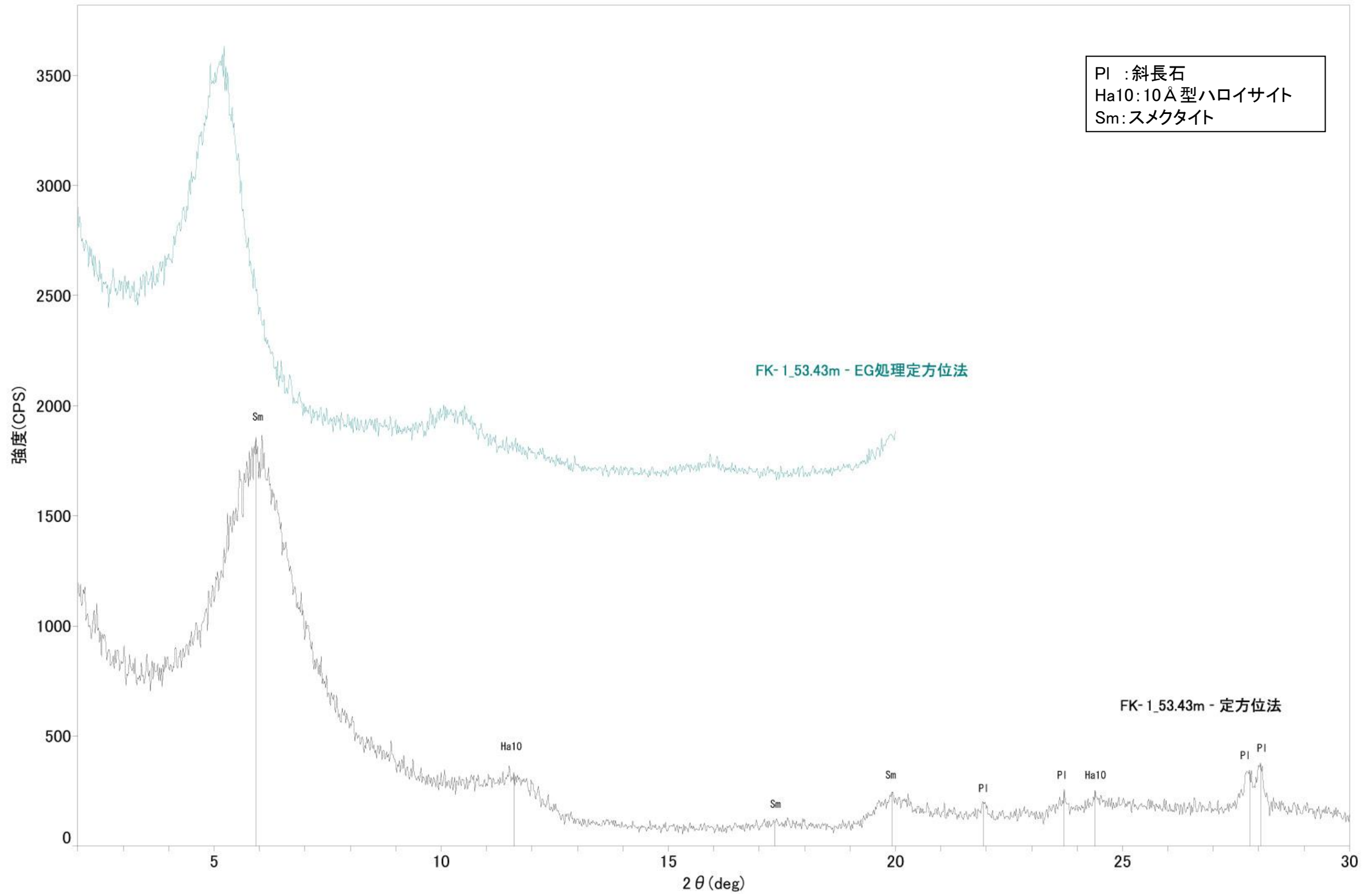




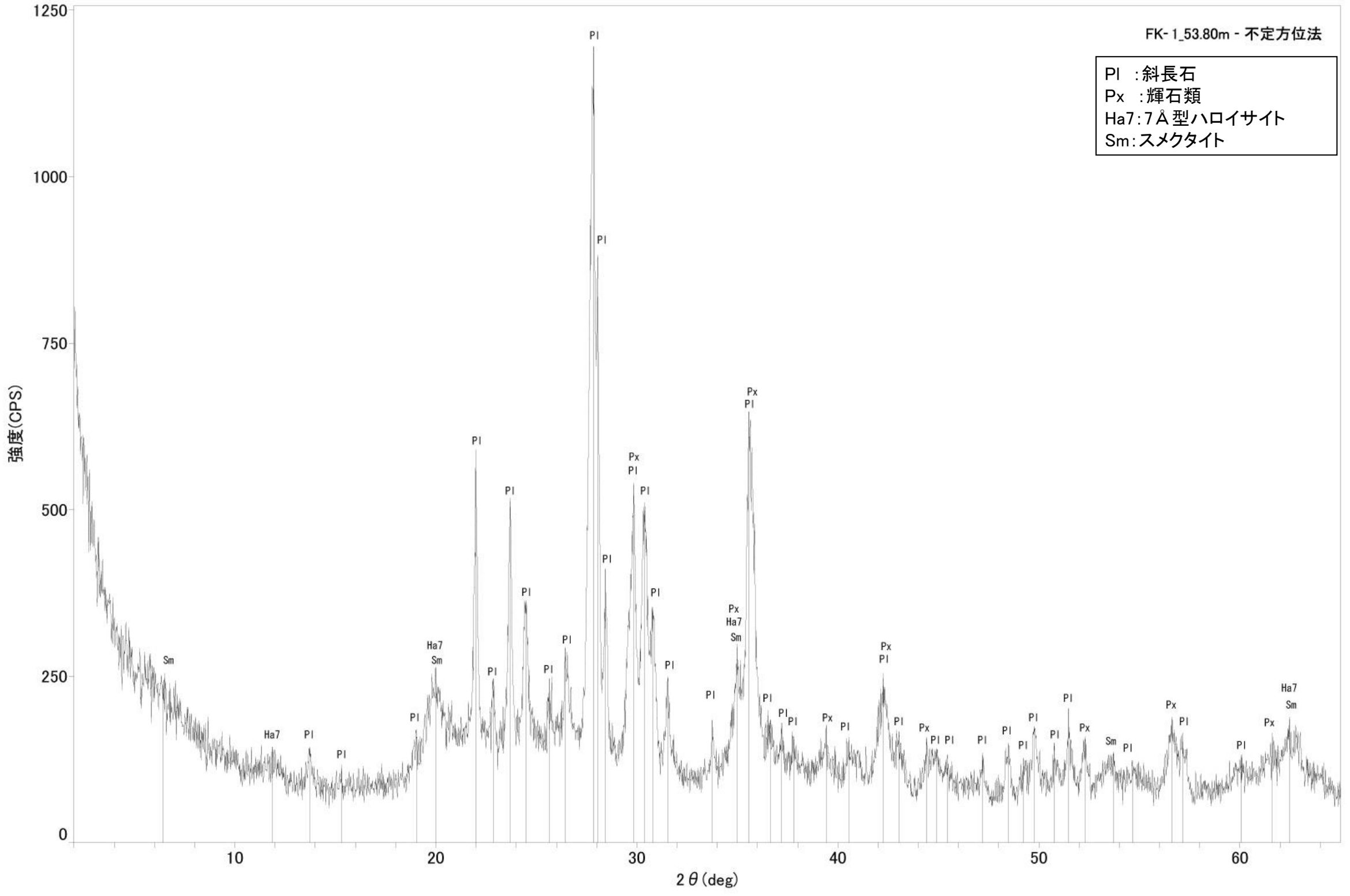


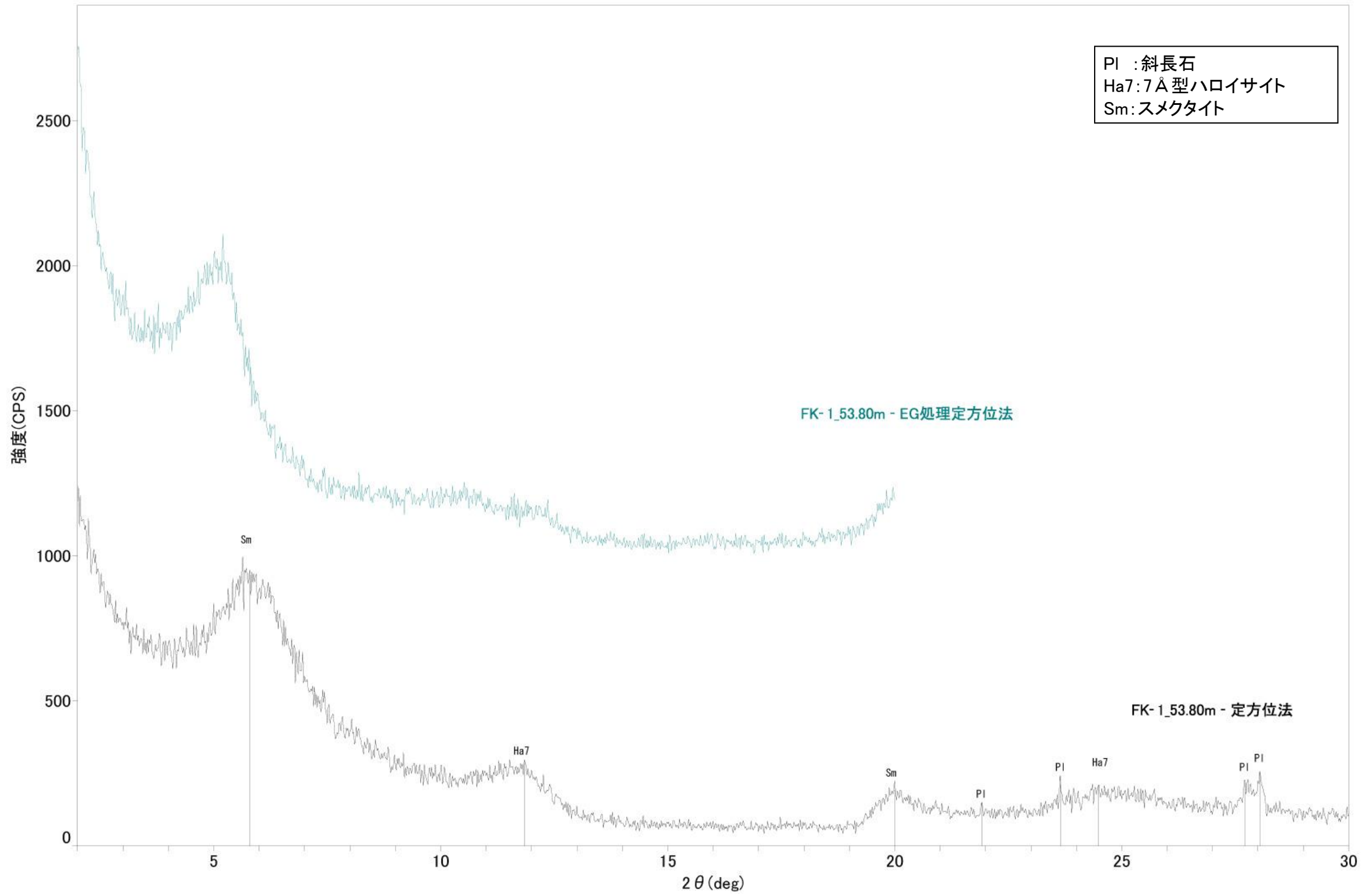


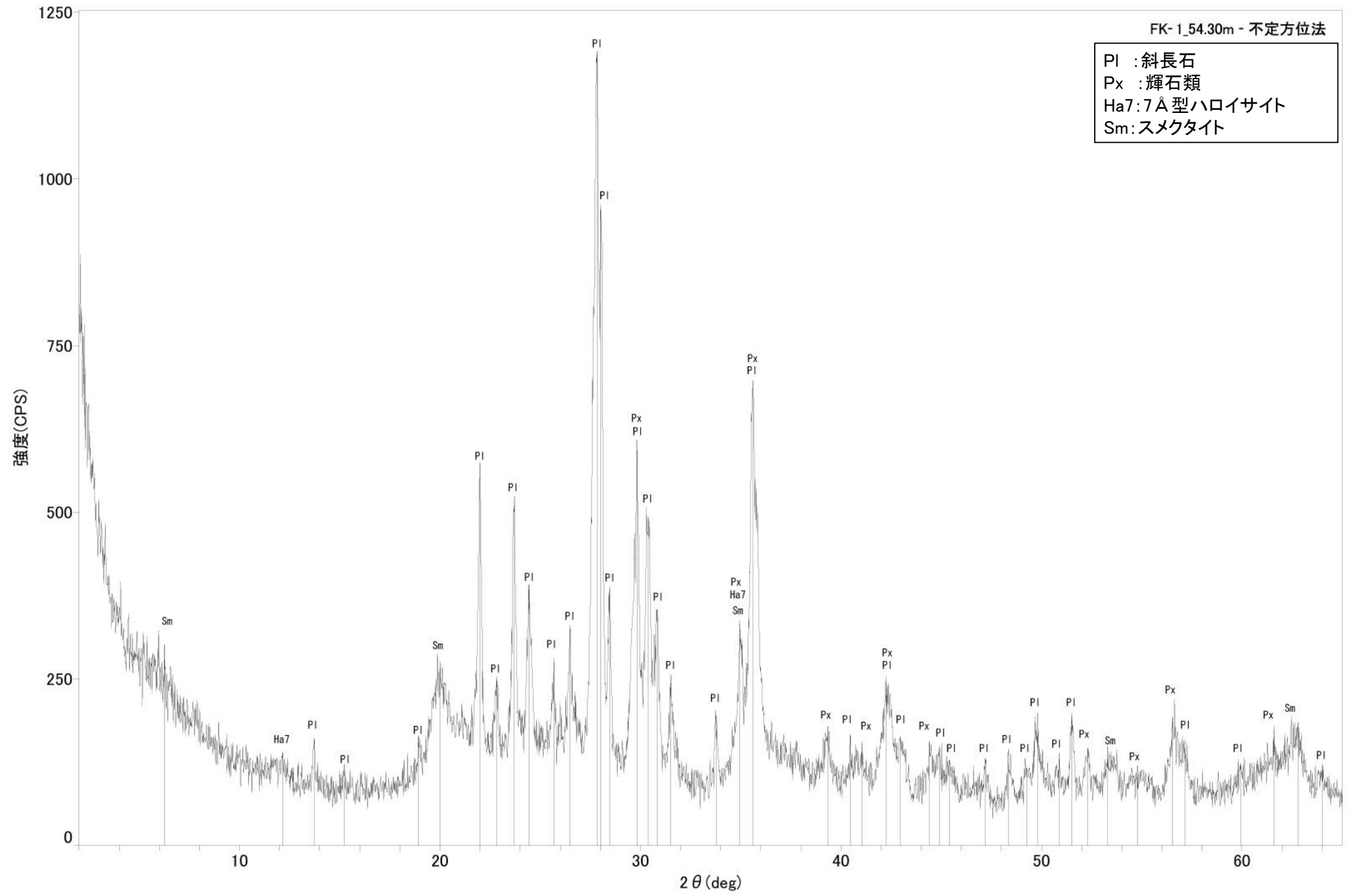


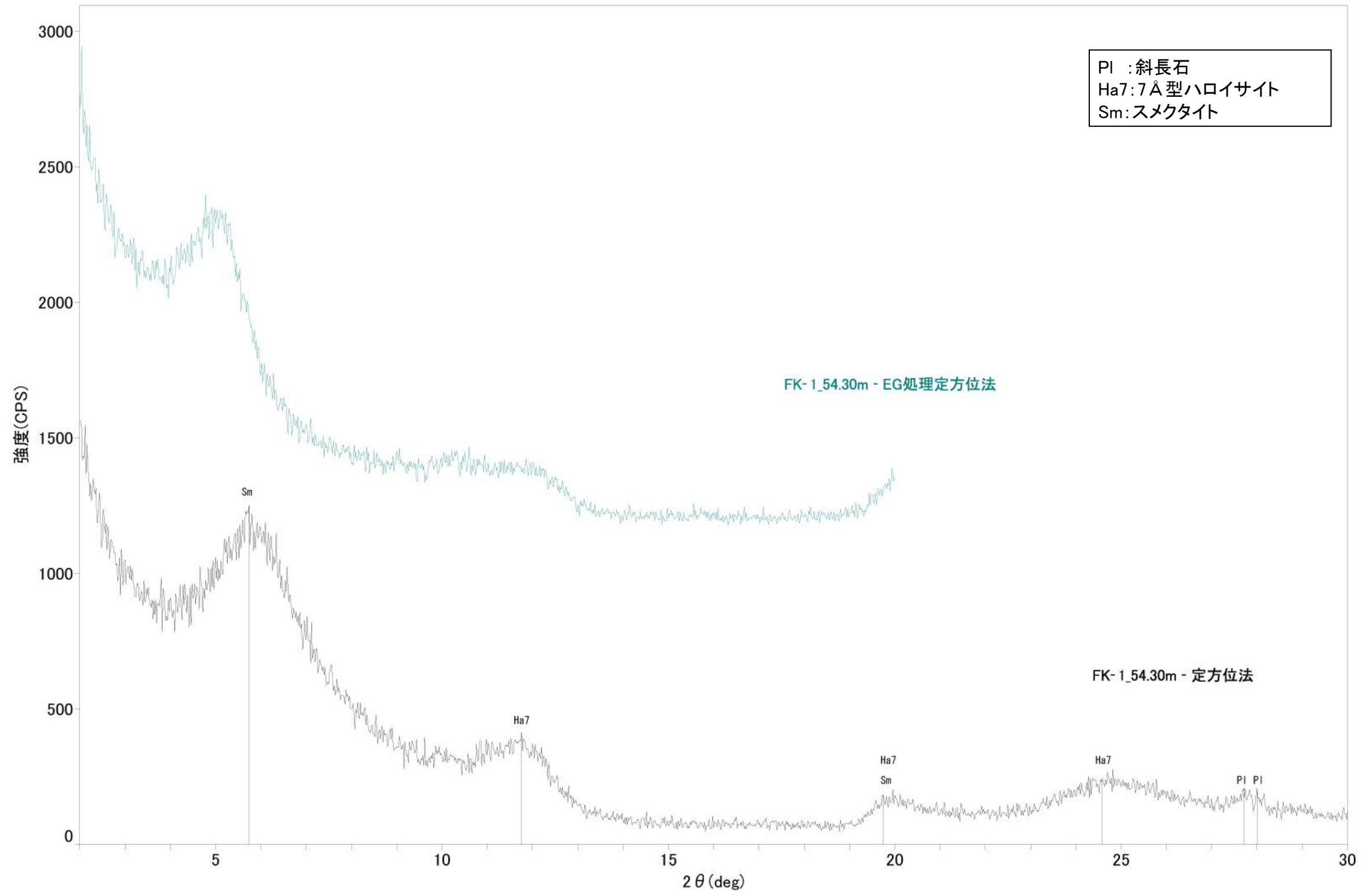


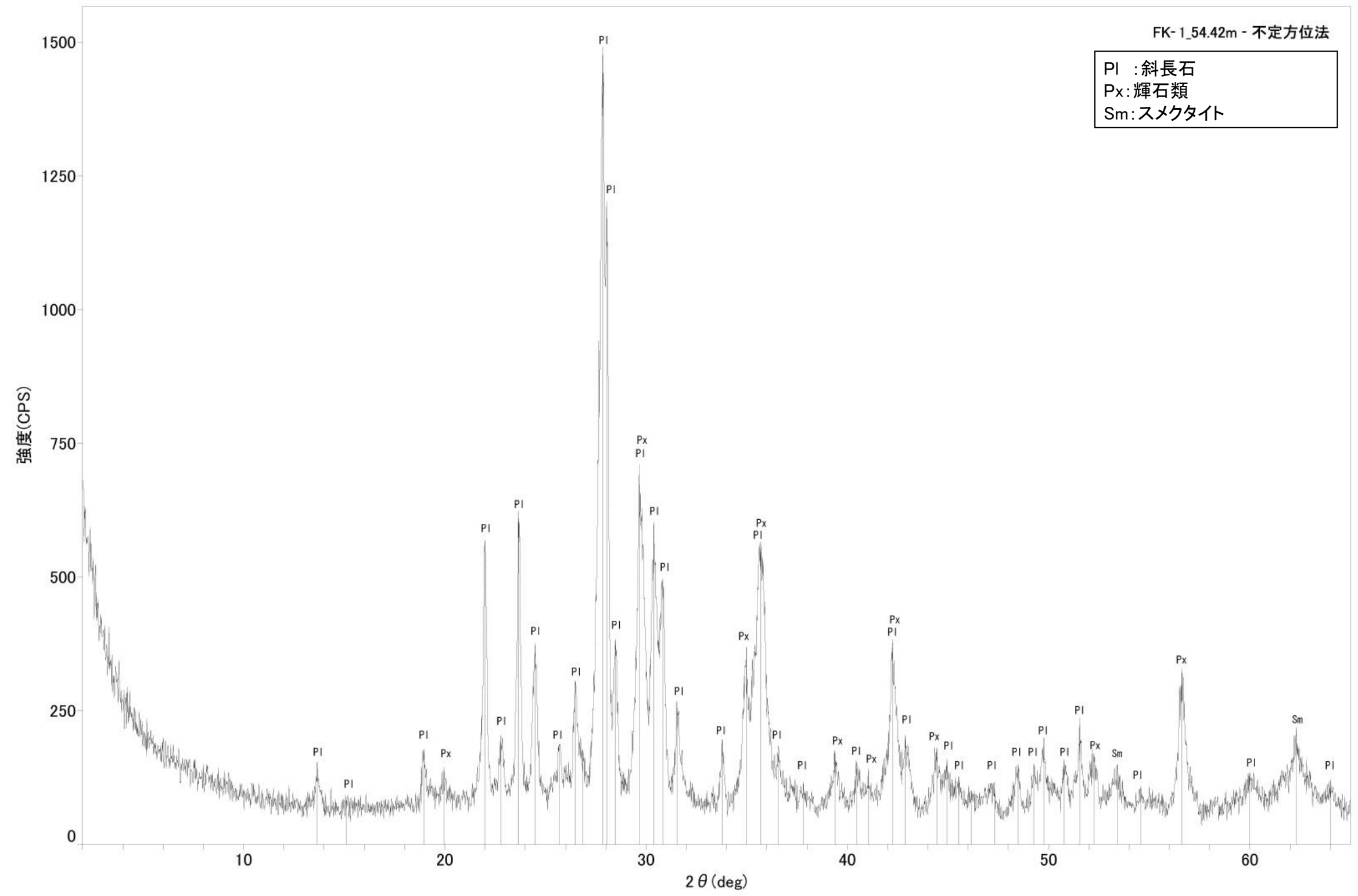


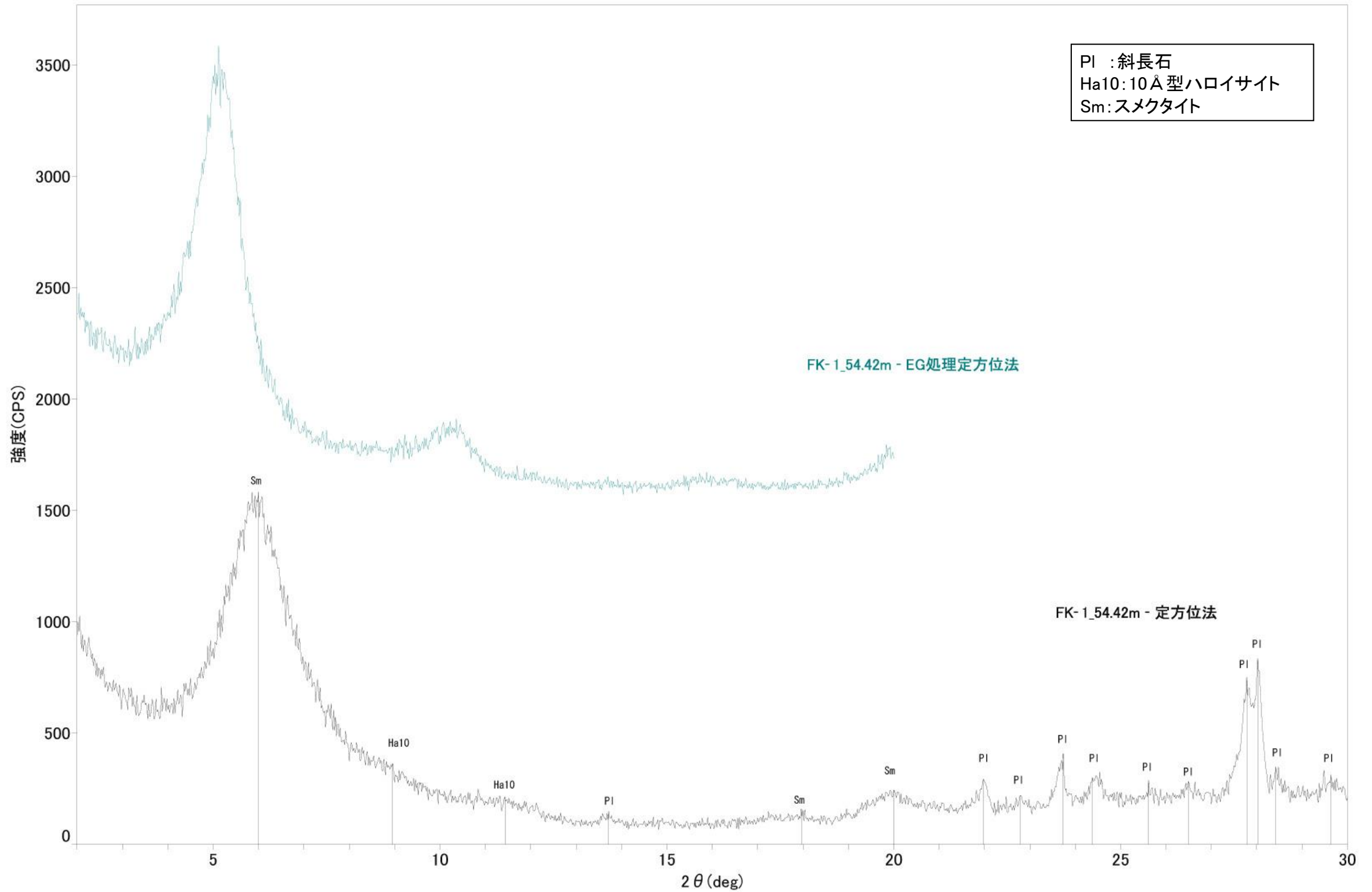


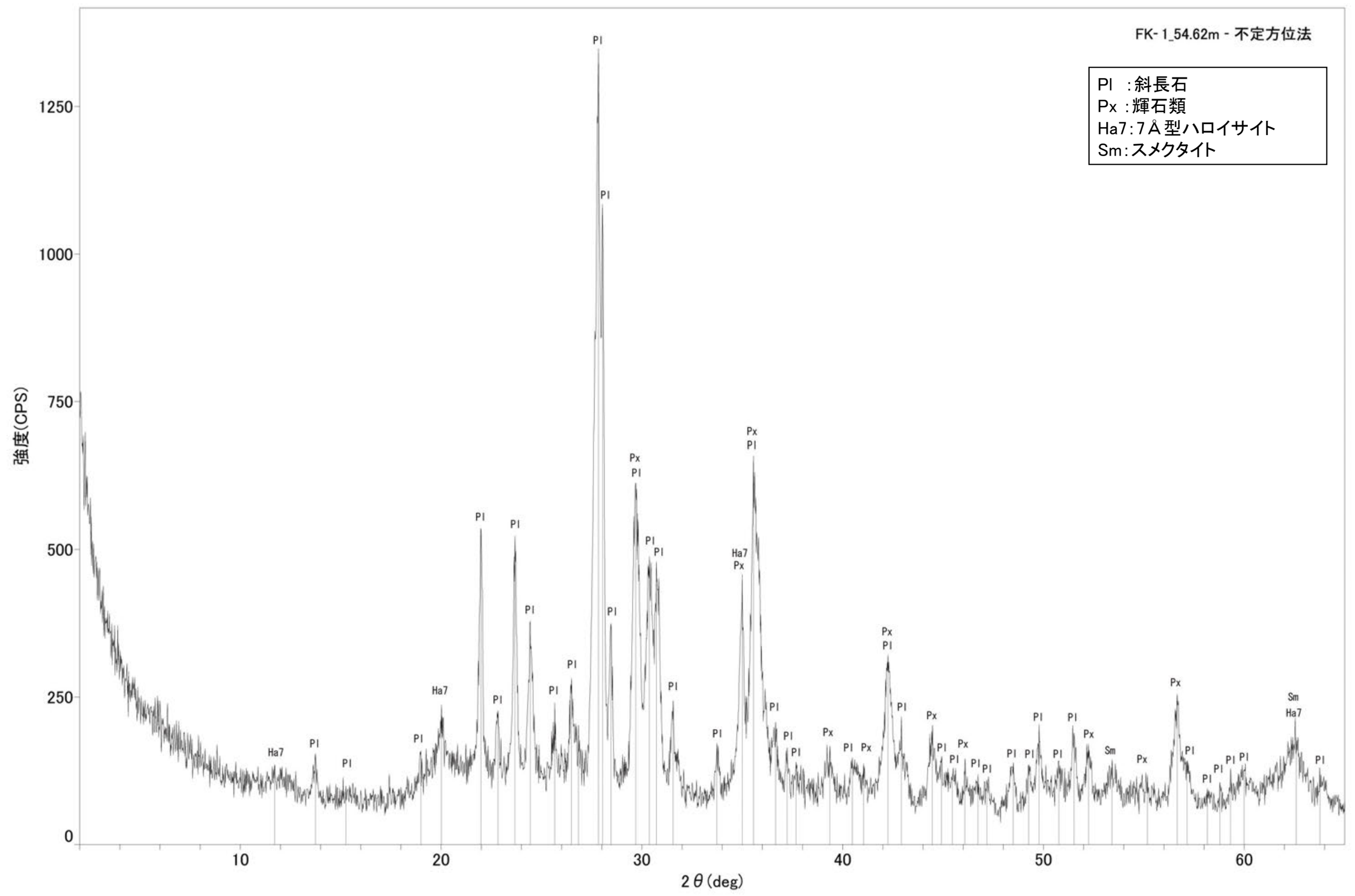


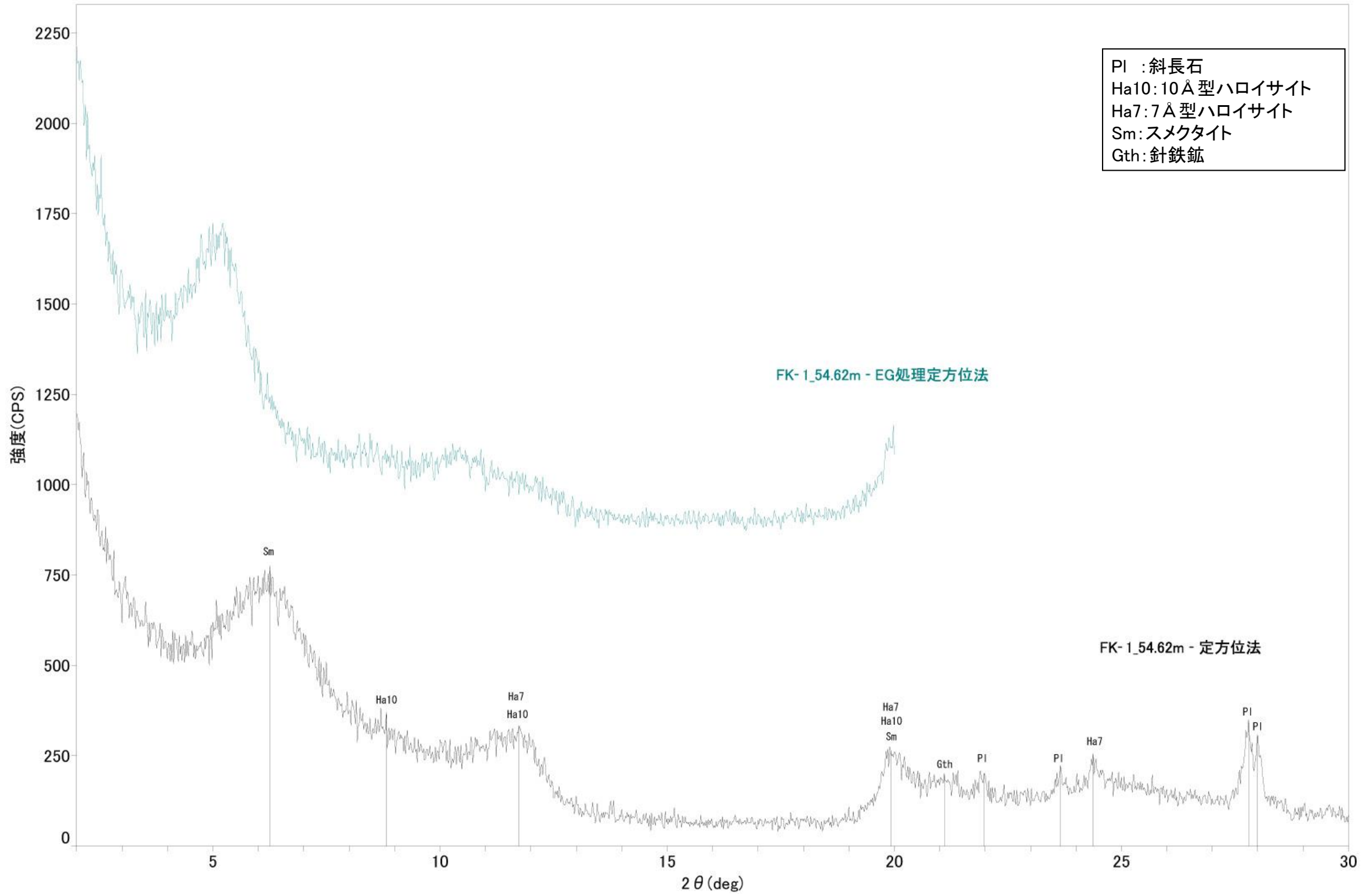




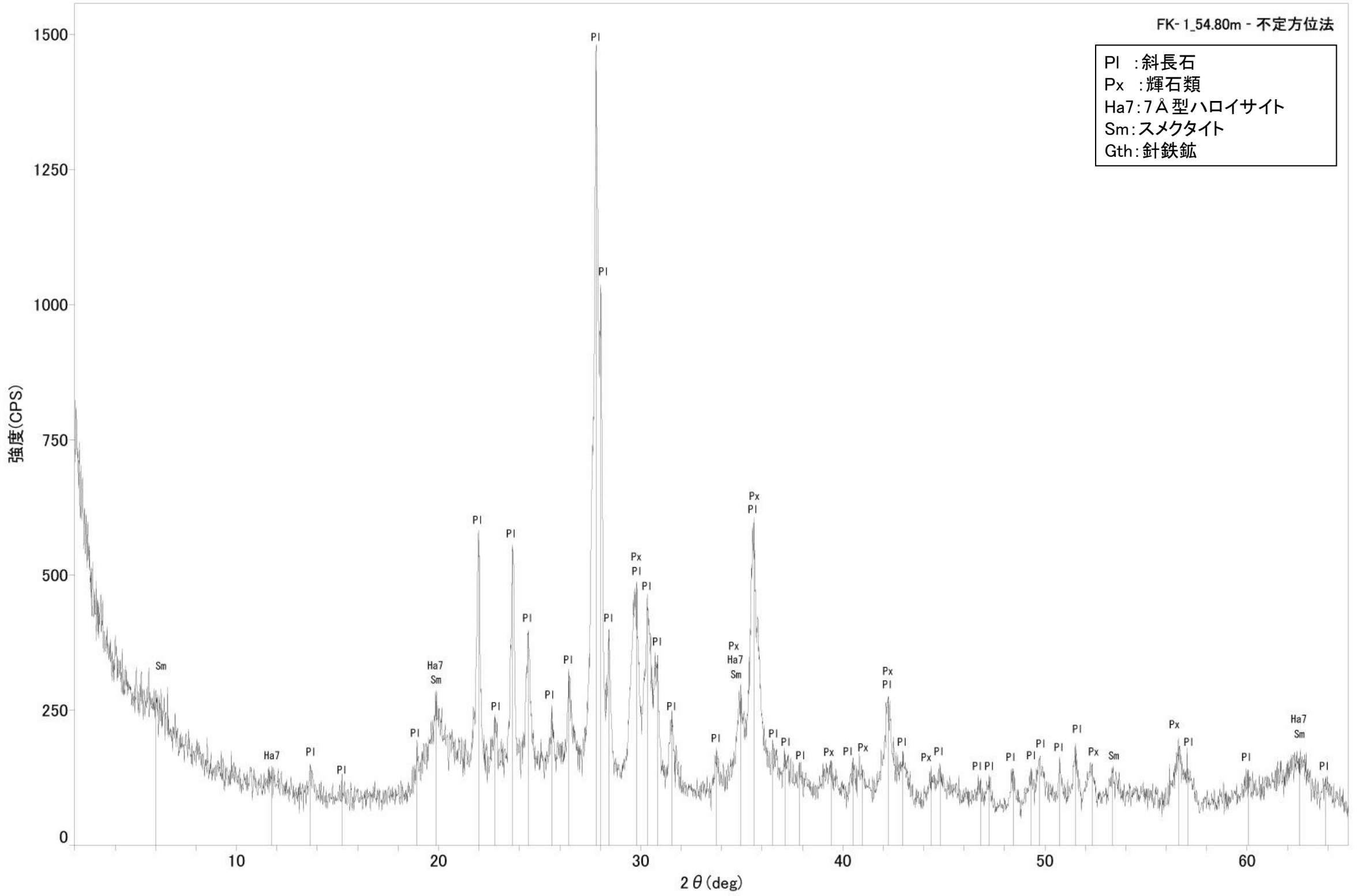


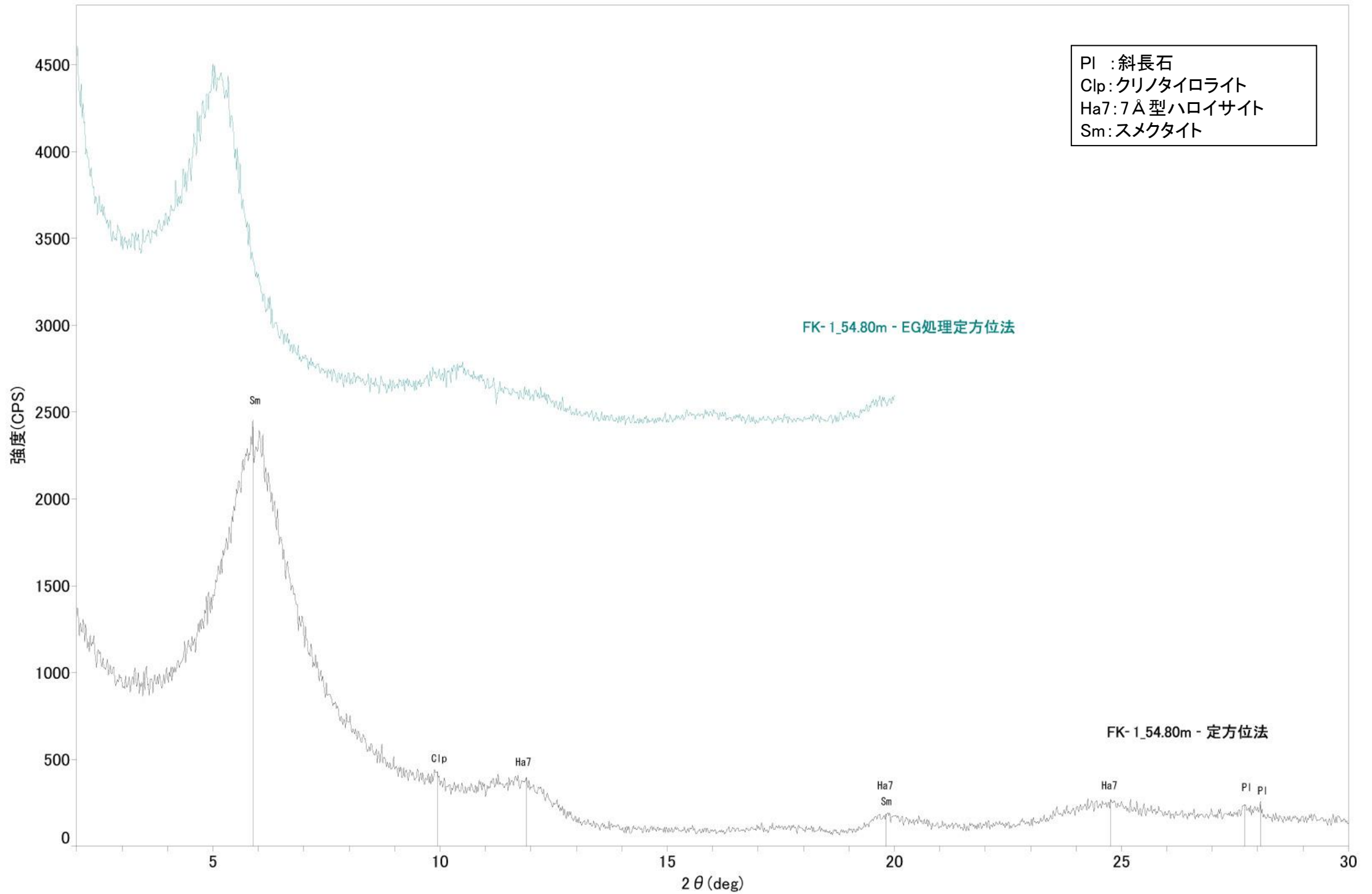


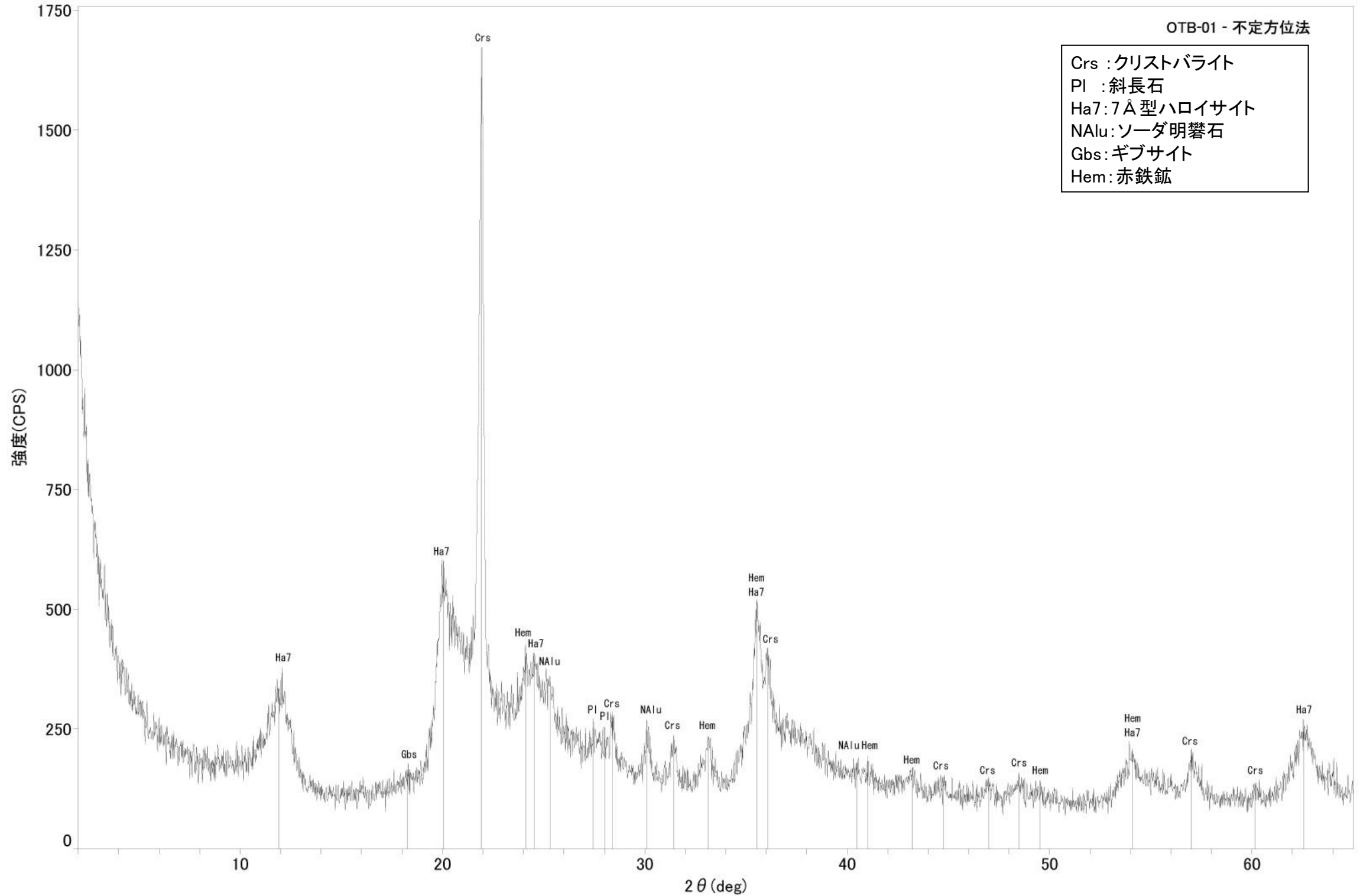


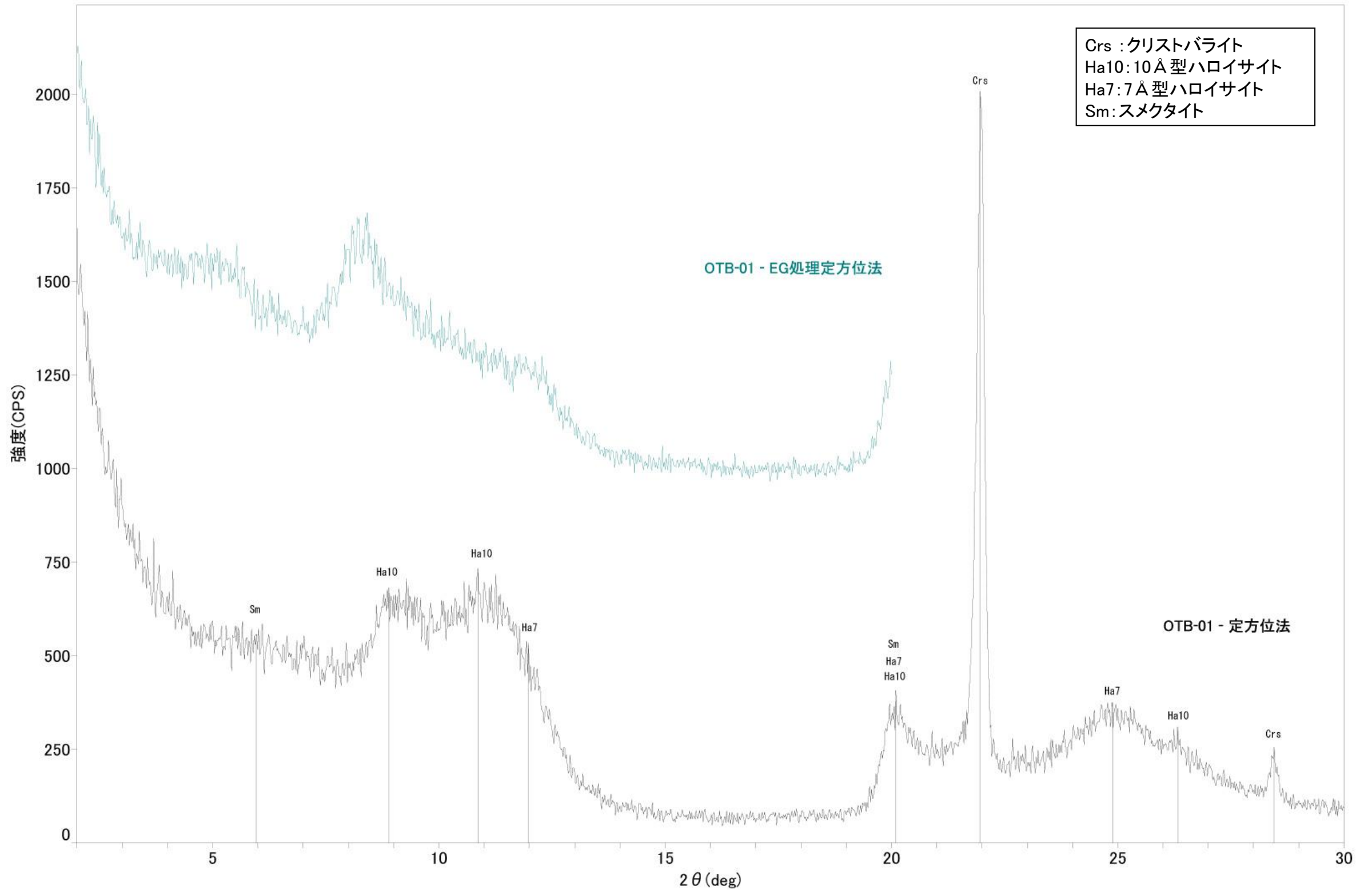


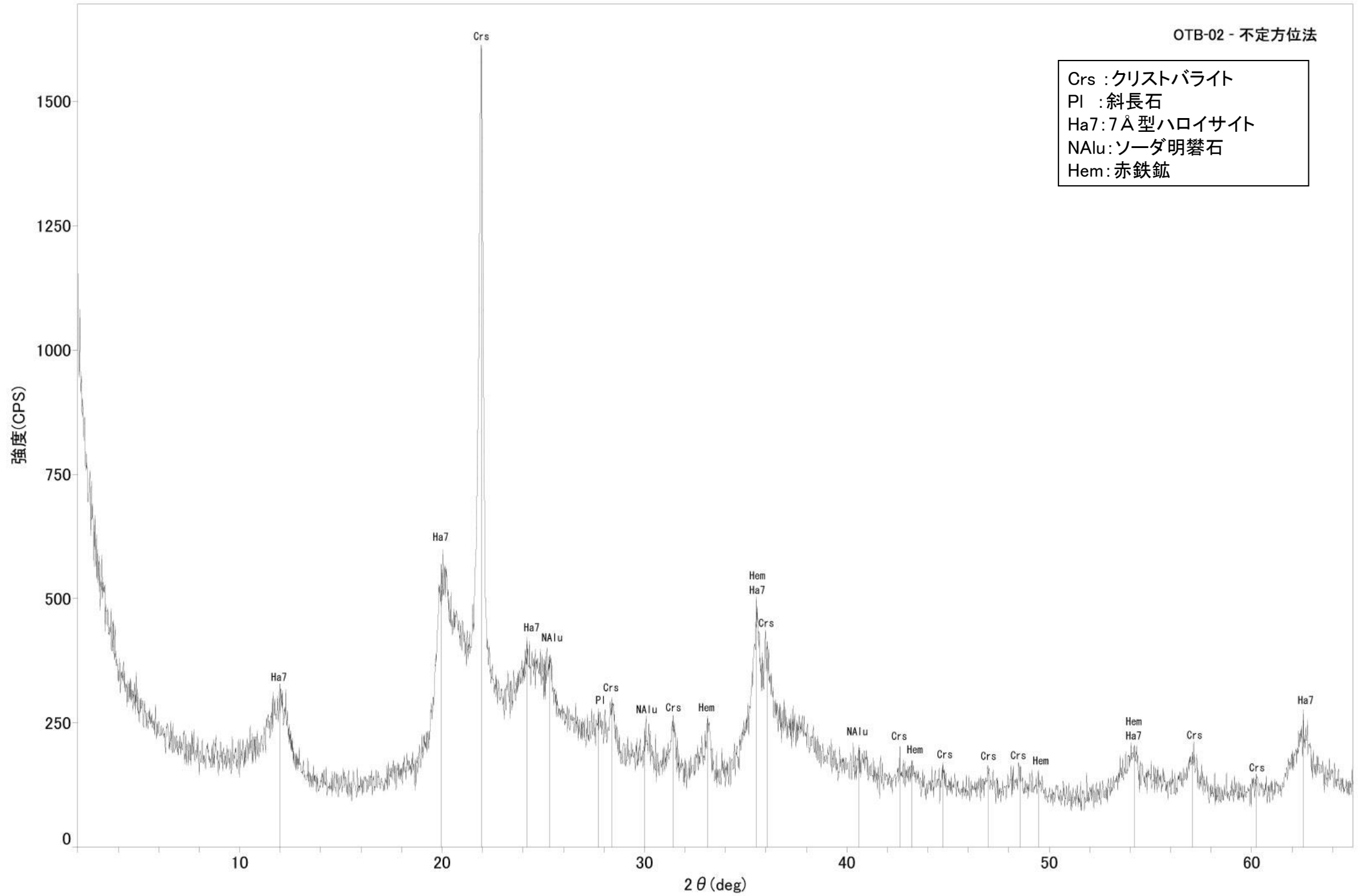


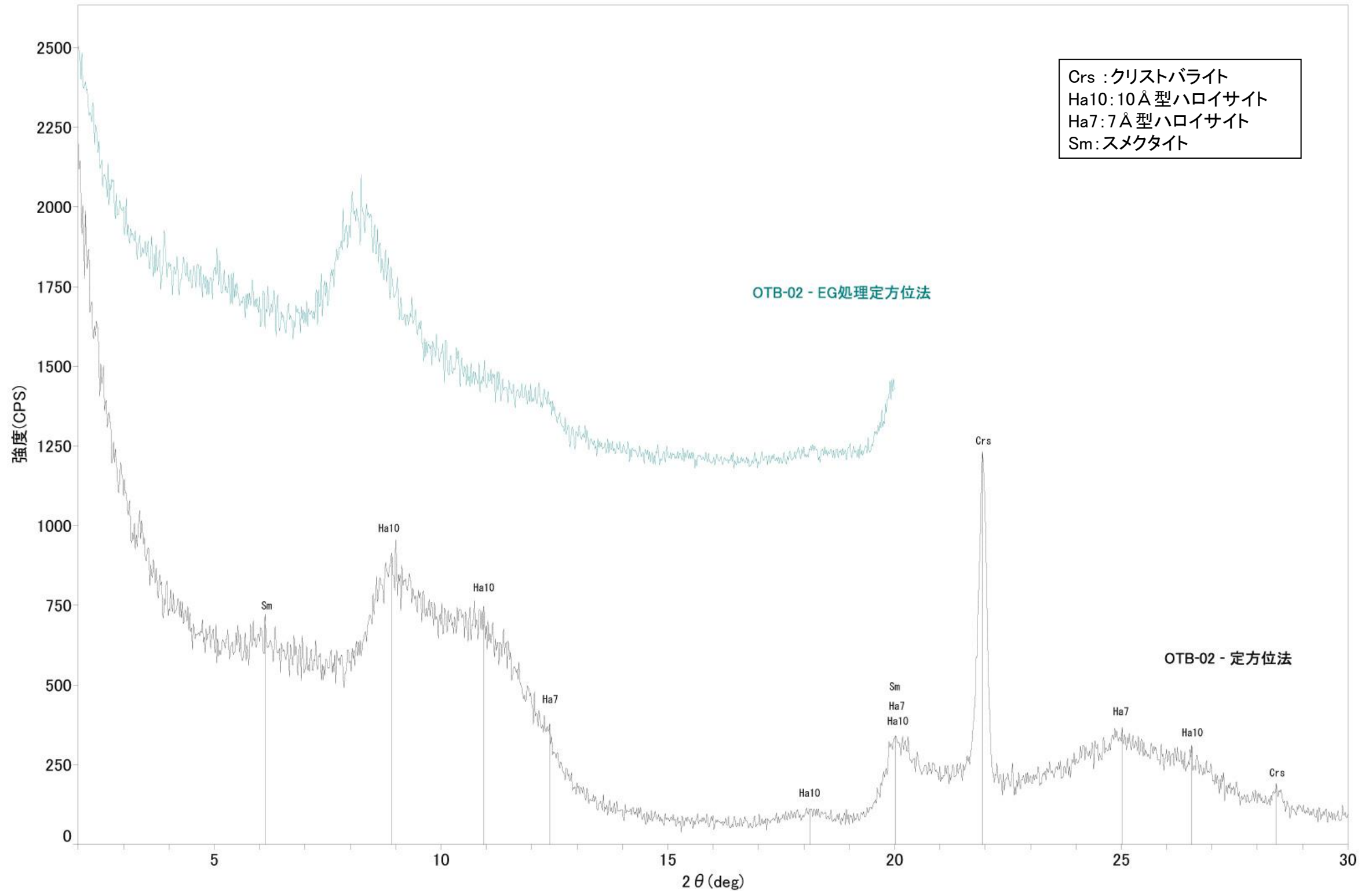


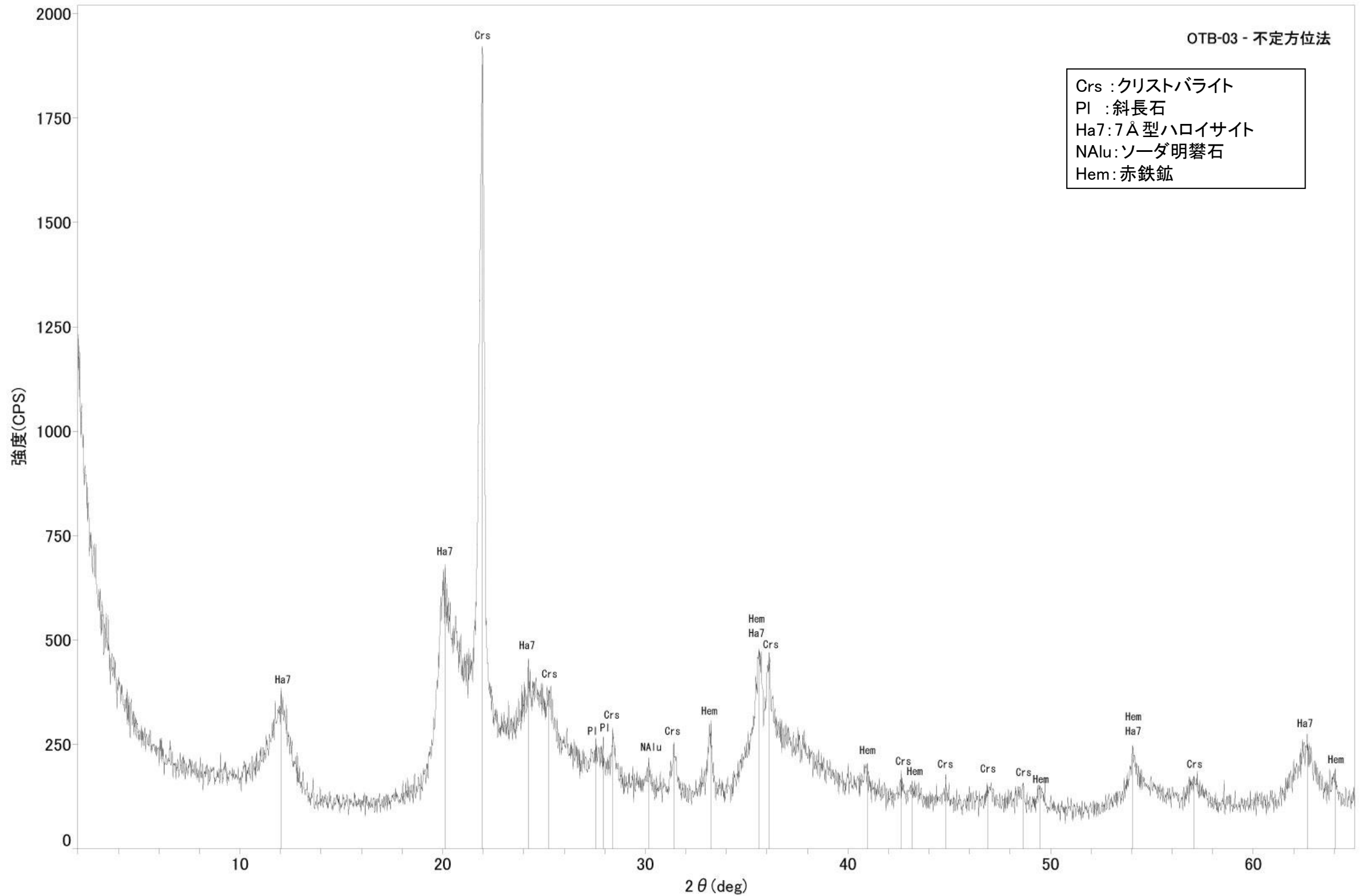


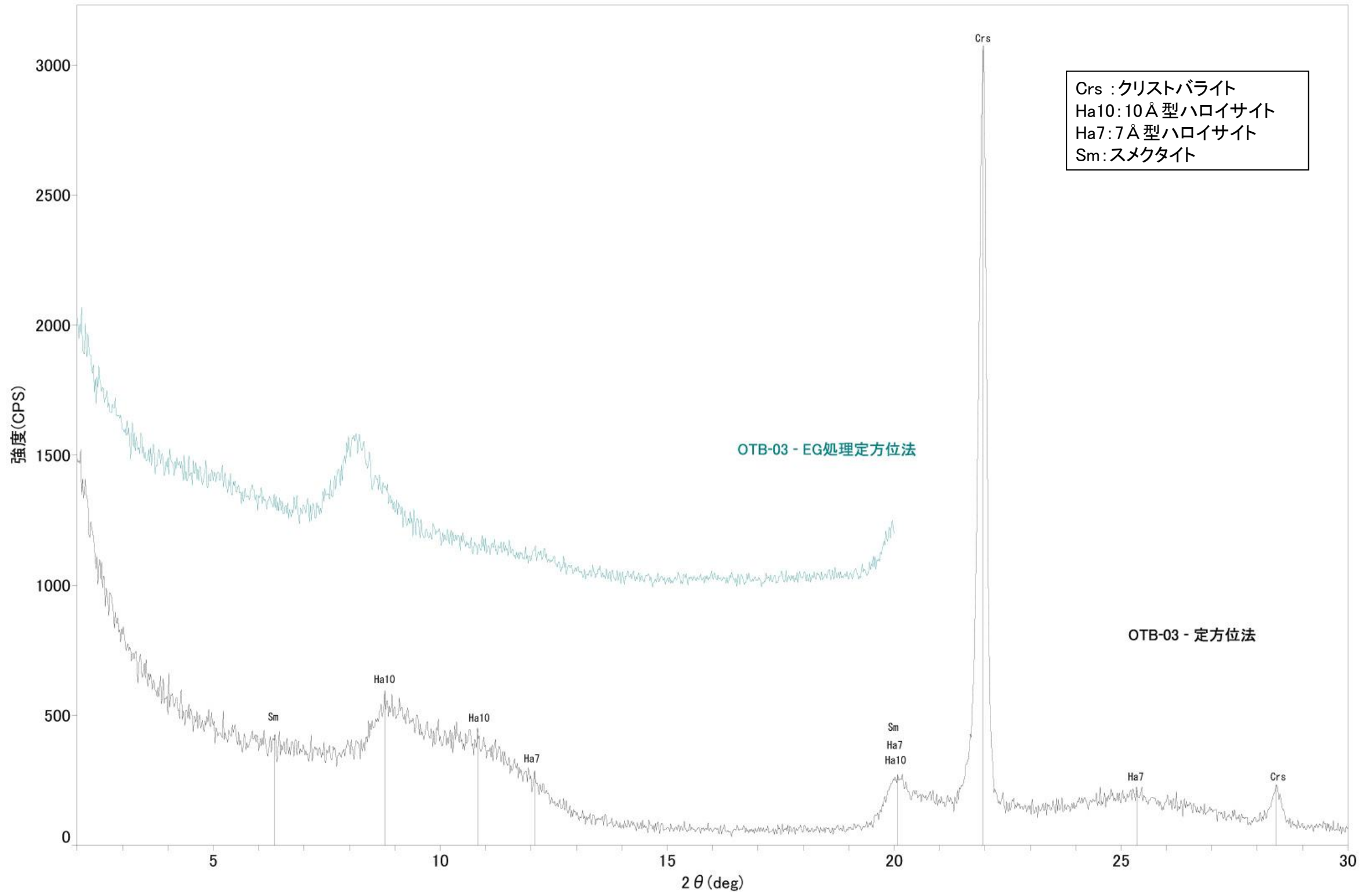




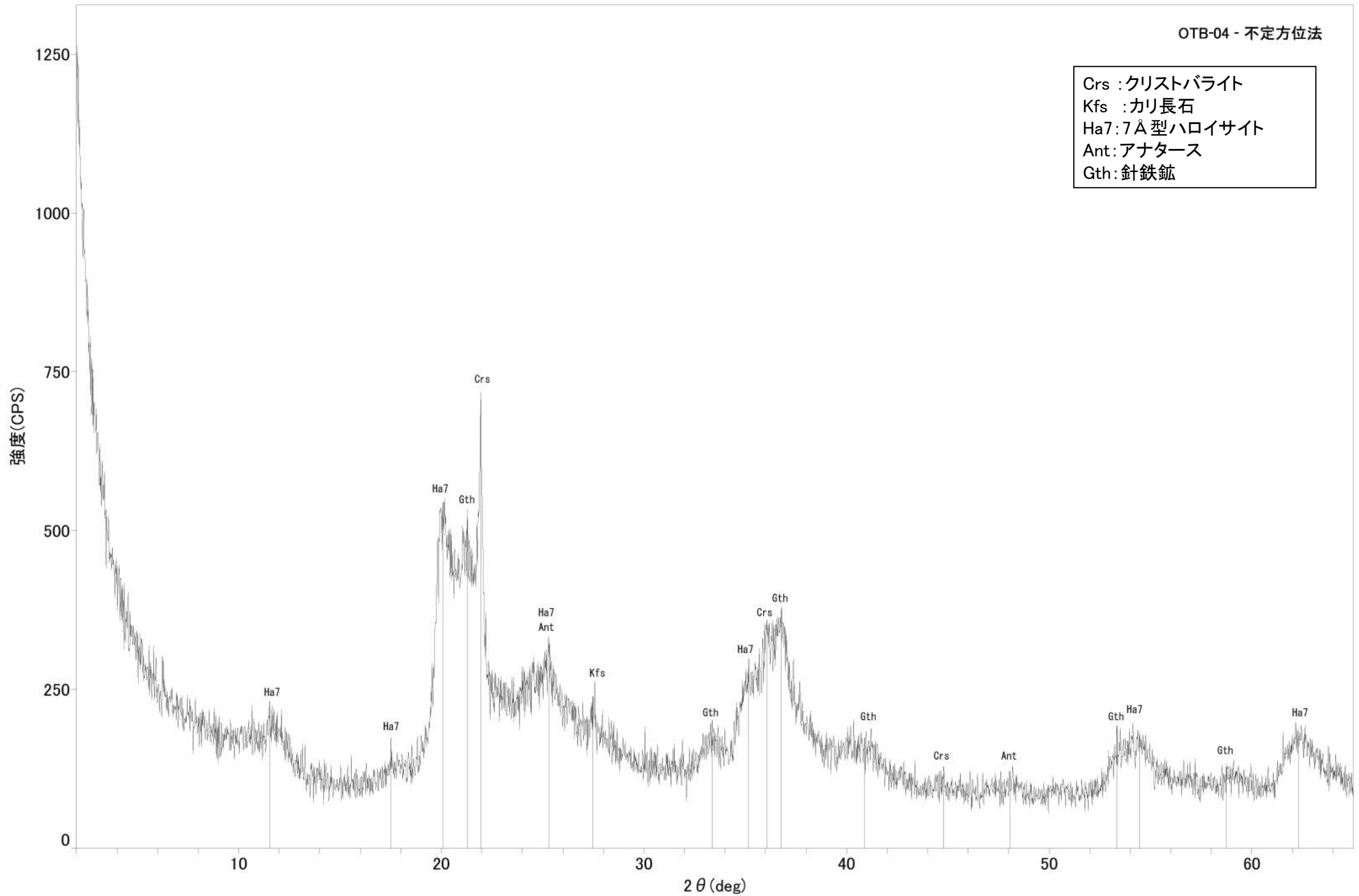


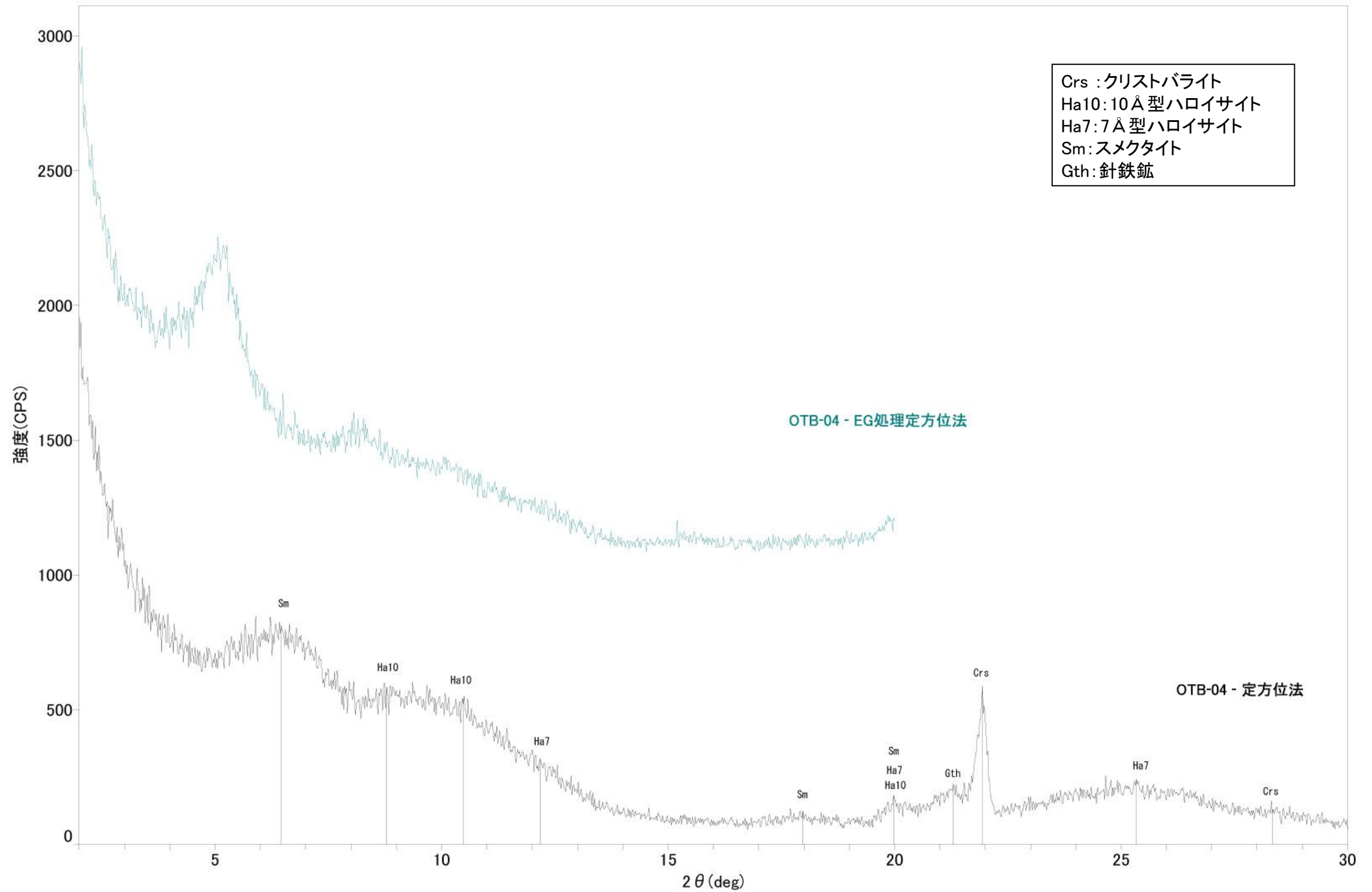


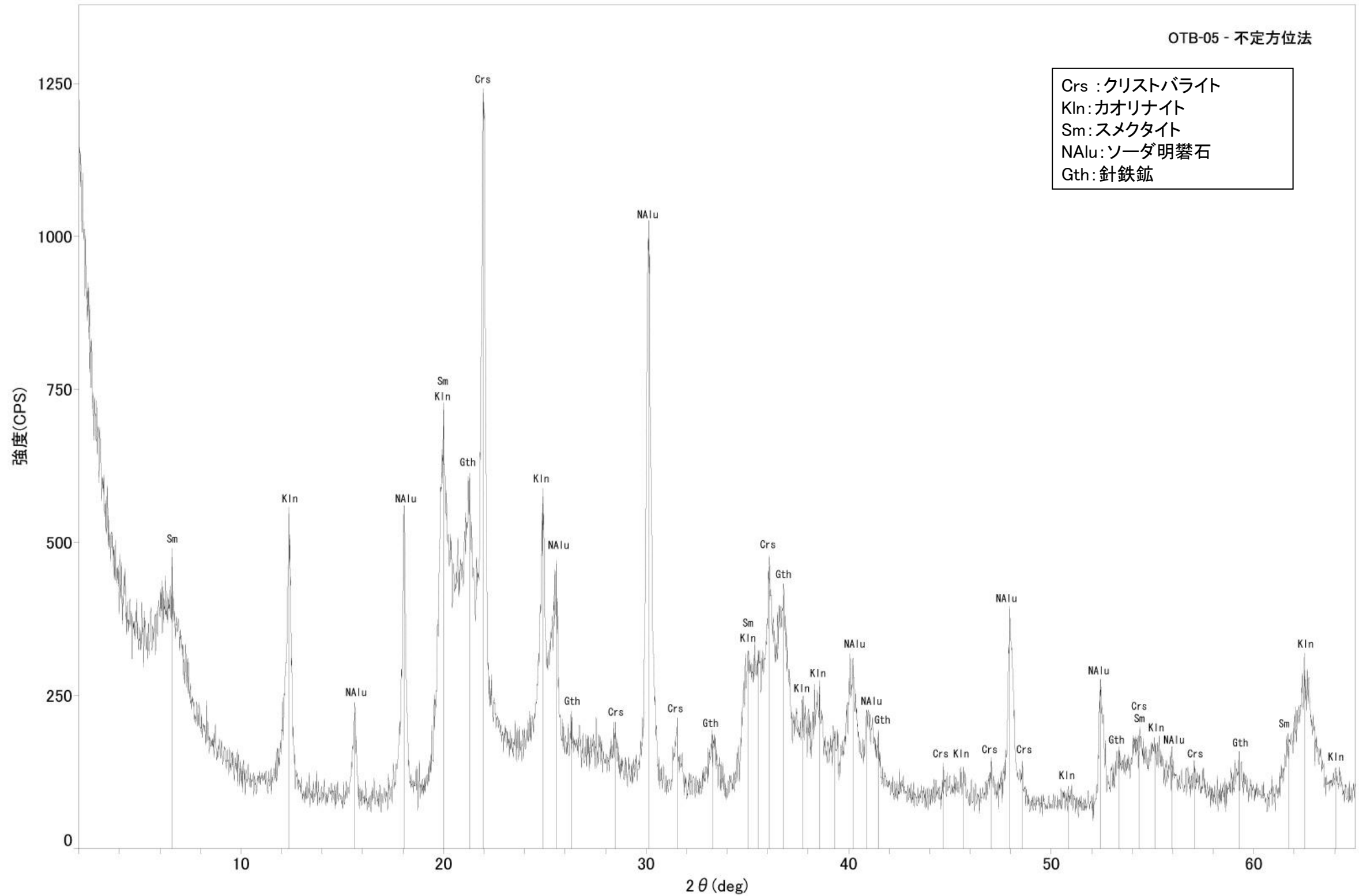


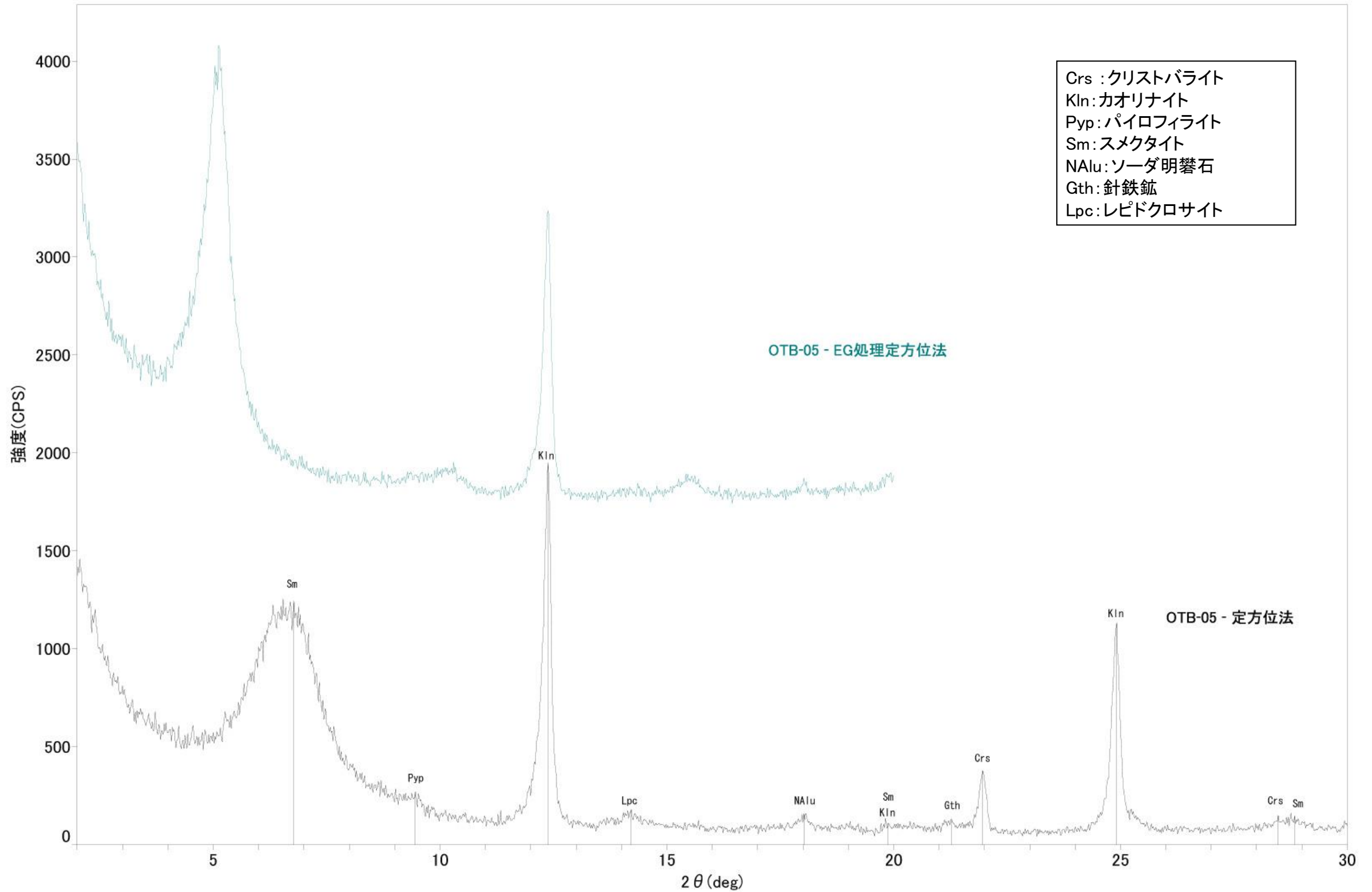


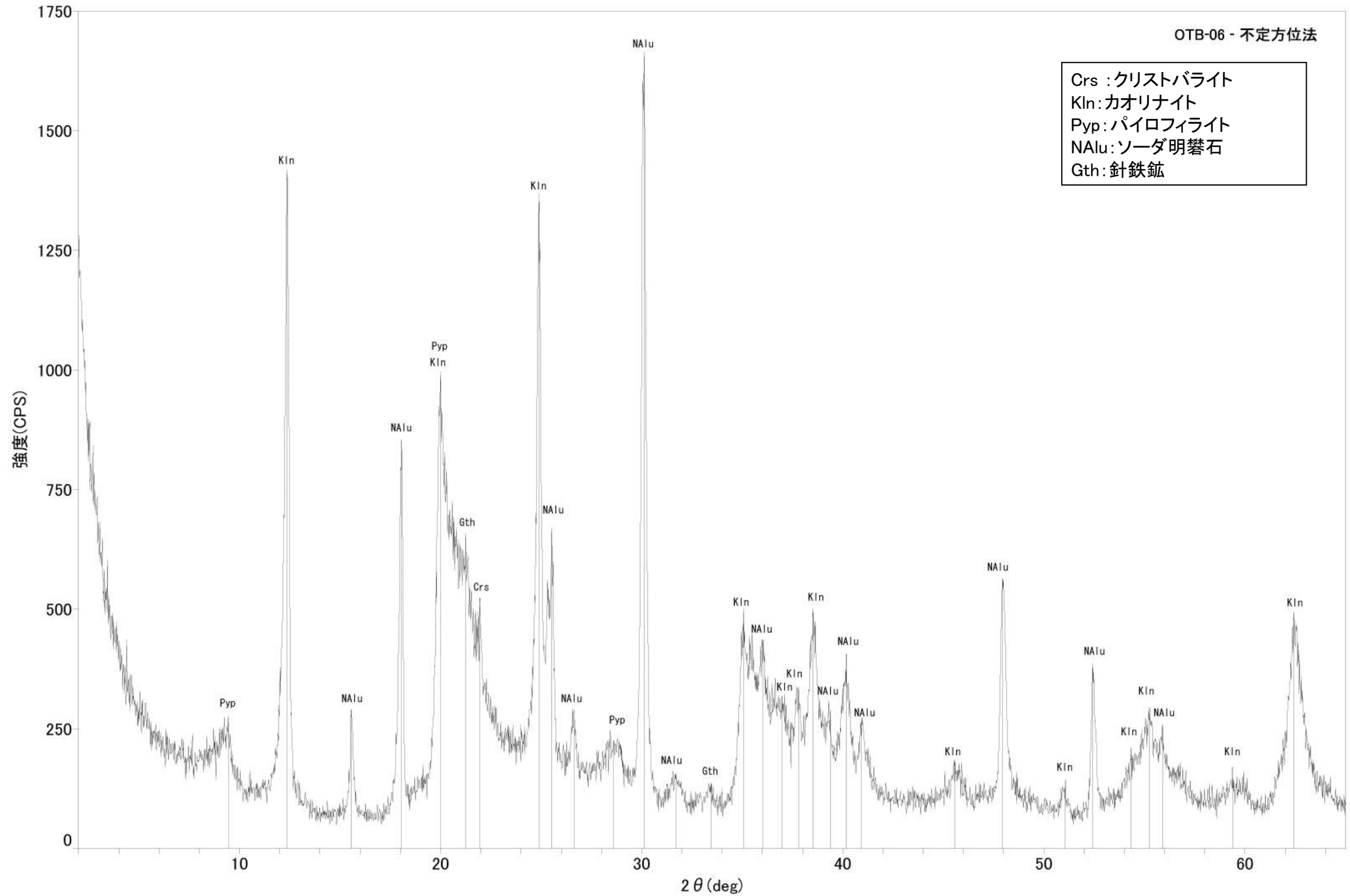


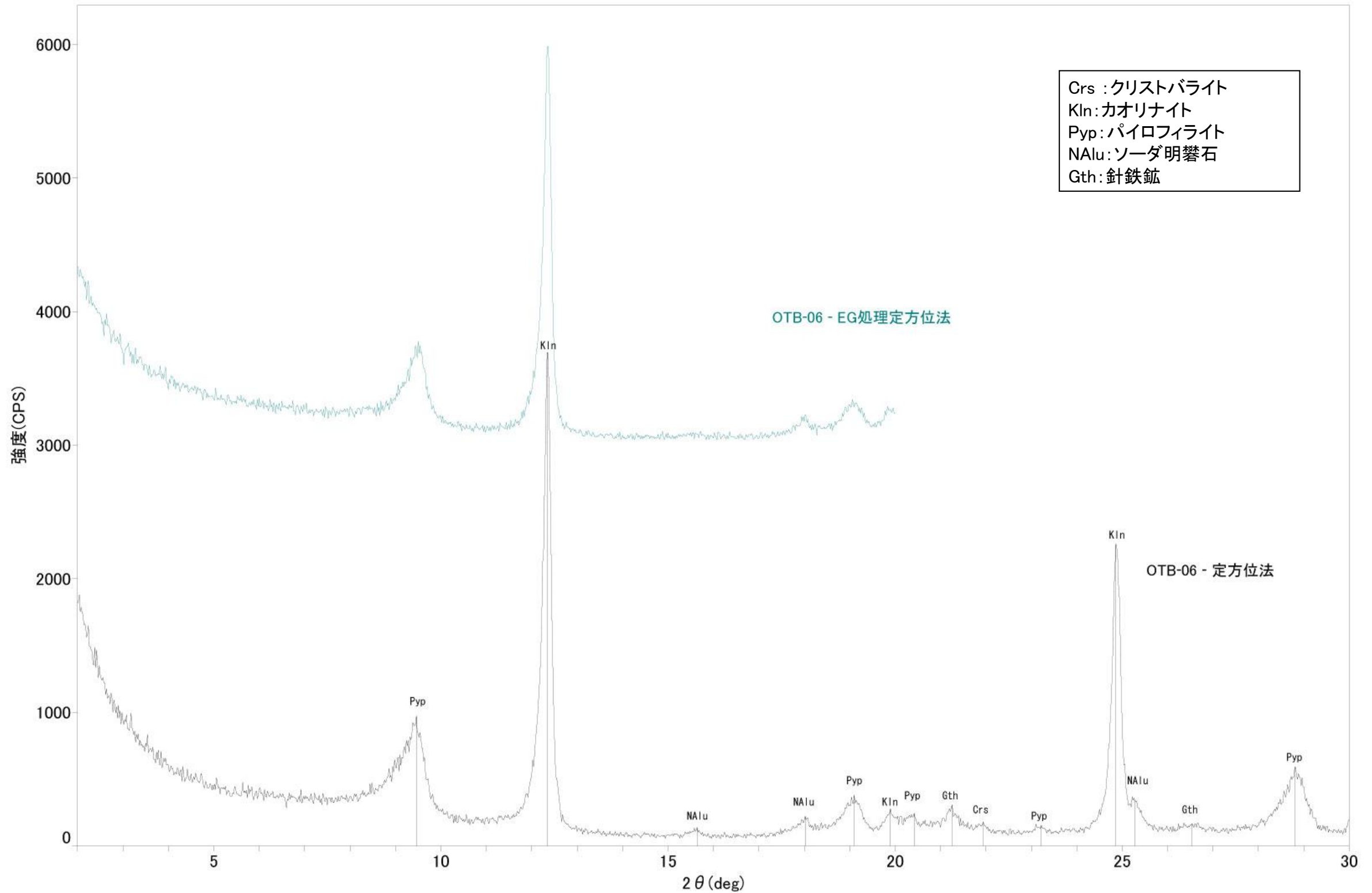


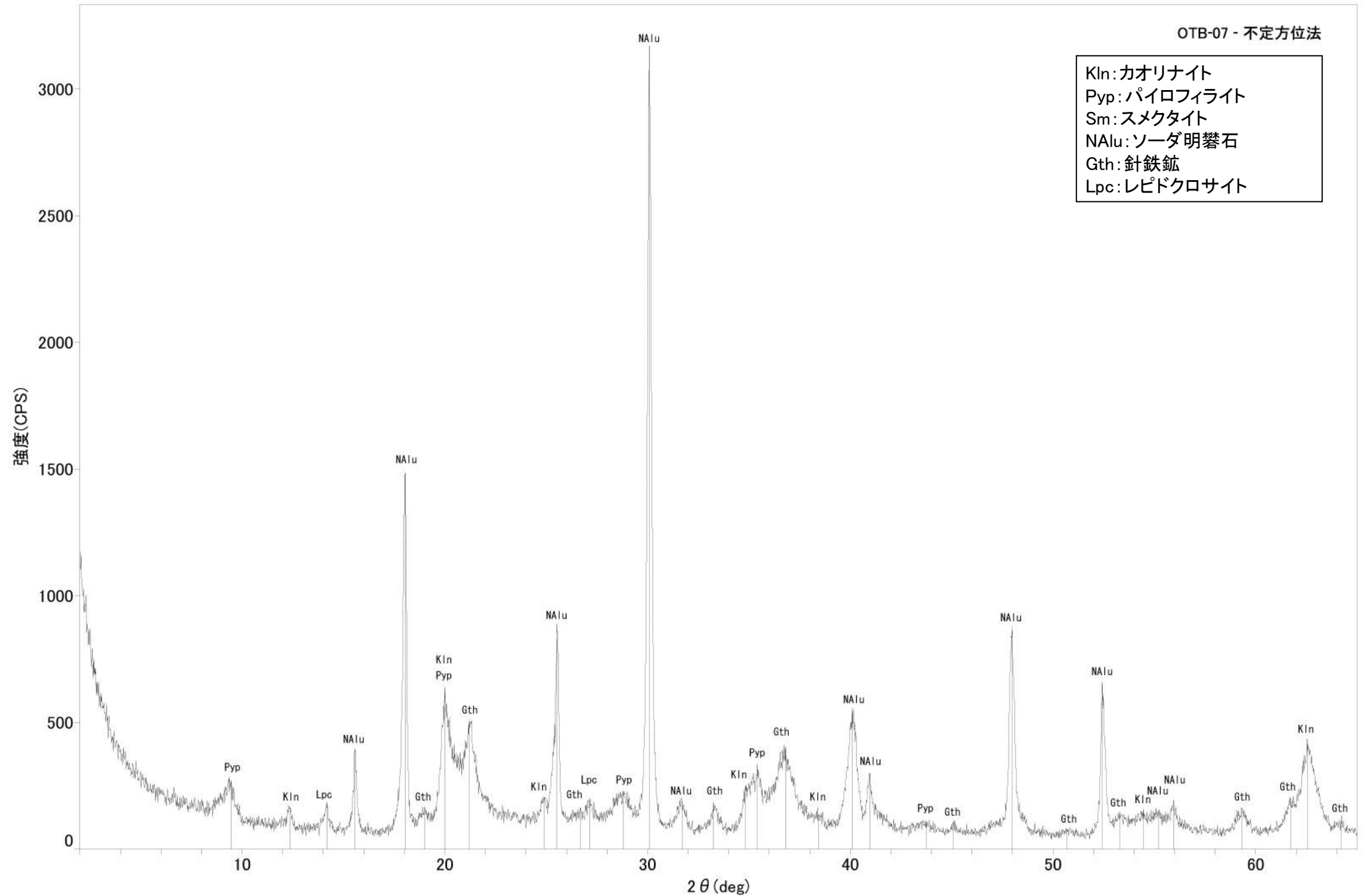


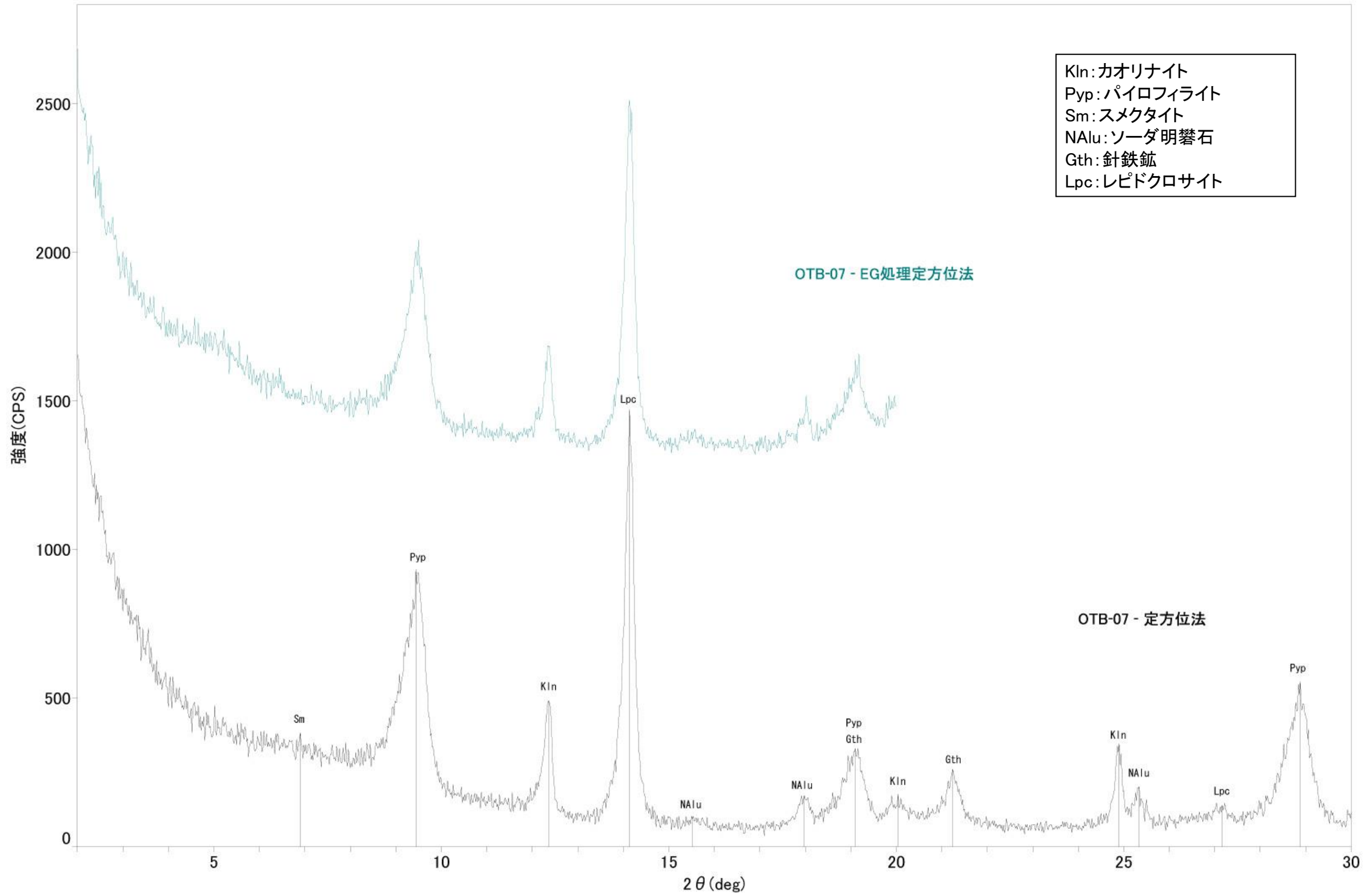




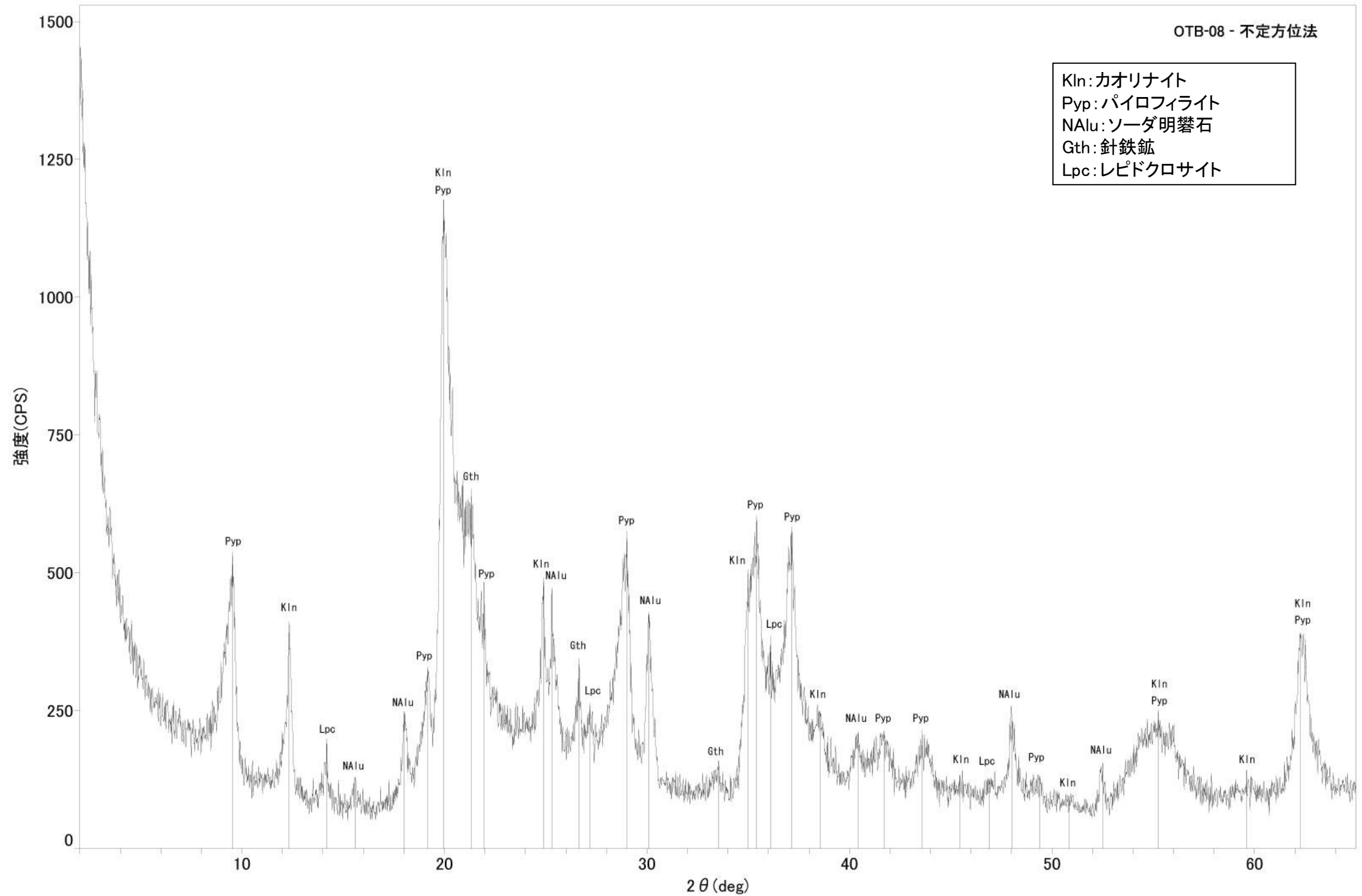


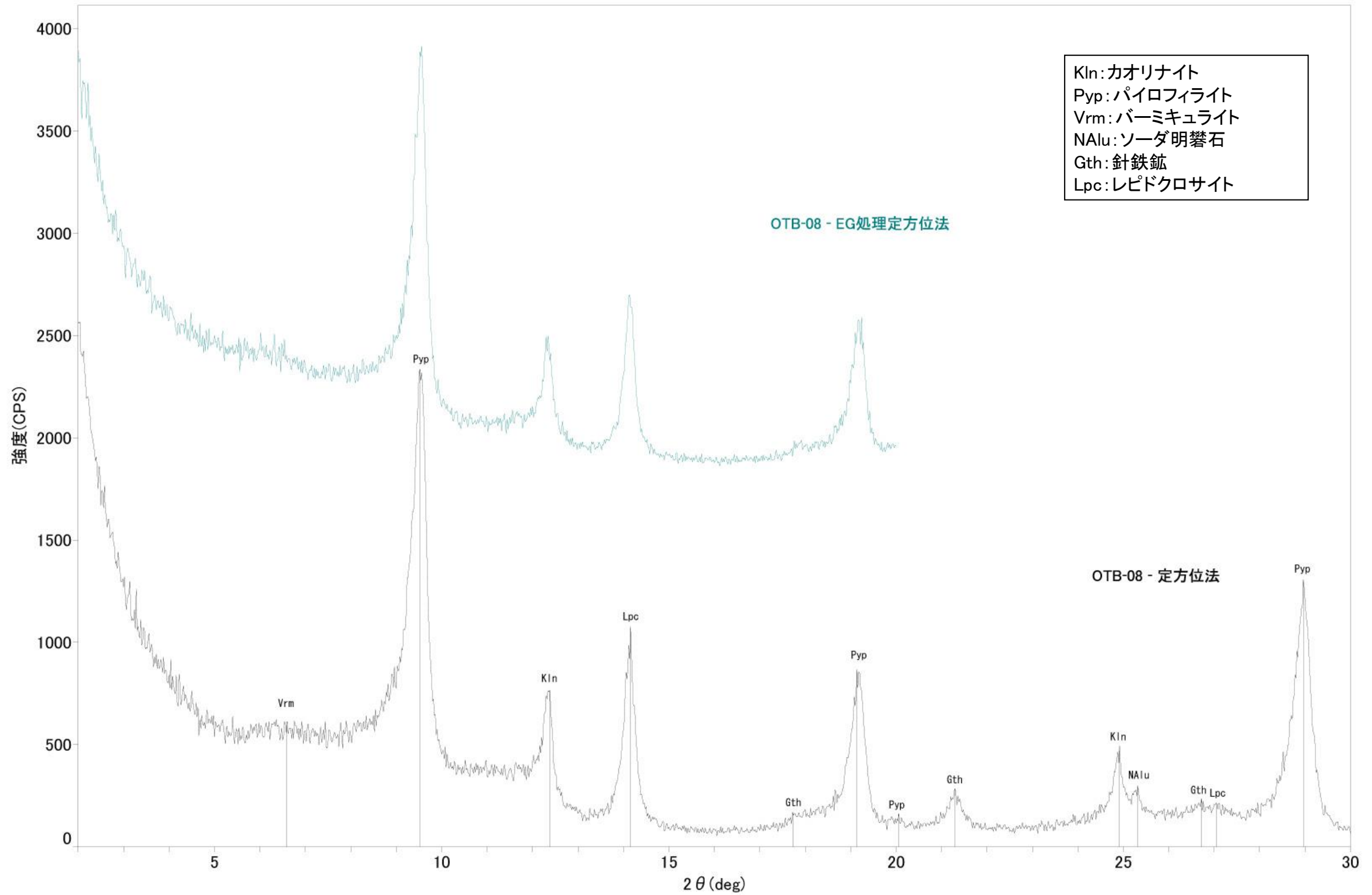


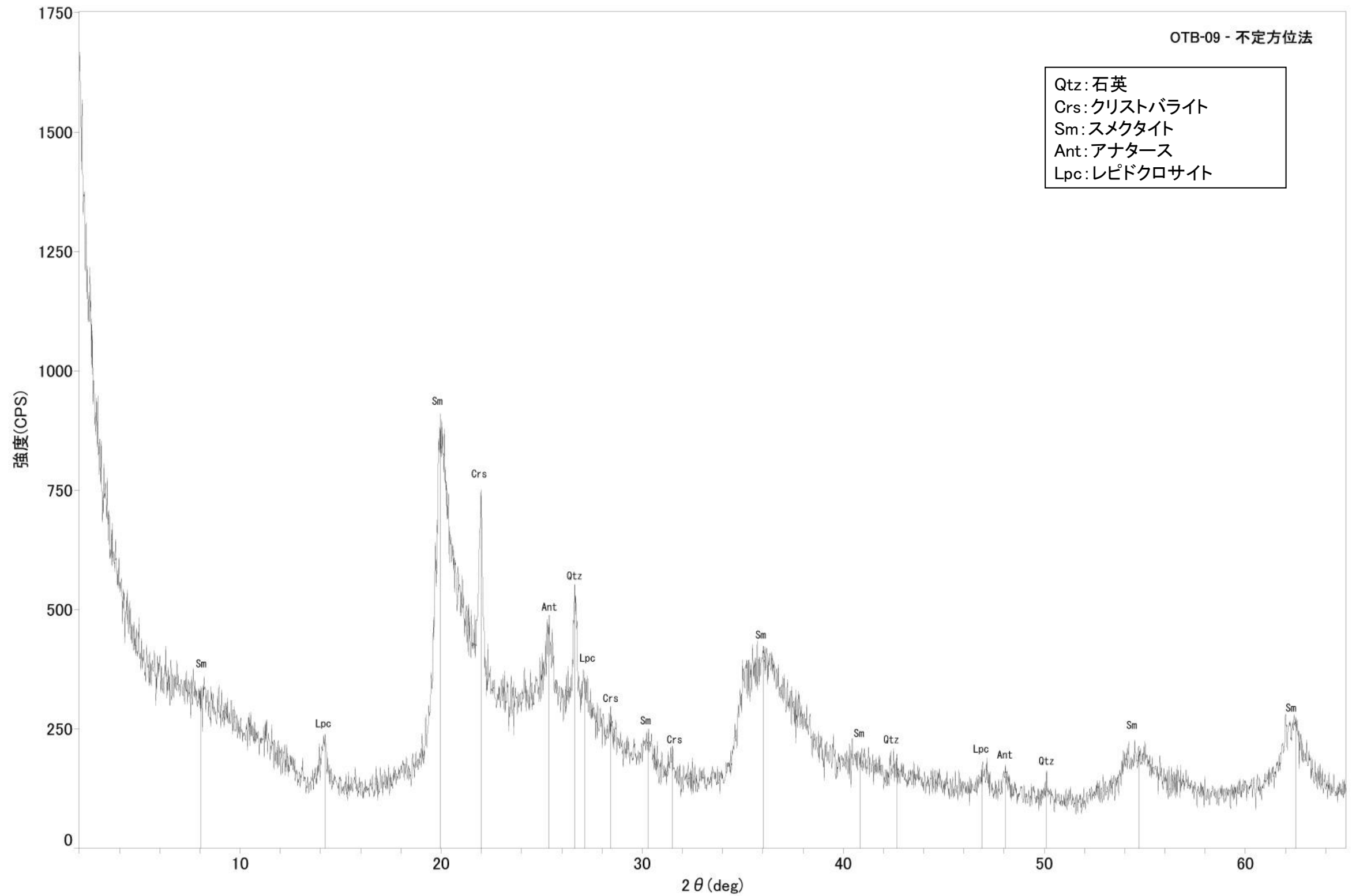


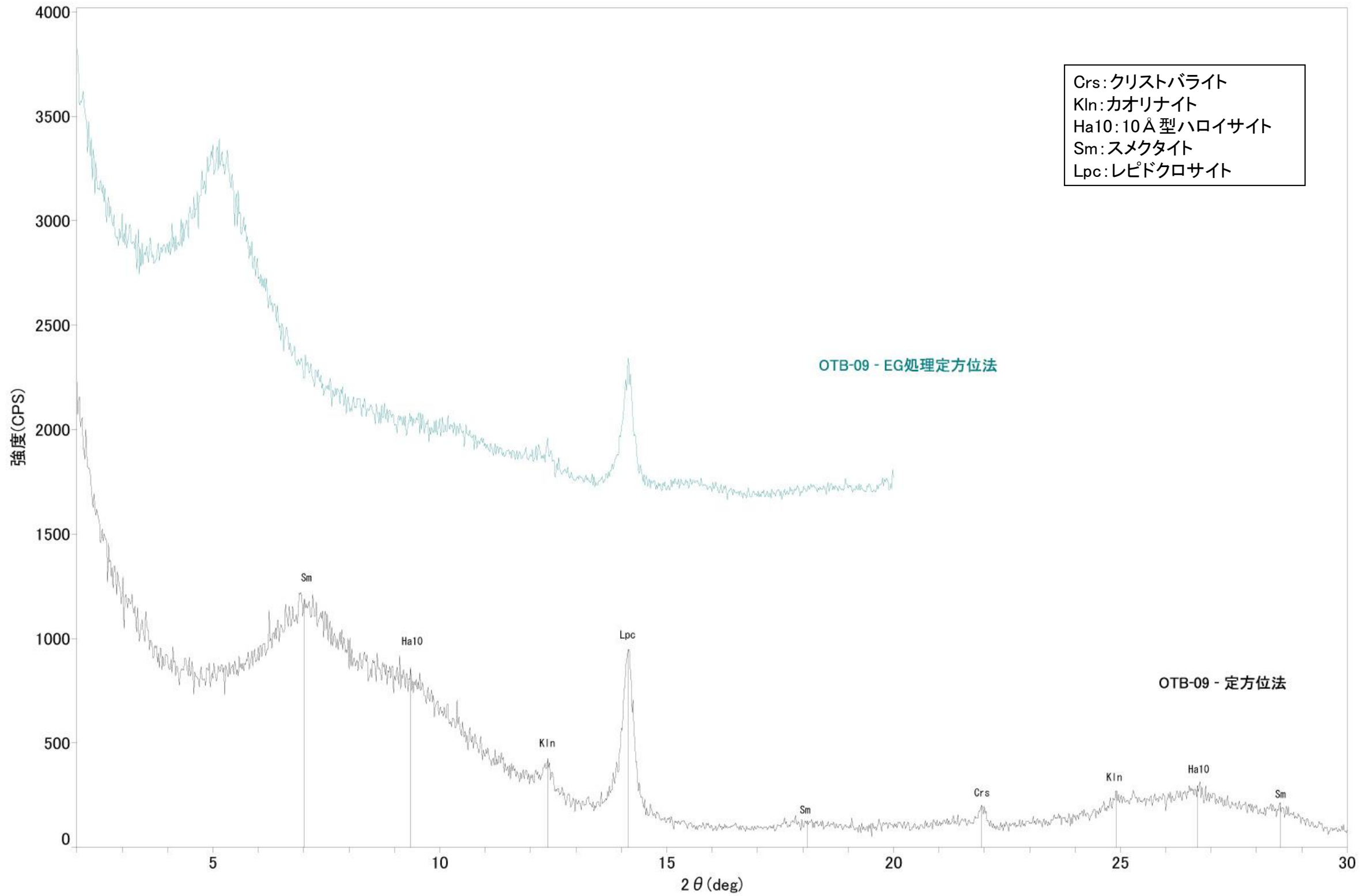


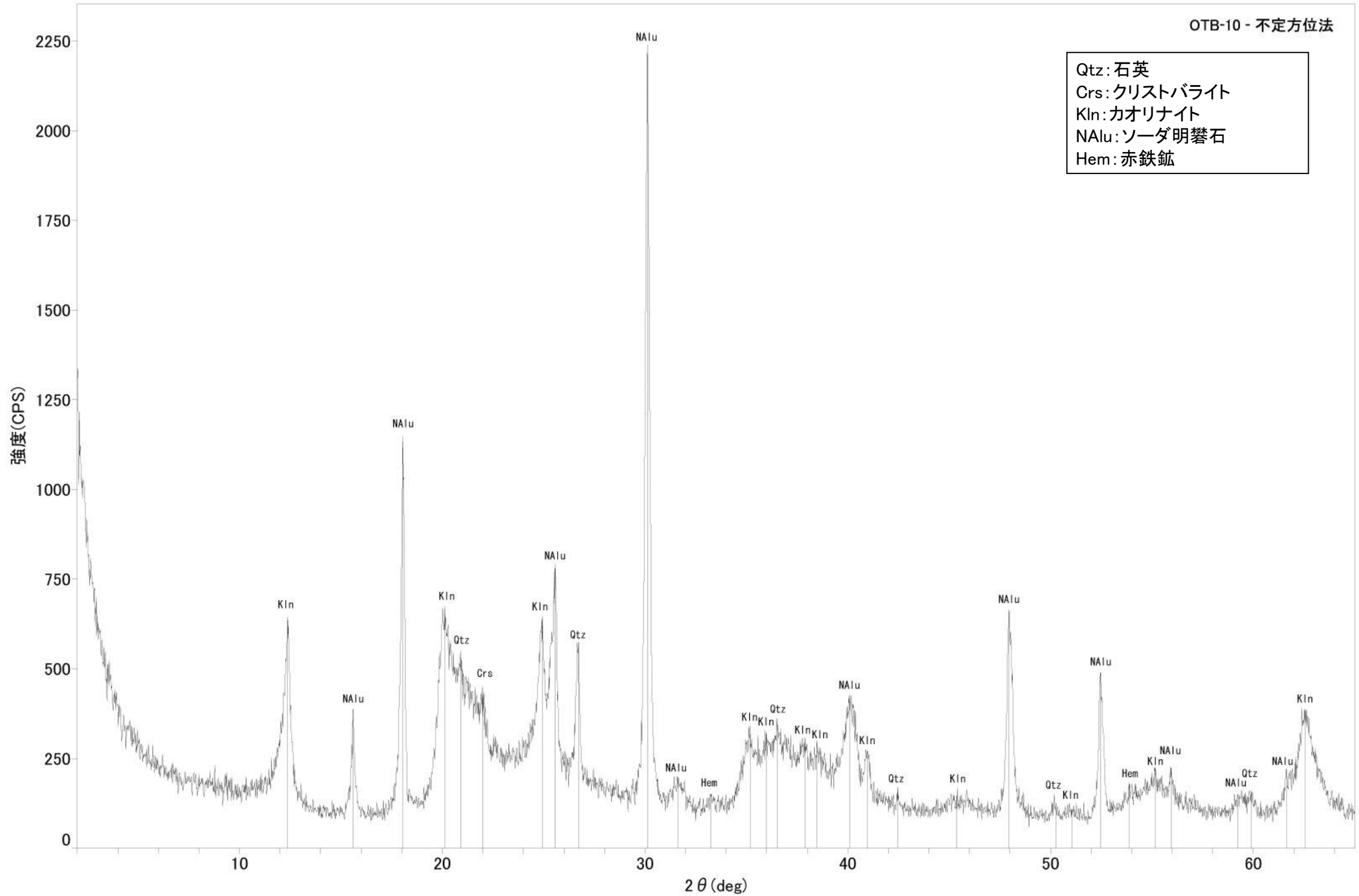


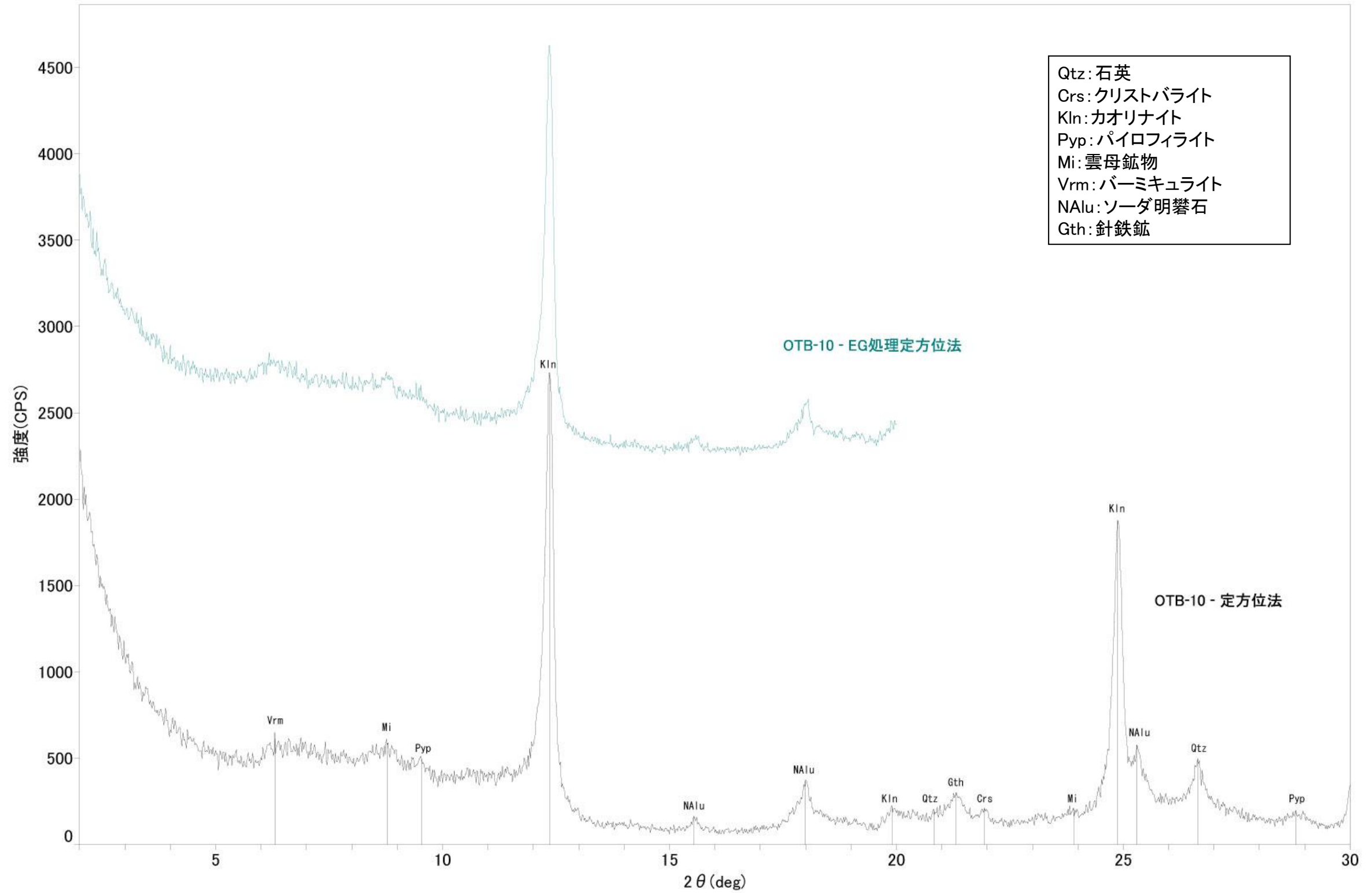


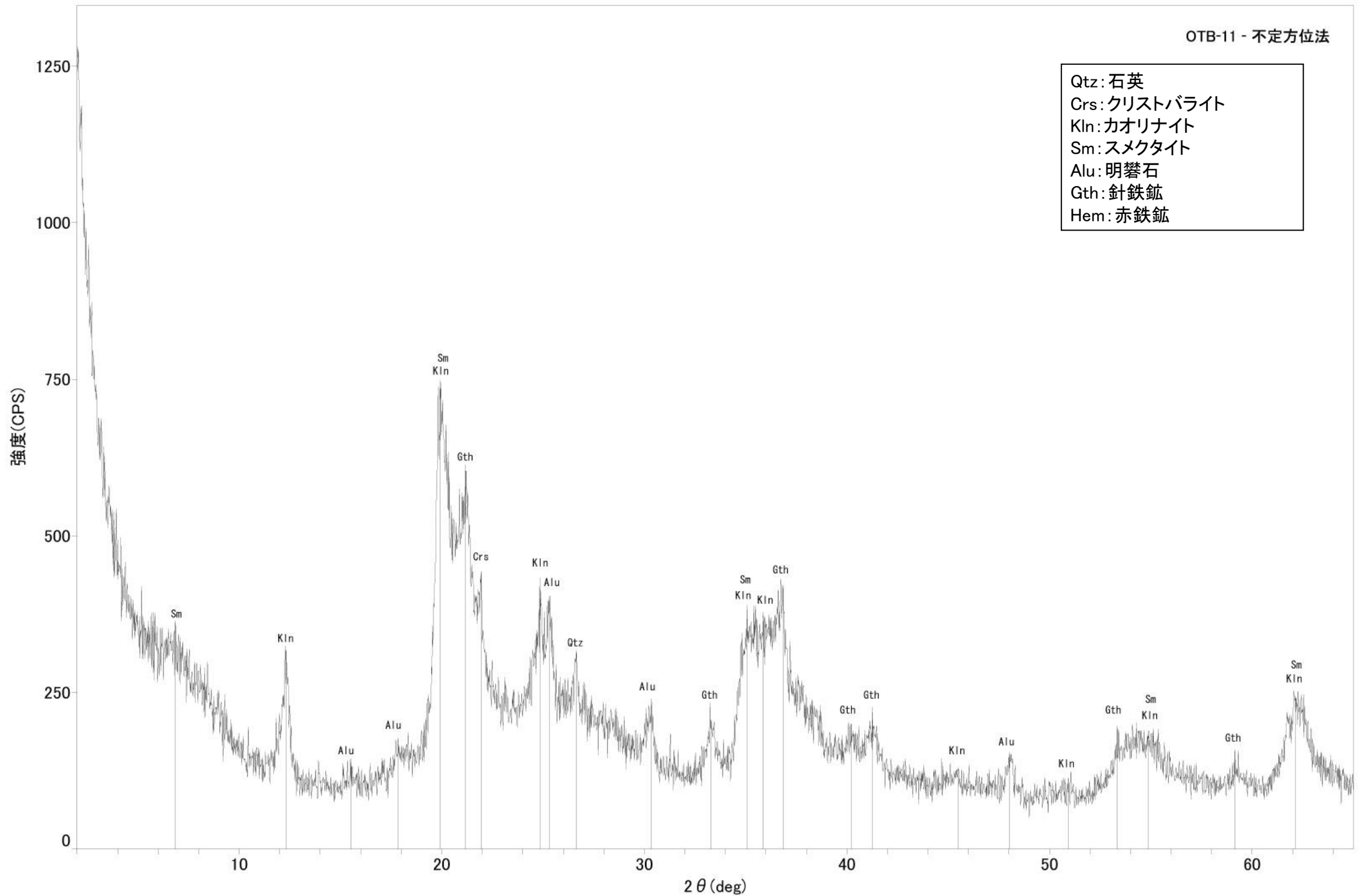


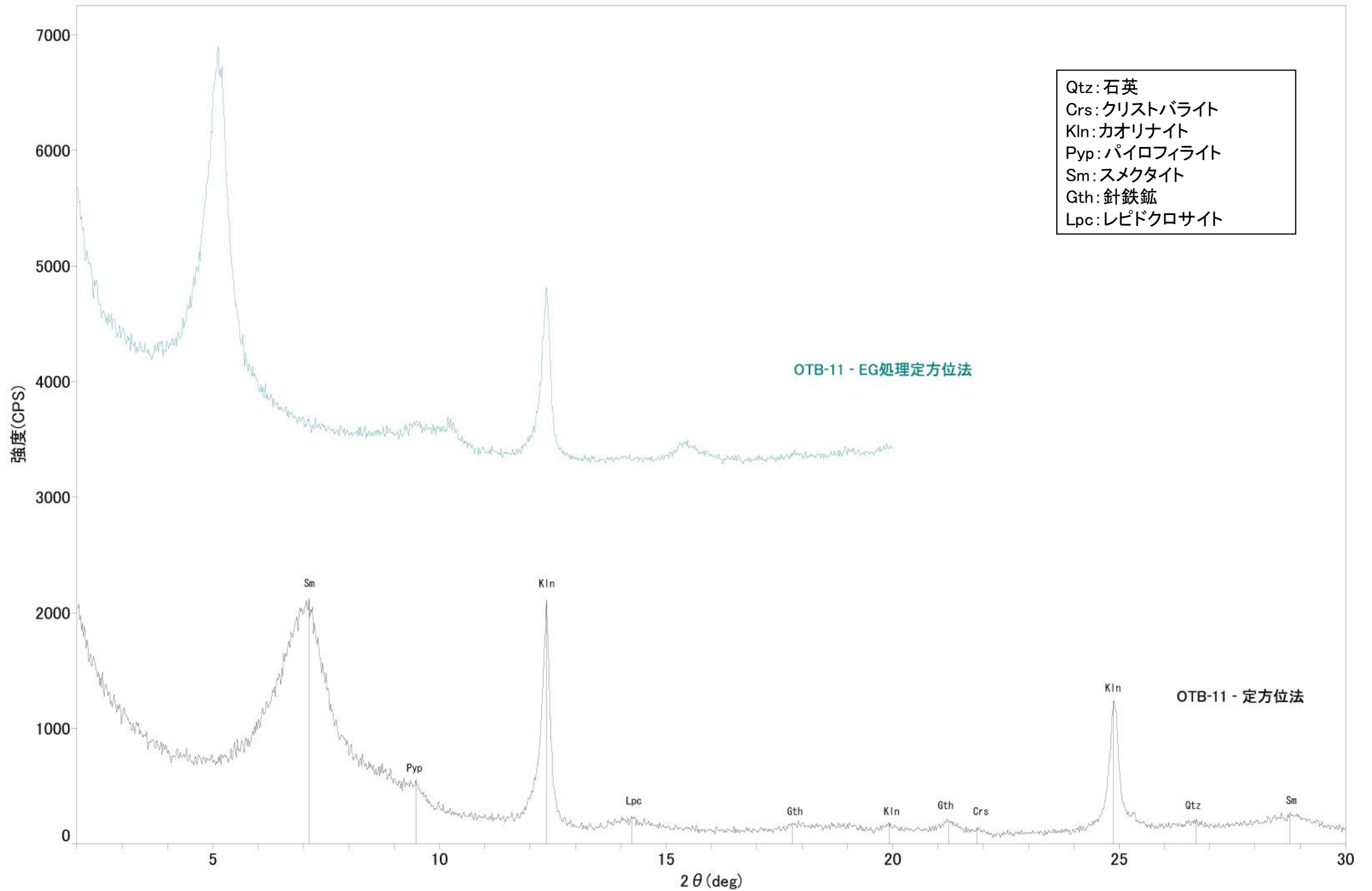




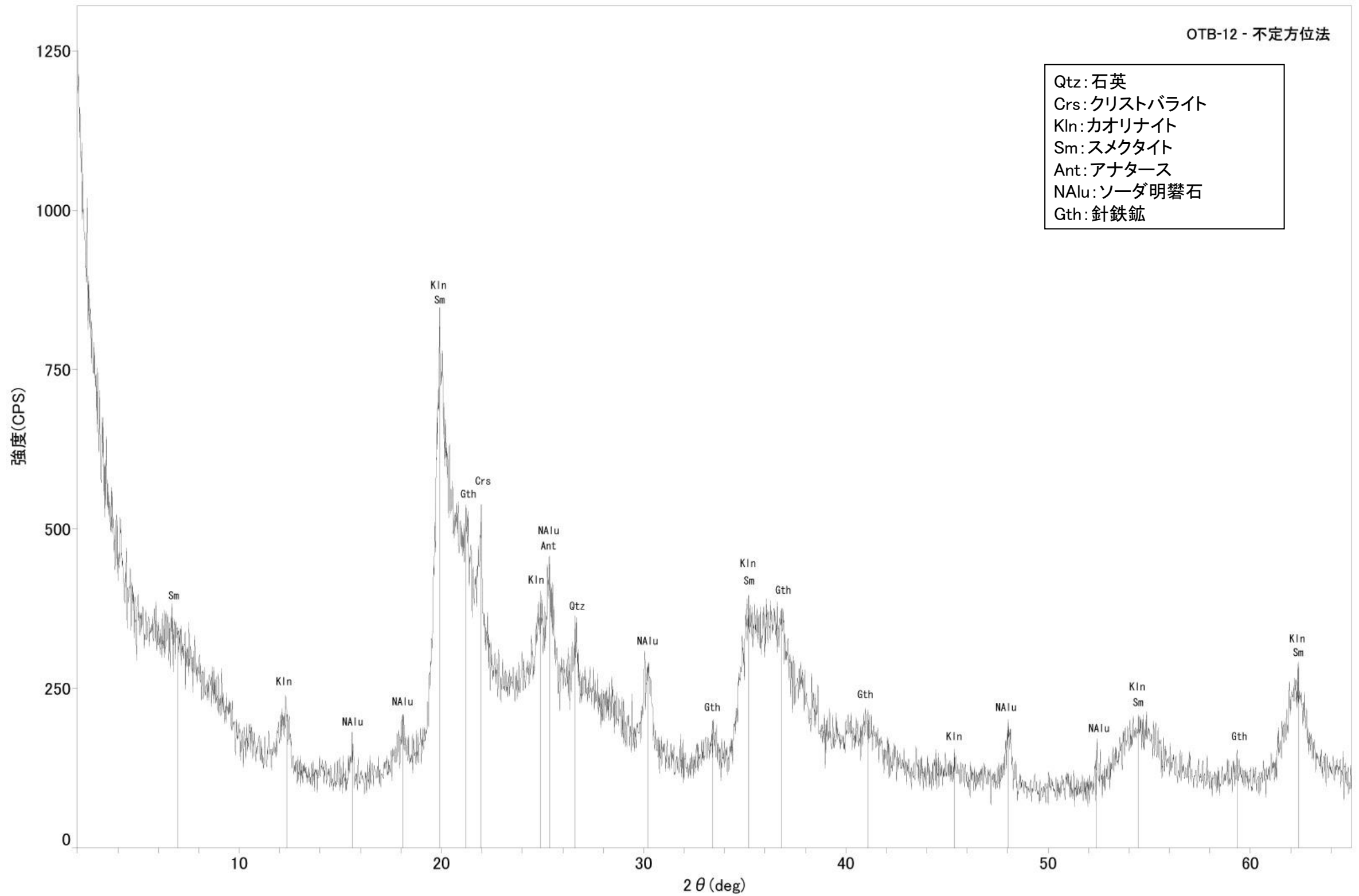


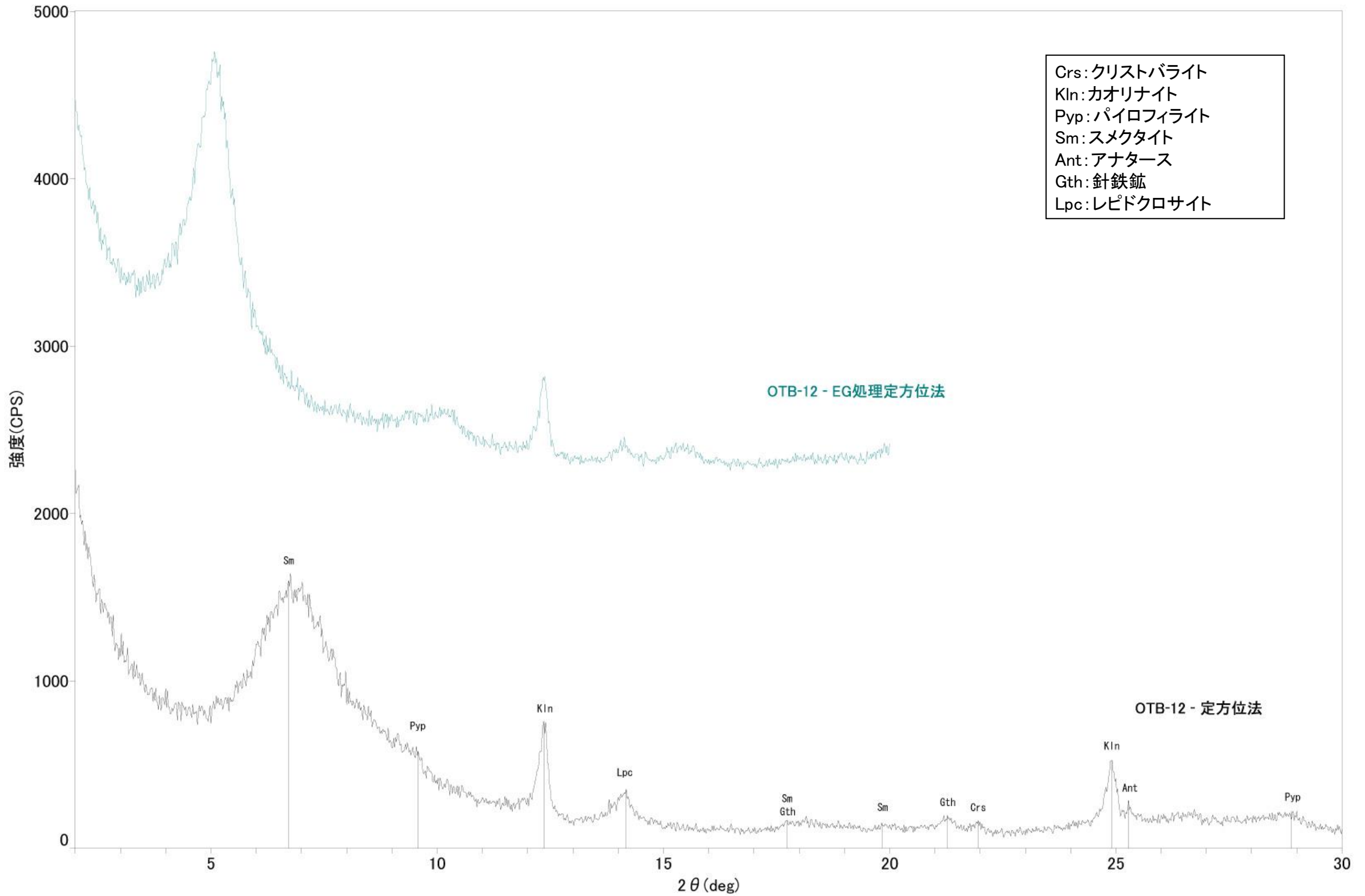


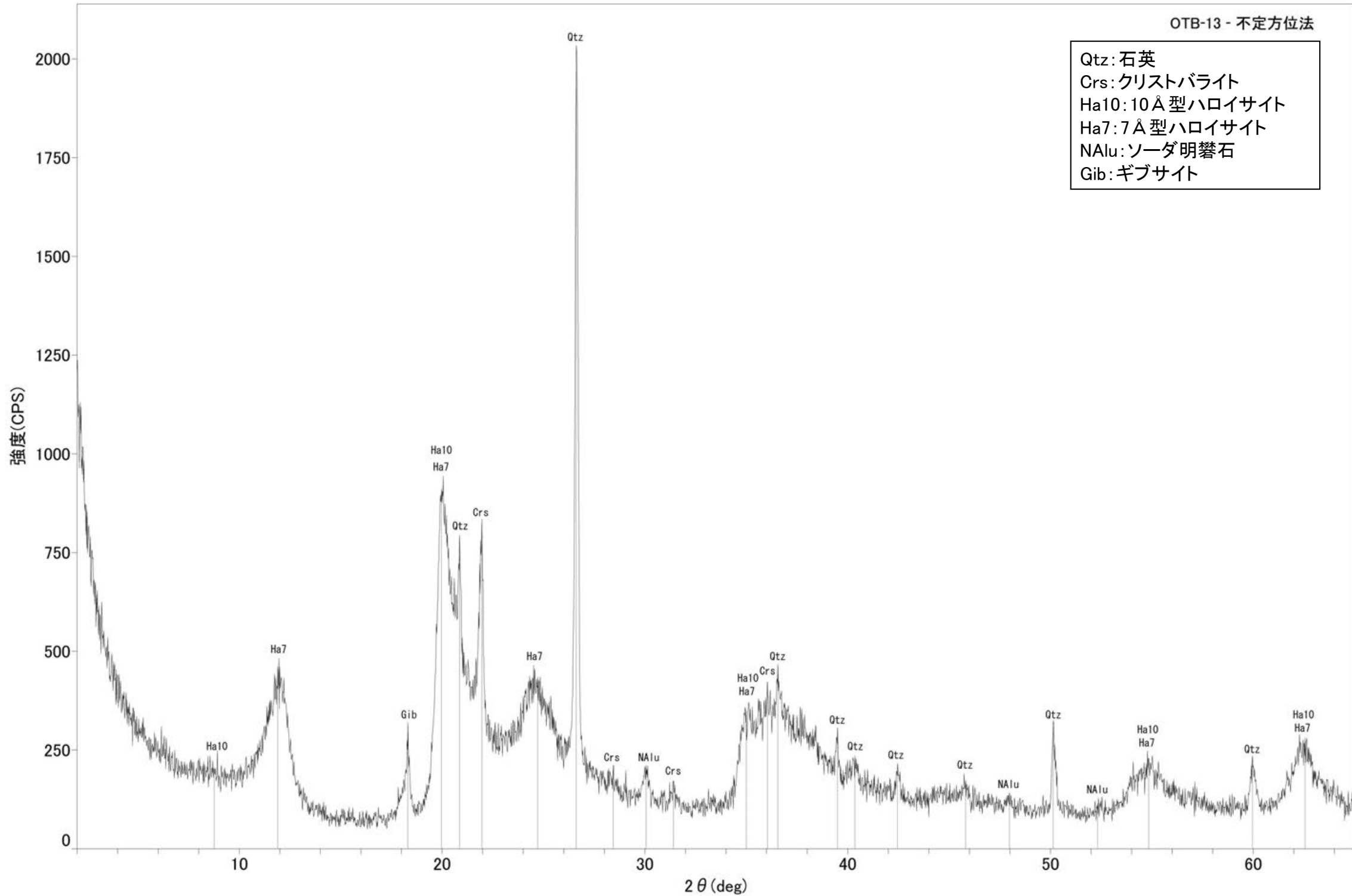


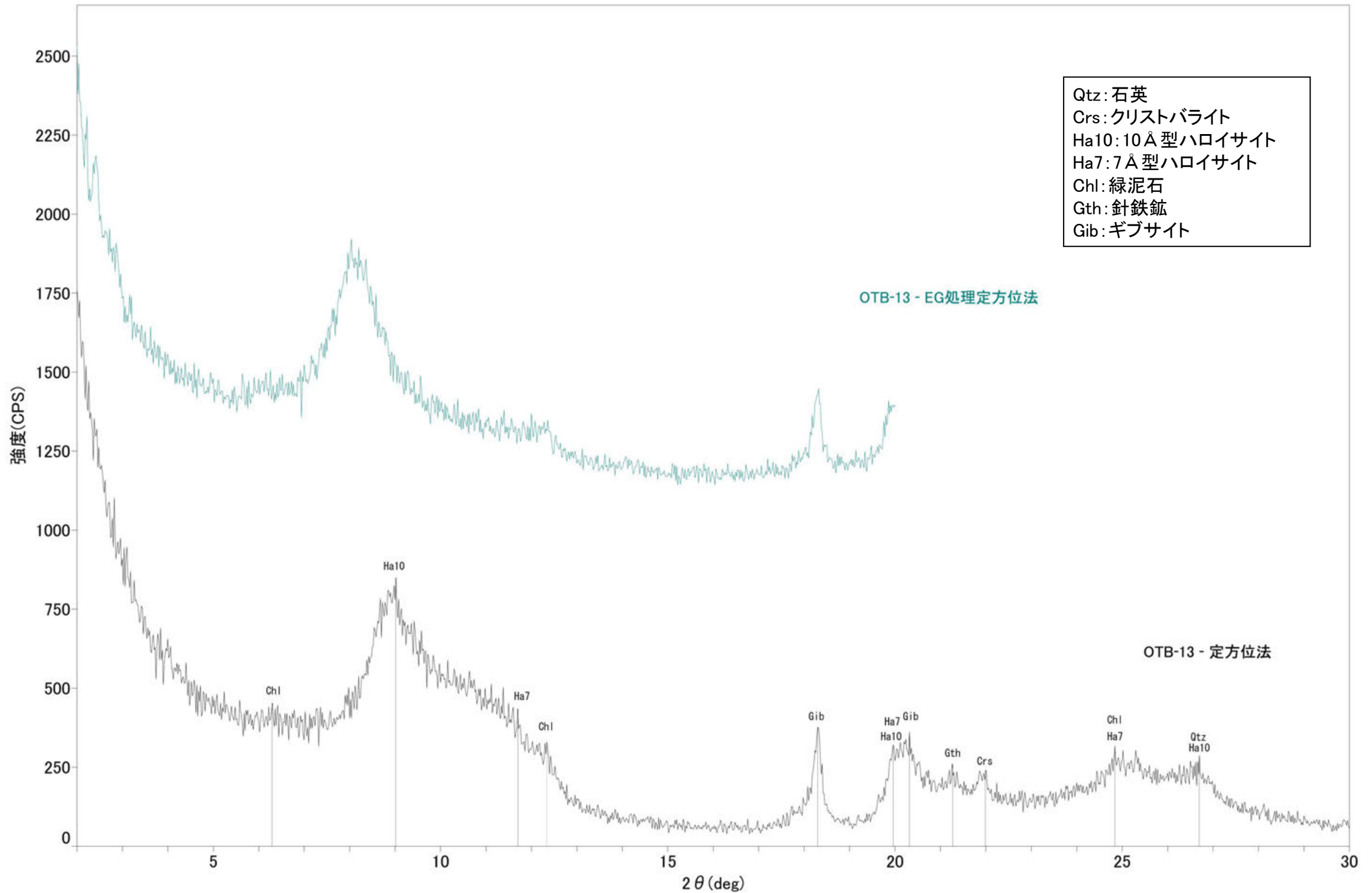


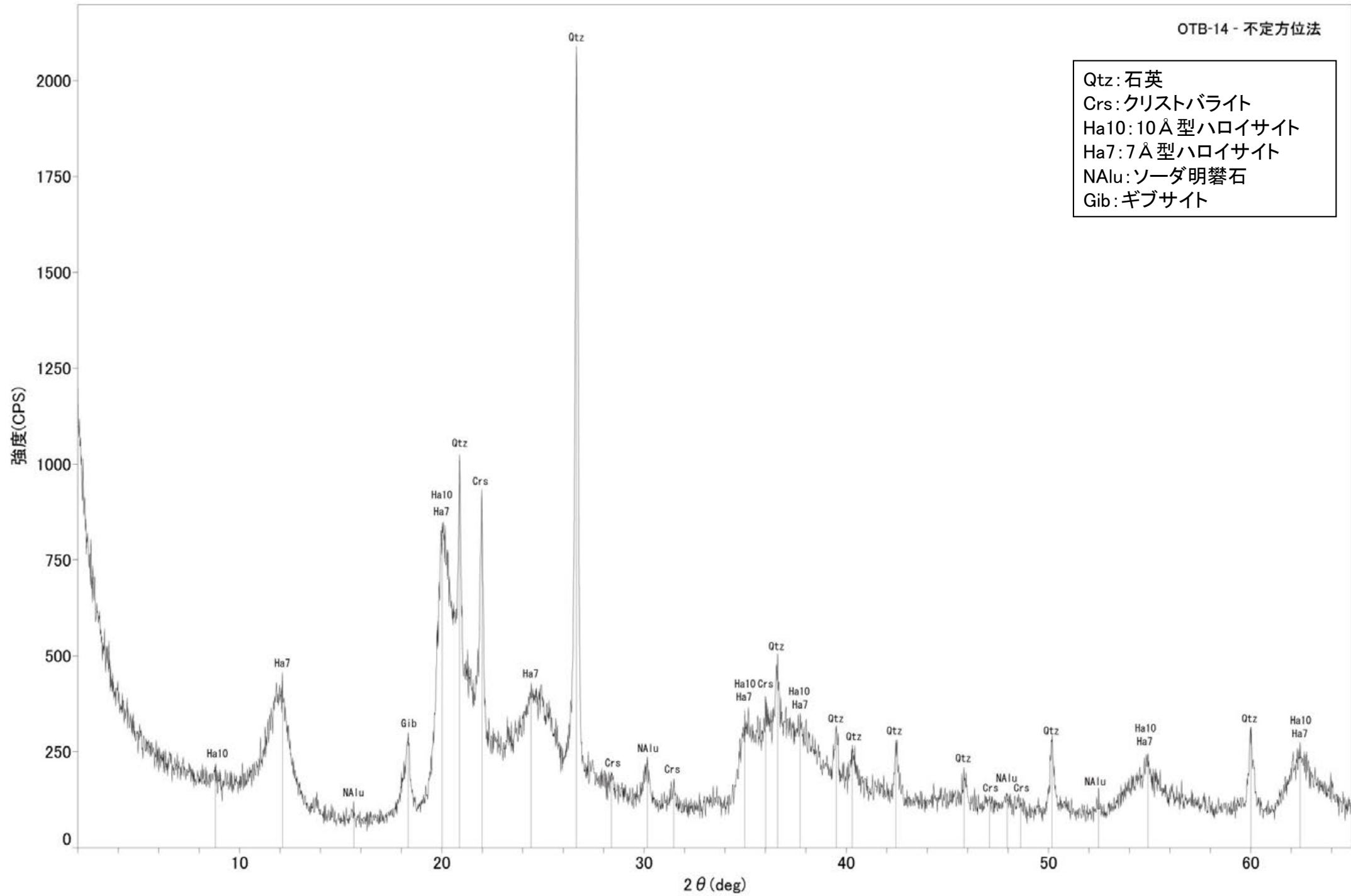


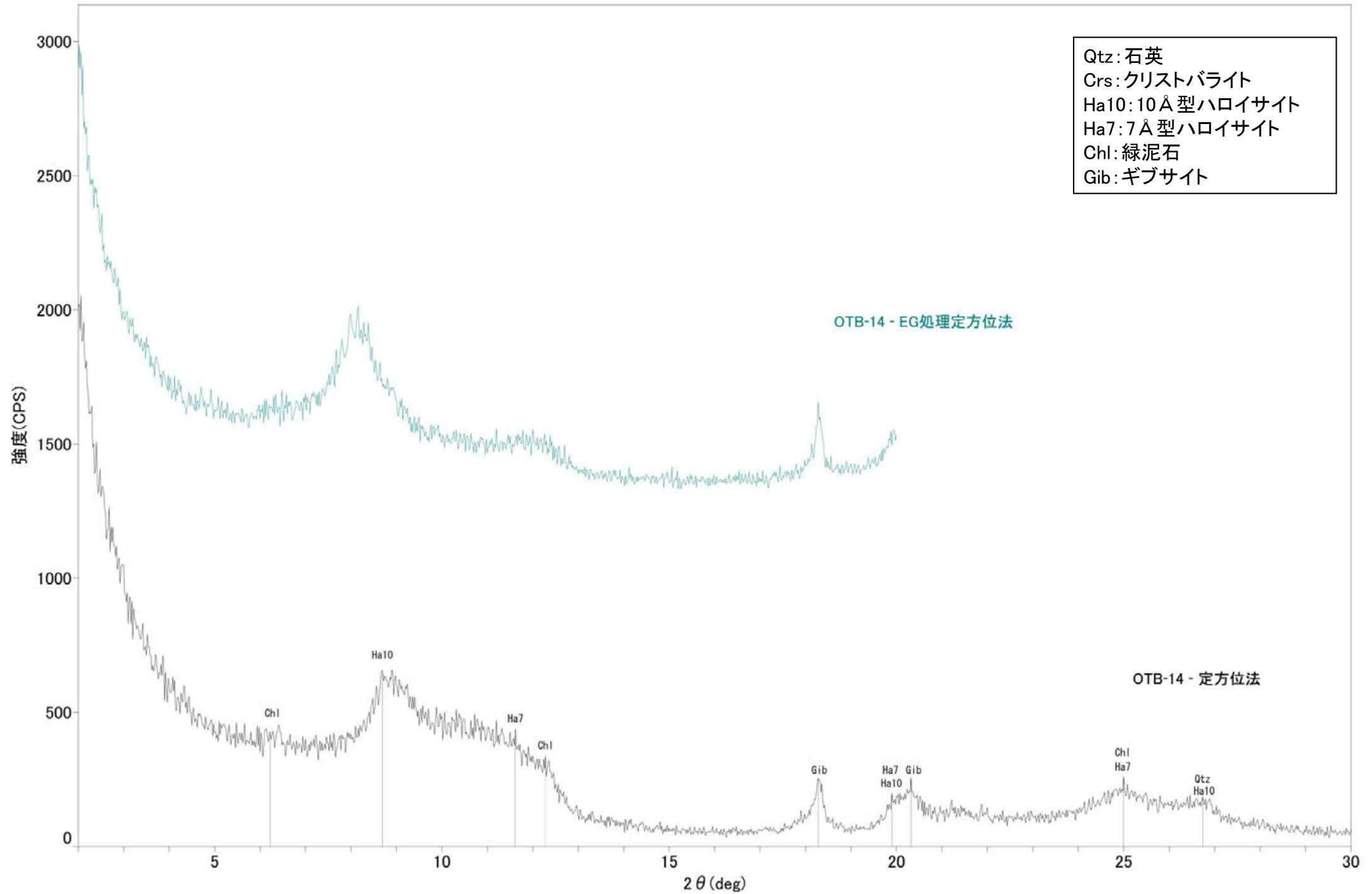


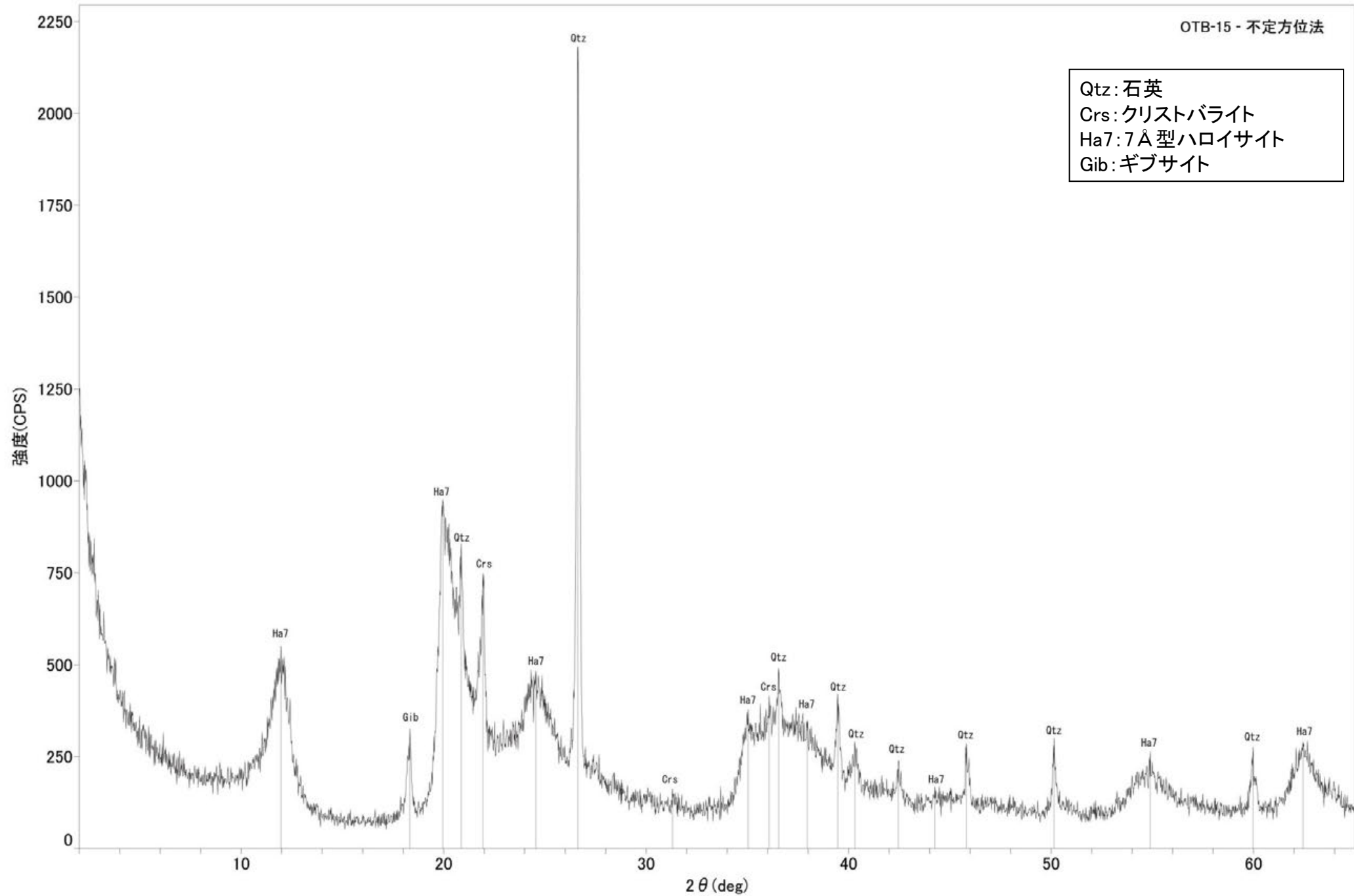


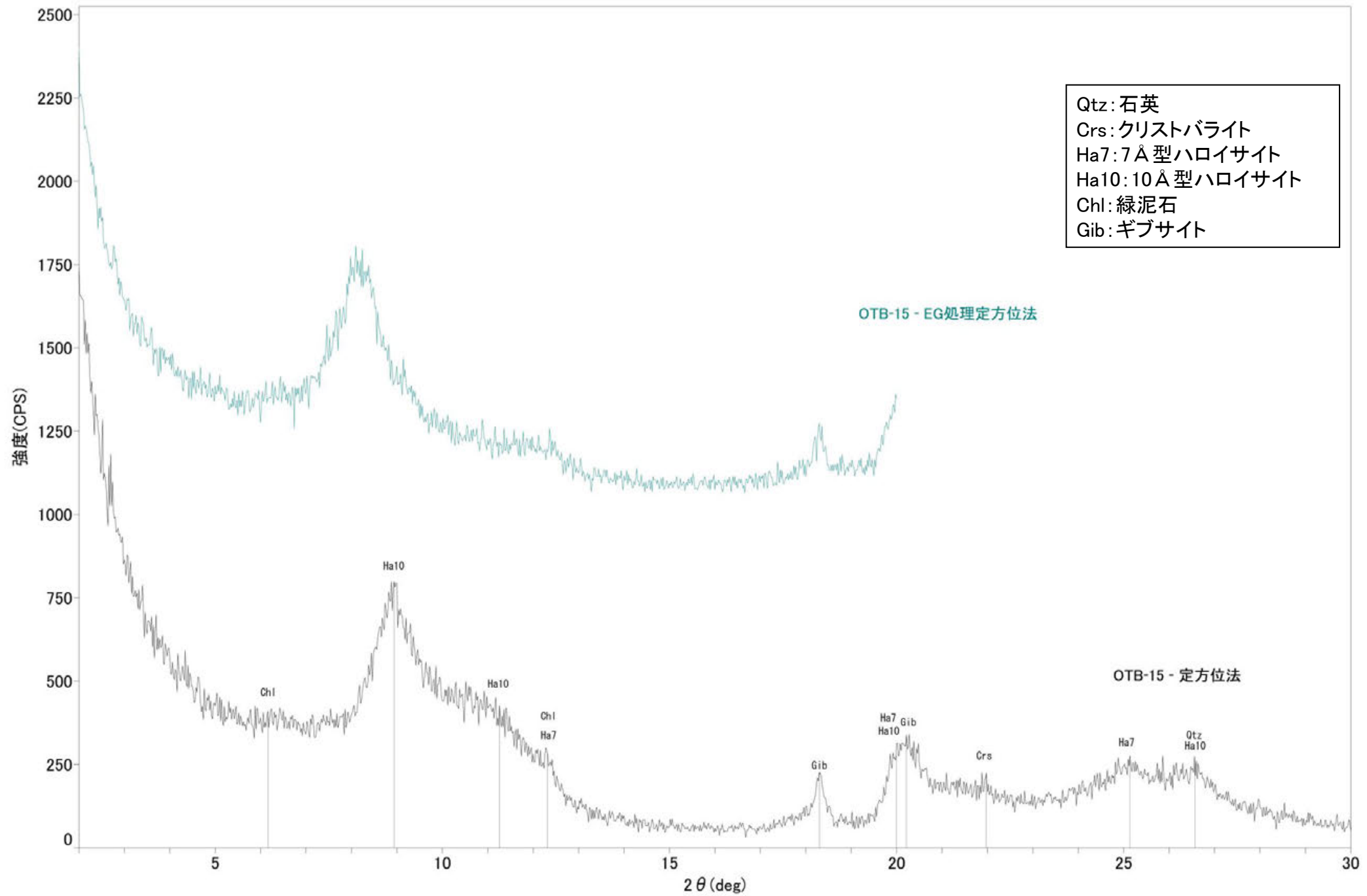




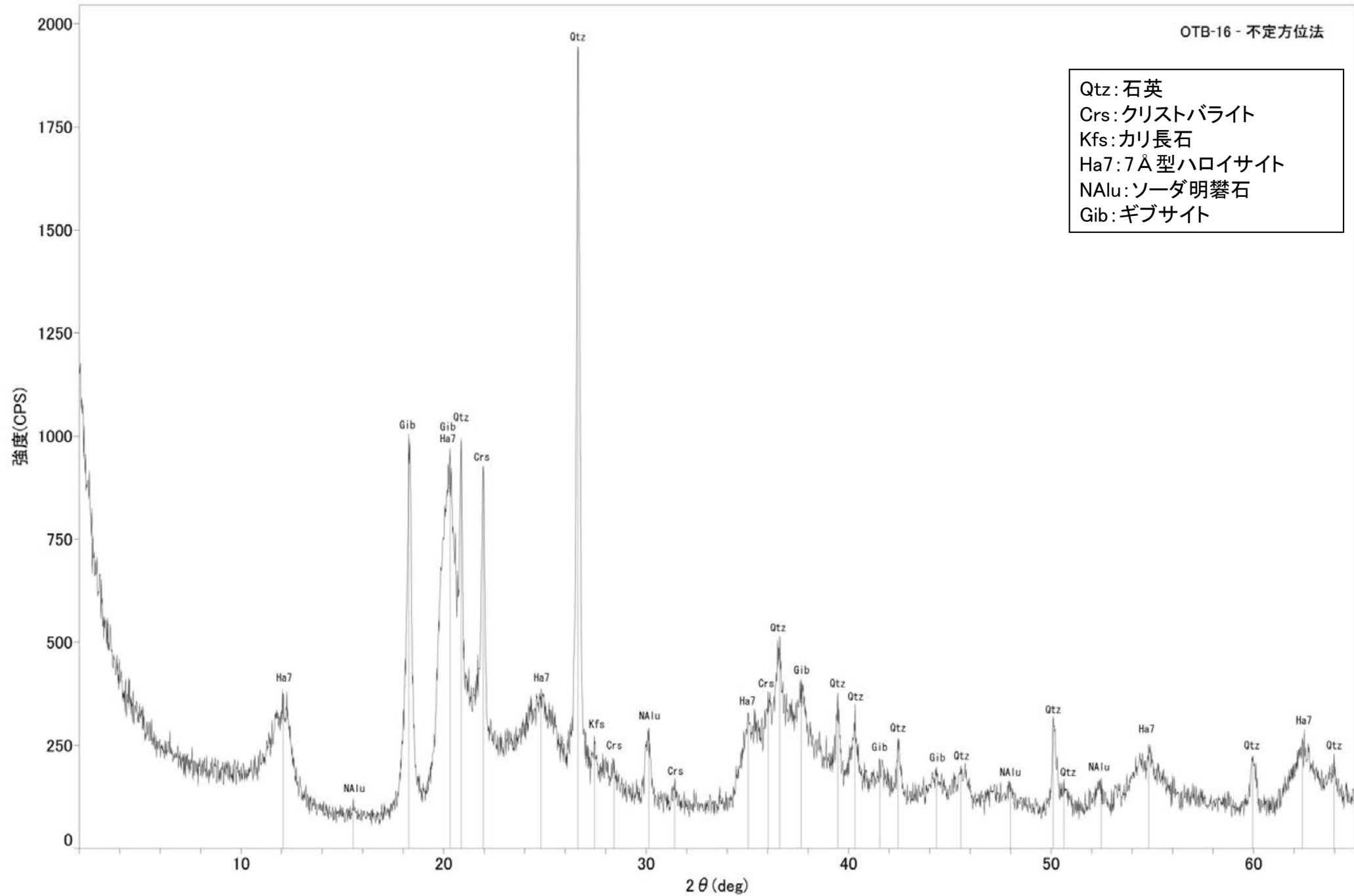


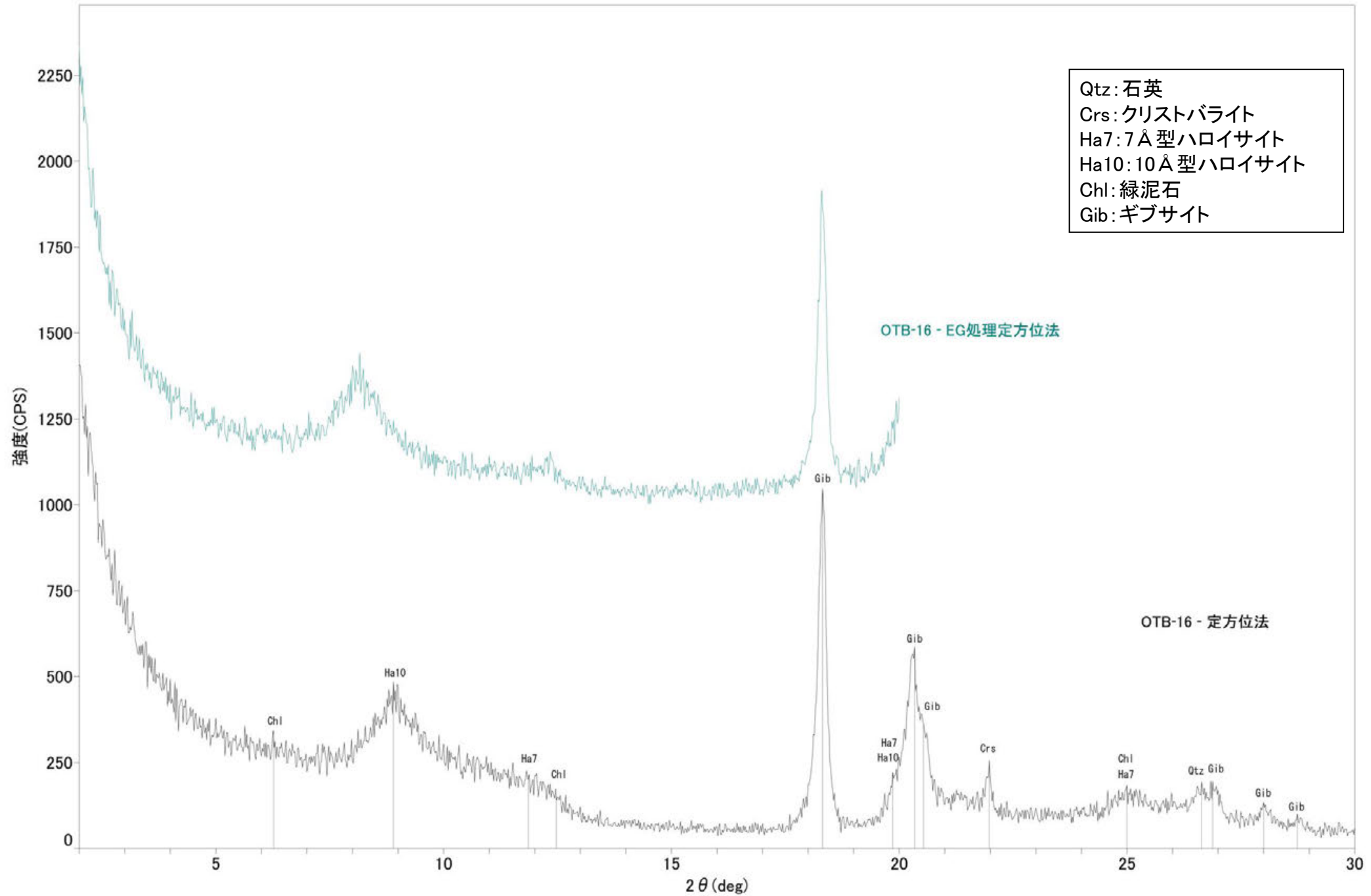












---

余白

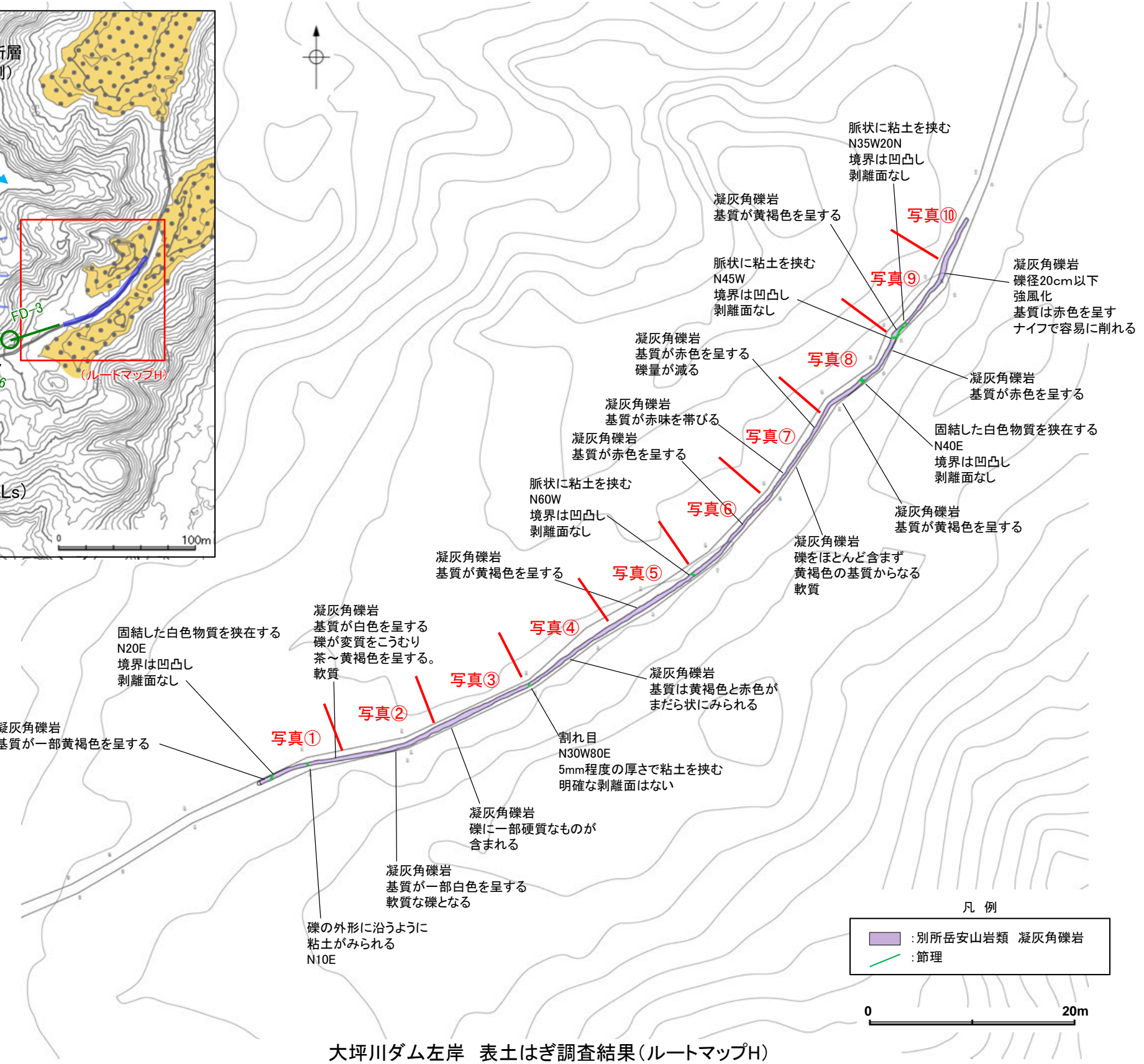
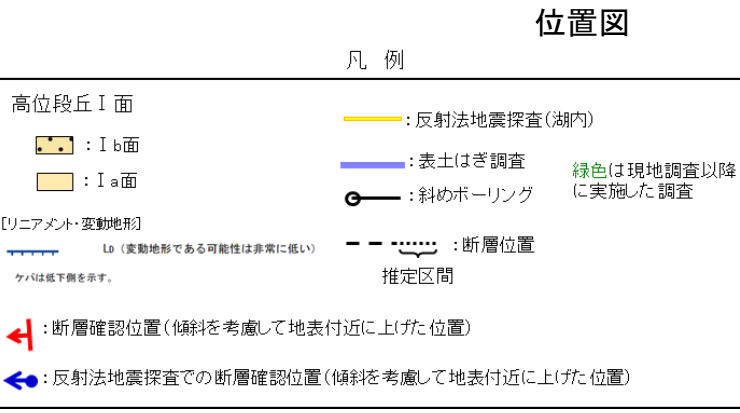
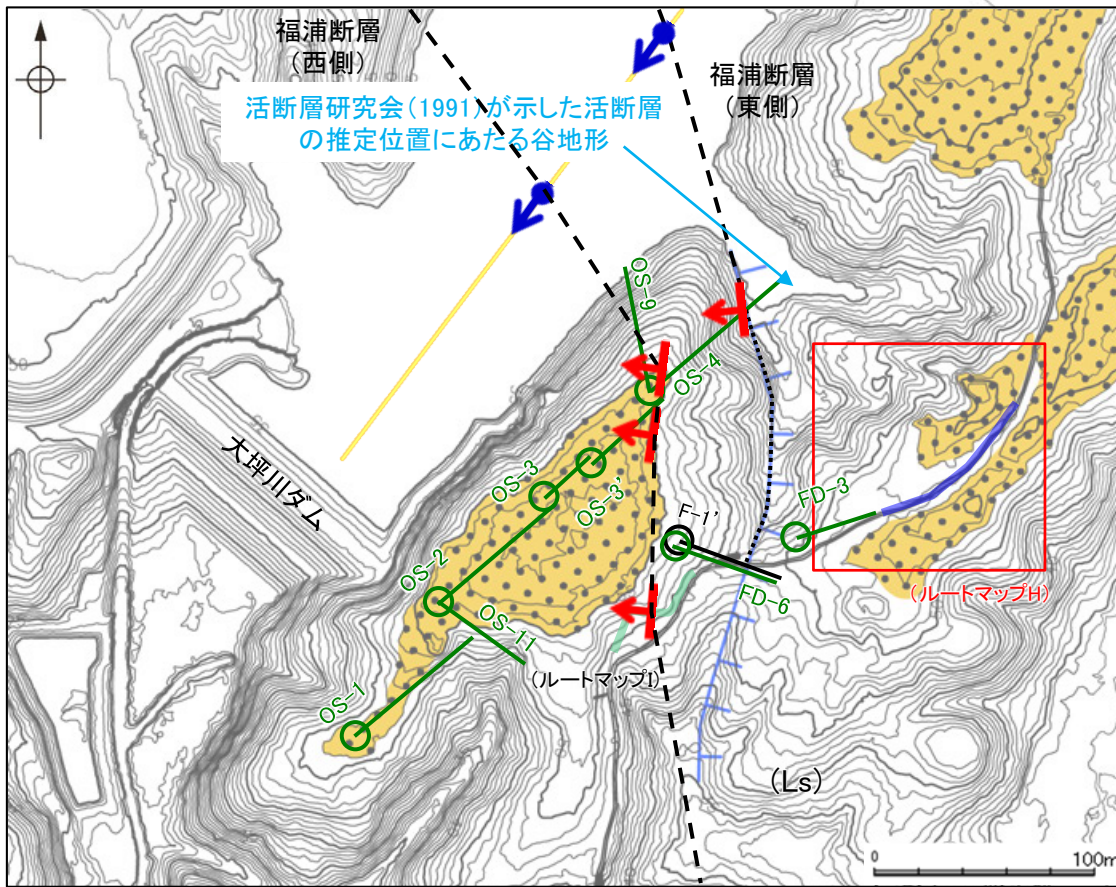
---

## (5) 大坪川ダム左岸 表土はぎ調査

---

## (5)-1 ルートマップH

# 大坪川ダム左岸 表土はぎ調査 ルートマップH 写真位置図



・ルートマップHにおける表土はぎ調査の結果、福浦断層に対応する断層は認められない。  
 ・また、活断層研究会(1991)が示した活断層の推定位置にあたる谷地形の延長位置にも断層は認められない。

←SW

NE→



写真①



写真②



写真③



写真④

←SW

NE→



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



←SW

NE→



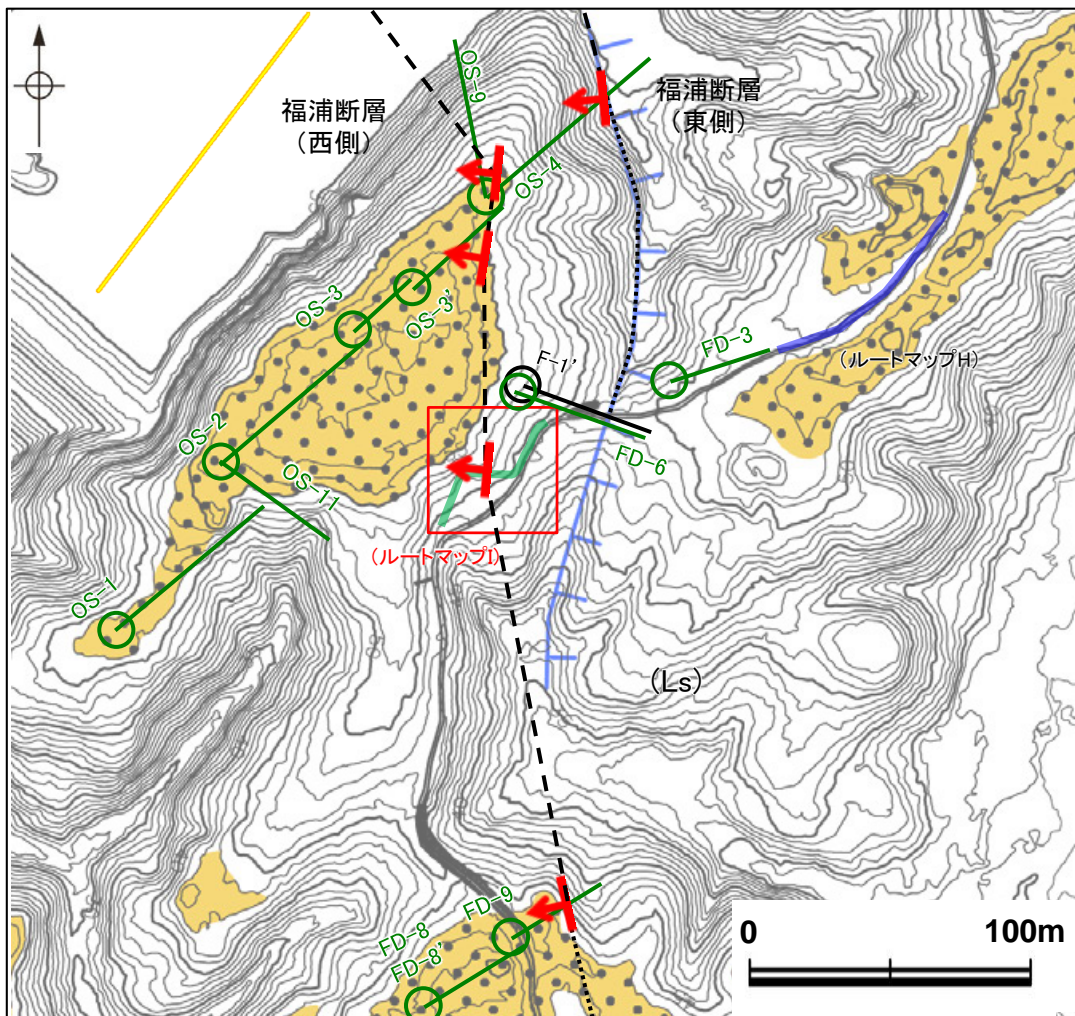
写真⑨



写真⑩

---

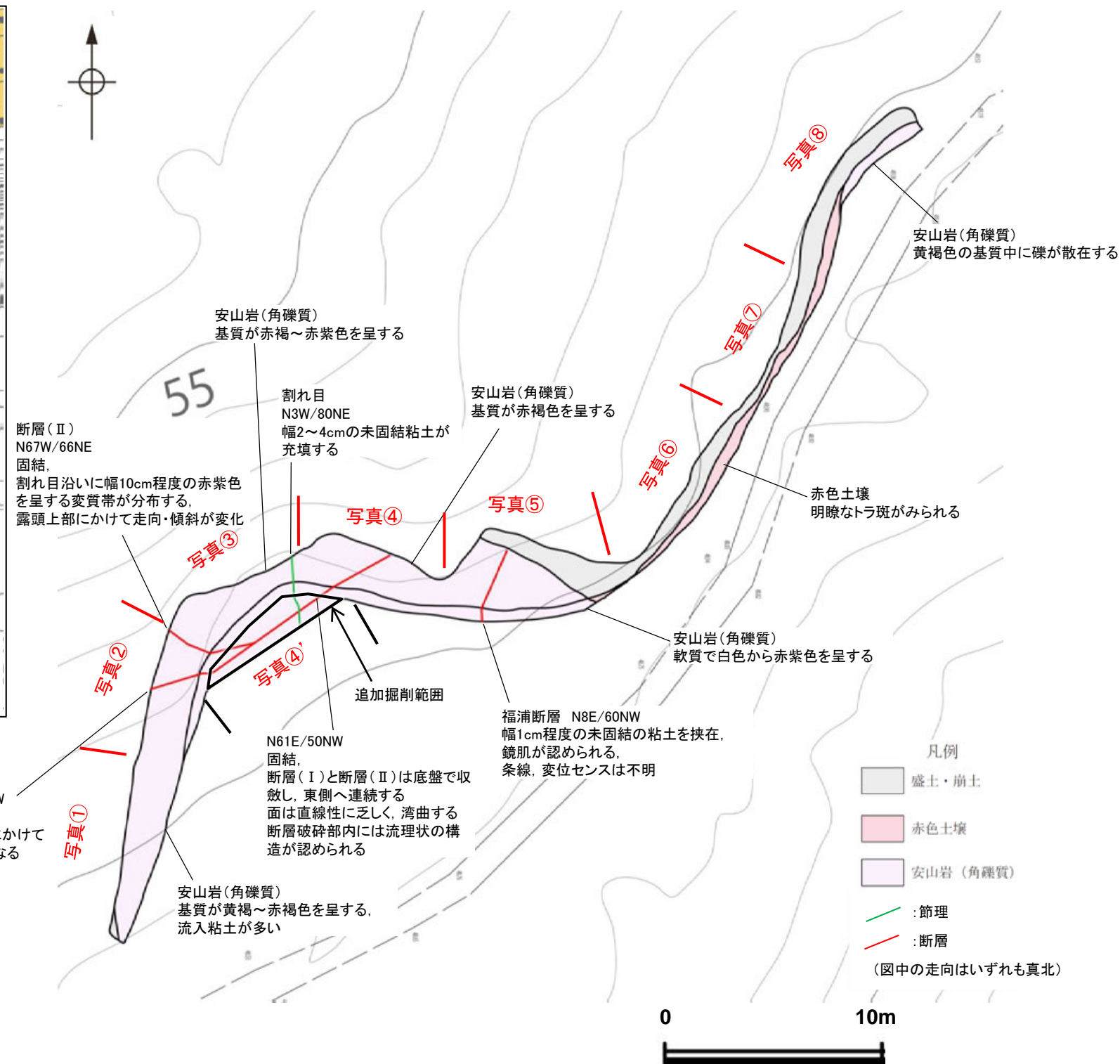
## (5)-2 ルートマップI



位置図

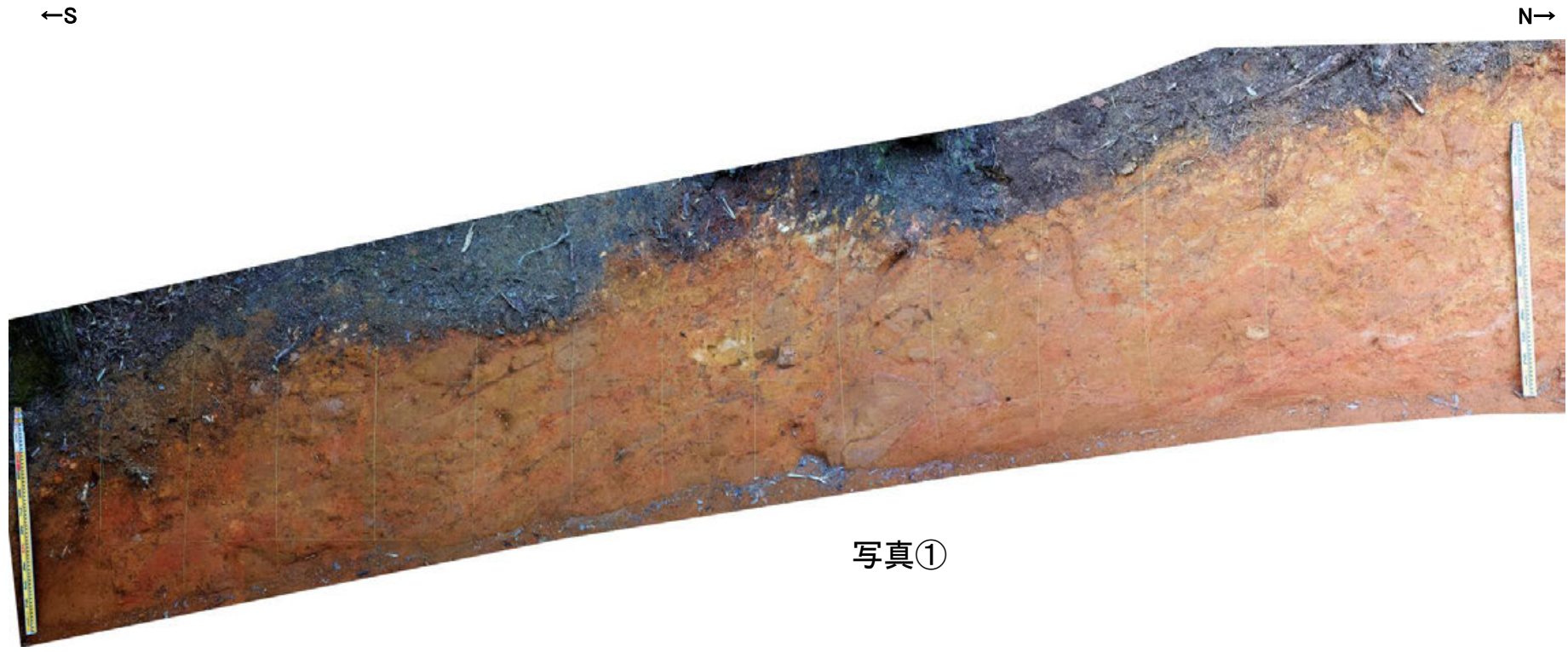
凡例

- |   |  |
|---|--|
| <p>高位段丘I面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Ib面</li> <li>Ia面</li> </ul> <p>[リニアメント・変動地形]</p> <p>Ld (変動地形である可能性は非常に低い)</p> <p>ケバは低下側を示す。</p> <p>断層確認位置 (傾斜を考慮して地表付近に上げた位置)</p> <p>断層位置 推定区間</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>反射法地震探査(湖内)</li> <li>表土はぎ調査</li> <li>斜めボーリング</li> <li>緑色は現地調査以降に実施した調査</li> </ul> |
|---|--|

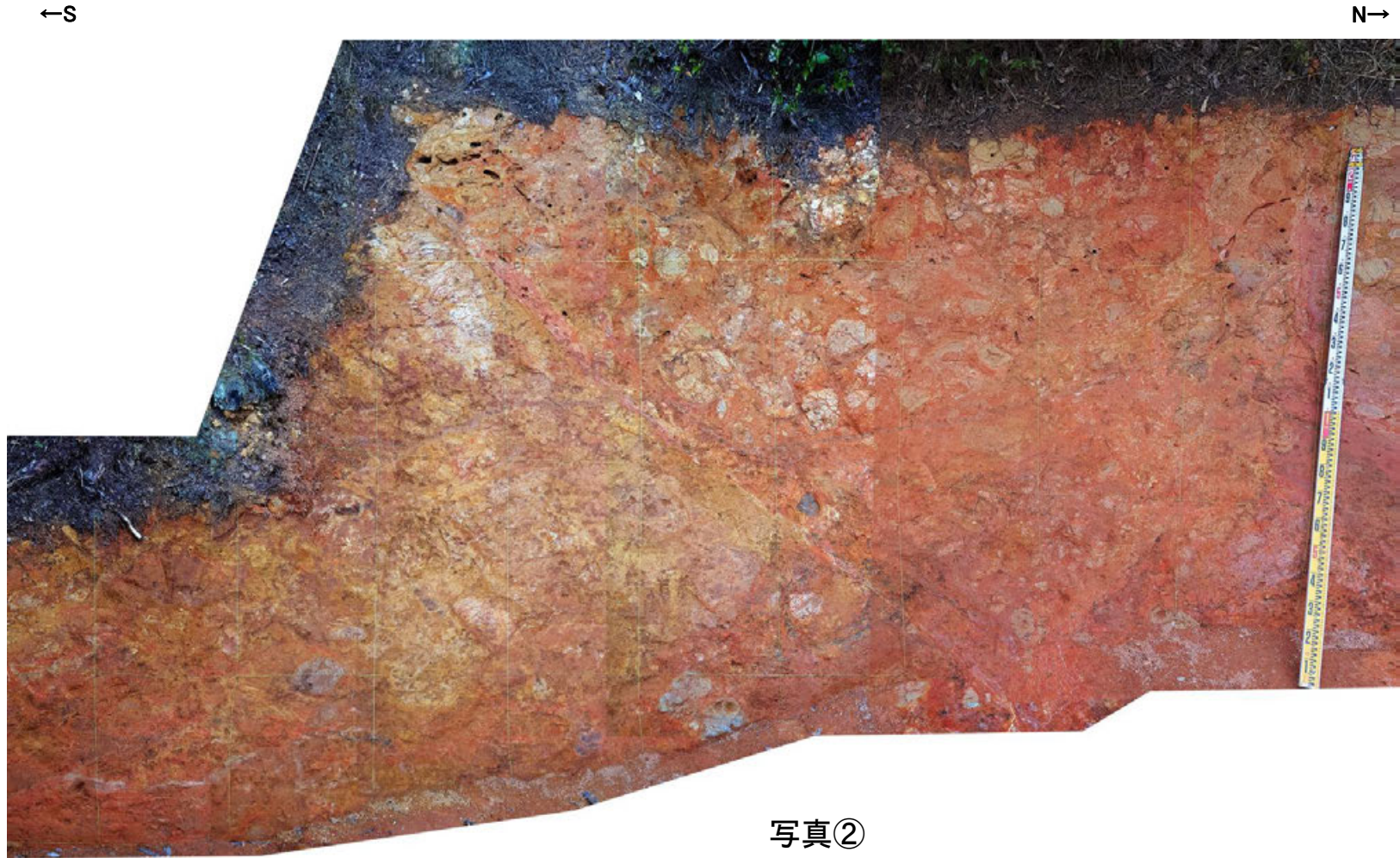


大坪川左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップI)

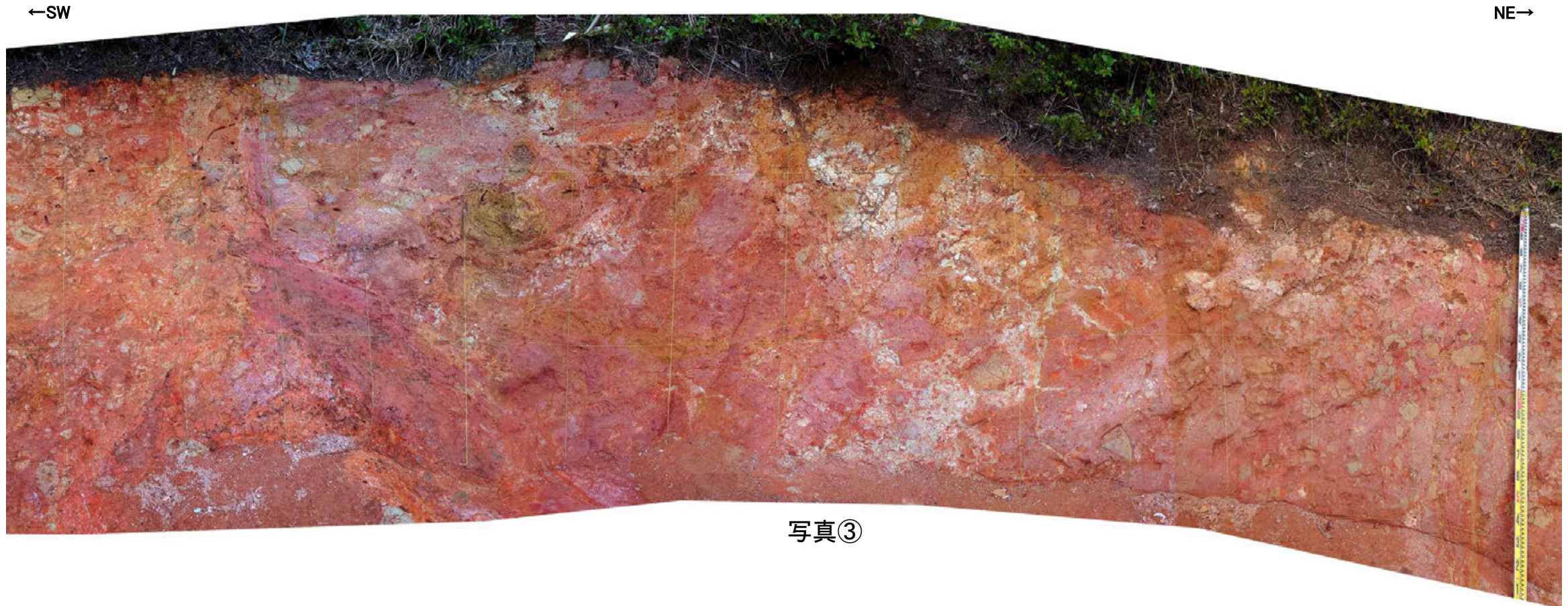
- ・ルートマップIにおける表土はぎ調査の結果, 福浦断層南部の西側リニアメント・変動地形のほぼ延長位置に, 福浦断層と走向傾斜が調和的な断層が認められた。
- ・なお, 福浦断層の西側に分布する断層は固結しており, 福浦断層と走向・傾斜が異なる。また, 隣接孔(FD-6孔)に対応する破碎部は認められない。



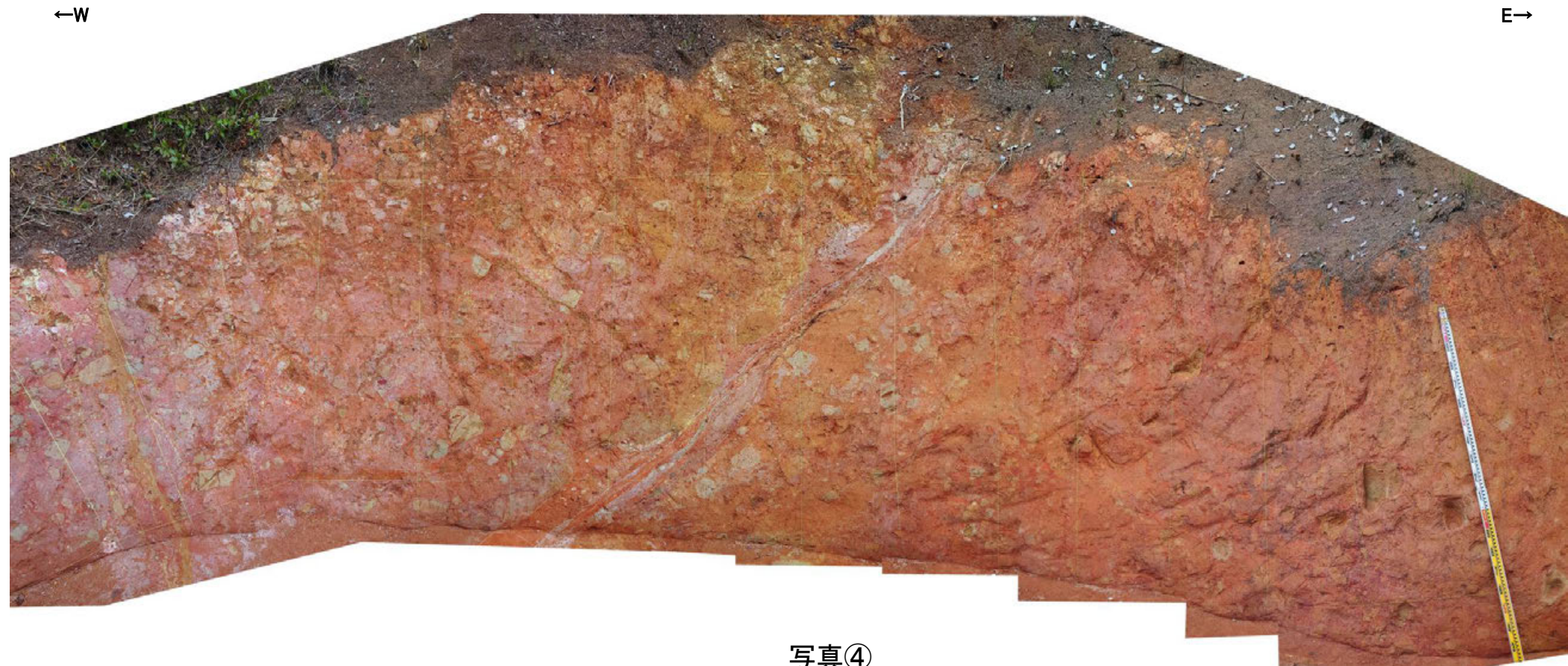
写真①



写真②



写真③



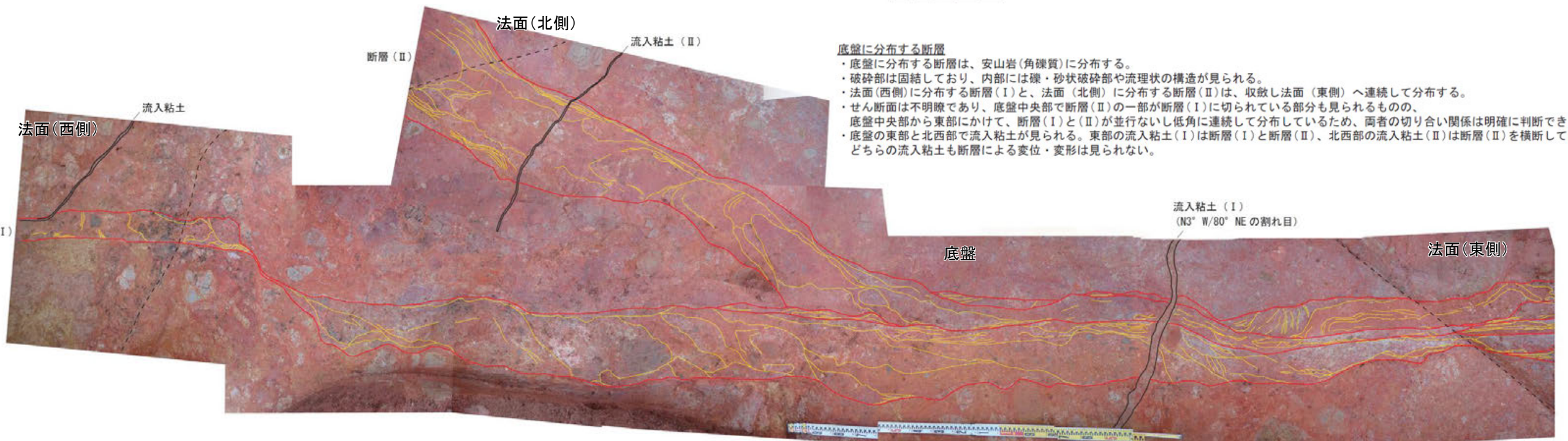
写真④

←SW

NE→



0 0.5m



**底盤に分布する断層**

- ・底盤に分布する断層は、安山岩(角礫質)に分布する。
- ・破碎部は固結しており、内部には礫・砂状破碎部や流理状の構造が見られる。
- ・法面(西側)に分布する断層(I)と、法面(北側)に分布する断層(II)は、収斂し法面(東側)へ連続して分布する。
- ・せん断面は不明瞭であり、底盤中央部で断層(II)の一部が断層(I)に切られている部分も見られるものの、底盤中央部から東部にかけて、断層(I)と(II)が並行ないし低角に連続して分布しているため、両者の切り合い関係は明確に判断できない。
- ・底盤の東部と北西部で流入粘土が見られる。東部の流入粘土(I)は断層(I)と断層(II)、北西部の流入粘土(II)は断層(II)を横断しているが、どちらの流入粘土も断層による変位・変形は見られない。

流入粘土(I)  
(N3° W/80° NEの割れ目)

0 0.5m

赤線: 破碎部  
黄線: 破碎部中の構造等

写真④' (上: 加筆なし, 下: 構造等を加筆)

・ルートマップIにおいて、福浦断層の西側に分布する断層の分布を確認するために追加掘削を行った結果、法面(西側)に分布する断層(I)と、法面(北側)に分布する断層(II)は、底盤で収斂し法面(東側)へ連続する。



写真⑤



写真⑥

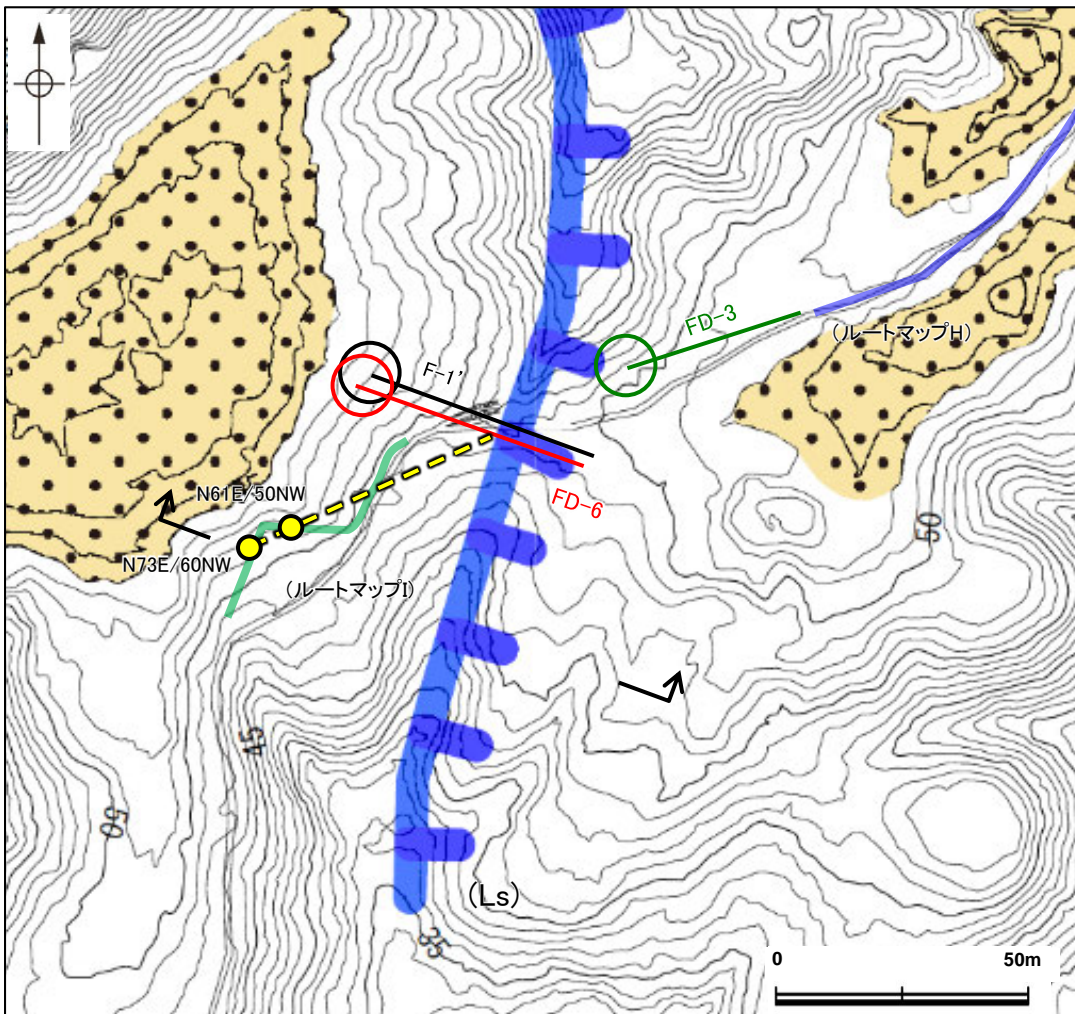


写真⑦

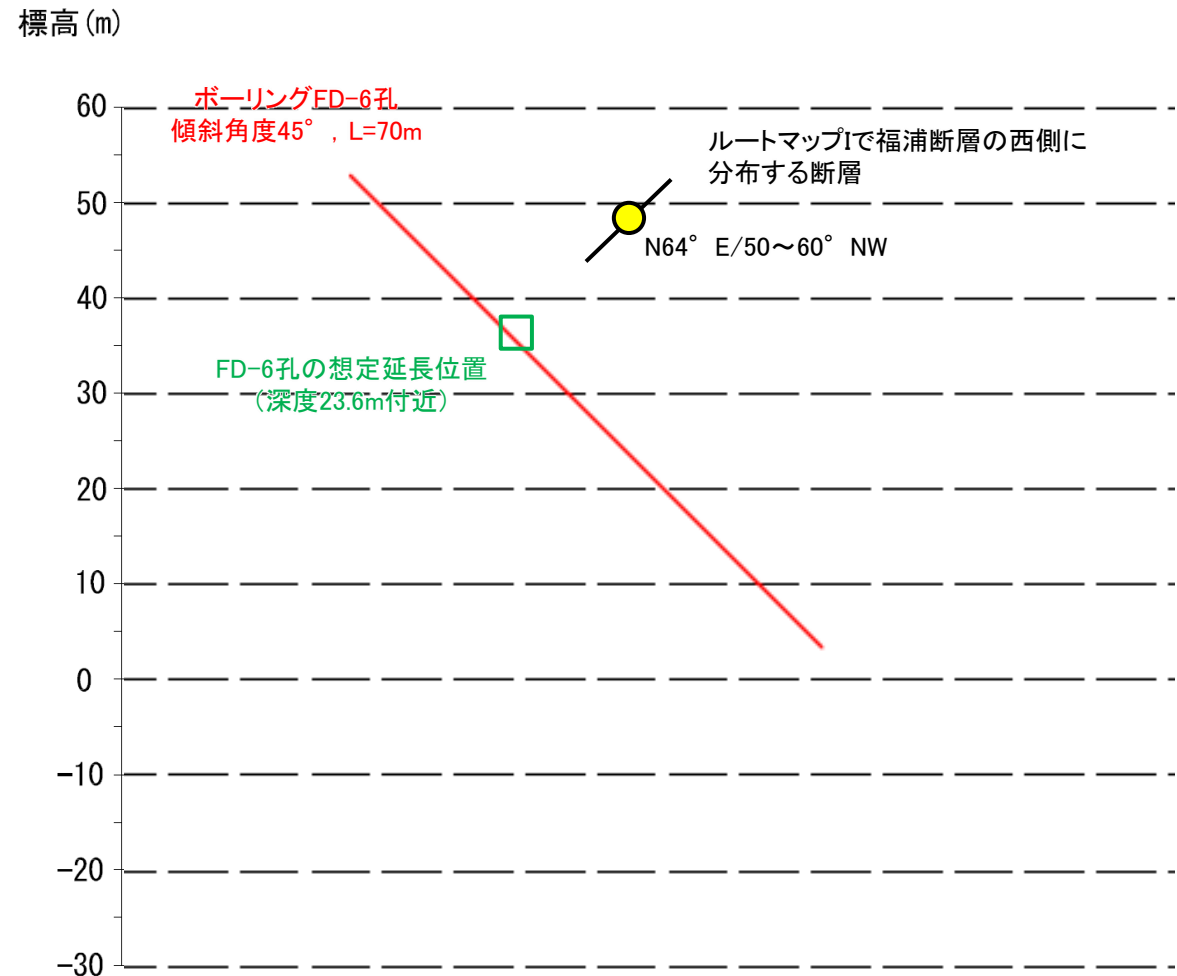


写真⑧





ルートマップI付近 調査位置図



断面図

↑ ↑ : 投影断面位置

隣接孔(FD-6孔)の想定延長位置(23.6m付近)に対応する破碎部が認められない。

---

余白

---

## (6) 福浦断層以外の破砕部の連続性確認

# 福浦断層以外の破砕部の連続性確認

○大坪川ダム左岸付近の福浦断層南部の分布を把握するためのボーリング調査において、福浦断層に対応しないと評価した破砕部の検討結果について、以下に示す。

- ・福浦断層と走向・傾斜が対応する破砕部は □ で示す。
- ・福浦断層と走向・傾斜が対応しない破砕部のうち、未固結な破砕部を伴うものについても、連続性の検討を行った。

## 【福浦断層以外の破砕部性状一覧①】

OS-1孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
1	11.94~11.96	EL 43.25~43.23	測定区間外	2.0	—	—	・未固結な破砕部を伴わない。
2	17.19~17.20	EL 39.53~39.53	N74W/20NE	1.9	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
3	33.61~33.63	EL 27.92~27.91	N17E/61NW	2.1	0.1	—	・隣接孔(OS-2孔 0.0~19.9m)に連続しない。
4	41.93~41.95	EL 22.04~22.03	N49W/9SW	1.9	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
5	42.04~42.06	EL 21.96~21.95	N1W/21SW	3.6	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
6	42.32~42.39	EL 21.77~21.72	N8W/13SW	7.3	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
7	54.86~54.94	EL 12.90~12.84	N15E/61NW	6.4	—	1.1	・隣接孔(OS-2孔 13.8~33.8m)に連続しない。
8	74.38~74.77	EL -0.90~-1.18	N71E/83SE	21	—	19	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(FD-6孔 15.4~38.1m)に連続しない。
9	86.59~86.65	EL -9.54~-9.58	N18E/60NW	3.5	1.4	—	・隣接孔(OS-2孔 46.0~66.4m)に連続しない。
10	87.88~87.92	EL -10.45~-10.48	N50W/80SW	3.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
11	92.36~92.40	EL -13.62~-13.65	N1E/86NW	2.6	1.4	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-2孔 11.2~33.6m)に連続しない。
12	92.71~92.74	EL -13.87~-13.89	N4W/85SW	2.5	1.6	—	・隣接孔(OS-2孔 9.3~32.3m)に連続しない。

OS-2孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
13	24.91~24.94	EL 38.30~38.27	N35E/30NW	1.8	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
14	37.95~39.54	EL 29.08~27.95	N89E/74NW	68	—	3.2 2.8	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(FD-6孔 32.5~32.8m)に連続しない。
15	80.71~80.77	EL -1.17~-1.21	N26W/40SW	6.4	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
16	91.84~91.90	EL -9.03~-9.07	N6W/40SW	5.4	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
17	97.63~97.66	EL -13.12~-13.15	N23W/35SW	3.6	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。

OS-3孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
18	35.64~35.68	EL31.98~31.95	N21W/71SW	3.4	—	—	・未固結な破砕部を伴わない。 ・隣接孔(OS-3'孔 3.3~11.2m)に連続しない。

OS-3'孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
19	29.87~30.13	EL36.05~35.86	N64W/83NE	15	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
20	42.80~42.82	EL26.91~26.89	N9E/76NW	1.6	—	—	・未固結な破砕部を伴わない。 ・隣接孔(OS-4孔 0.5~11.0m)に連続しない。

OS-4孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
21	18.39~18.44	EL 42.44~42.40	N85E/57SE	4.0	—	4.0	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
22	18.70~18.79	EL 42.22~42.15	N73W/78SW	6.2	—	6.2	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップHに連続しない。
23	19.02~19.06	EL 41.99~41.96	N56W/80SW	4.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
24	23.06~23.12	EL 39.13~39.09	N84W/13NE	5.8	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
25	38.39~38.42	EL 28.29~28.27	N56E/42SE	2.5	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
26	40.91~40.93	EL 26.51~26.50	N5W/48SW	3.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。 ・隣接孔(FD-6孔 31.7~33.4m)に連続しない。
27	43.78~43.79	EL 24.48~24.48	N42W/89SW	1.2	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
28	44.40~44.41	EL 24.04~24.04	N36W/81NE	1.2	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
29	44.64~44.73	EL 23.87~23.81	N27W/80NE	7.4	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
30	45.02~45.05	EL 23.61~23.58	N85W/17SW	2.2	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
31	45.57~45.92	EL 23.22~22.97	N85E/80NW	14	1.8	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
32	46.89~47.10	EL 22.28~22.14	N13E/85SE	9.3	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。

・福浦断層と走向・傾斜が対応する破砕部は □ で示す。  
 ・福浦断層と走向・傾斜が対応しない破砕部のうち、未固結な破砕部を伴うものについても、連続性の検討を行った。

## 【福浦断層以外の破砕部性状一覧②】

OS-4孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
33	47.18~47.23	EL 22.08~22.04	N28E/66NW	3.2	—	—	・未固結な破砕部を伴わない。 ・隣接孔(OS-11孔 64.7~70.0m)に連続しない。
34	47.71~48.16	EL 21.70~21.39	N58W/81NE	26	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
35	48.44~48.46	EL 21.19~21.17	N71W/16SW	1.2	1.2	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-2孔 63.7~100.0m)に連続しない。
36	48.82~48.88	EL 20.92~20.88	N49E/21NW	6.6	—	6.6	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-3'孔 34.1~57.9m)に連続しない。
37	49.41~49.48	EL 20.50~20.45	N60W/36SW	7.0	7.0	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップHに連続しない。
38	49.67~49.71	EL 20.32~20.29	N60W/85NE	4.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
39	50.28~50.90	EL 19.89~19.45	N76W/77NE	33	3.4	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップHに連続しない。
40	52.21~52.25	EL 18.52~18.49	N33E/64SE	1.2	—	1.2	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-11孔 57.9~65.9m)に連続しない。
41	58.64~58.79	EL 13.98~13.87	N11E/17NW	16	—	16	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップHに連続しない。
42	60.89~61.12	EL 12.38~12.22	N36E/56NW	17	—	17	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-11孔 50.6~53.5m)に連続しない。
43	62.57~62.67	EL 11.20~11.13	N24W/73SW	10	—	—	・未固結な破砕部を伴わない。 ・隣接孔(FD-3孔 16.3~25.8m)に連続しない。
44	62.84~62.87	EL 11.01~10.98	N78W/42SW	2.6	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
45	63.16~63.22	EL 10.78~10.74	N30W/87NE	3.8	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
46	63.35~63.38	EL 10.64~10.62	N51E/49NW	3.4	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
47	63.75~63.82	EL 10.36~10.31	N22W/40SW	4.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
48	65.15~65.18	EL 9.37~9.35	N56E/37NW	2.2	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
49	65.55~66.09	EL 9.09~8.71	N11W/85NE	30	0.4 10	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(F-1'孔 67.8~70.3m)に連続しない。
50	66.31~66.35	EL 8.55~8.52	N32W/84NE	4.0	4.0	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(FD-3孔 35.4~41.3m)に連続しない。
51	78.67~78.70	EL -0.19~-0.21	N86E/84NW	2.7	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
52	84.39~85.05	EL -4.23~-4.70	N76E/69SE	44	—	2.6 9.0	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
53	85.17~85.35	EL -4.78~-4.83	N62E/77SE	12	—	12	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-5孔 23.1~33.6m, OS-6孔 29.2~37.3m)に連続しない。
54	86.00~86.20	EL -5.37~-5.51	N71E/36SE	15	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
55	86.70~86.79	EL -5.87~-5.93	N84E/76NW	5.2	1.9	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。

OS-4孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
56	89.66~89.70	EL -7.96~-7.99	N65W/86NE	3.5	0.3	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップHに連続しない。
57	90.77~91.13	EL -8.74~-9.00	N75E/79NW	6.3	0.8	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
58	91.45~91.47	EL -9.22~-9.24	N10E/49NW	2.4	0.6	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(FD-3孔 0.0~19.5m)に連続しない。
59	91.95~92.83	EL -9.58~-10.20	N48W/77SW	72	1.0	6.9	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップHに連続しない。
60	94.45~94.47	EL -11.35~-11.36	N86E/58SE	2.1	0.3	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
61	97.82~97.89	EL -13.73~-13.78	N24W/69NE	2.4	—	2.4	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(FD-3孔 0.0~35.6m)に連続しない。
62	98.52~98.58	EL -14.22~-14.27	N80E/88NW	2.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
63	99.49~99.55	EL -14.91~-14.95	N58E/72SE	5.4	—	5.4	走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
64	100.46~100.49	EL -15.60~-15.62	N84W/77SW	3.6	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
65	100.81~100.86	EL -15.84~-15.88	N74E/50SE	5.1	1.4	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
66	106.03~106.08	EL -19.53~-19.57	N58E/77SE	1.4	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。

FD-8孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
67	48.88~48.96	EL 13.74~13.68	N22E/13SE	6.0	2.5	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-4孔 0~68.9m)に連続しない。
68	61.78~61.96	EL 4.61~4.49	N29E/22NW	12	1.5	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップFに連続しない。

FD-8' 孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
破砕部は認められない							

FD-9孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
69	19.44~19.52	EL 33.37~33.32	N89W/42SW	8.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
70	24.63~24.82	EL 29.70~29.57	N42E/17SE	13	1.0	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップHに連続しない。

- ・福浦断層と走向・傾斜が対応する破砕部は □ で示す。
- ・福浦断層と走向・傾斜が対応しない破砕部のうち、未固結な破砕部を伴うものについても、連続性の検討を行った。

### 【福浦断層以外の破砕部性状一覧③】

OS-11孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
71	13.59~13.63	EL 46.30~46.27	N30W/21SW	4.0	1.2	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-2孔 10.7~12.4m)に連続しない。
72	35.37~35.39	EL 30.90~30.89	N37E/58NW	2.6	0.6	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-3'孔 38.7~40.8m)に連続しない。
73	37.70~37.71	EL 29.25	N5W/72SW	1.1	—	—	・未固結な破砕部を伴わない。 ・隣接孔(OS-2孔 35.3~35.9m)に連続しない。
74	40.95~40.96	EL 26.95	N31W/18SW	1.2	1.2	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-2孔 32.5~38.1m)に連続しない。
75	59.77~59.83	EL 13.65~13.60	N75E/77SE	5.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
76	60.77	EL 12.94	N12W/81SW	1.4	—	1.4	・隣接孔(OS-2孔 46.1~50.0m)に連続しない。
77	61.44~61.54	EL 12.47~12.39	N64E/78SE	4.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
78	61.80~61.81	EL 12.21~12.20	N80E/74NW	1.4	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
79	65.14~65.55	EL 9.85~9.56	N82E/83SE	31	—	0.5	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・ルートマップIIに連続しない。

FD-3孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
破砕部は認められない							

FD-6孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
80	44.92~45.00	EL 21.20~21.14	N11W/19SW	7.5	—	7.5	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(F-1'孔 44.7~45.3m)に連続しない。

FD-1孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
破砕部は認められない							

FD-2孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
破砕部は認められない							

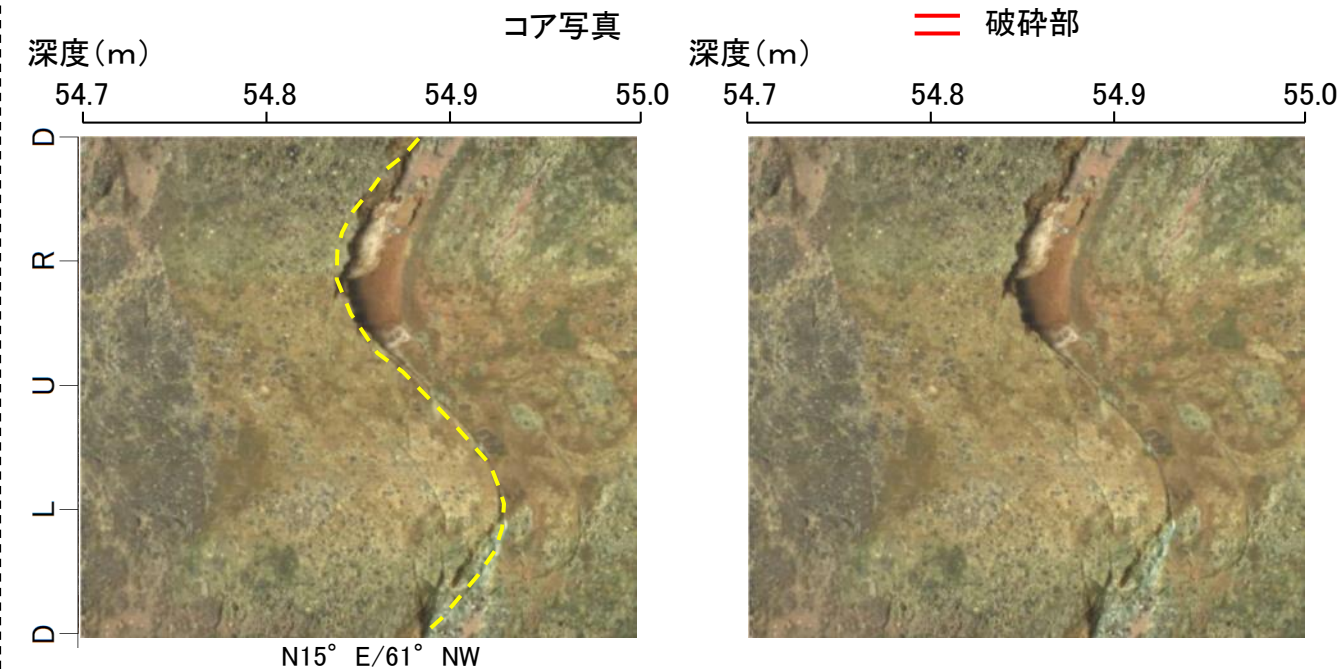
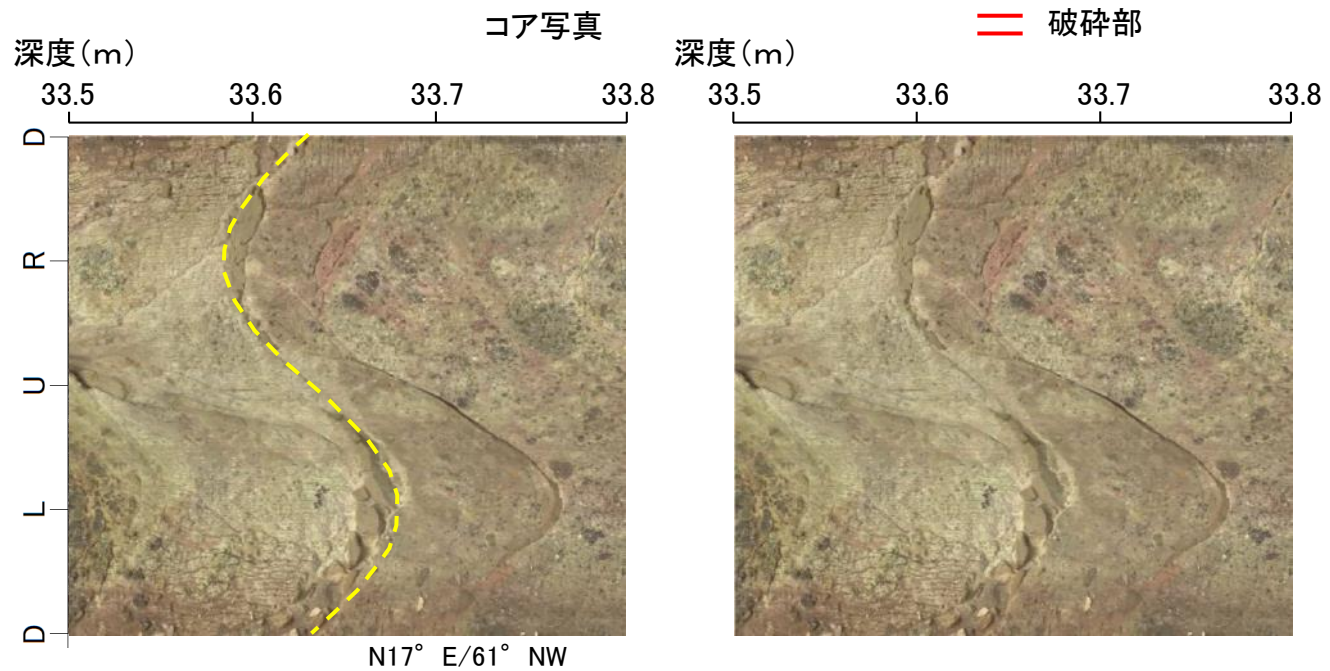
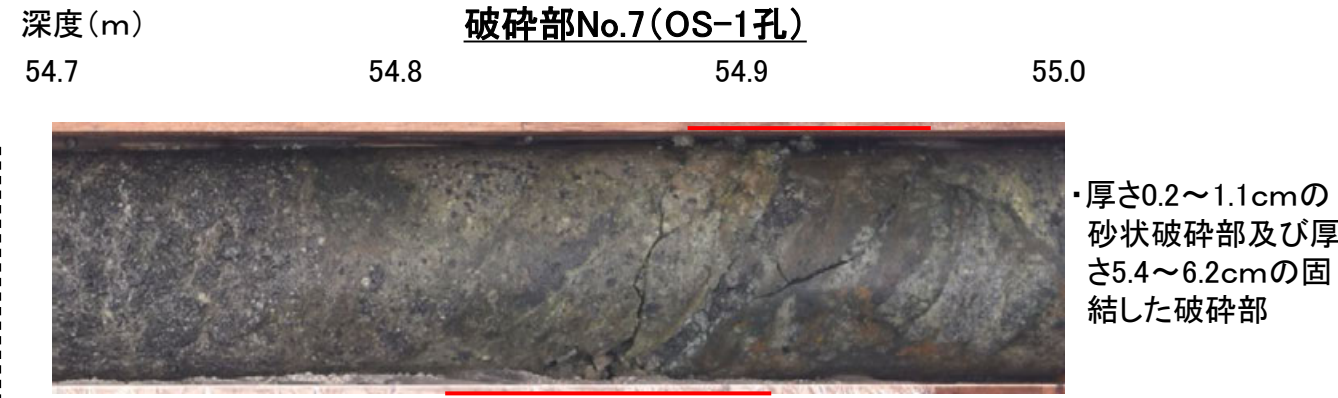
FD-4孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
破砕部は認められない							

FD-5孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
81	37.50~37.61	EL 10.66~10.59	N44E/68NW	7.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。

FD-7孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
82	21.40~21.56	EL 23.90~23.78	N52E/64NW	15	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
83	38.22~38.24	EL 12.00~11.99	N83E/29NW	3.0	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
84	41.02~41.39	EL 10.02~9.76	N50E/77NW	30	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。

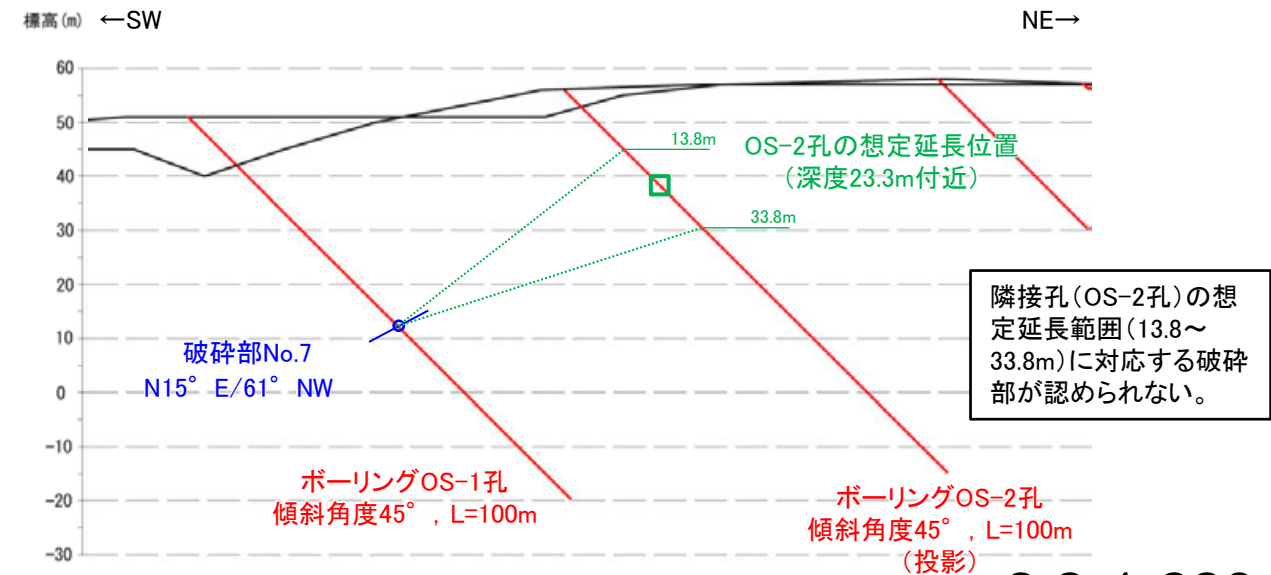
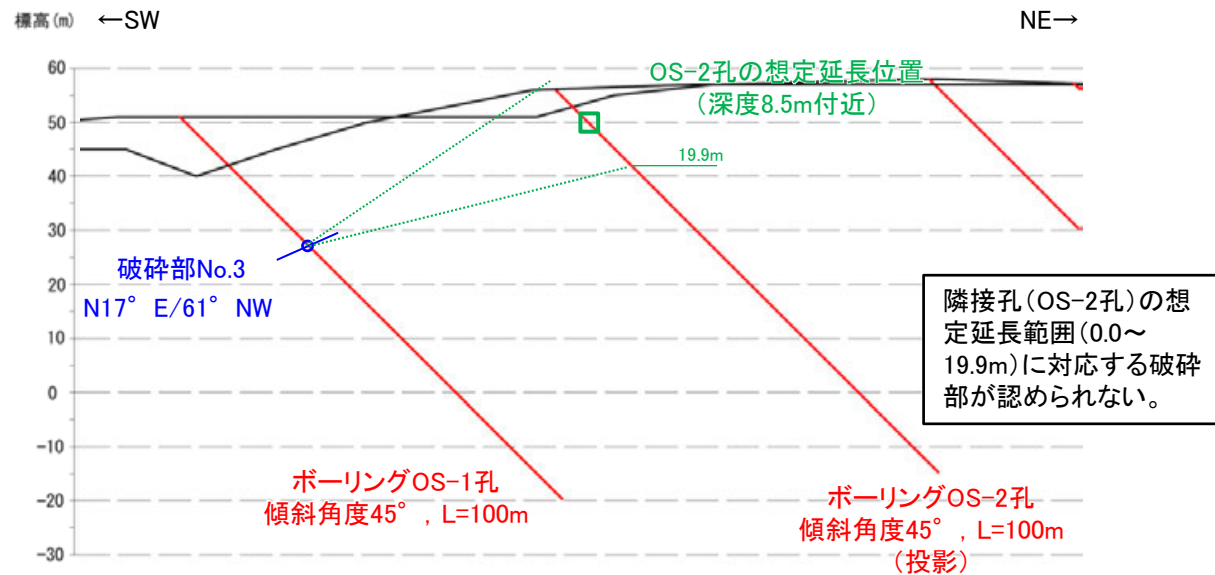
OS-9孔							
No.	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	未固結な破砕部		福浦断層に対応しないと判断した根拠
					粘土状破砕部の幅 (cm)	砂状・角礫状破砕部の幅 (cm)	
85	19.12~19.14	EL 42.03~42.02	N17W/82SW	1.4	—	—	・未固結な破砕部を伴わない。 ・隣接孔(OS-4孔:1.4~6.0m, OS-3'孔:51.9~60.0m)に連続しない。
86	20.73~20.93	EL 40.89~40.75	N29W/79SW	15	2.0	—	・隣接孔(OS-4孔:6.5~10.1m, OS-3'孔:54.4~60.0m)に連続しない。
87	53.38~53.40	EL 17.80~17.79	N75E/48SE	1.5	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
88	54.38~54.40	EL 17.10~17.08	N46W/80SW	1.5	0.7	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-4孔 31.5~37.4m)に連続しない。
89	55.42~55.50	EL 16.36~16.31	N30E/74SE	6.1	0.2 0.5	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-1孔)の想定延長範囲(56.3~100.0m)に対応する破砕部が認められない。
90	61.51~61.53	EL 12.06~12.04	N19W/88SW	1.1	1.1	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(1.4~18.6m)に対応する破砕部が認められない。
91	68.25~68.33	EL 7.29~7.23	N19E/16NW	5.7	—	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・未固結な破砕部を伴わない。
92	70.66~70.72	EL 5.59~5.54	N71E/57SE	5.4	—	5.4	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
93	71.04~71.06	EL 5.32~5.30	N53E/47SE	2.5	0.5	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。
94	79.63~79.67	EL -0.76~-0.79	N62E/71SE	4.0	0.7	—	・走向・傾斜が福浦断層と対応しない。 ・大坪川ダム基礎掘削面に連続しない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-1孔) (1/4)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

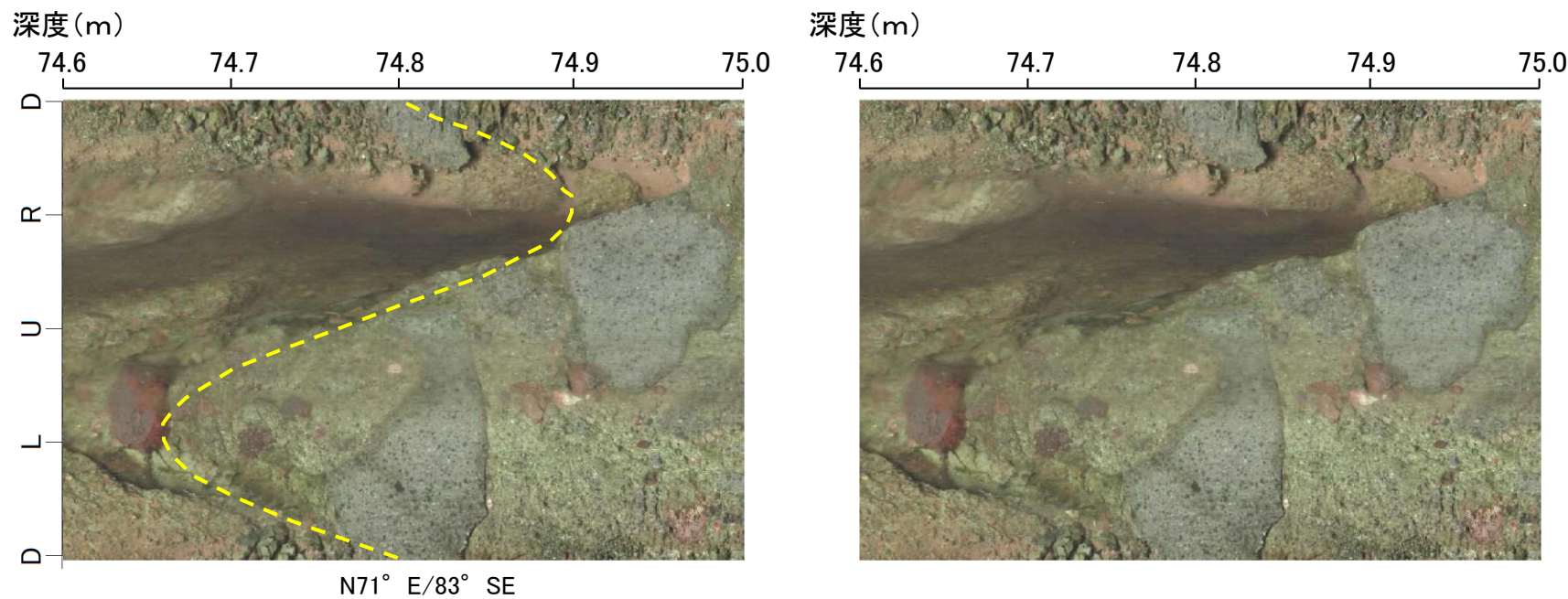
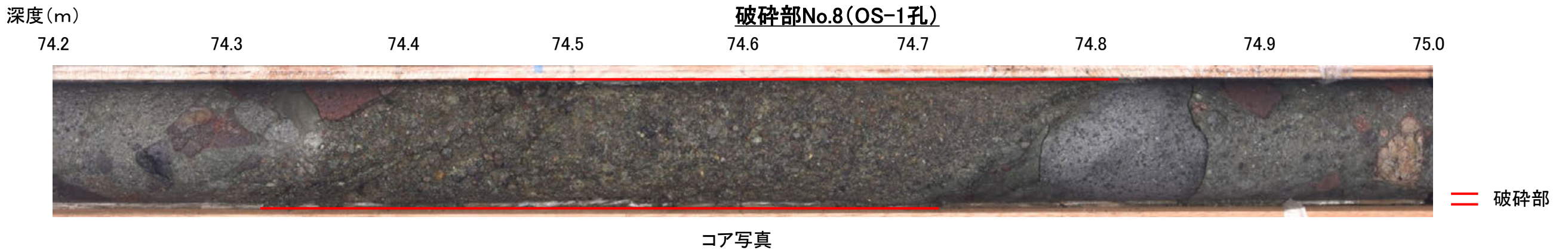
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



断面図

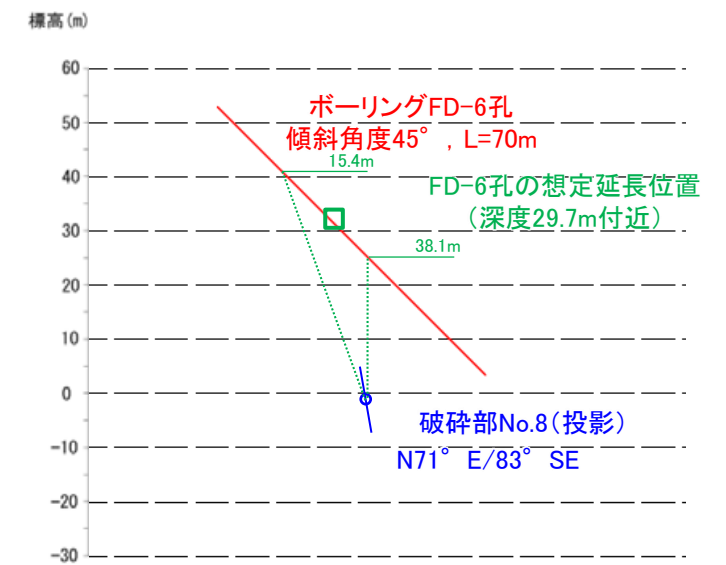
断面図

## 【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-1孔) (2/4)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

・厚さ16~19cmの砂状破砕部及び厚さ3.4~3.8cmの固結した破砕部

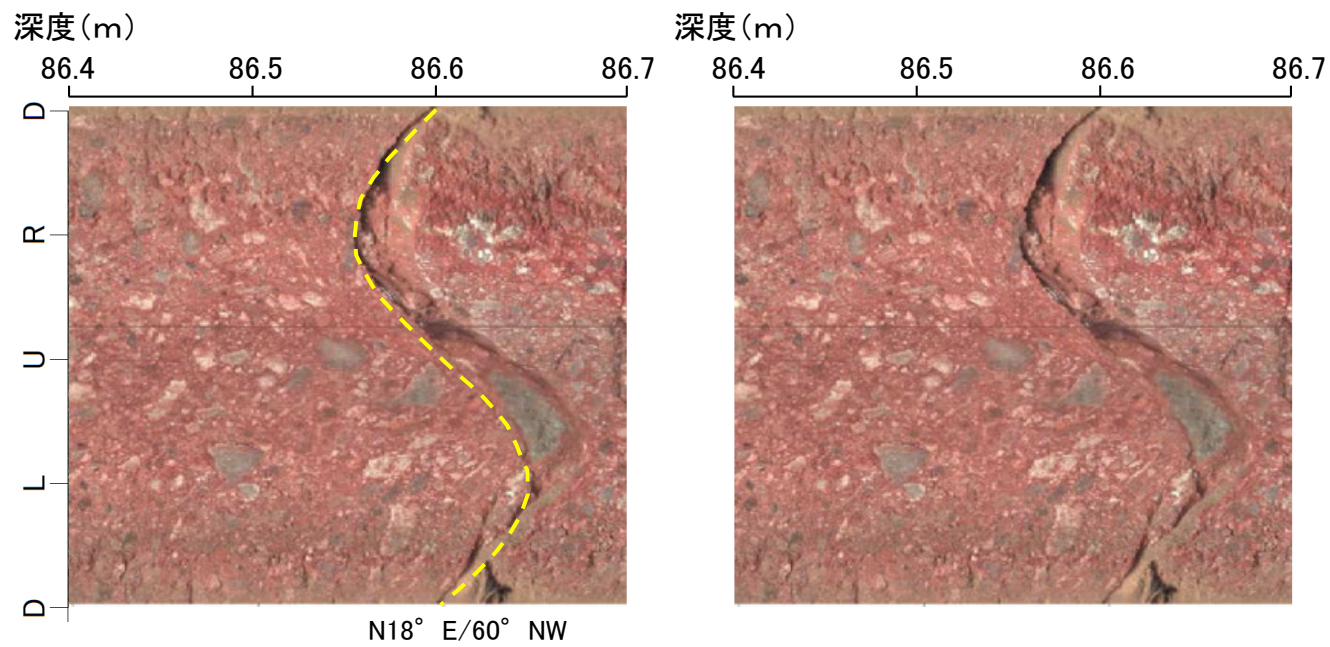


断面図

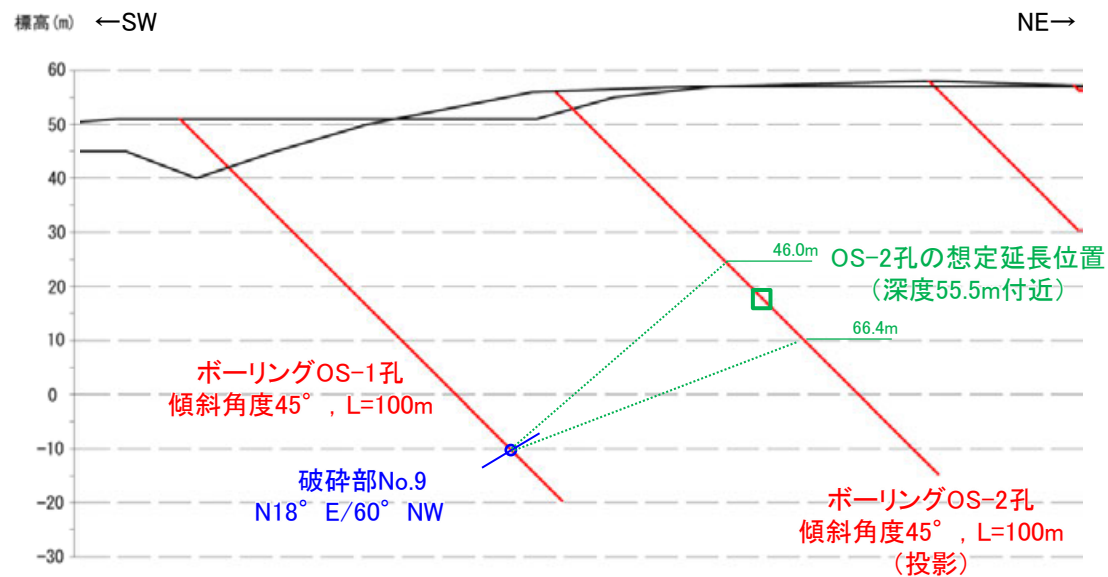
走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔(FD-6孔)の想定延長範囲(15.4~38.1m)に対応する破砕部が認められない。



## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-1孔) (3/4)】



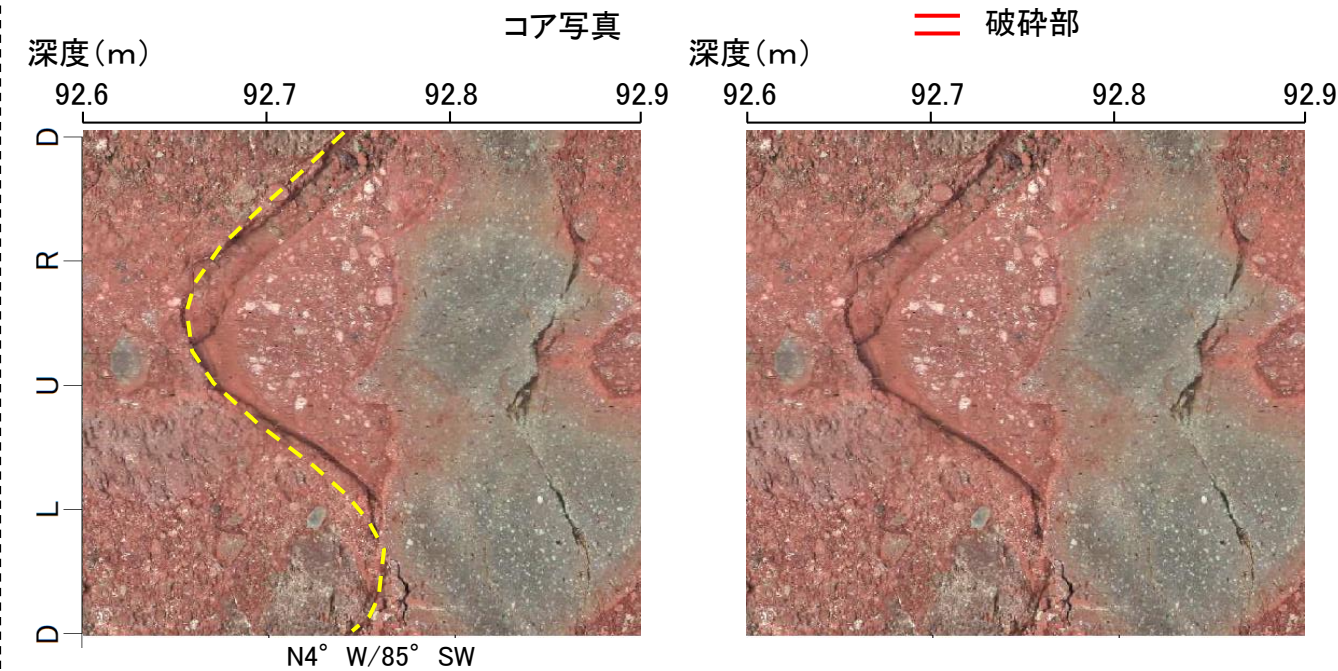
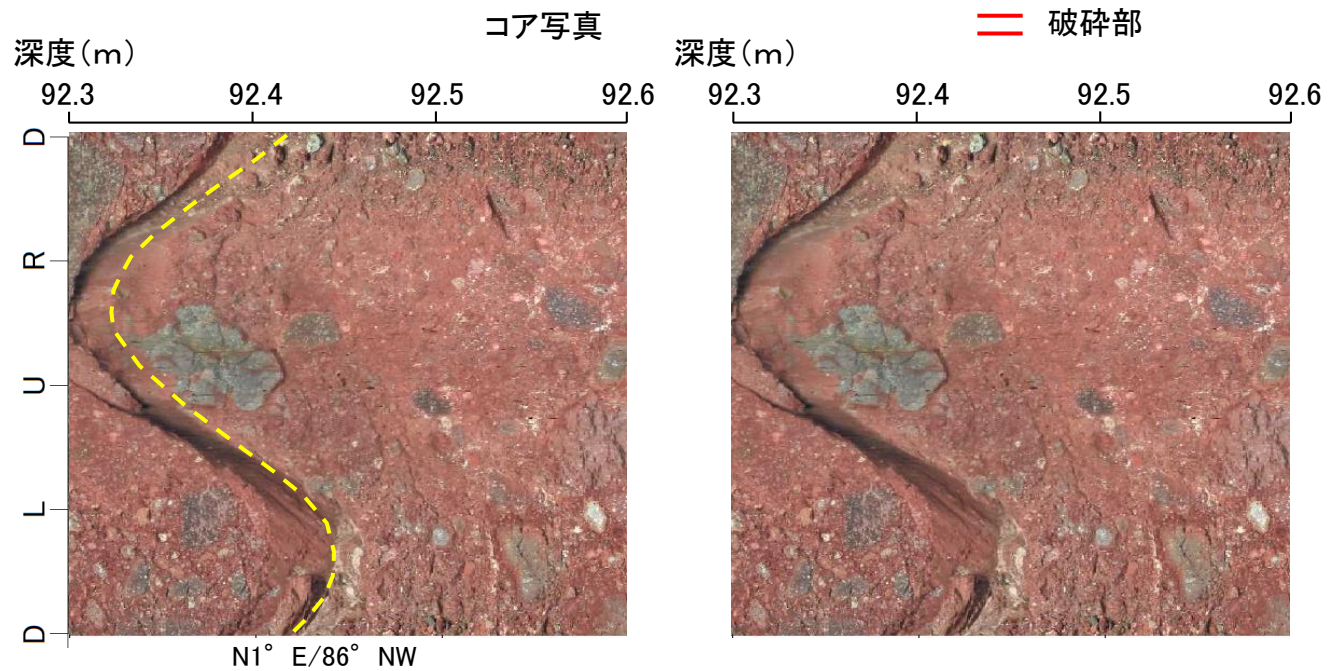
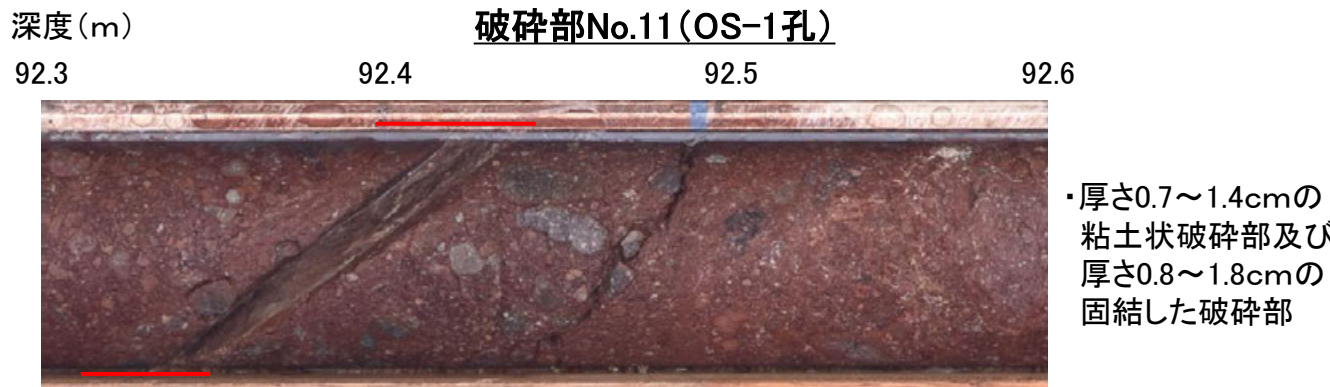
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



隣接孔(OS-2孔)の想定  
延長範囲(46.0~66.4m)  
に対応する破碎部が認め  
られない。

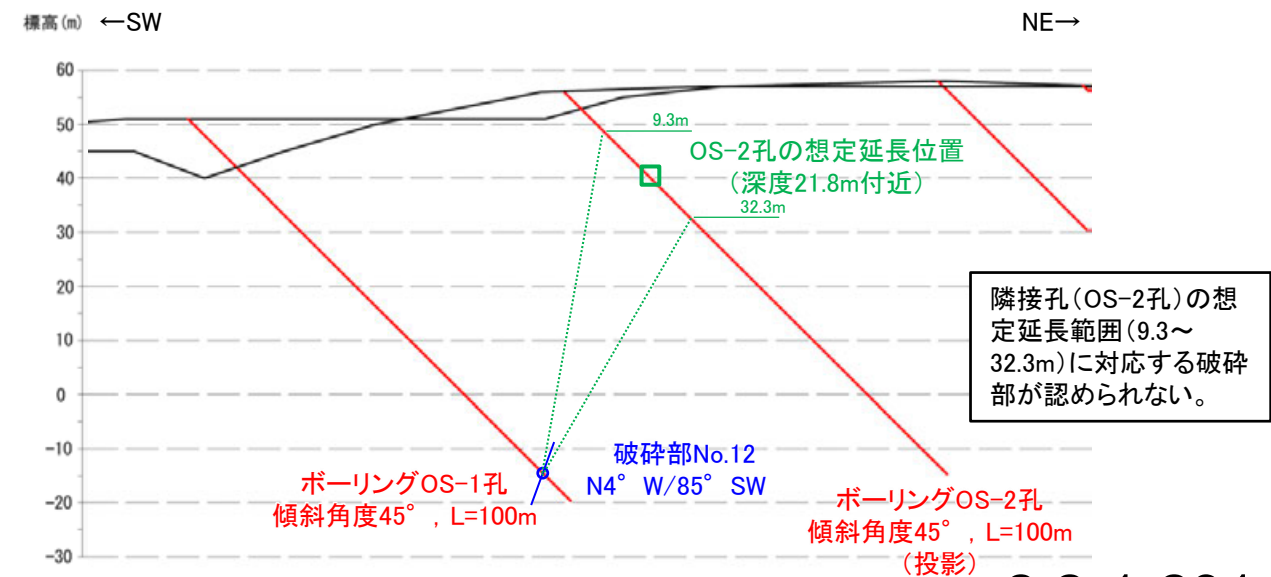
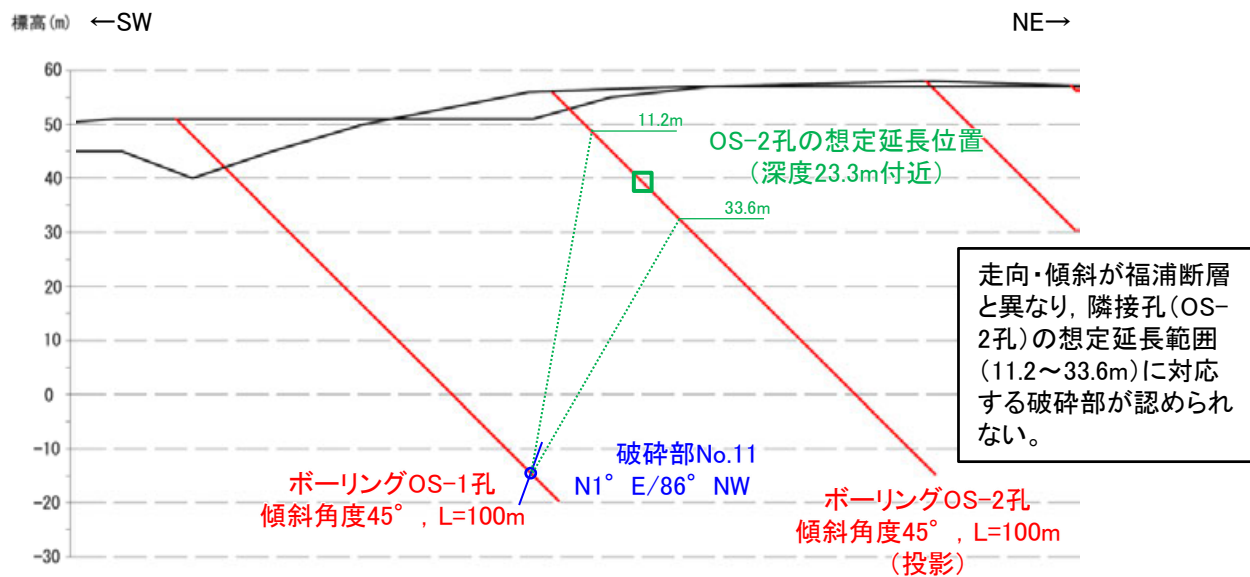
断面図

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-1孔) (4/4)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

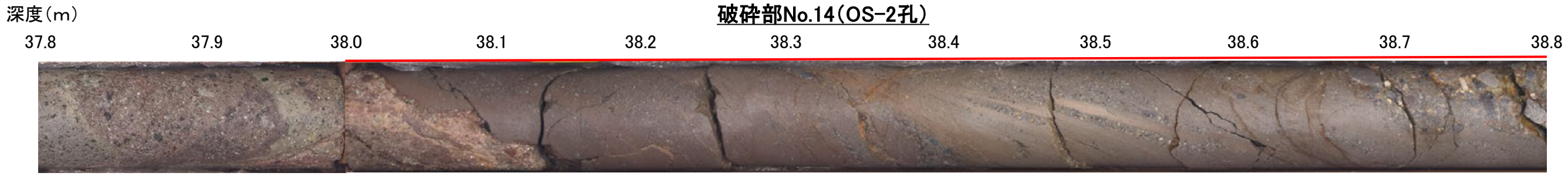


断面図

断面図

【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-2孔) (1/1)】

破砕部

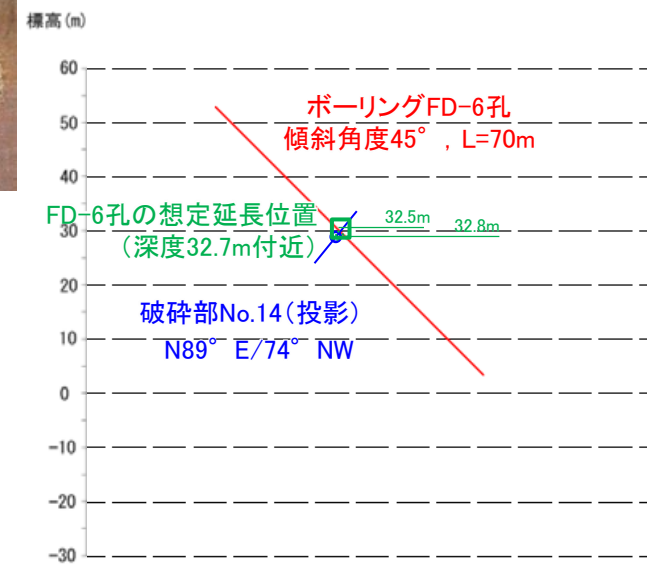


N89° E/74° NW

BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)



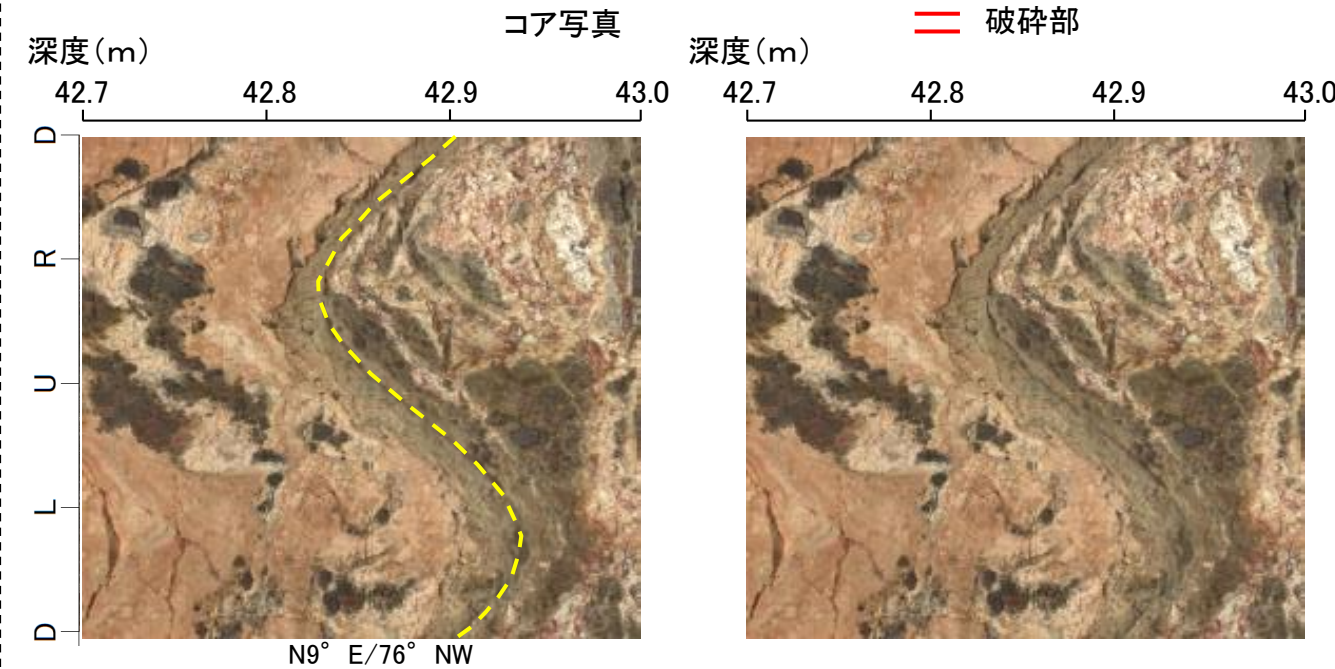
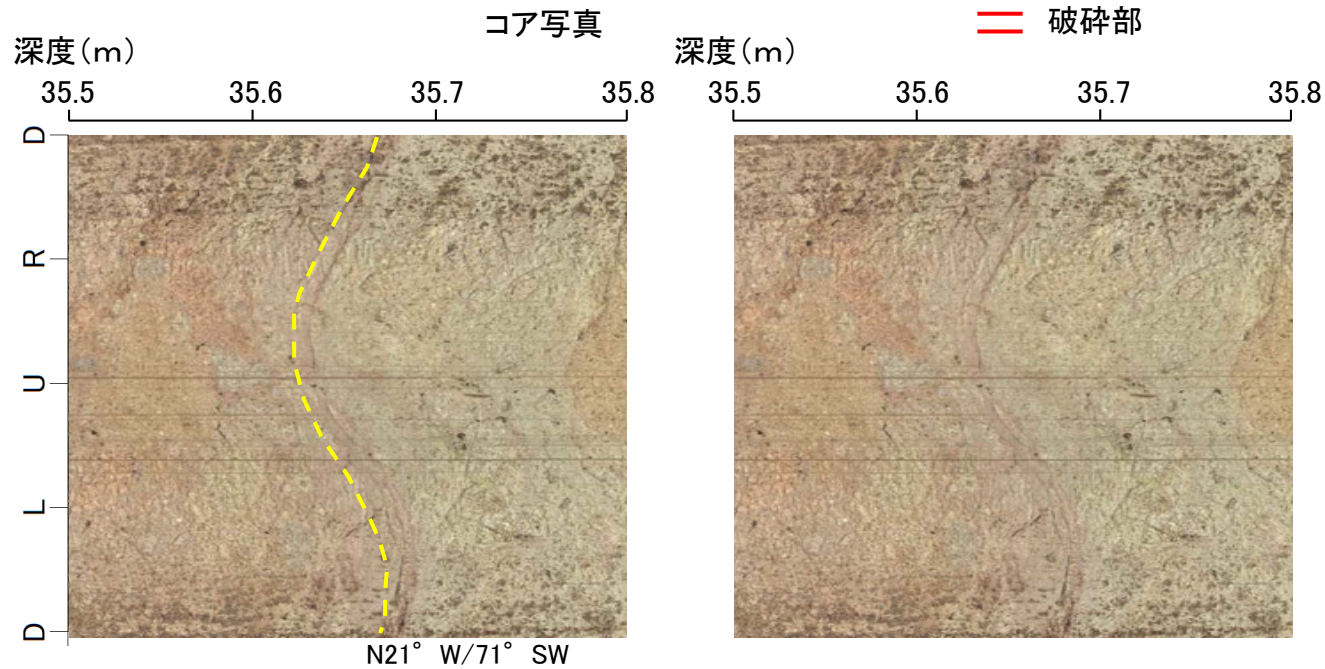
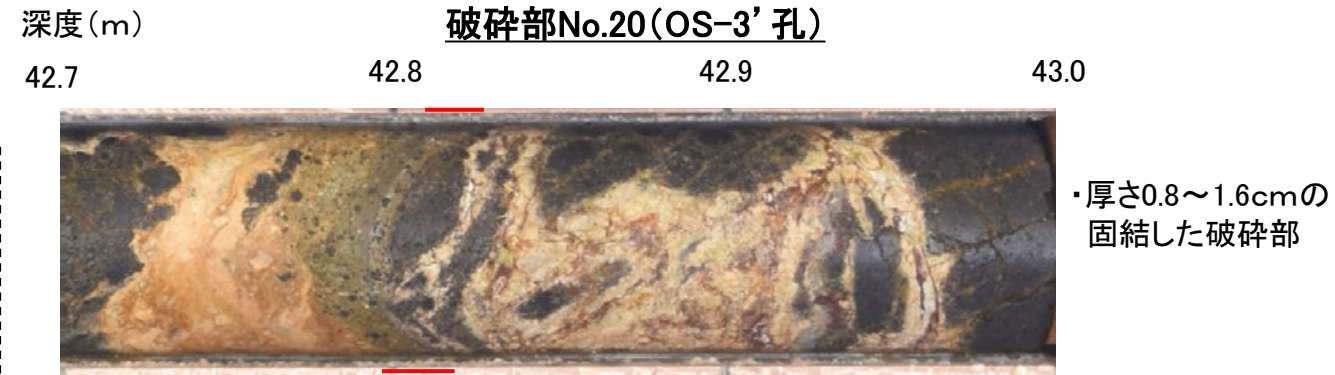
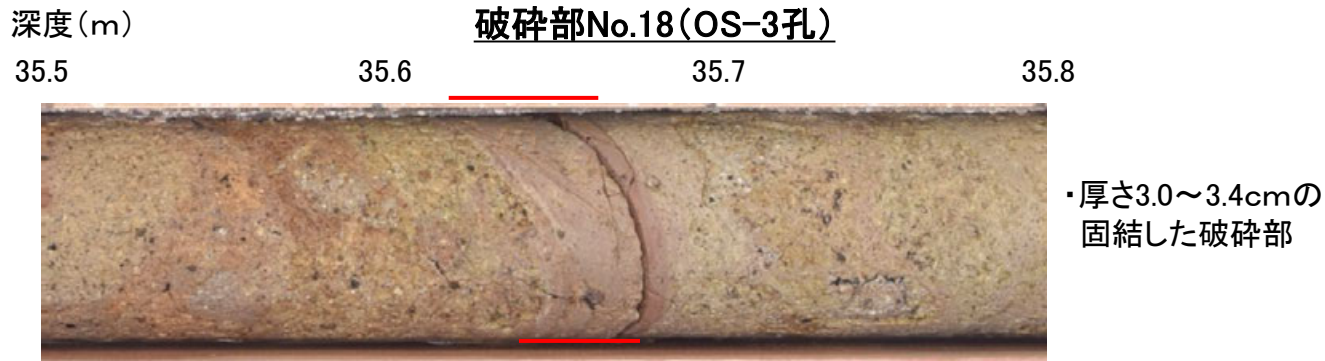
・厚さ1.8~3.2cmの灰白色の角礫状破砕部, 厚さ2.0~2.8cmの暗灰黄色の角礫状破砕部及び厚さ63cmの固結した破砕部



走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔(FD-6孔)の想定延長範囲(32.5~32.8m)に対応する破砕部が認められない。

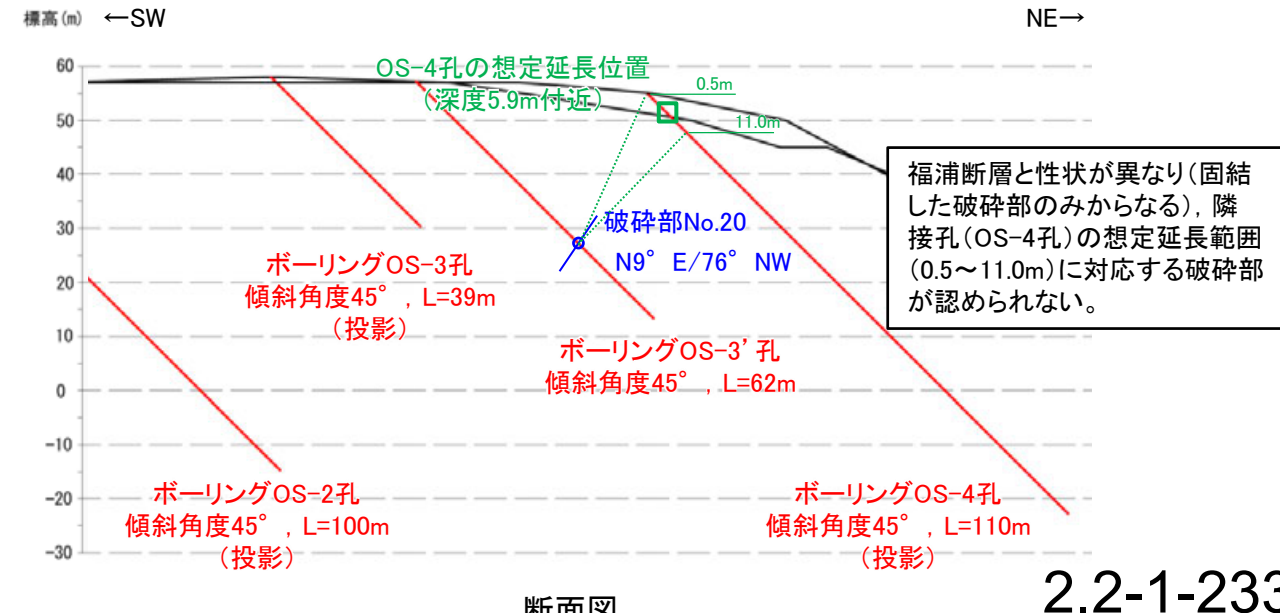
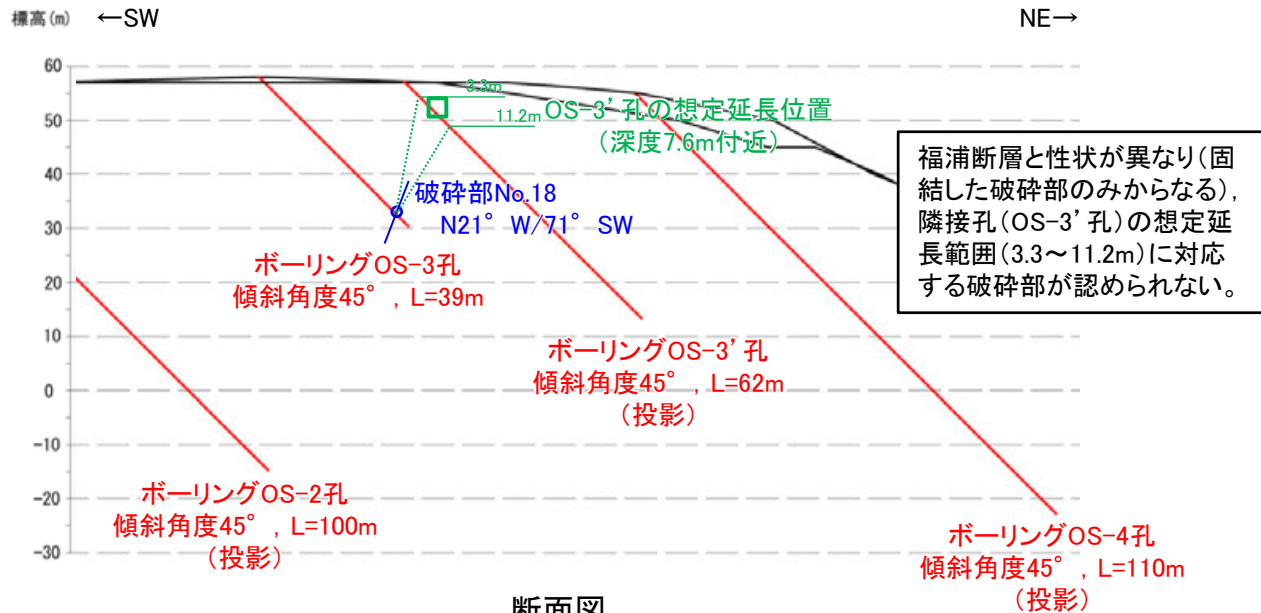
断面図

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-3孔, OS-3'孔) (1/1)】

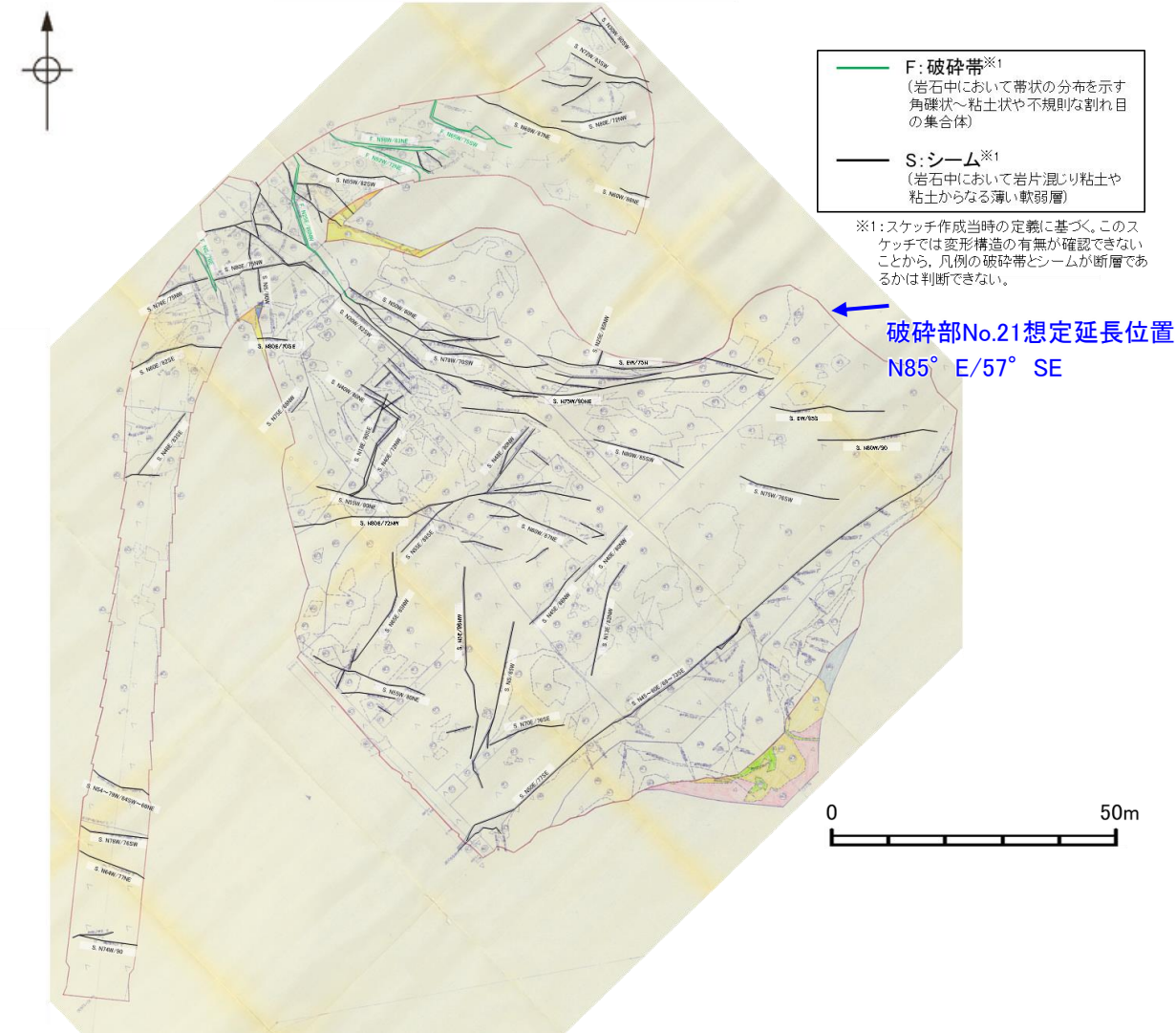
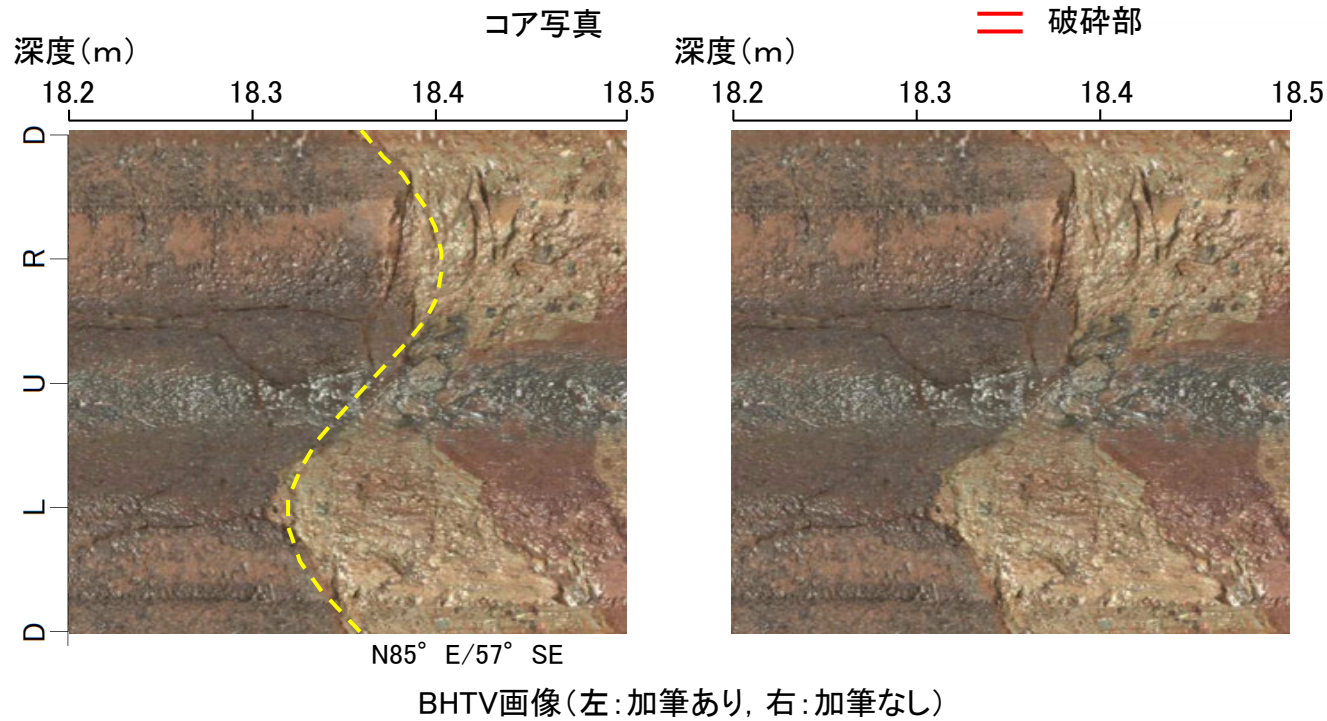
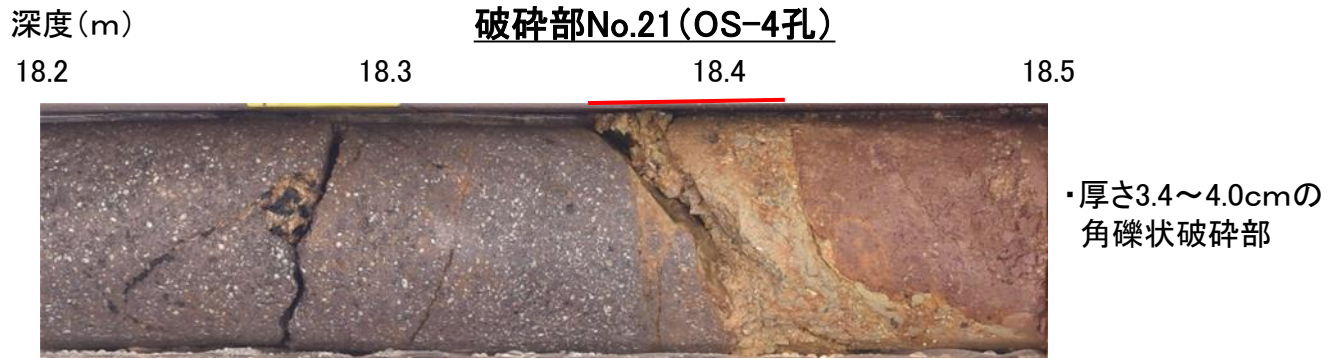


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



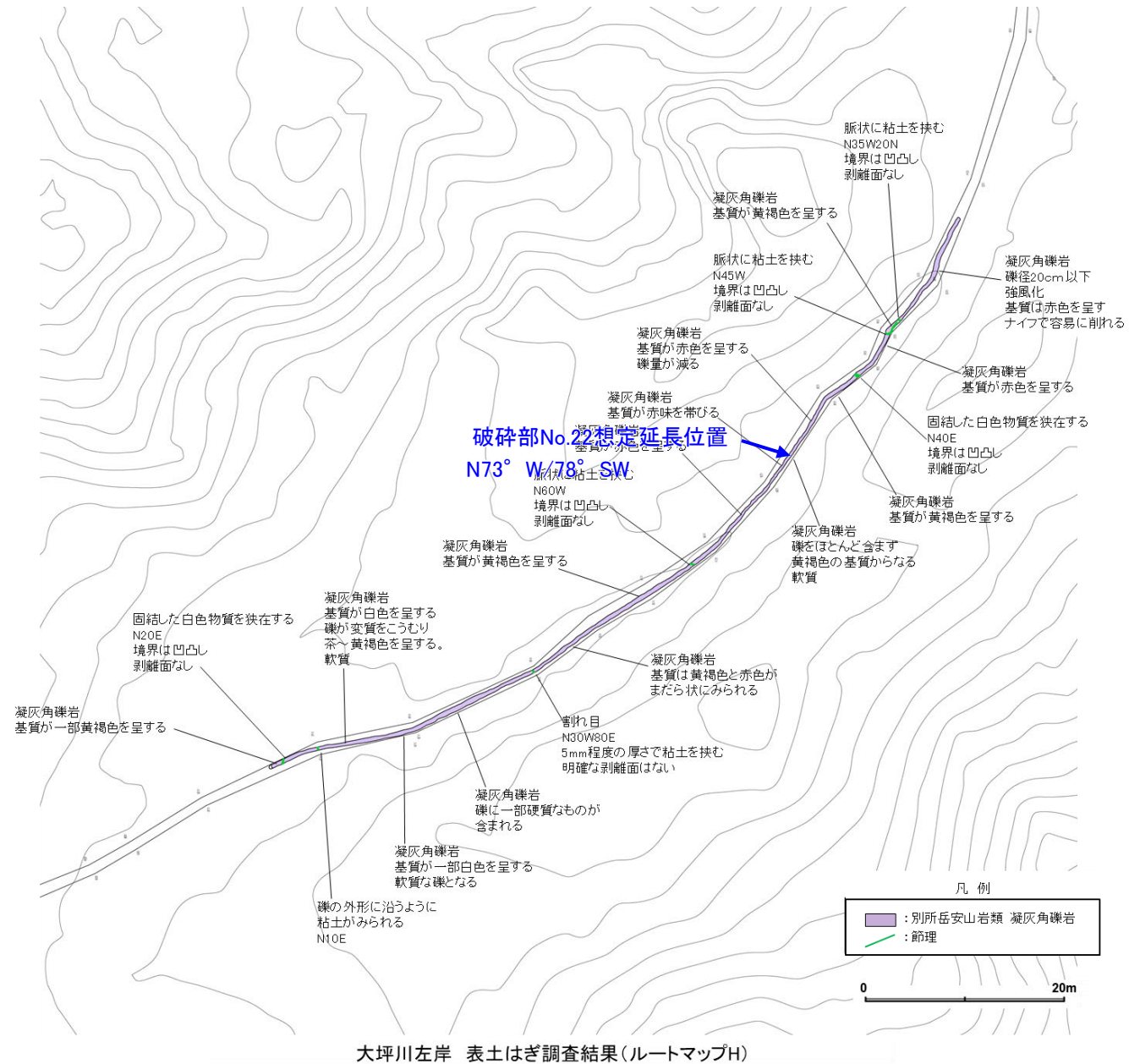
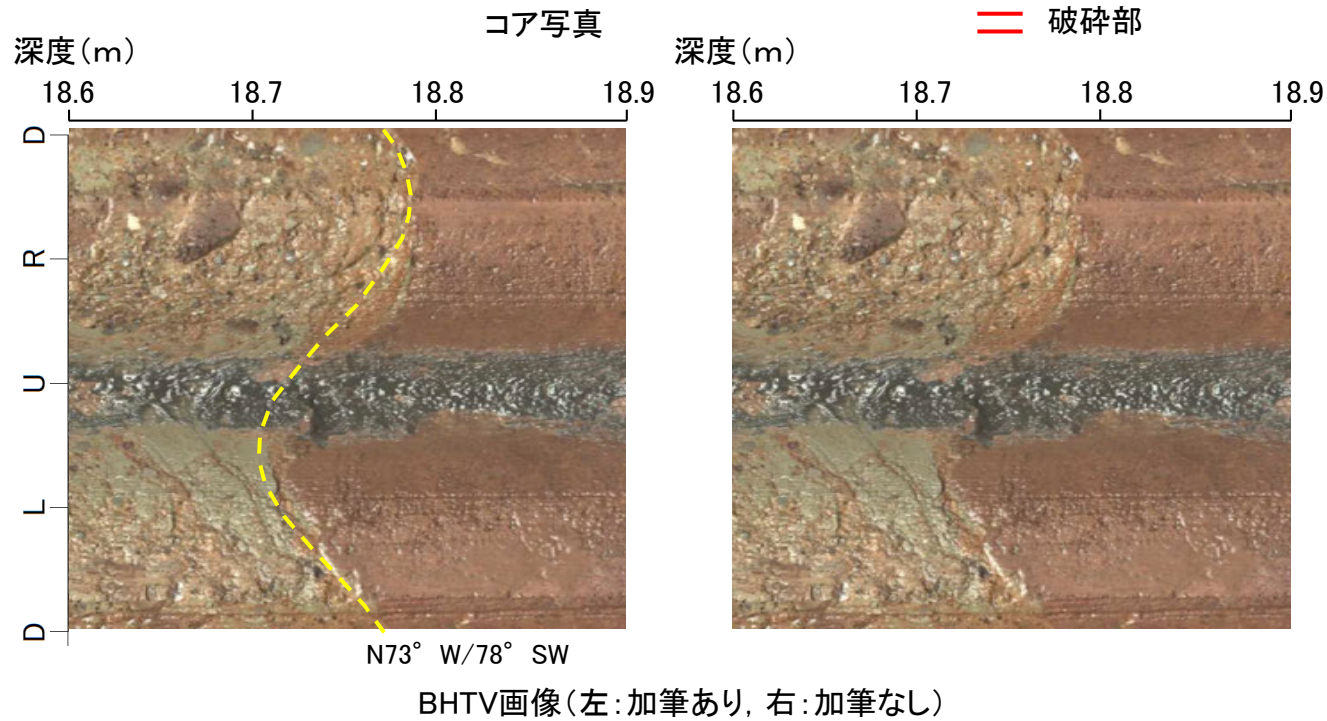
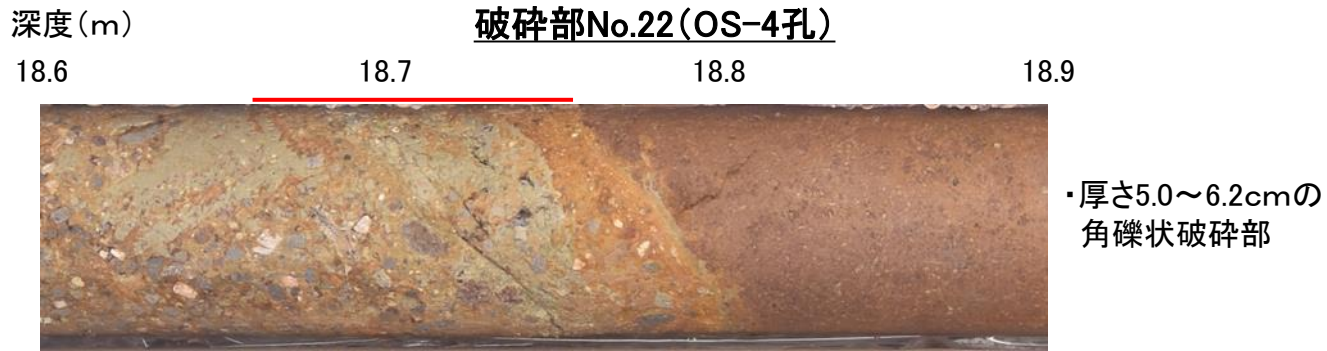
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (1/24)】



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

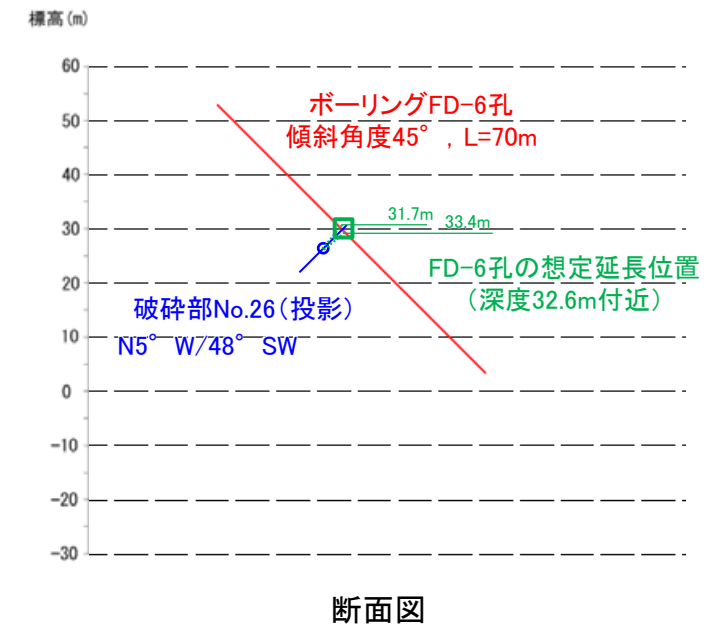
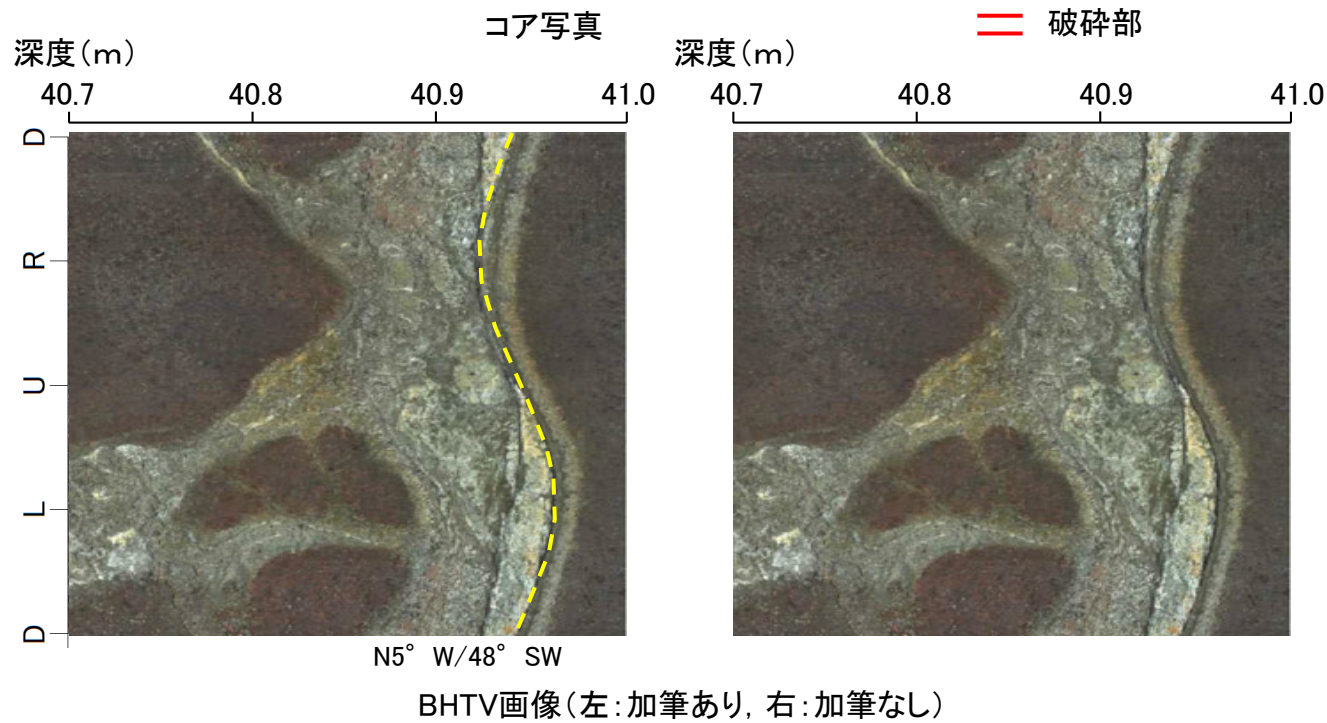
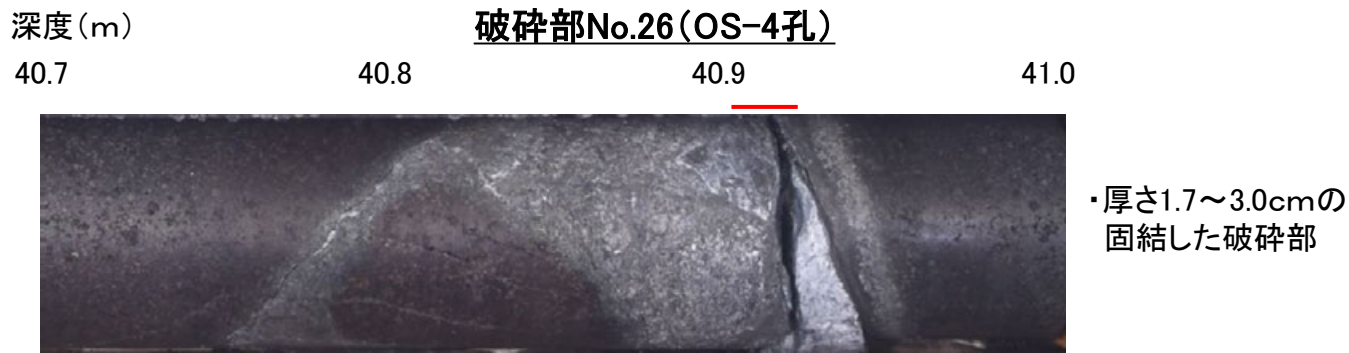
走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム  
基礎掘削面の想定延長位置に対応する破  
碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (2/24)】



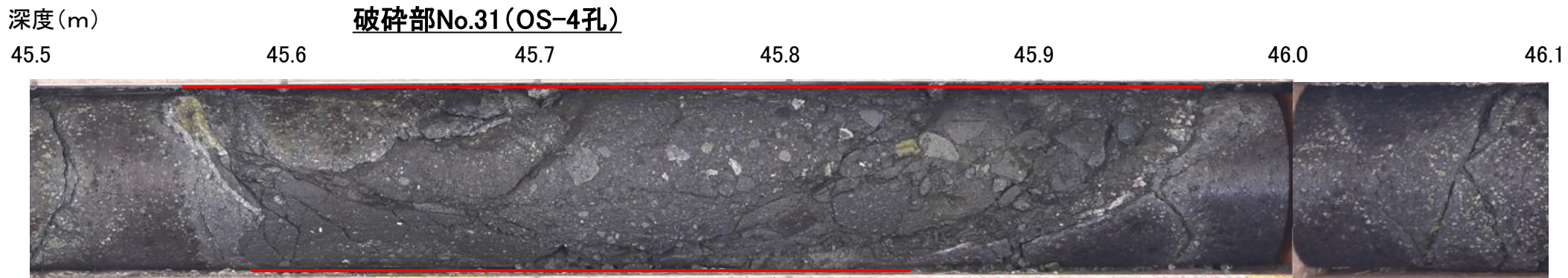
走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (3/24)】



走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔(FD-6孔)の想定延長範囲(31.7~33.4m)に対応する破碎部が認められない。

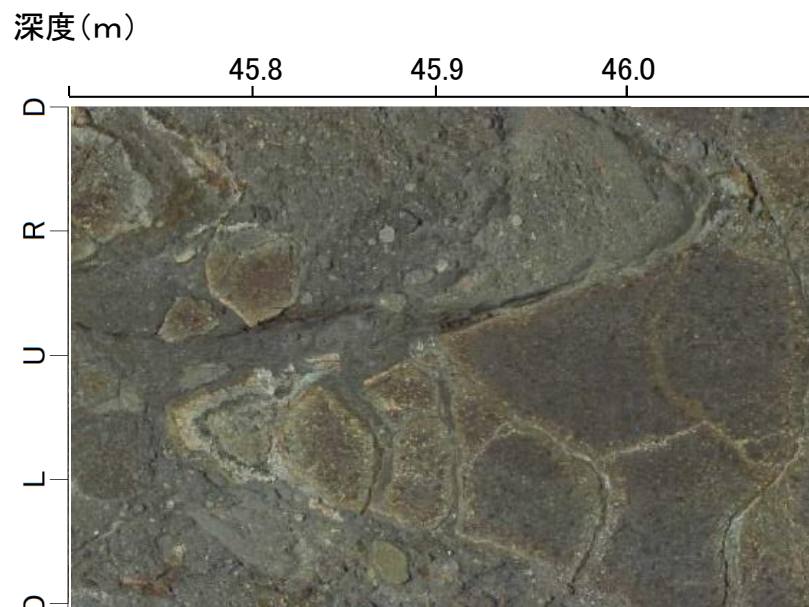
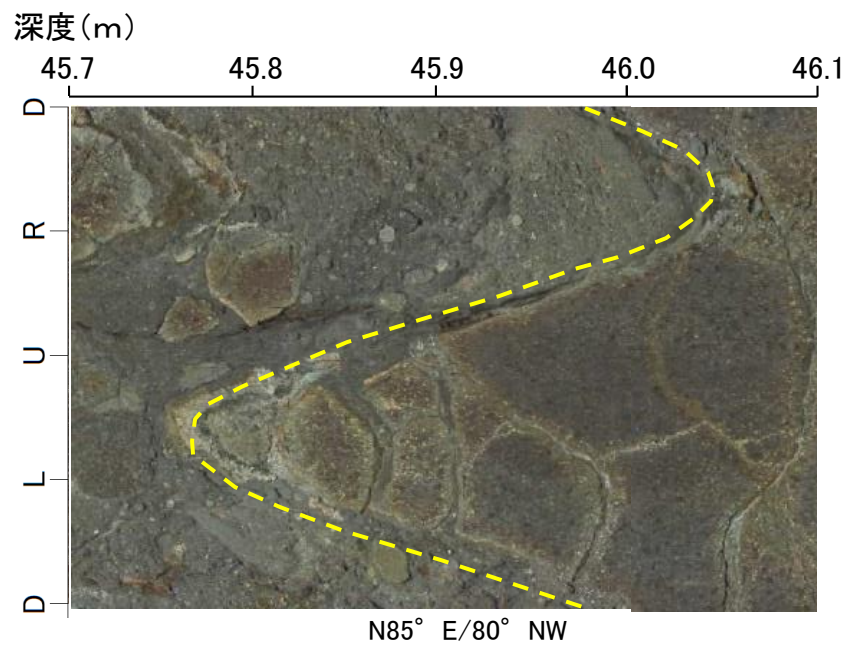
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (4/24)】



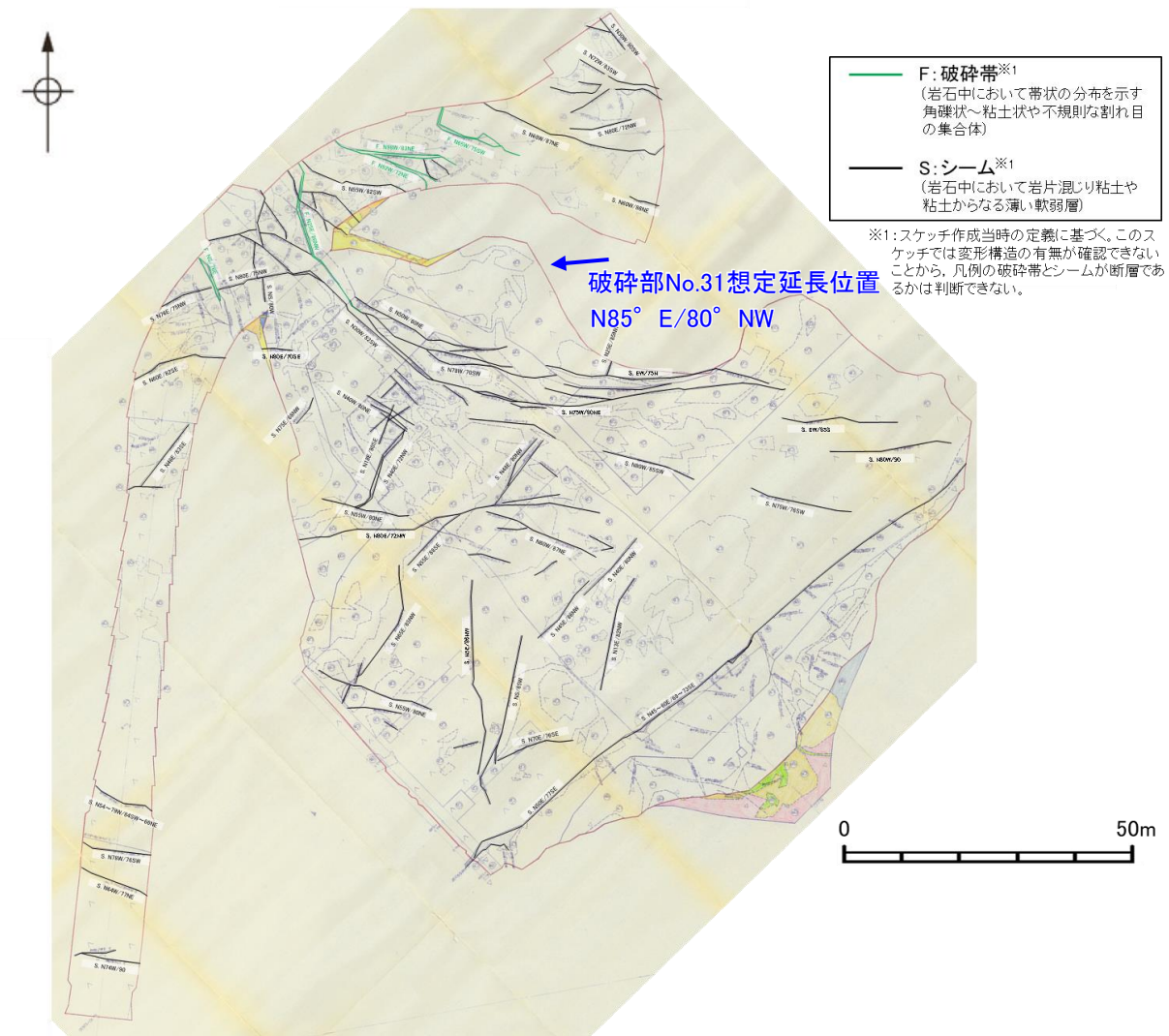
・厚さ1.3~1.8cmの粘土状破碎部及び厚さ7.9~13cmの固結した破碎部

== 破碎部

コア写真



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)



F: 破碎帯※1  
(岩石中において帯状の分布を示す角礫状~粘土状や不規則な割れ目の集合体)

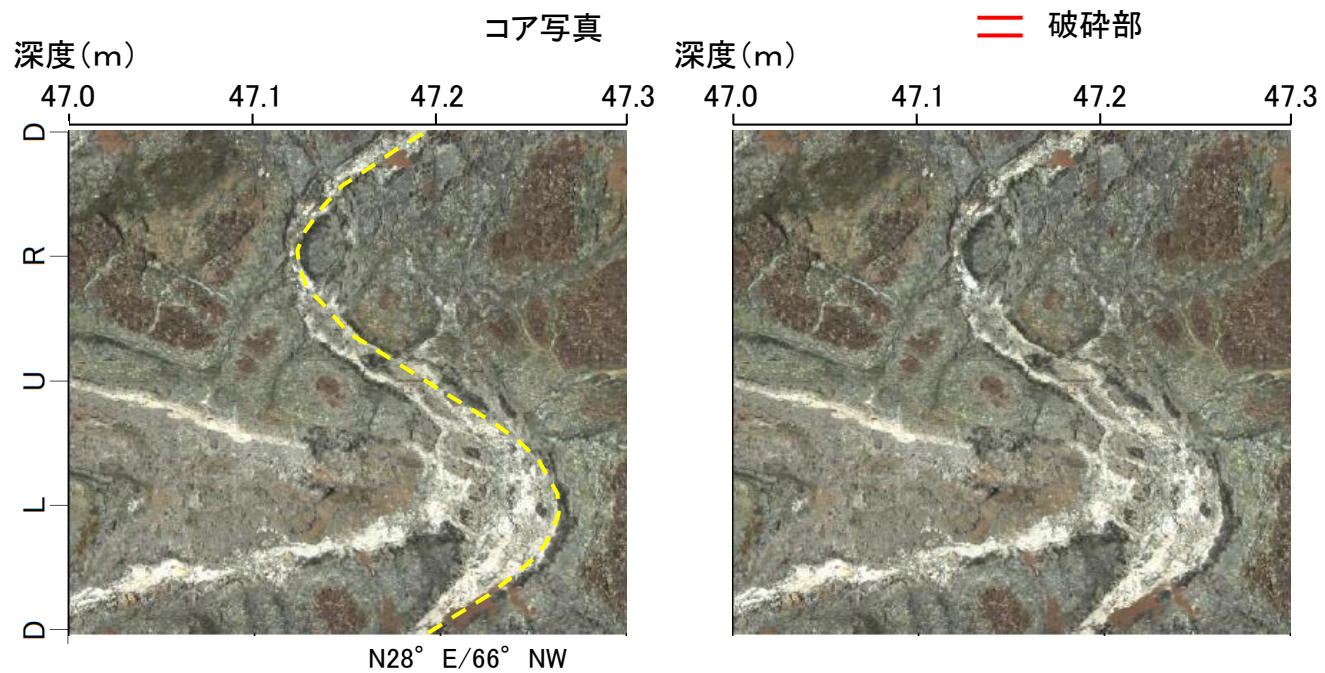
S: シーム※1  
(岩石中において岩片混じり粘土や粘土からなる薄い軟弱層)

※1: スケッチ作成当時の定義に基づく、このスケッチでは変形構造の有無が確認できないことから、凡例の破碎帯とシームが断層であるかは判断できない。

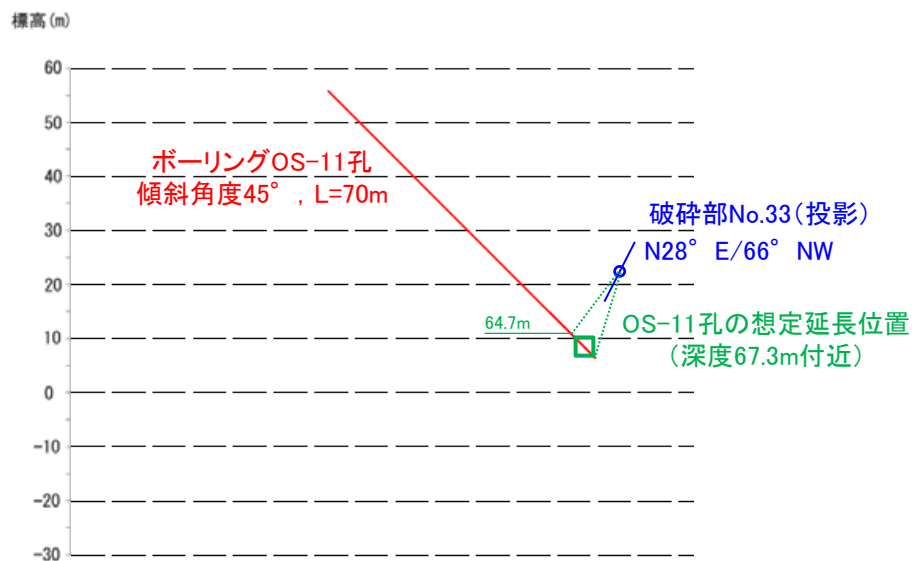
走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (5/24)】

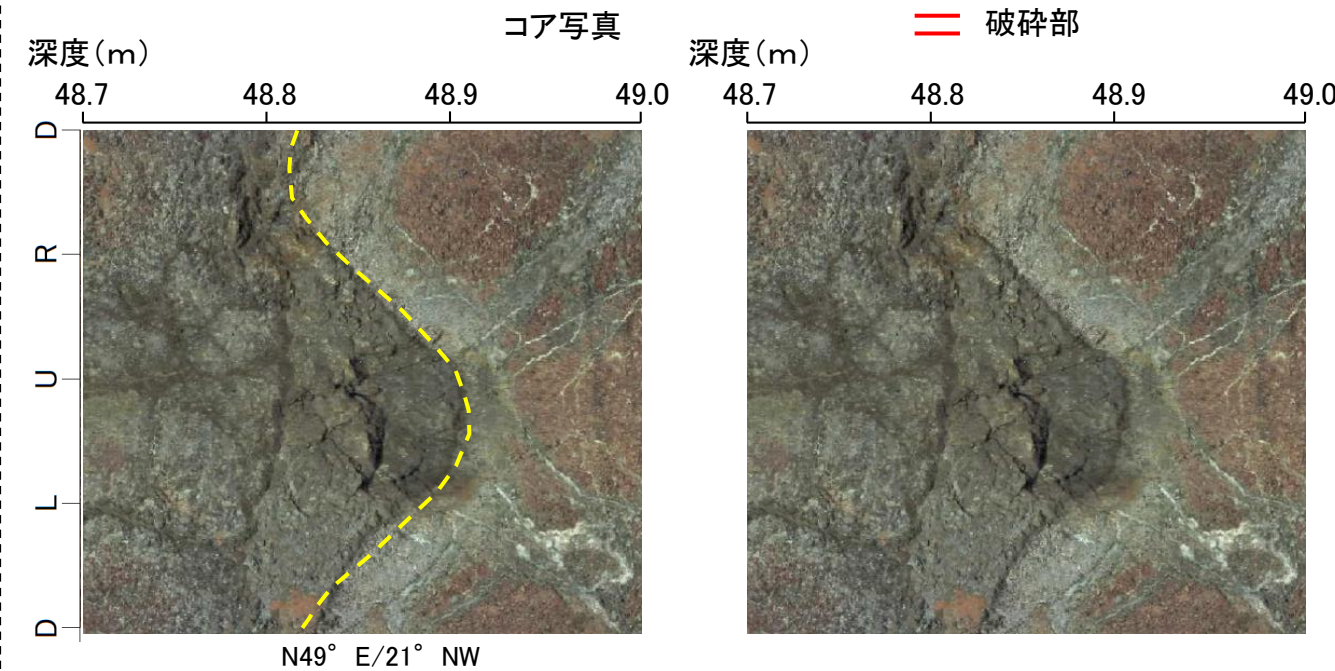
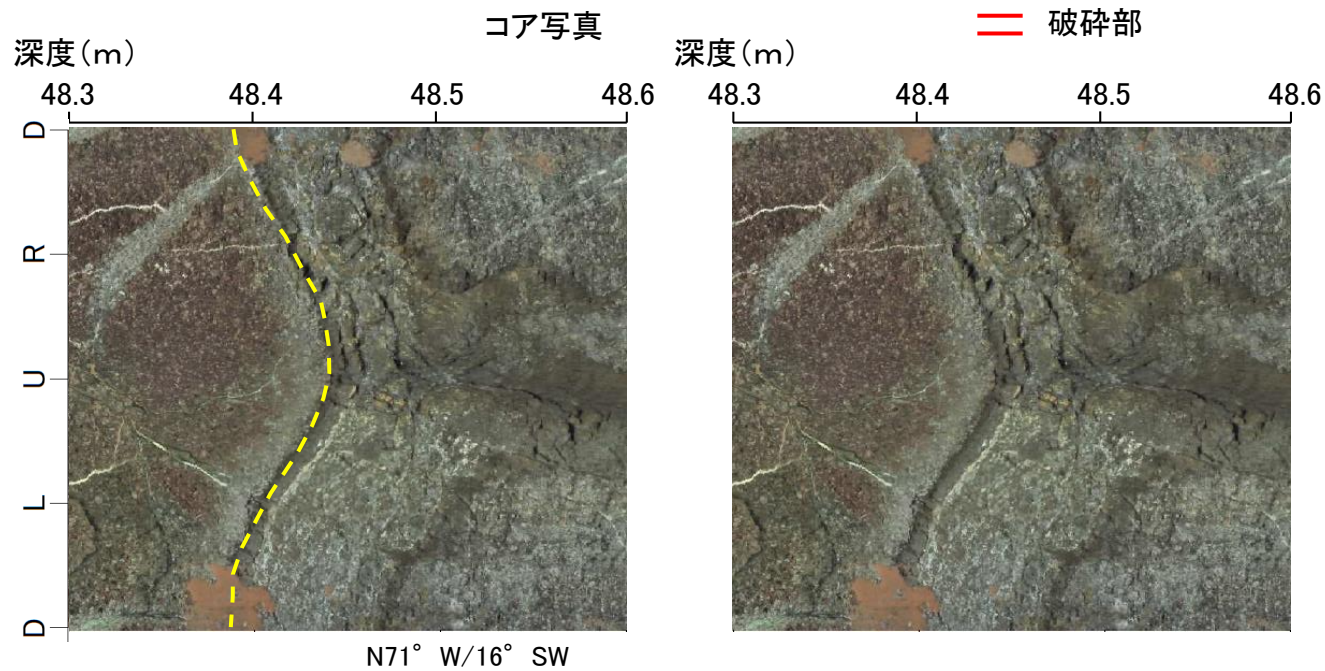
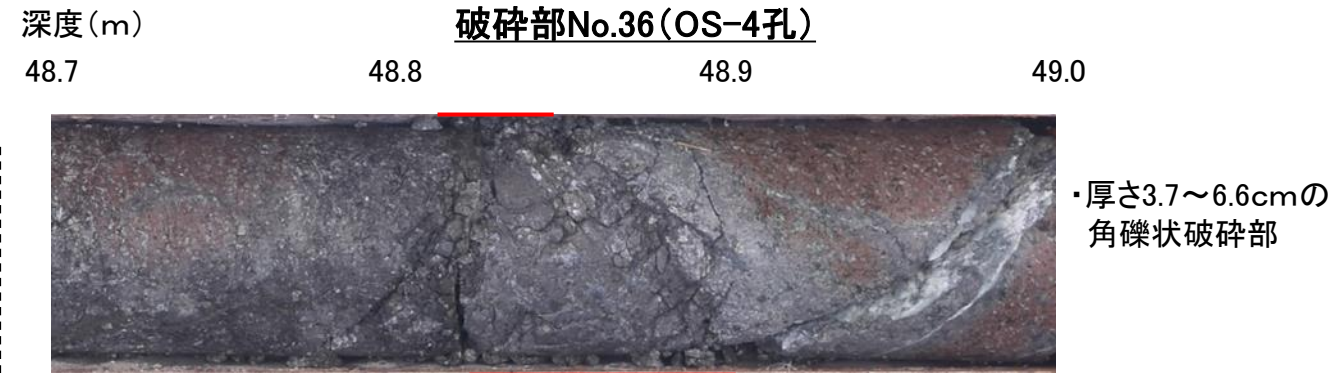
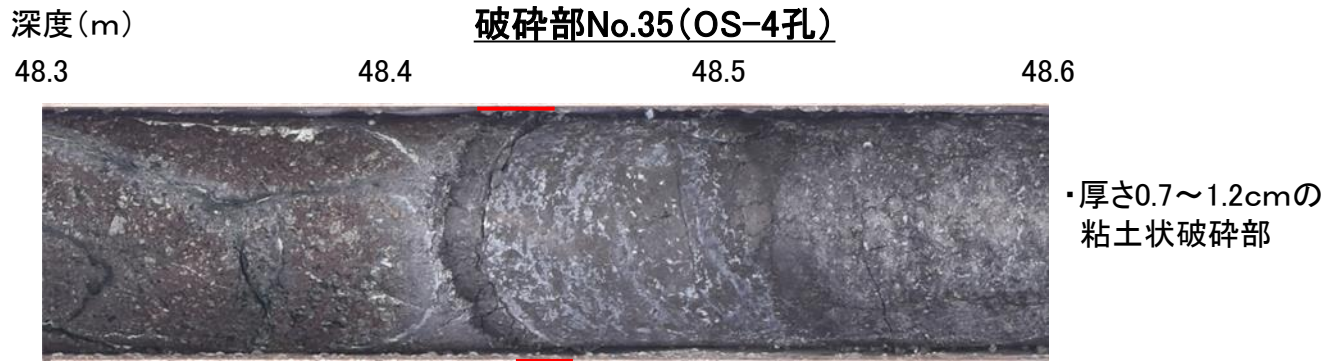


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



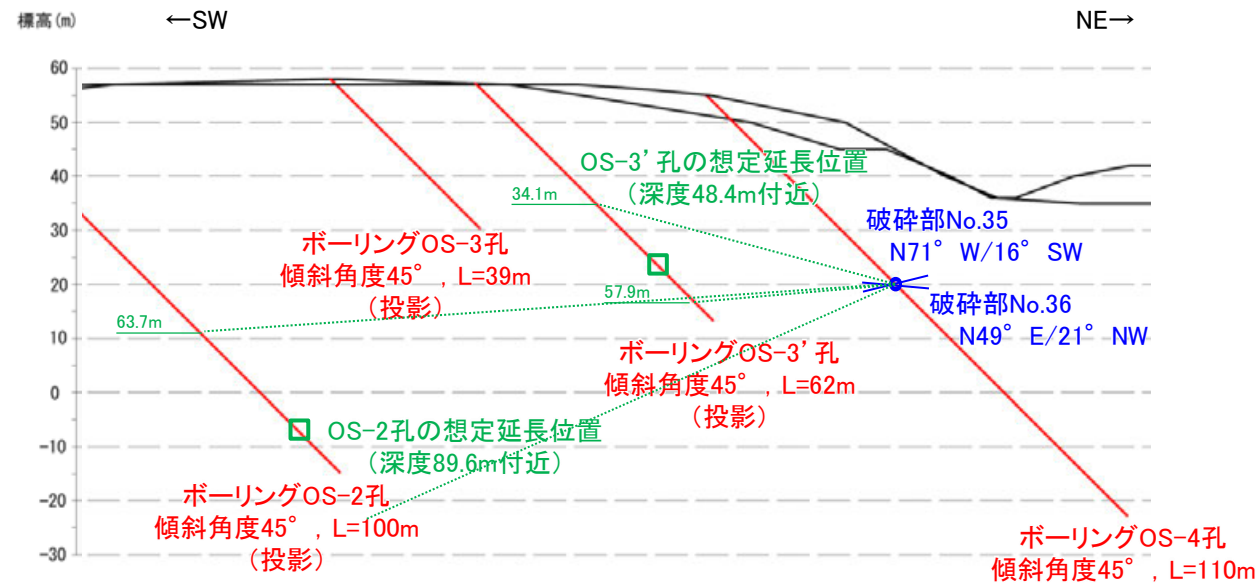
福浦断層と性状が異なり(固結した破碎部のみからなる), 隣接孔(OS-11孔)の想定延長範囲(64.7~70.0m)に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (6/24)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

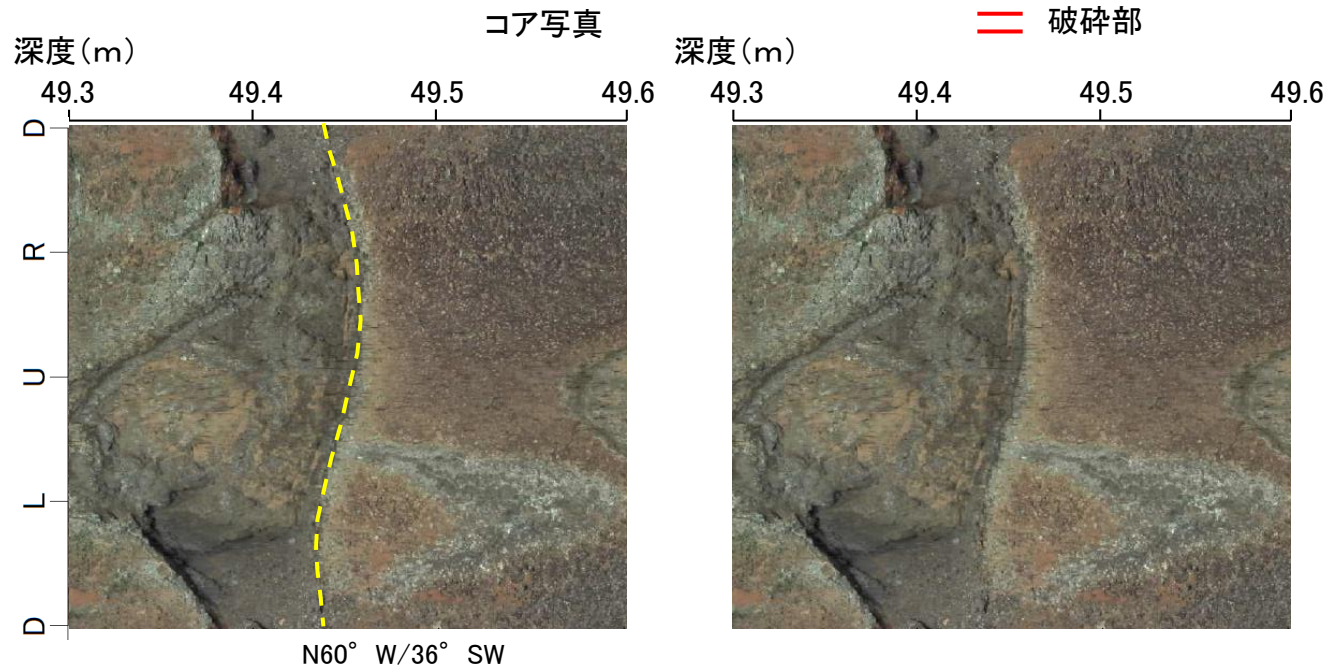
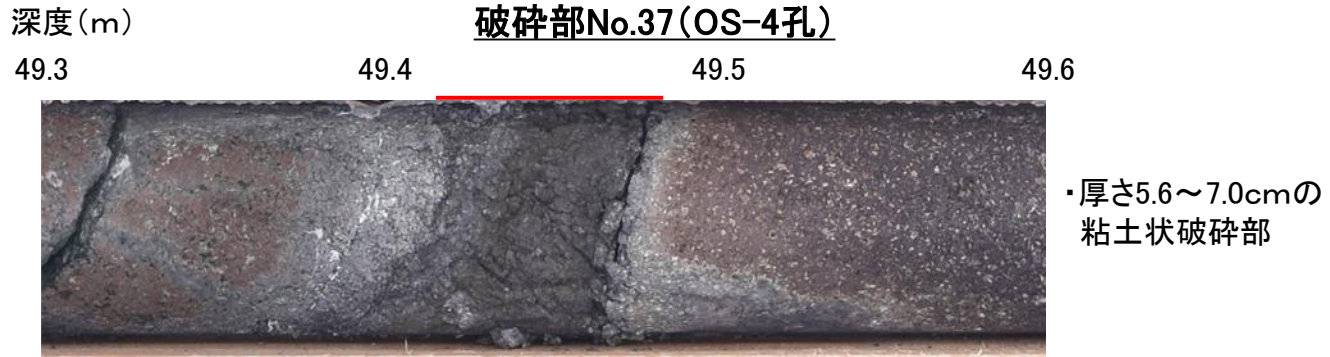
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



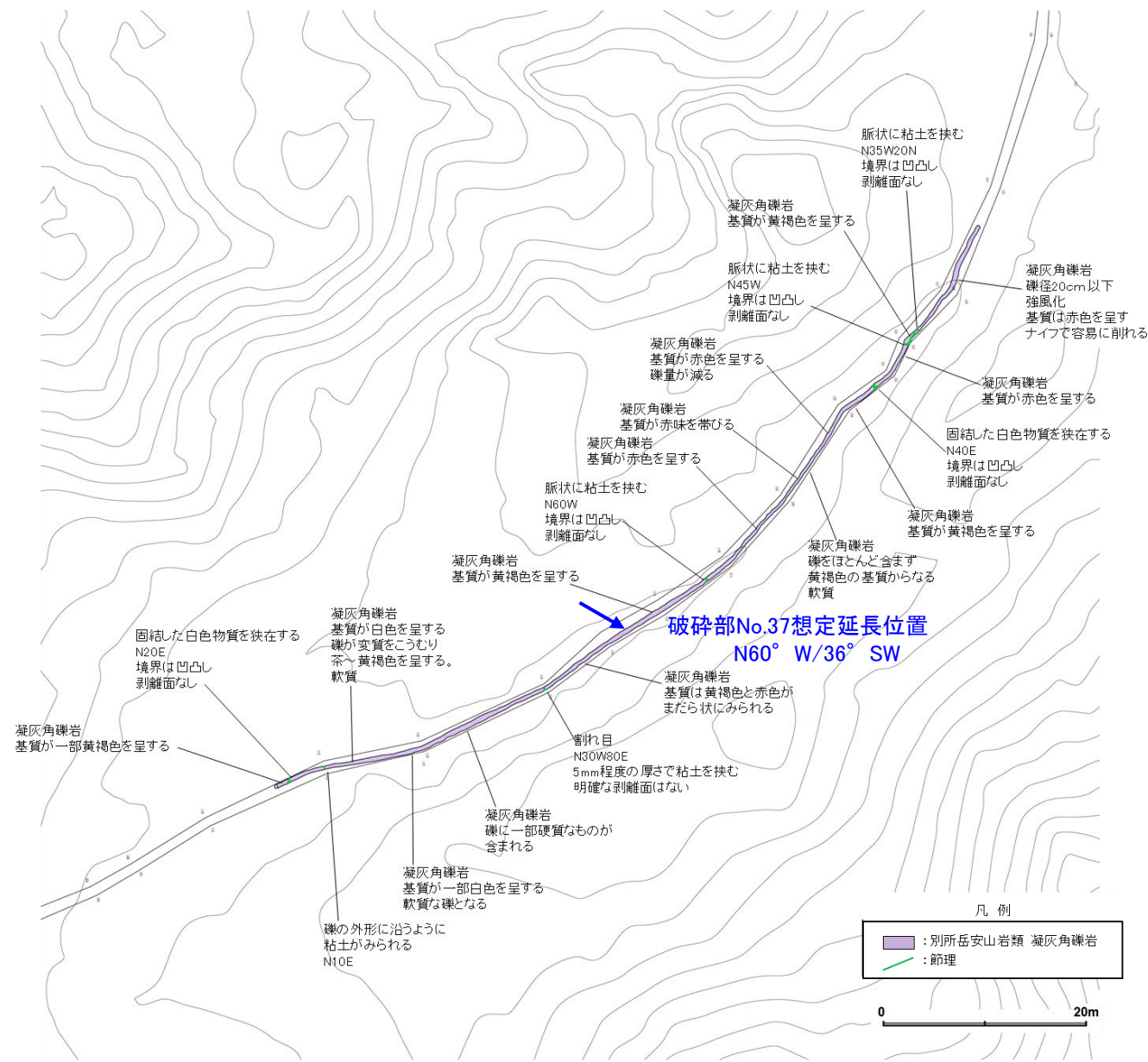
破碎部No.35は、走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-2孔)の想定延長範囲(63.7~100.0m)に対応する破碎部が認められない。

破碎部No.36は、走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-3'孔)の想定延長範囲(34.1~57.9m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (7/24)】

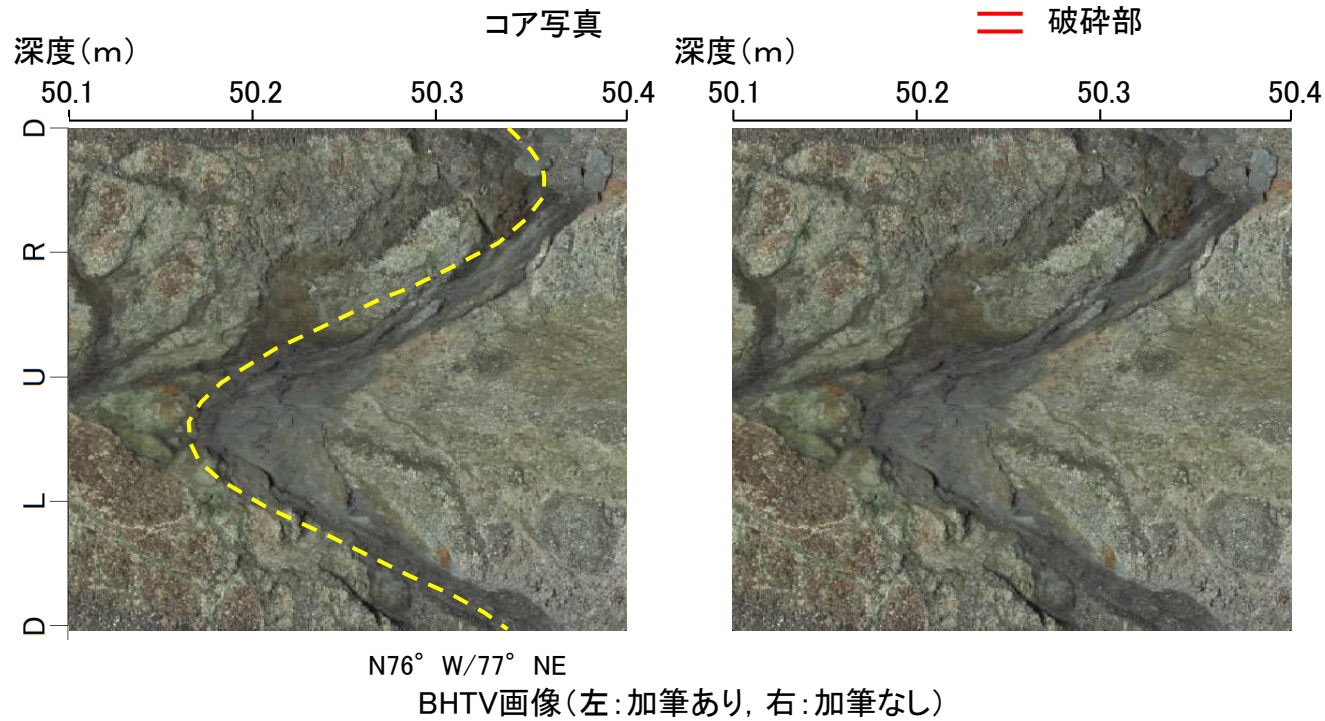
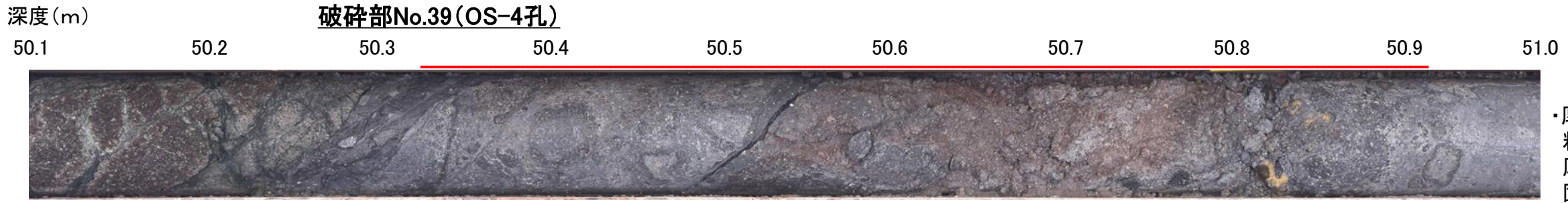


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

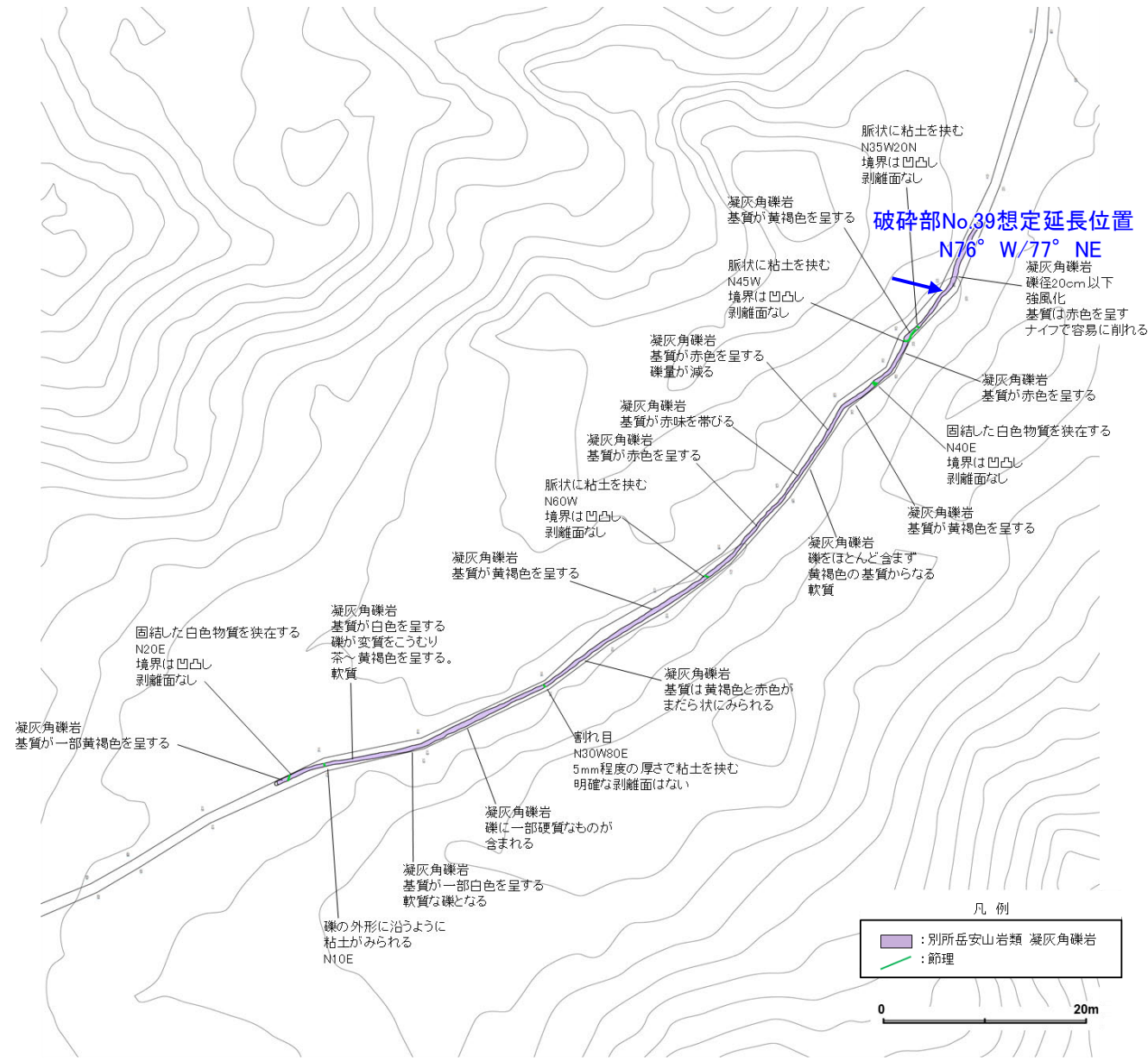


走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-4孔) (8/24)】

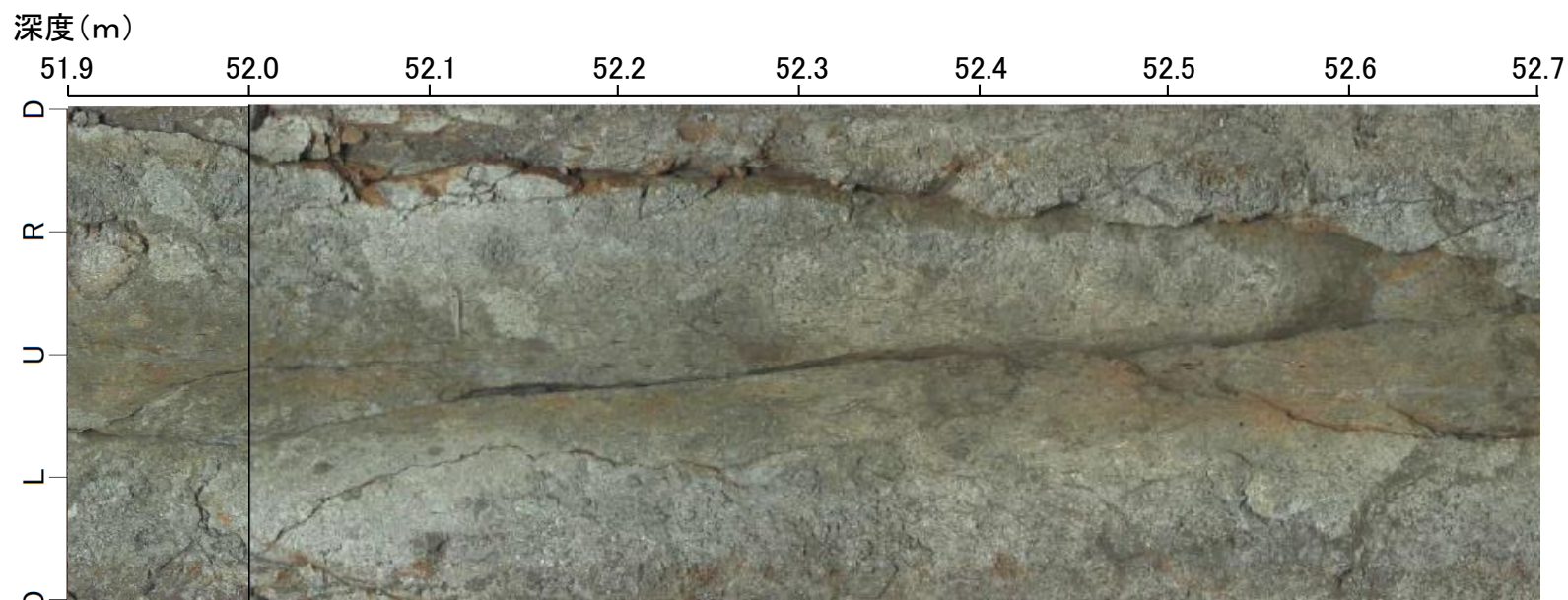
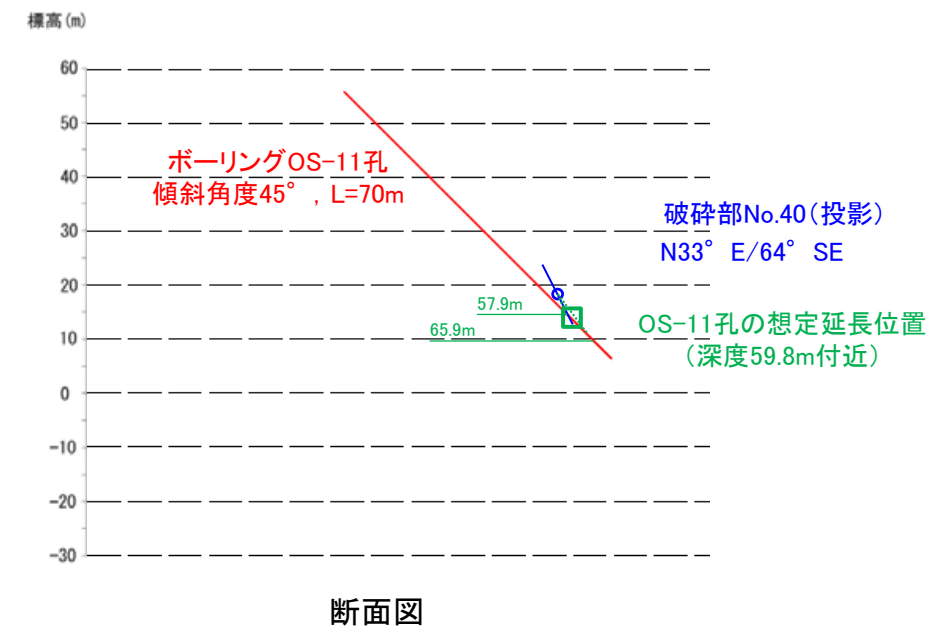
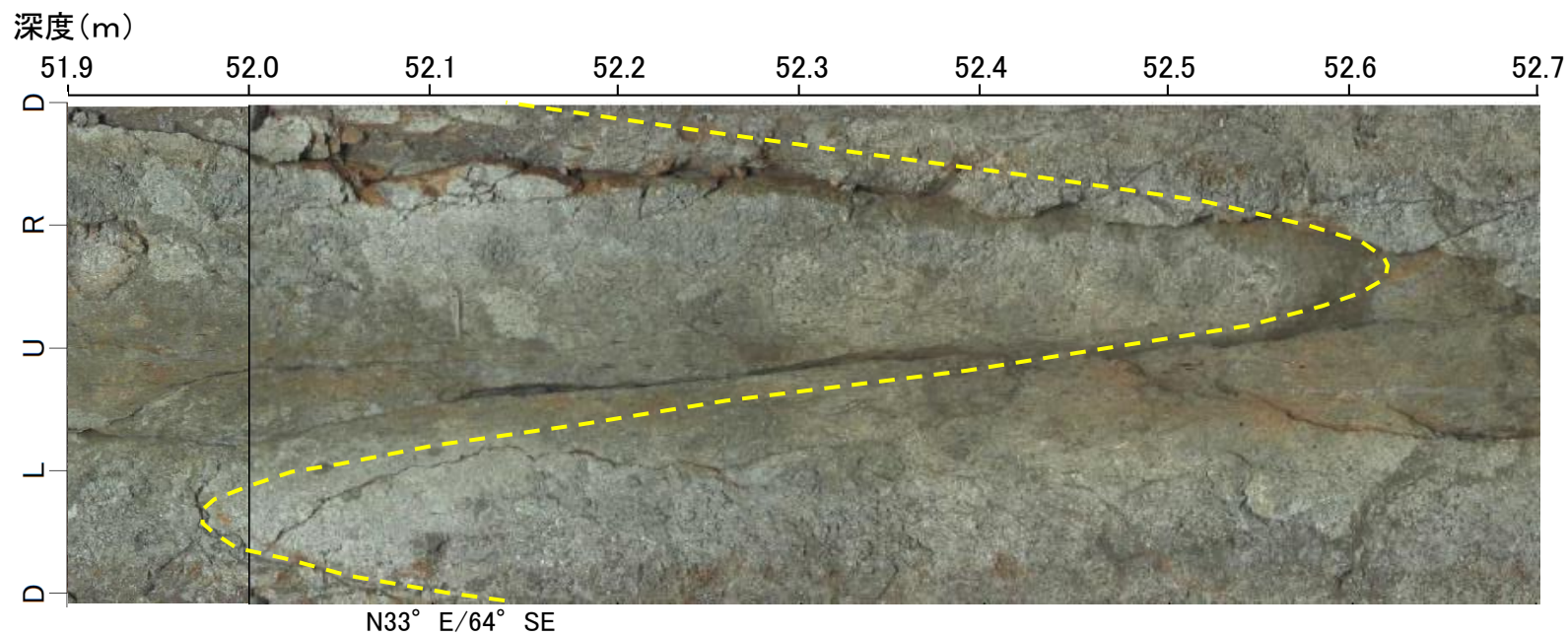
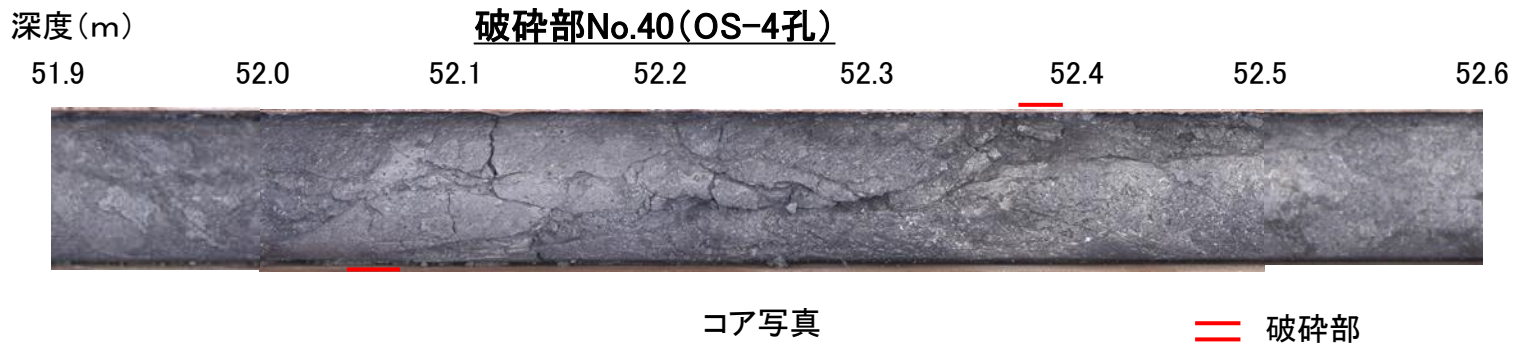


走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破砕部が認められない。



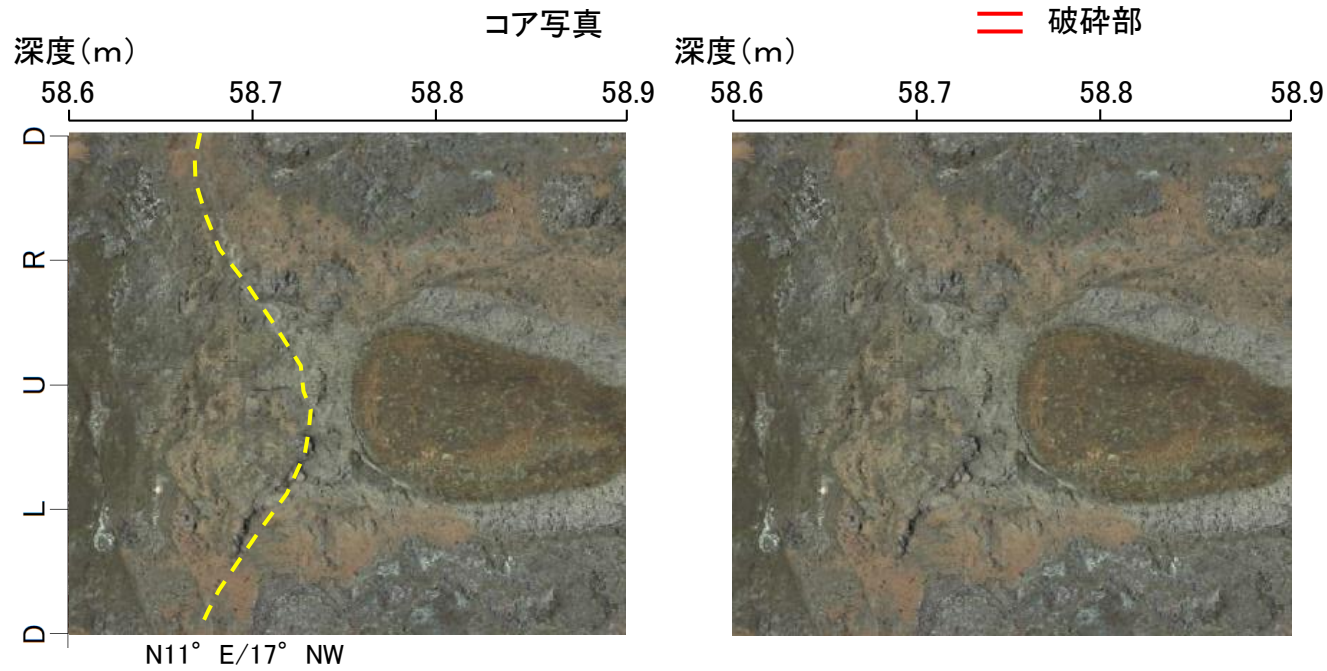
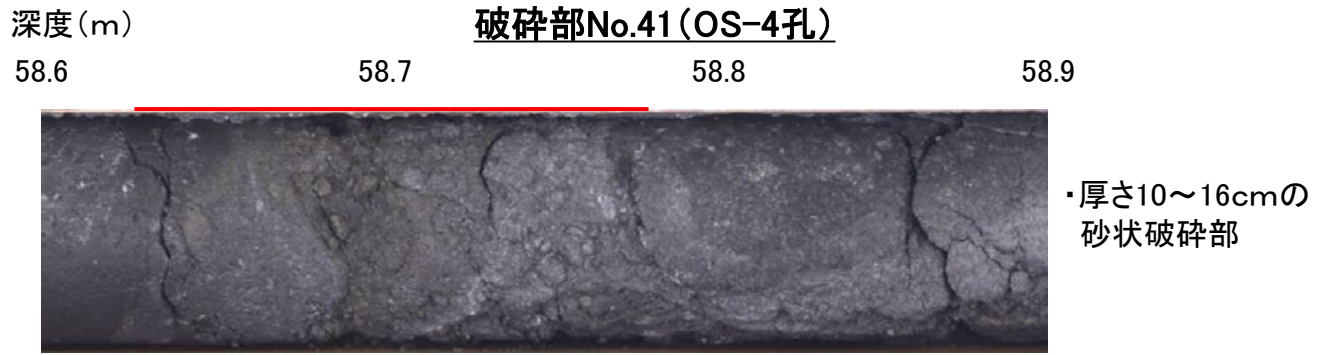
大坪川左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップH)

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (9/24)】

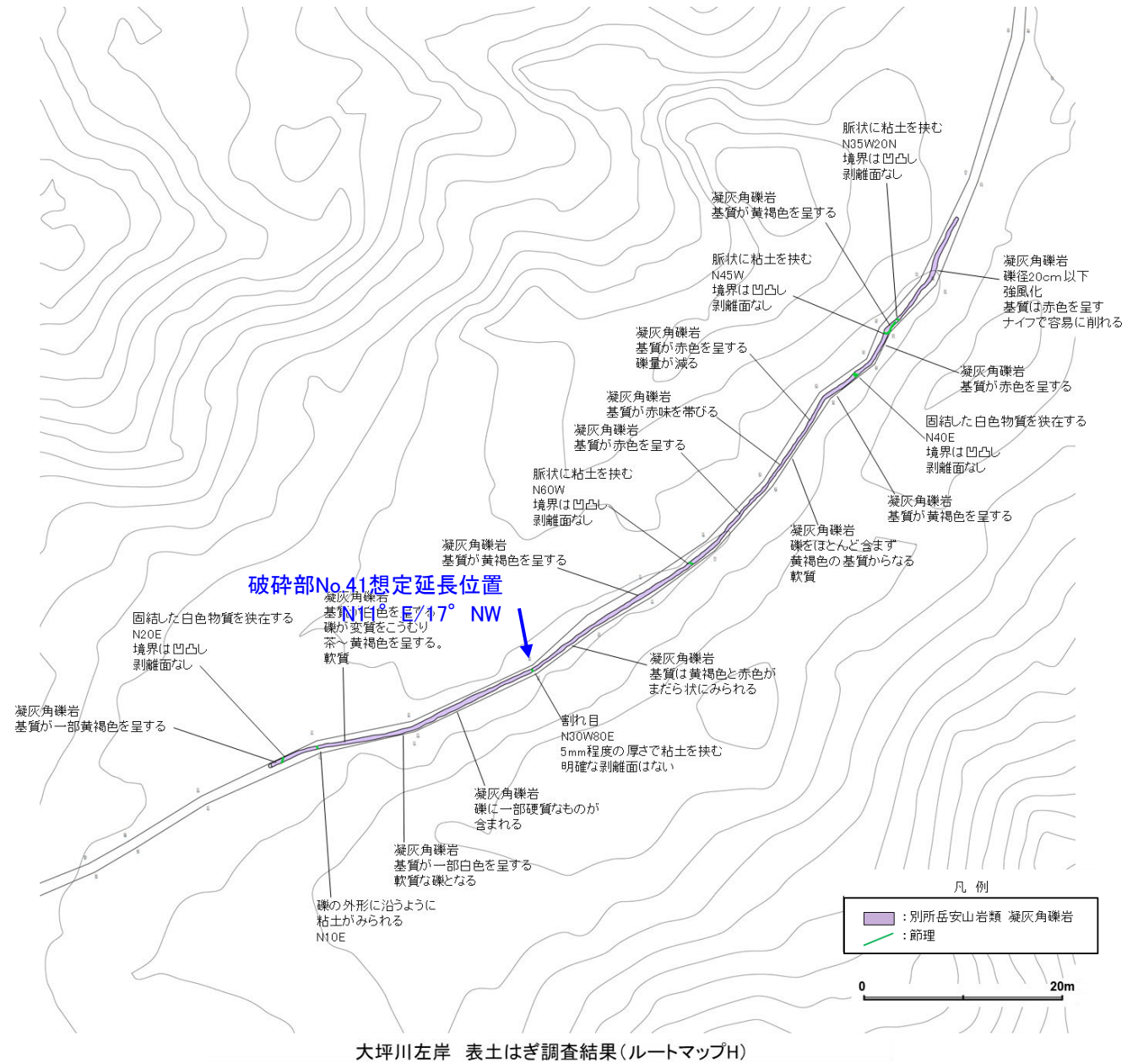


走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-11孔)の想定延長範囲(57.9~65.9m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (10/24)】

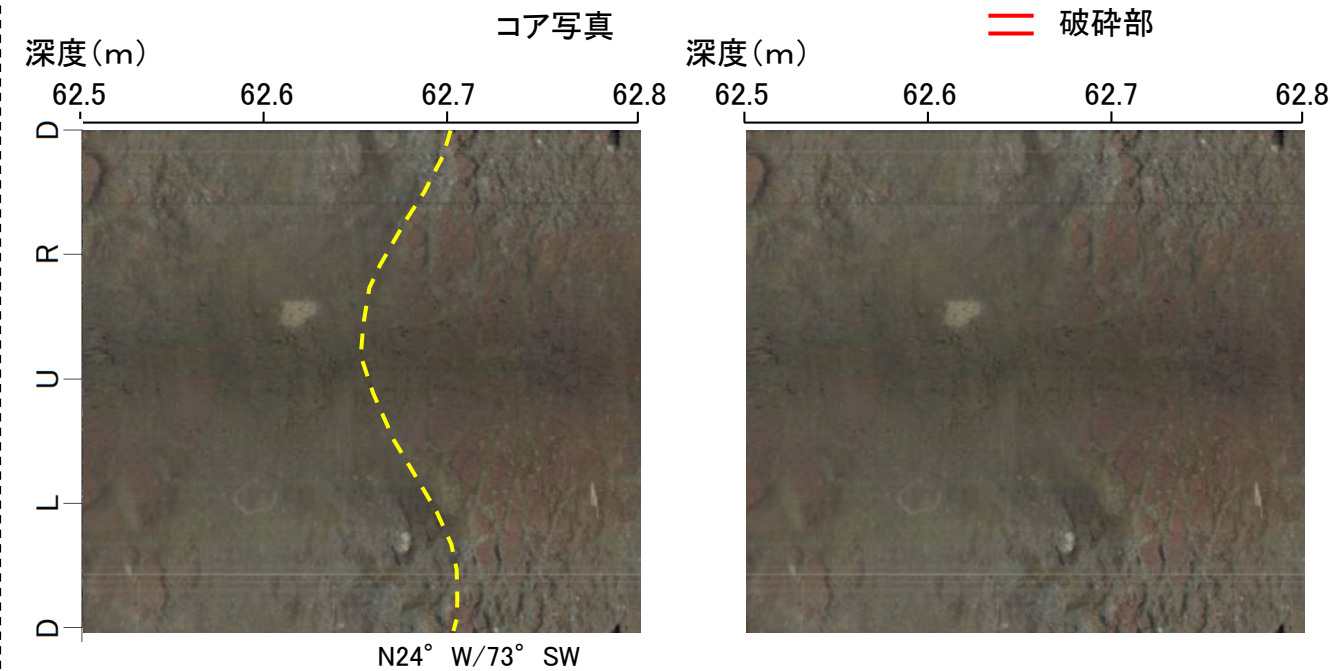
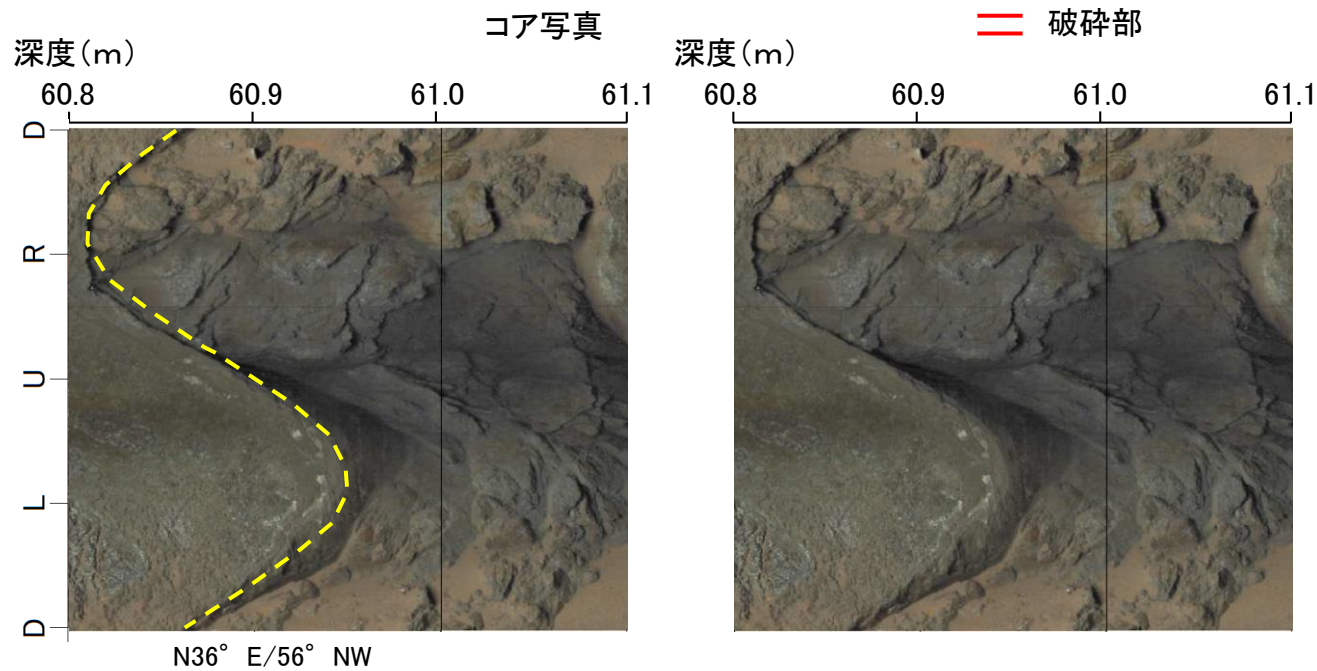
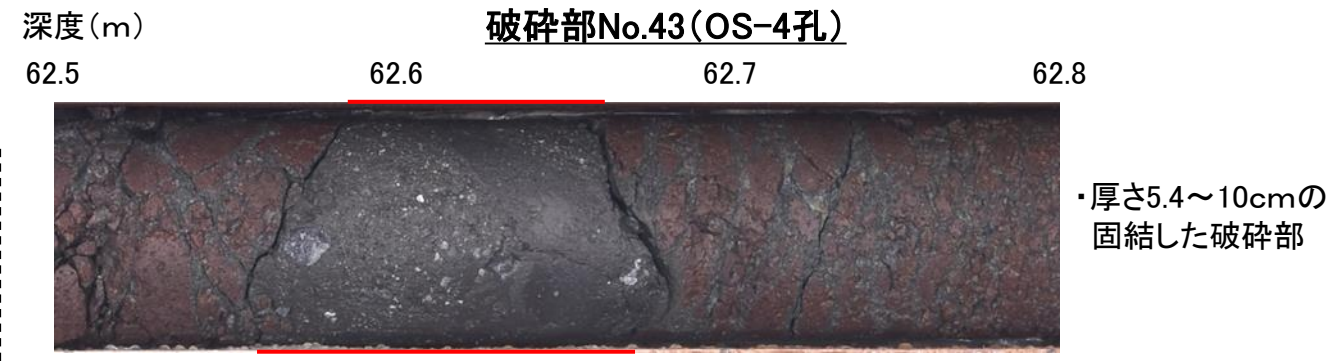
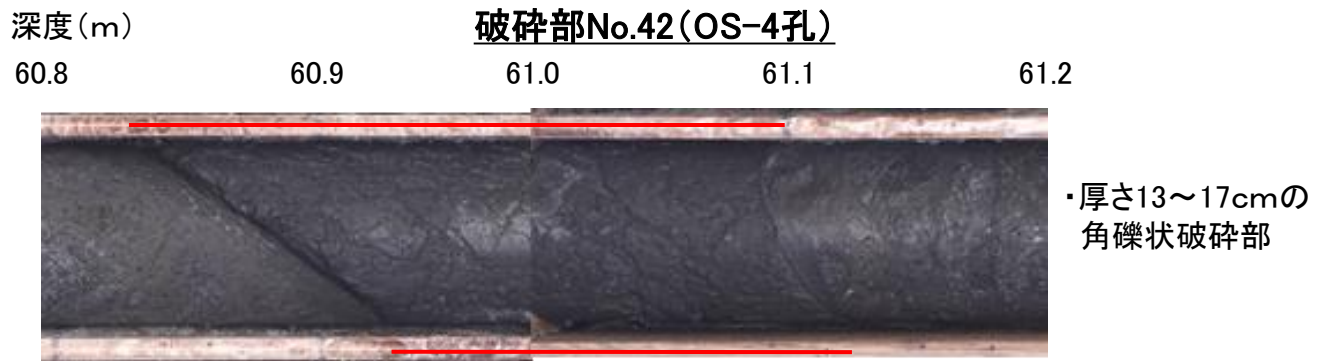


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



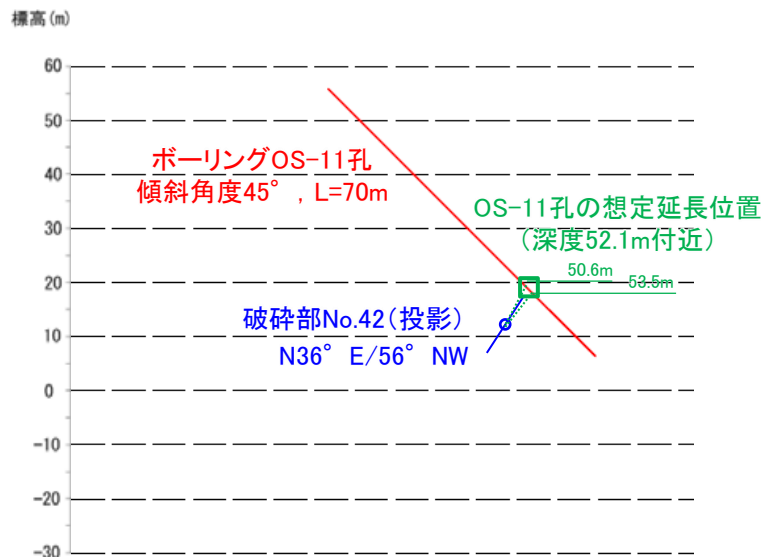
走向・傾斜が福浦断層と異なり, ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (11/24)】



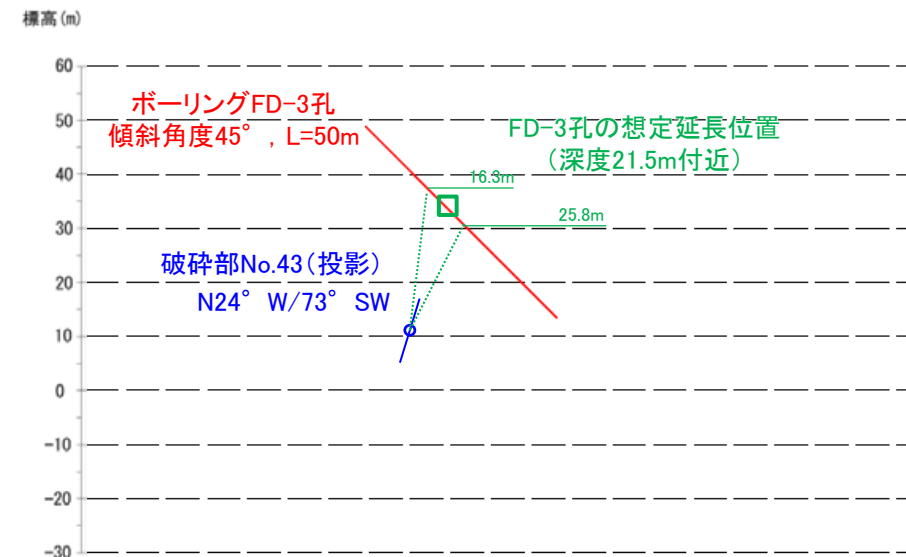
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-11孔)の想定延長範囲(50.6~53.5m)に対応する破碎部が認められない。

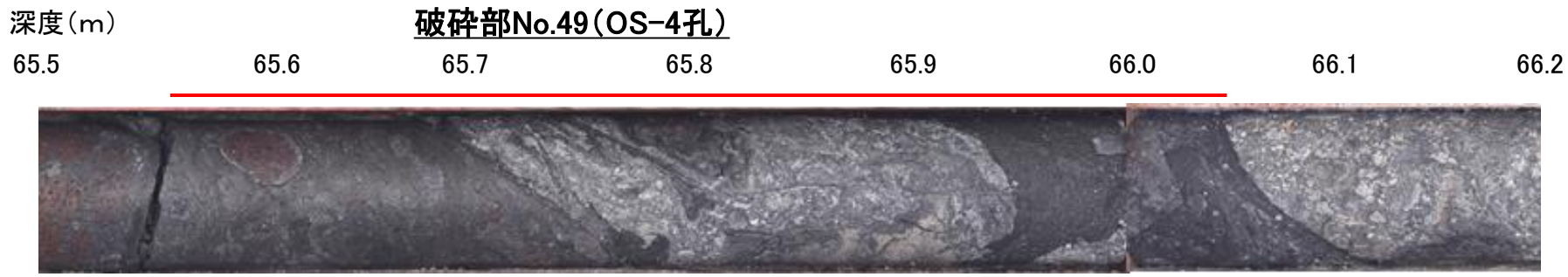
断面図



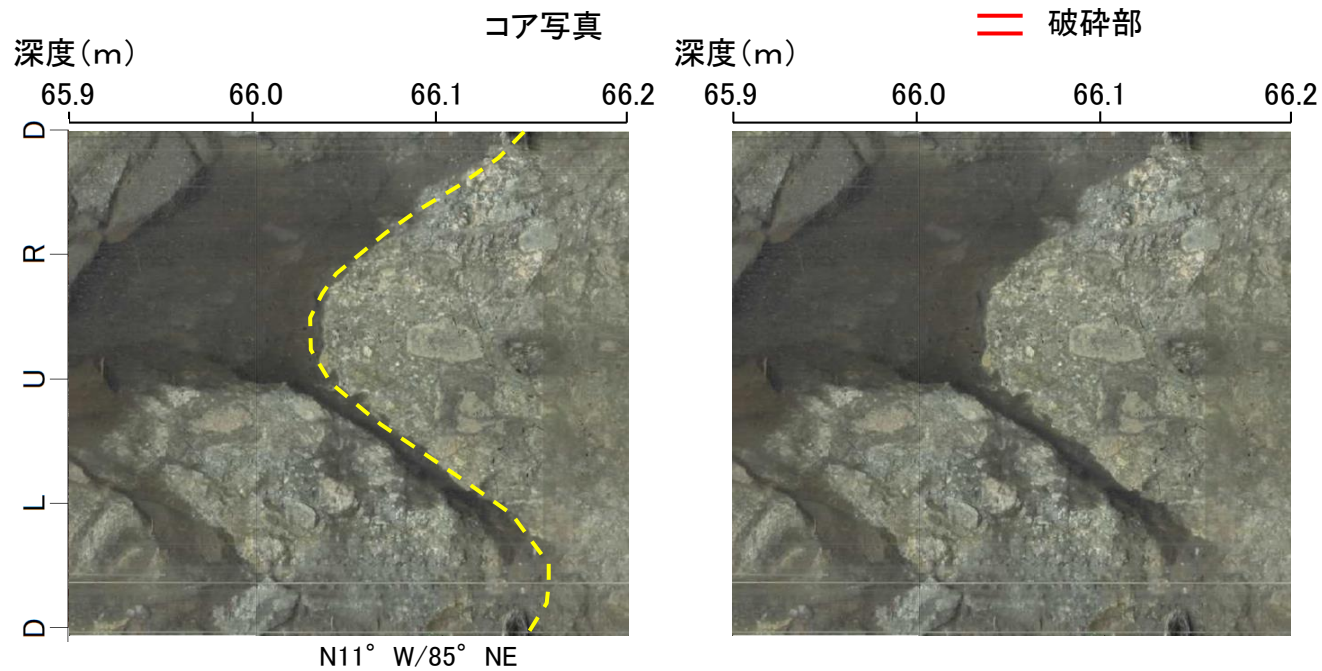
福浦断層と性状が異なり(固結した破碎部のみからなる)、隣接孔(FD-3孔)の想定延長範囲(16.3~25.8m)に対応する破碎部が認められない。

断面図

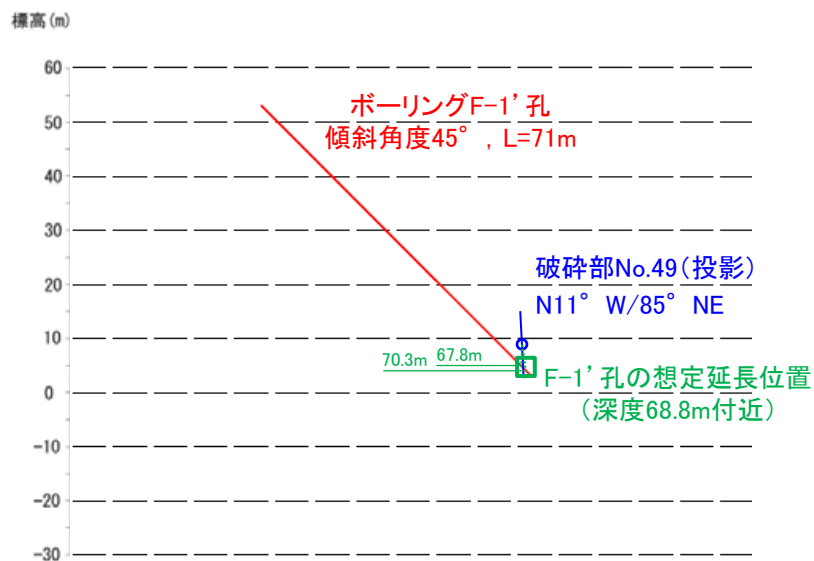
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (12/24)】



・厚さ0.1~0.4cmの暗灰色の粘土状破碎部  
及び厚さ6.5~10cmの暗灰から黒色の粘土  
状破碎部及び厚さ14~23cmの固結した破  
碎部



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(F-1' 孔)の想定延長範囲(67.8~70.3m)に対応する破碎部が認められない。



## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (13/24)】

深度(m)

破碎部No.50(OS-4孔)

66.2                      66.3                      66.4                      66.5



・厚さ2.4~4.0cmの  
粘土状破碎部

コア写真

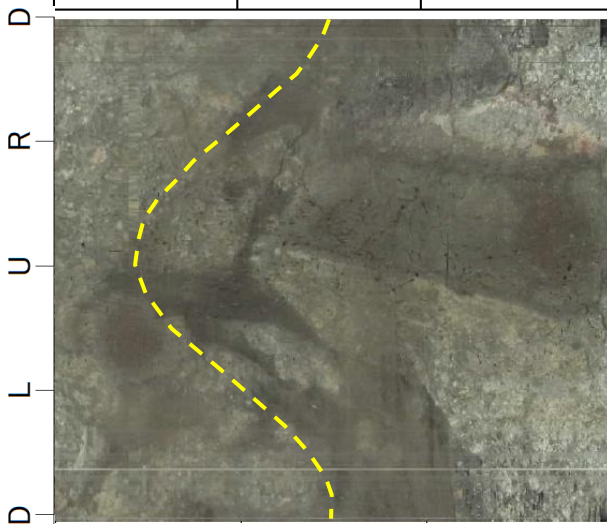
— 破碎部

深度(m)

深度(m)

66.2                      66.3                      66.4                      66.5

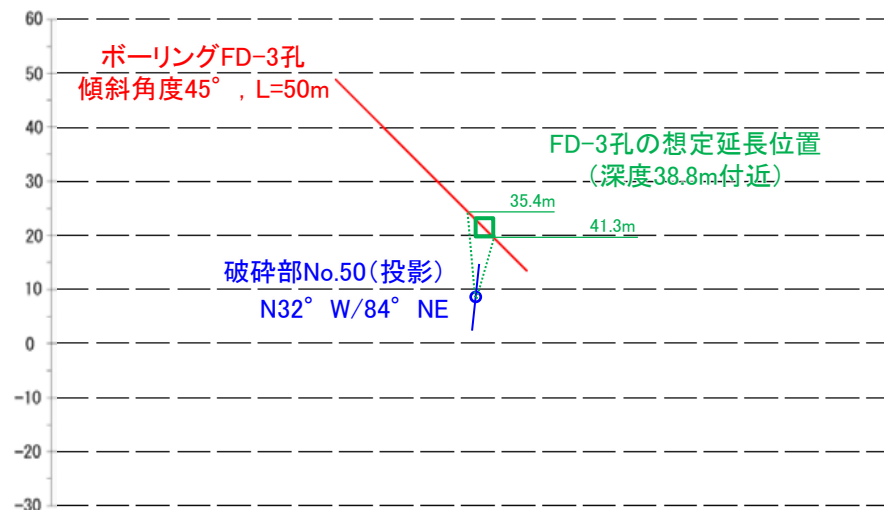
66.2                      66.3                      66.4                      66.5



N32° W/84° NE

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

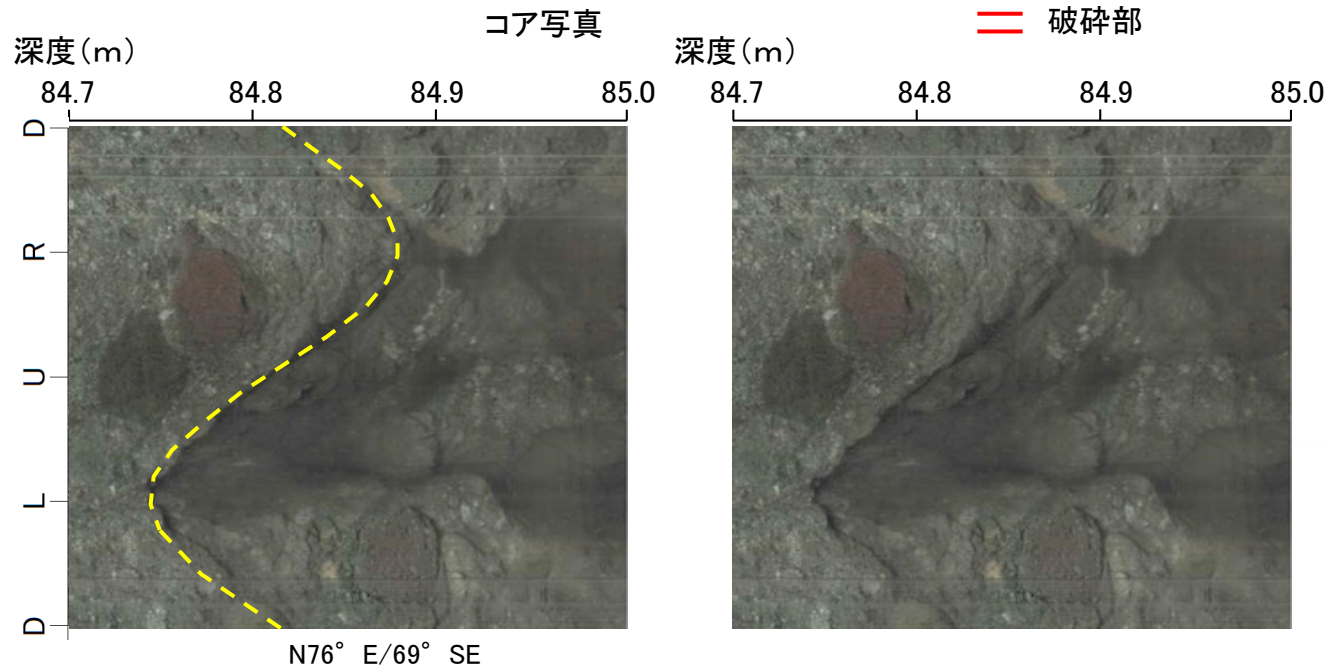
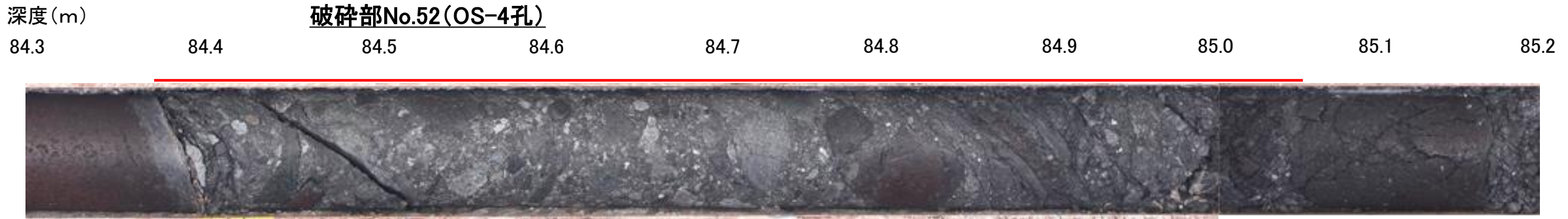
標高(m)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-3孔)の想定延長範囲(35.4~41.3m)に対応する破碎部が認められない。

断面図

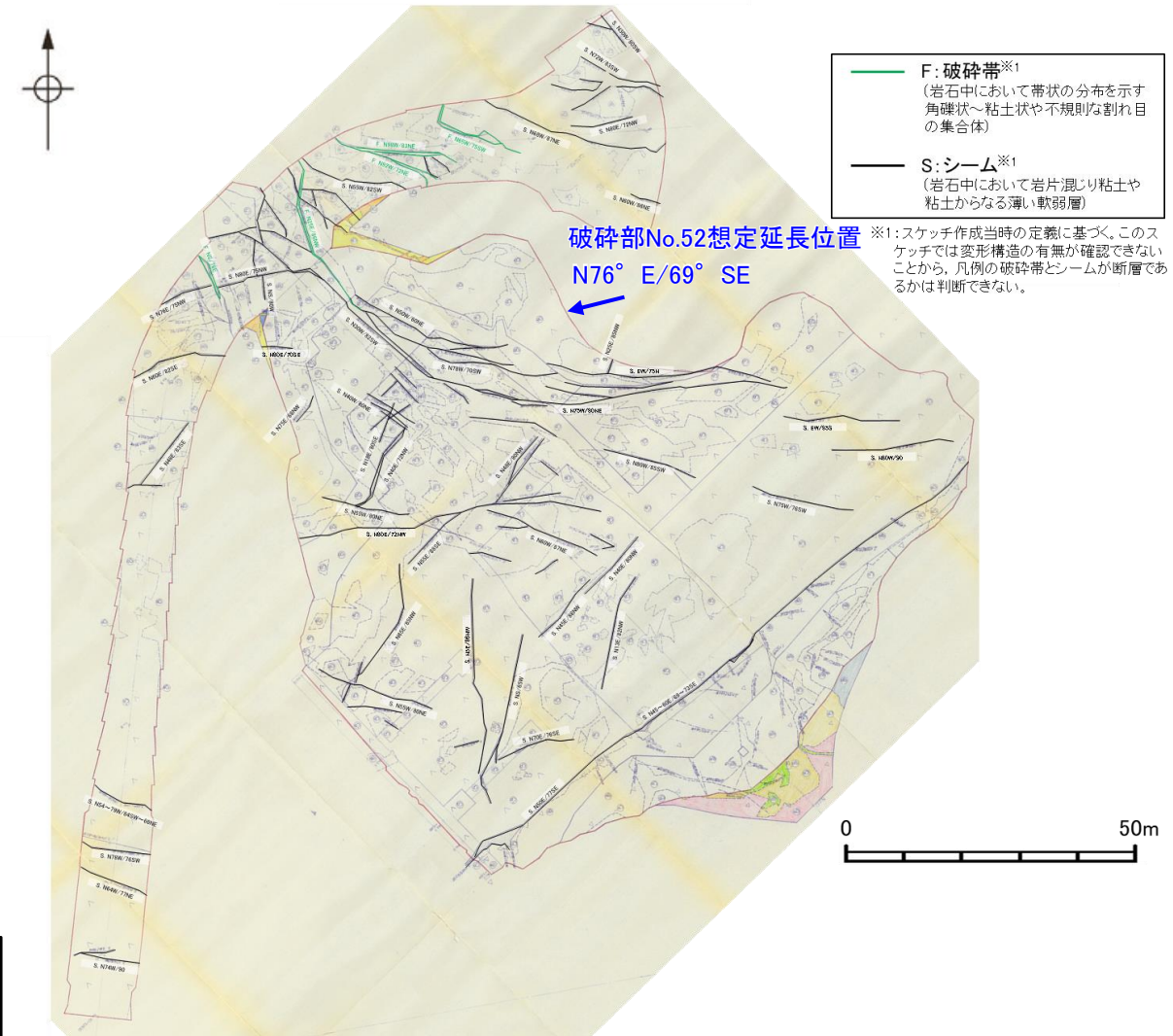
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (14/24)】



N76° E/69° SE

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

・厚さ1.8~2.6cmの暗灰色の角礫状破碎部及び  
厚さ9.0cmの暗灰~黒色の角礫状破碎部及び  
26~28cmの固結した破碎部



走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (15/24)】

深度(m) **破碎部No.53(OS-4孔)**  
85.1 85.2 85.3 85.4 85.5 85.6



・厚さ3.4~12cmの  
砂状破碎部

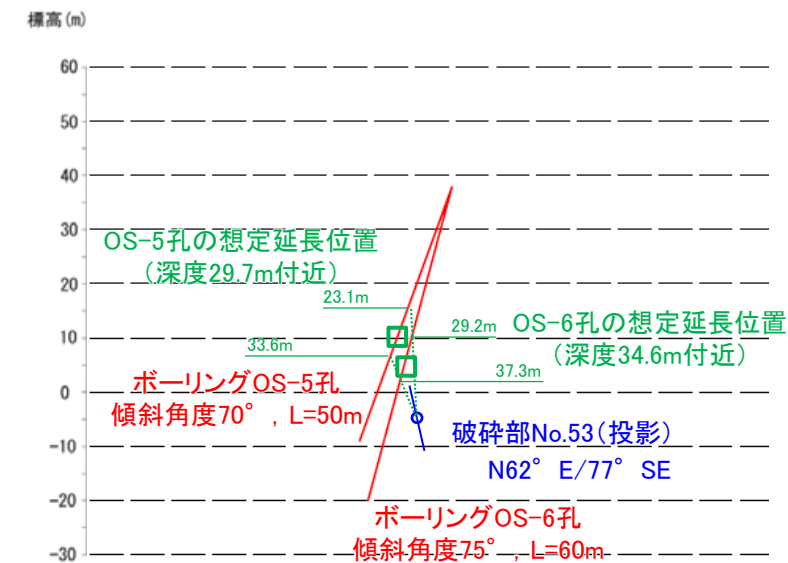
コア写真

— 破碎部

深度(m)  
84.9 85.0 85.1 85.2 85.3 85.4



N62° E/77° SE



断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-6孔、OS-5孔)の想定延長範囲(29.2~37.3m、23.1~33.6m)に対応する破碎部が認められない。

深度(m)  
84.9 85.0 85.1 85.2 85.3 85.4



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)

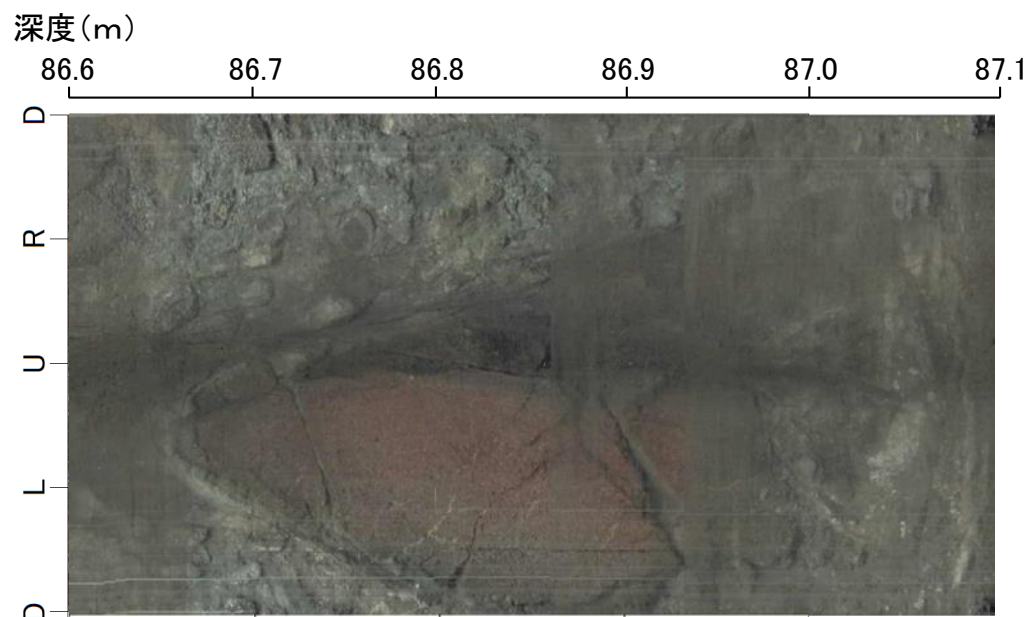
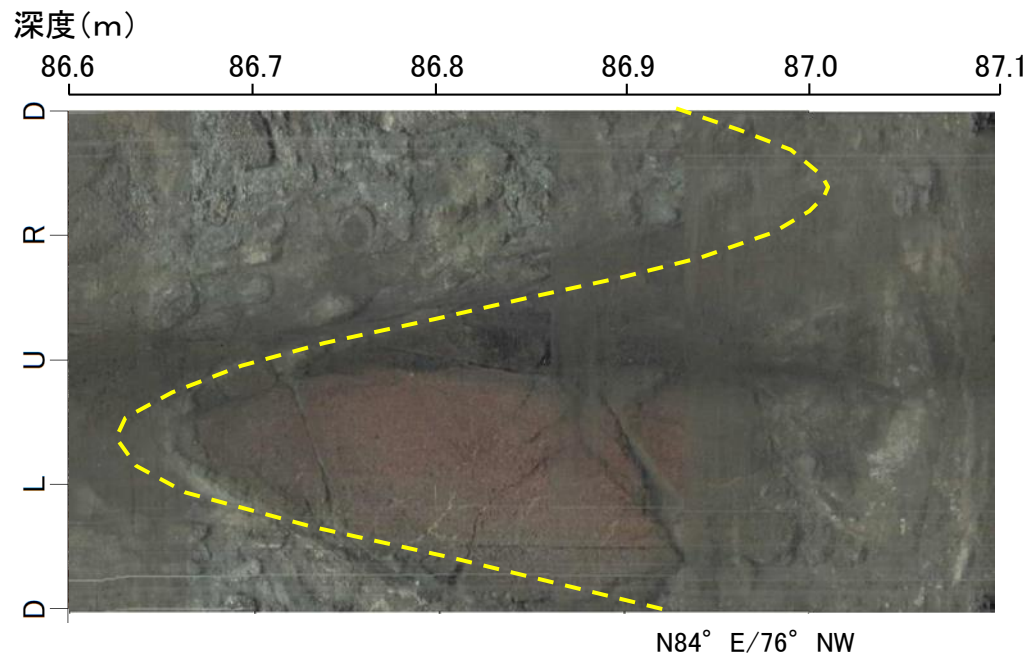
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (16/24)】



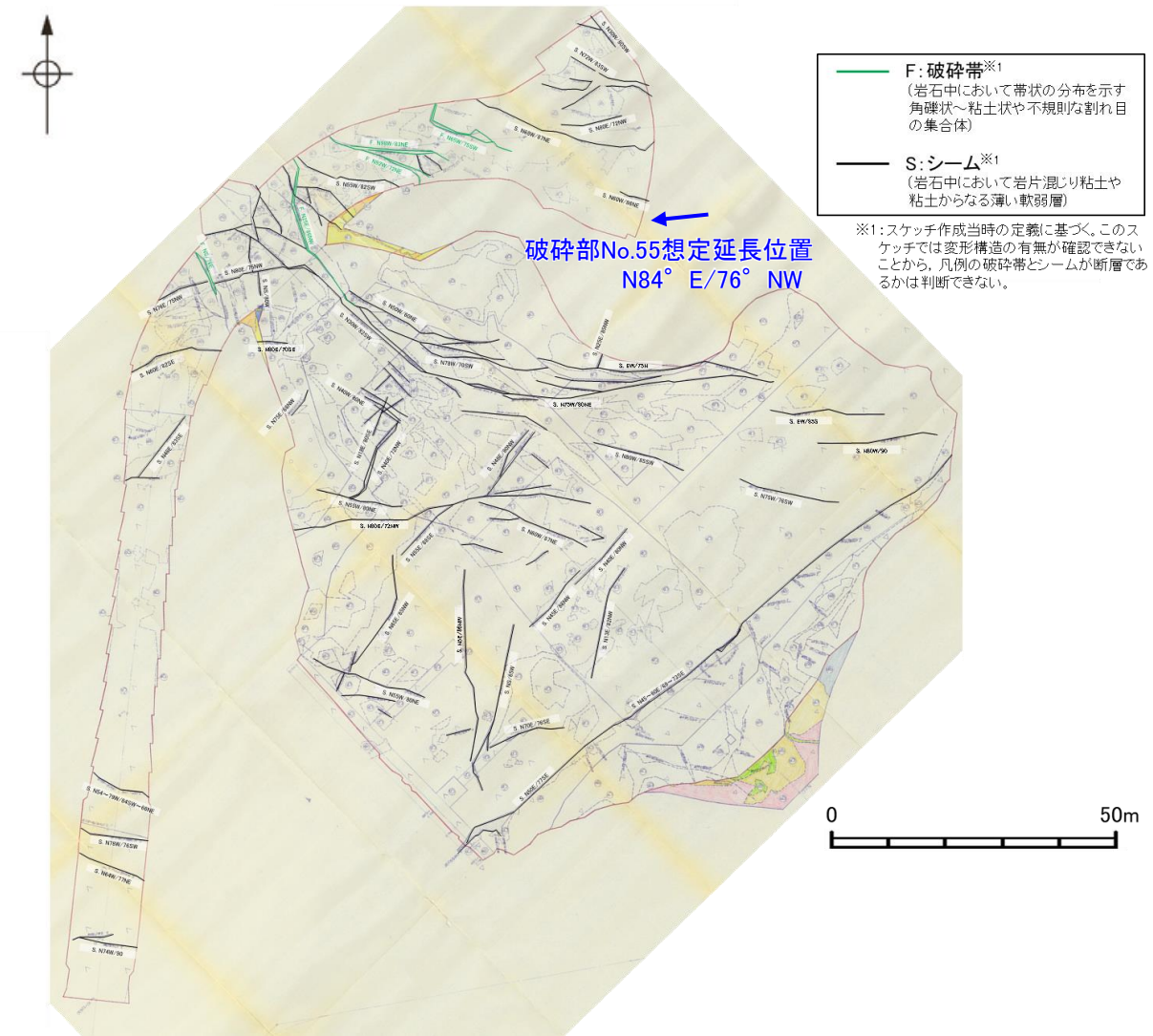
・厚さ0.2~1.9cmの粘土状破碎部及び  
厚さ3.3~4.4cmの固結した破碎部

コア写真

== 破碎部



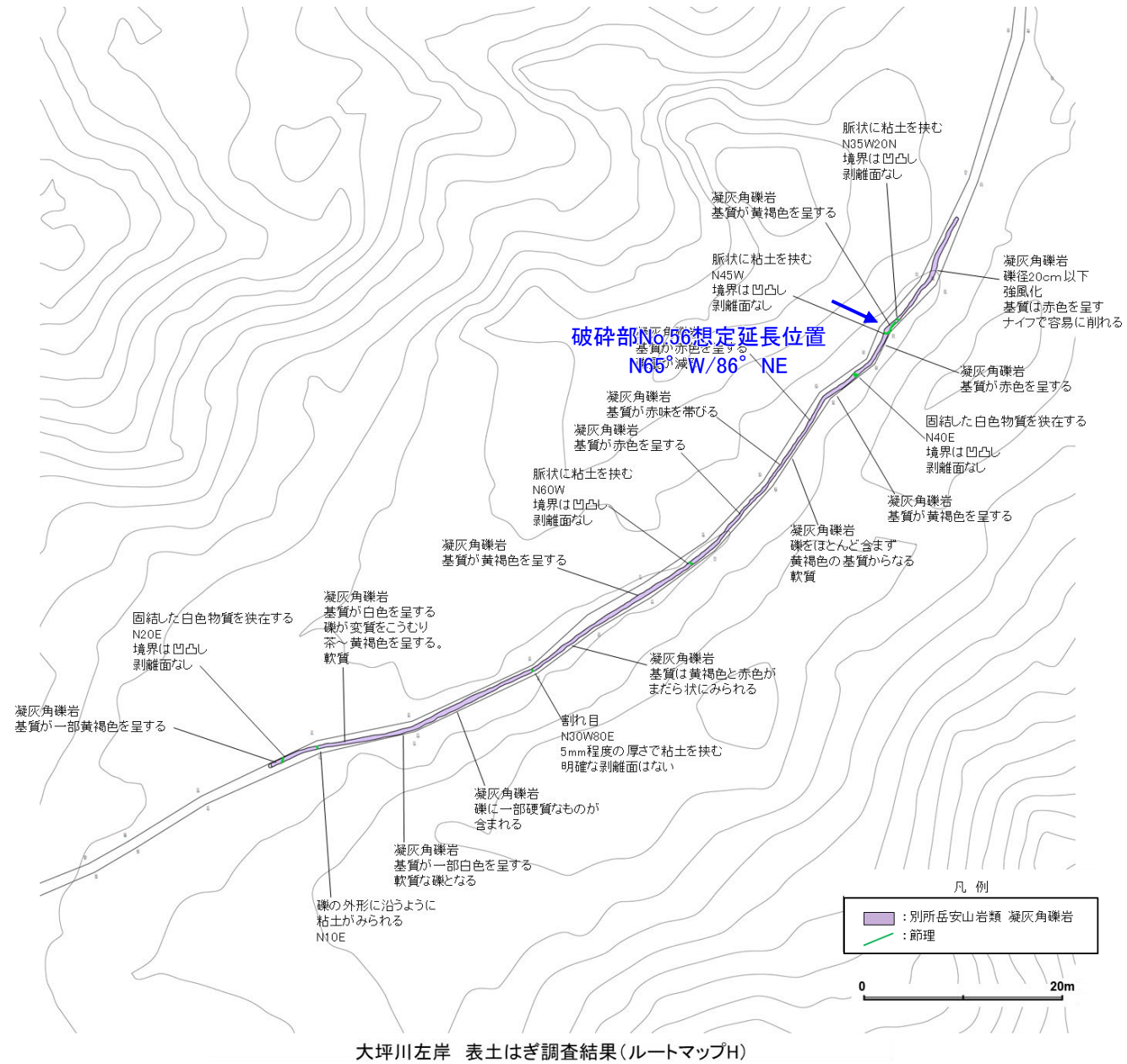
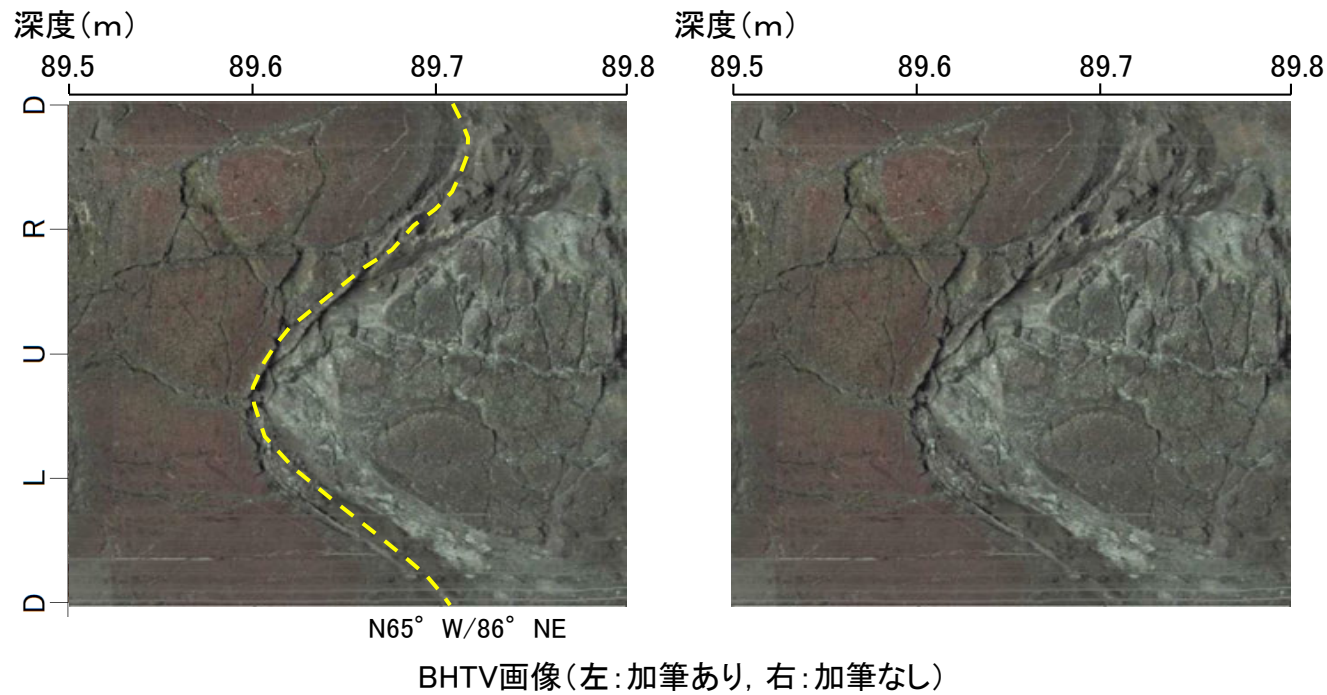
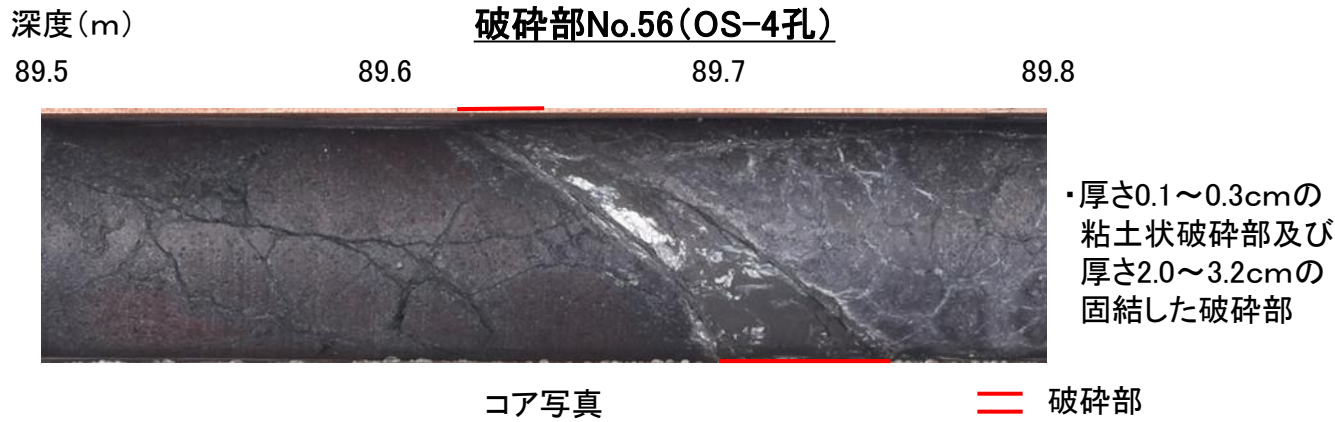
BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり, 大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (17/24)】



走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

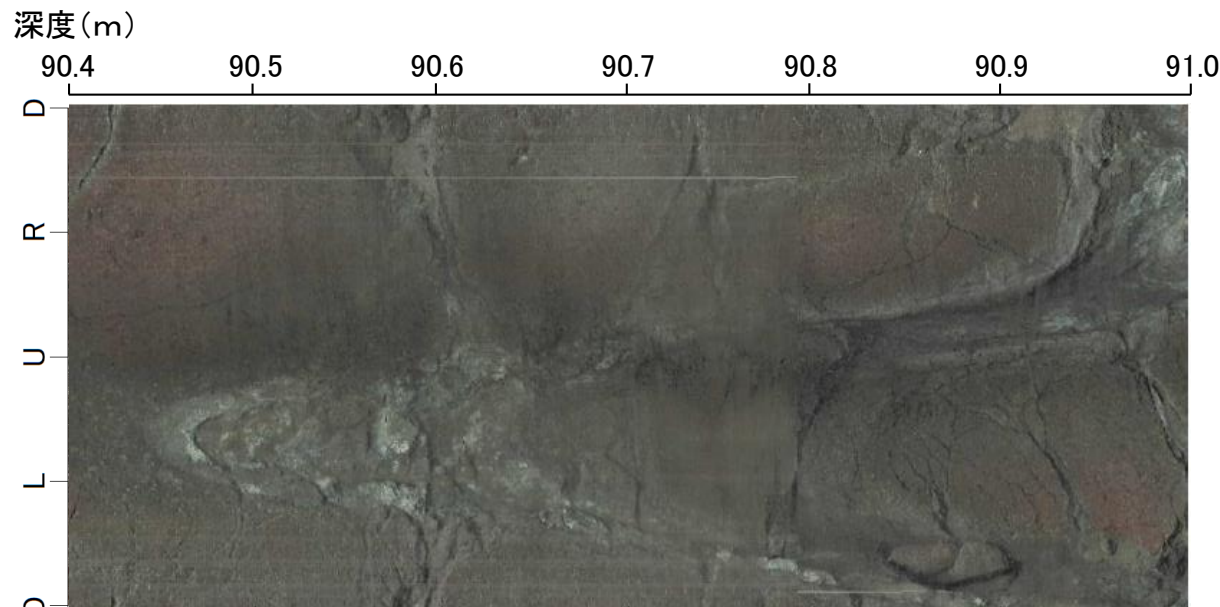
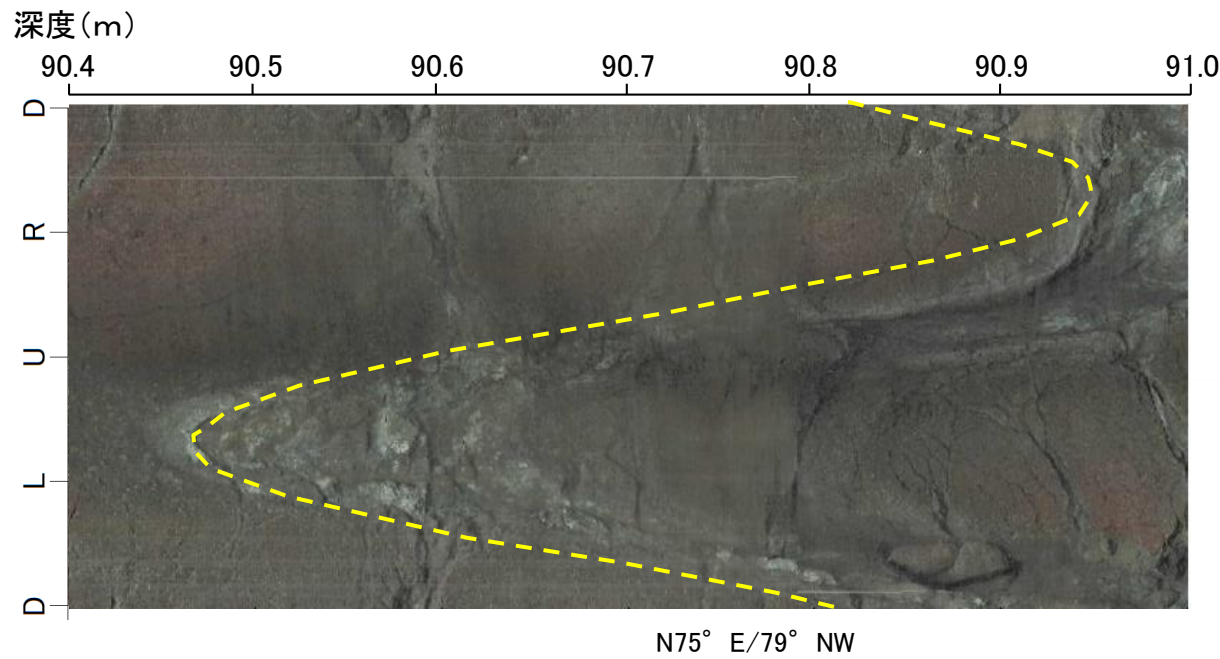
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (18/24)】



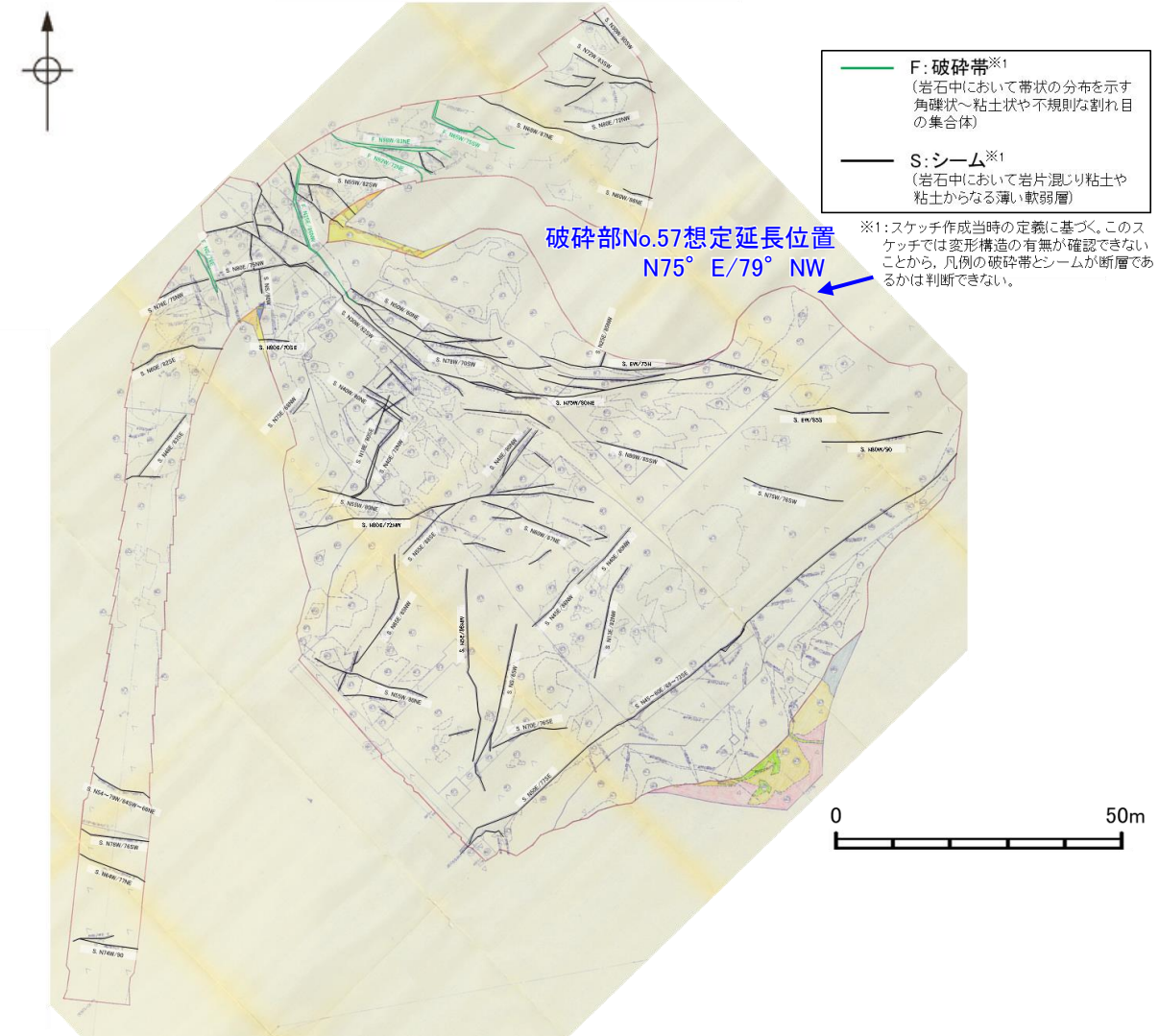
コア写真

== 破碎部

・厚さ0.3~0.8cmの粘土状破碎部及び  
厚さ5.4~5.9cmの固結した破碎部



BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)



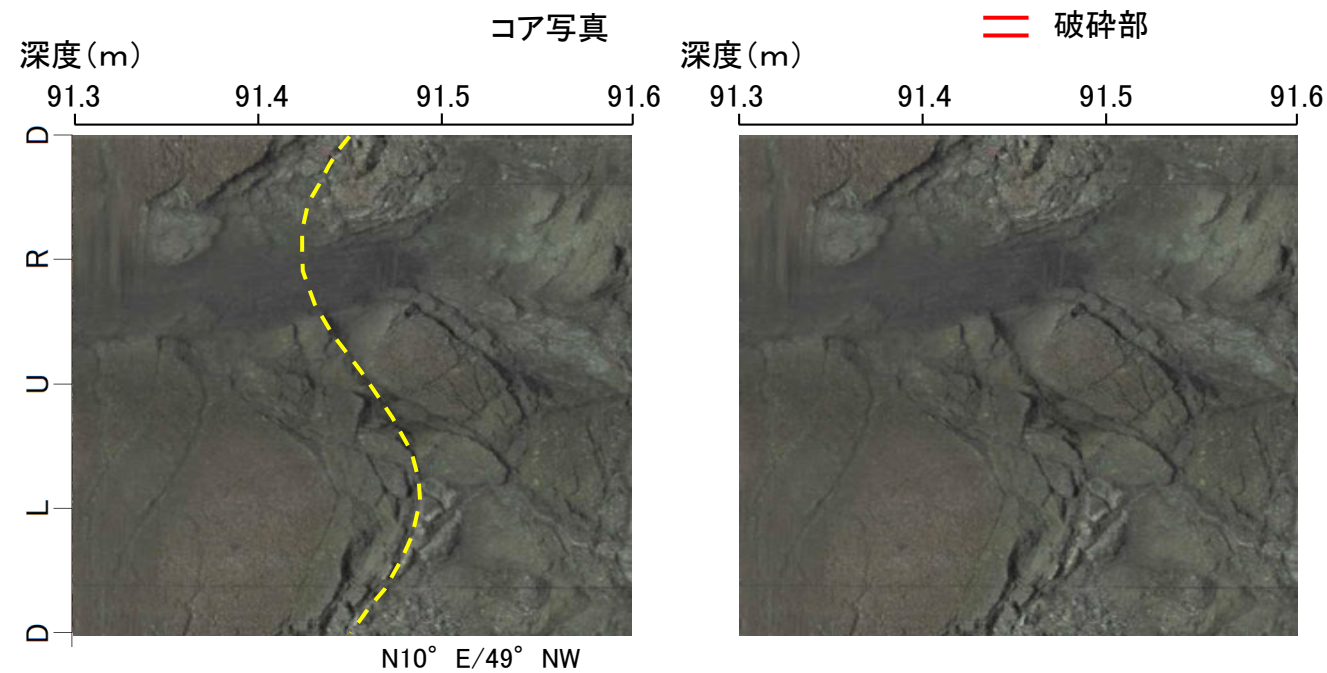
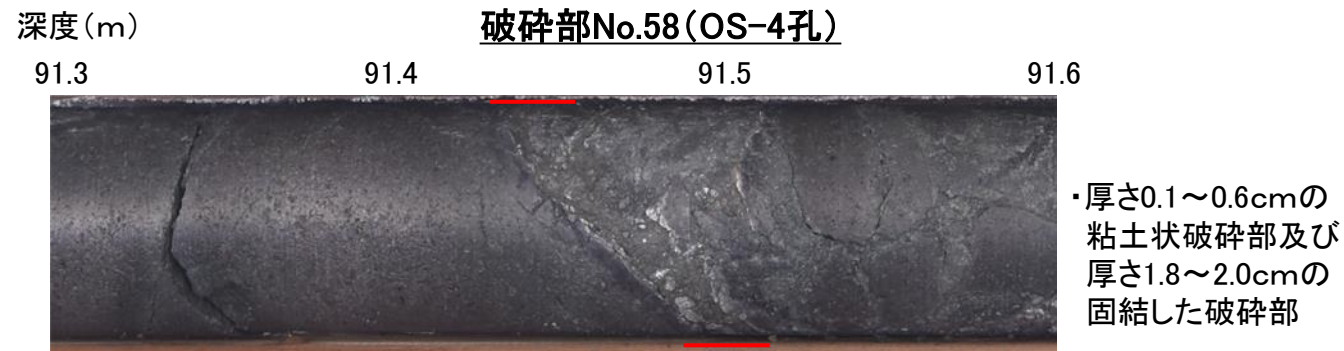
- F: 破碎帯※1  
(岩石中において帯状の分布を示す角礫状~粘土状や不規則な割れ目の集合体)
- S: シーム※1  
(岩石中において岩片混じり粘土や粘土からなる薄い軟弱層)

※1: スケッチ作成当時の定義に基づく。このスケッチでは変形構造の有無が確認できないことから、凡例の破碎帯とシームが断層であるかは判断できない。

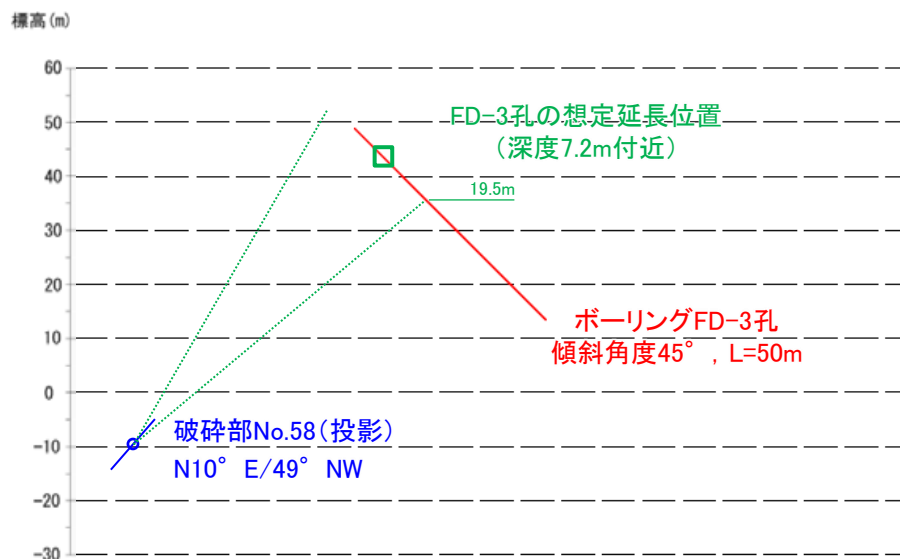
走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

## 【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-4孔) (19/24)】



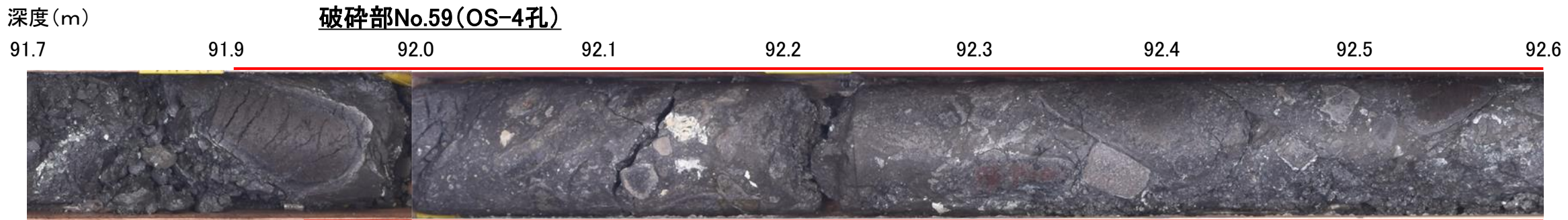
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-3孔)の想定延長位置(0.0~19.5m)に対応する破砕部が認められない。

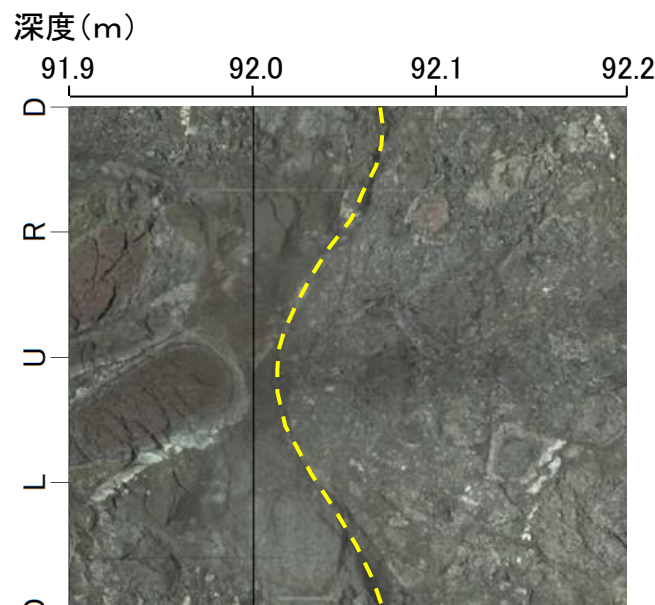
断面図

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (20/24)】

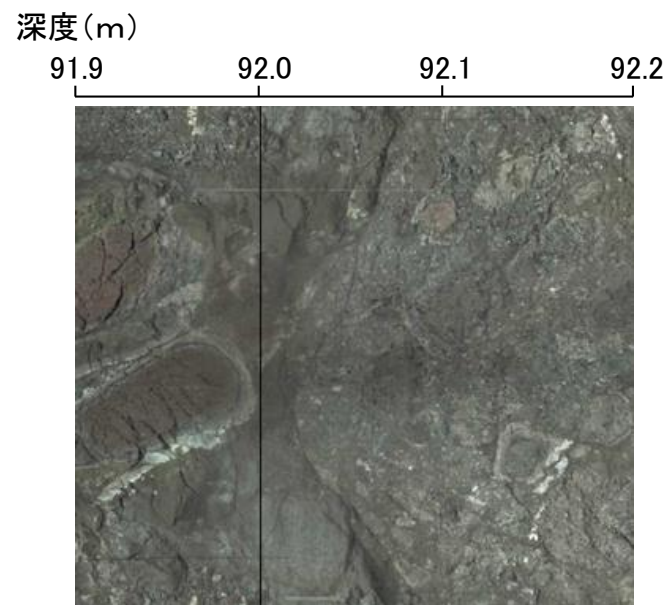


コア写真

== 破碎部

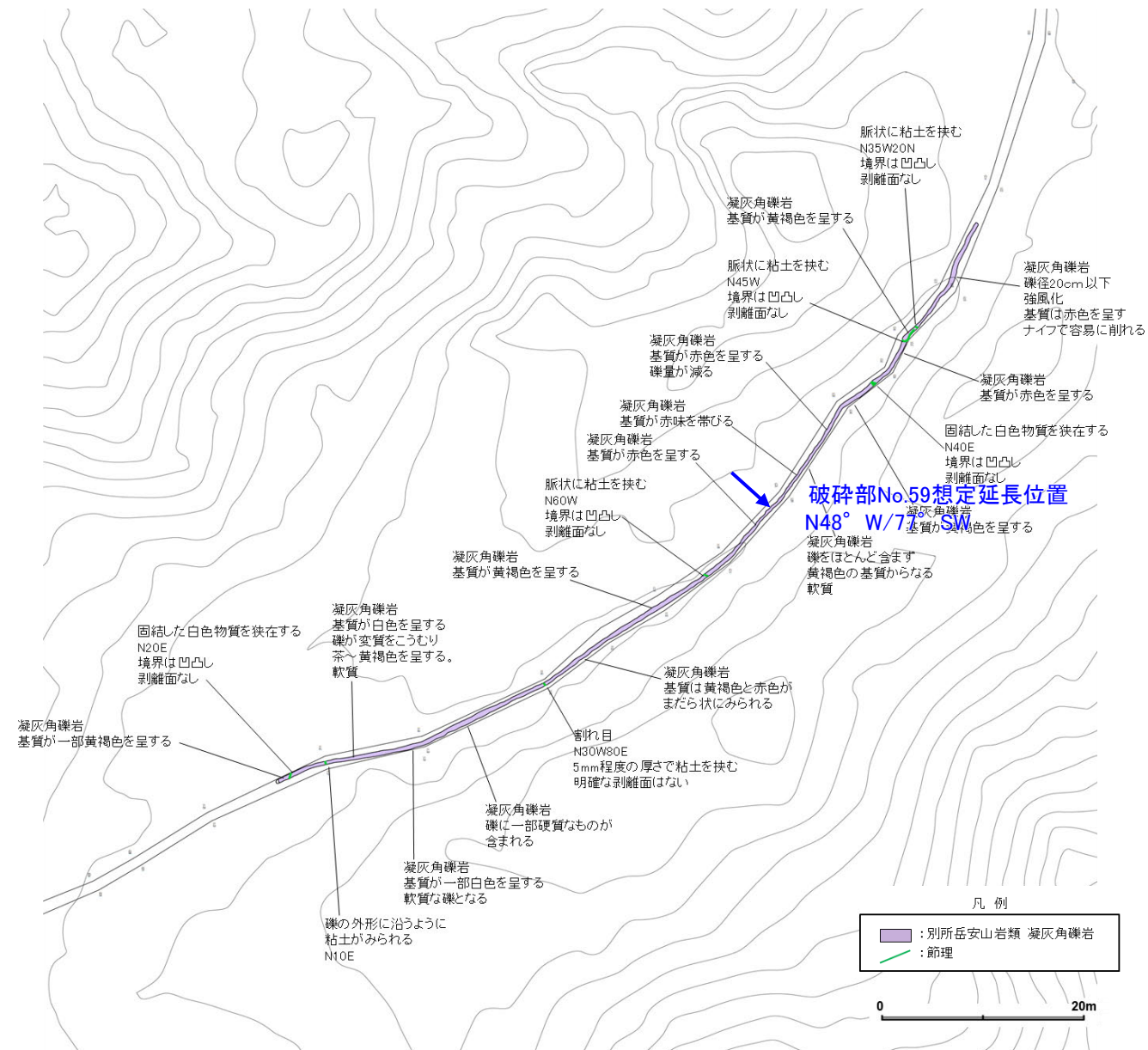


N48° W/77° SW



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

・厚さ3.8~6.9cmの角礫状破碎部及び  
厚さ0.2~1.0cmの粘土状破碎部及び  
厚さ60~63cmの固結した破碎部

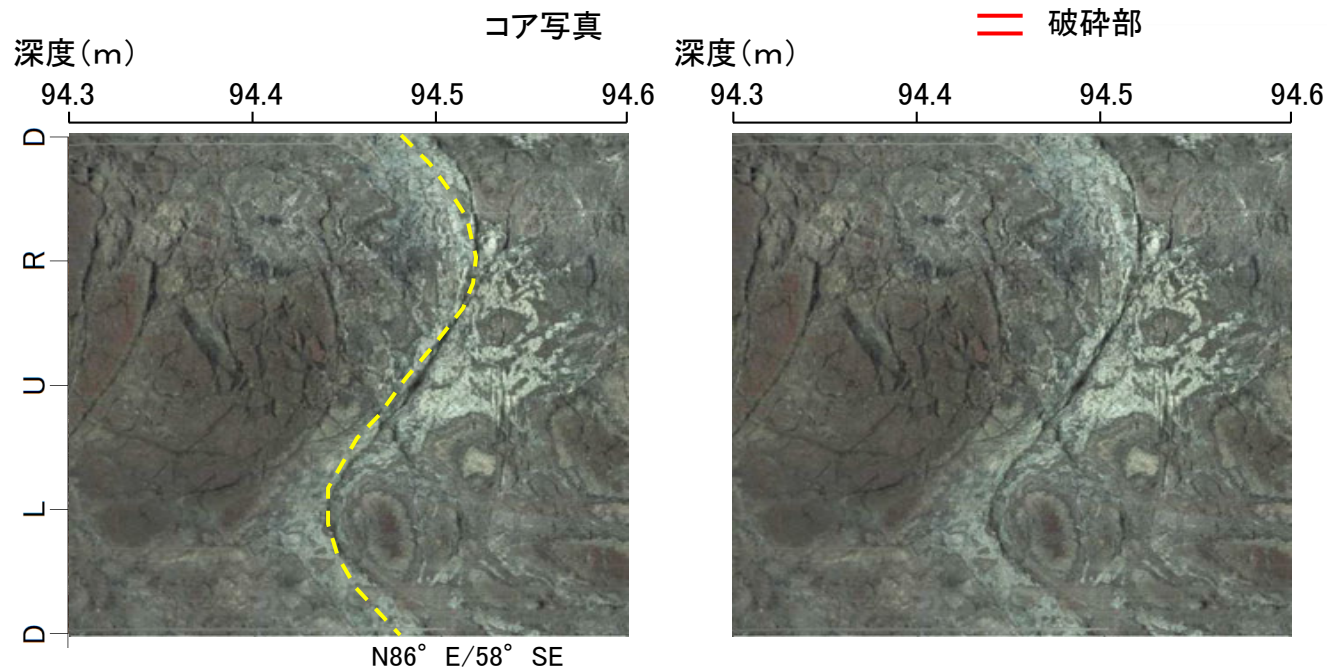
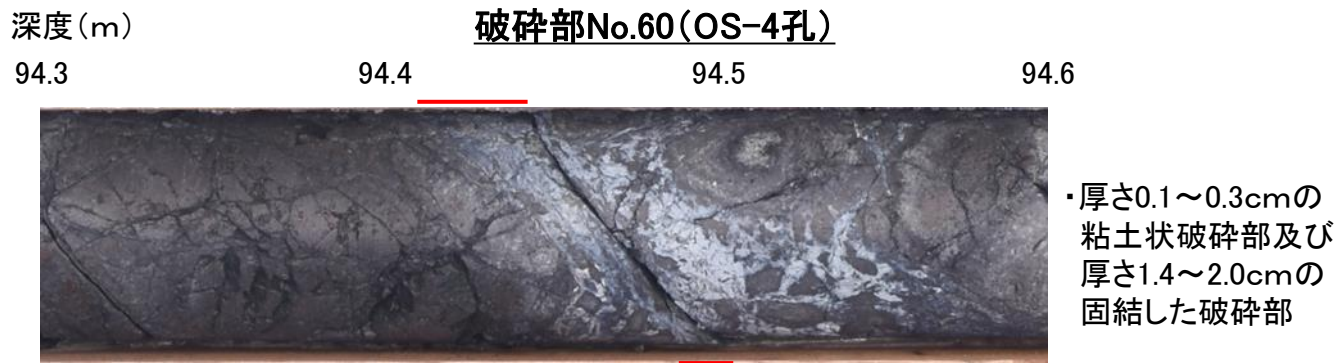


大坪川左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップH)

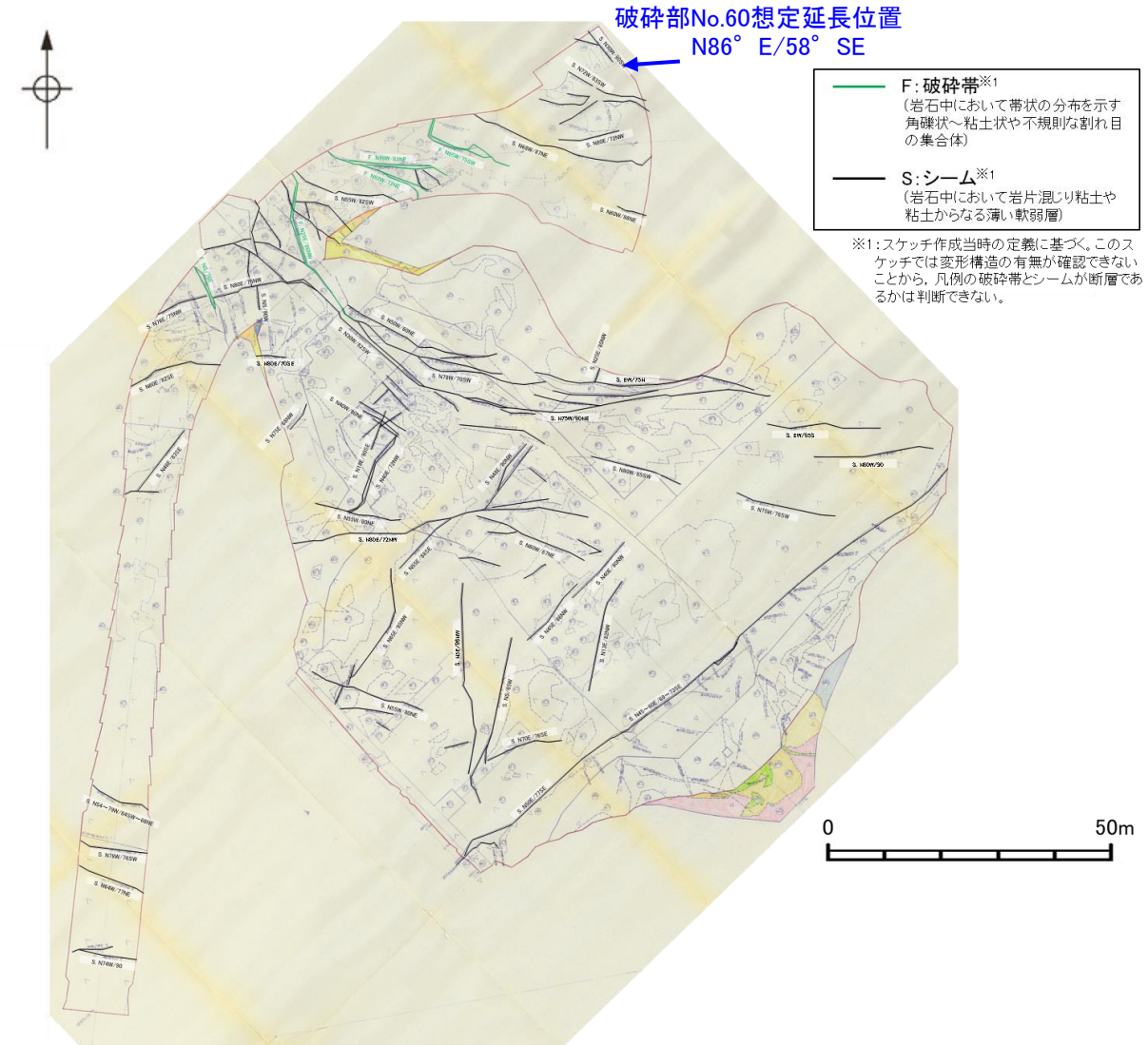
走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (21/24)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (22/24)】

破碎部No.61(OS-4孔)

深度(m)

97.7 97.8 97.9 98.0



・厚さ2.0~2.4cmの  
角礫状破碎部

コア写真

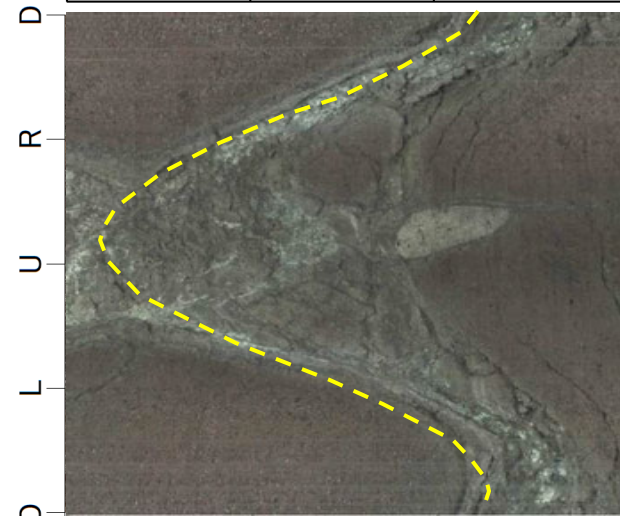
— 破碎部

深度(m)

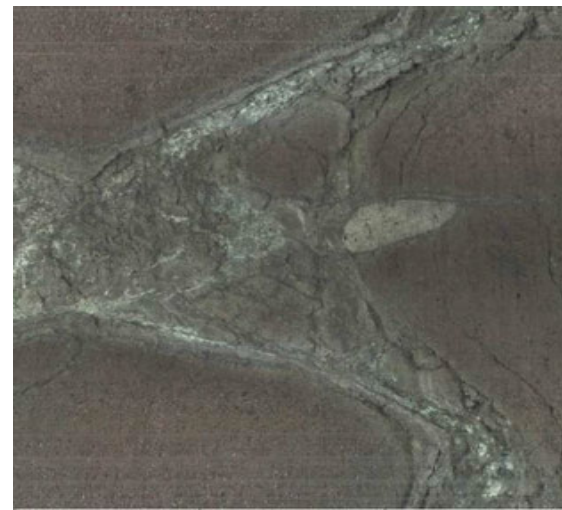
97.7 97.8 97.9 98.0

深度(m)

97.7 97.8 97.9 98.0

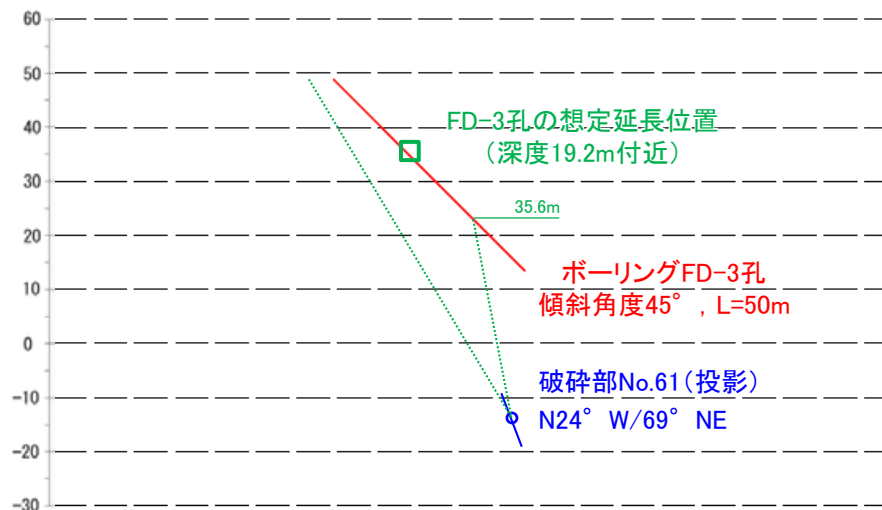


N24° W/69° NE



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

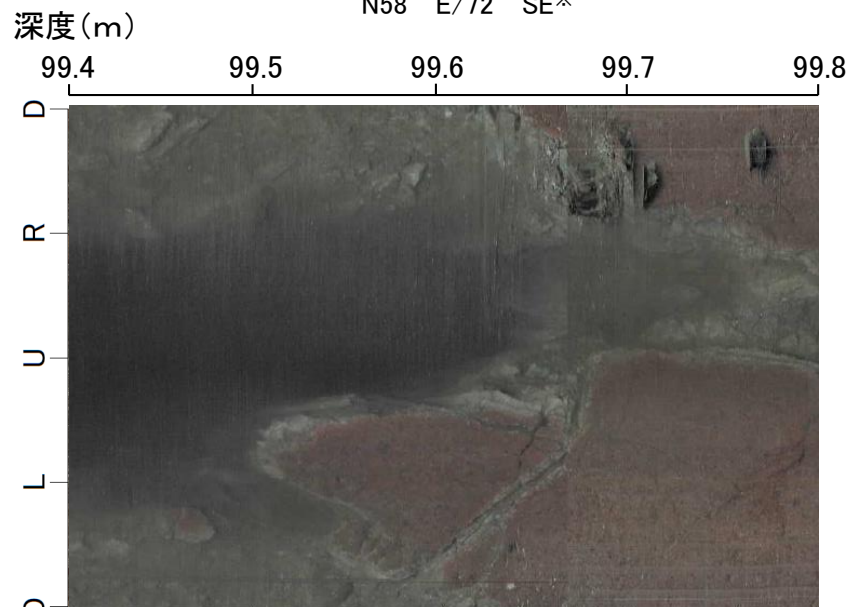
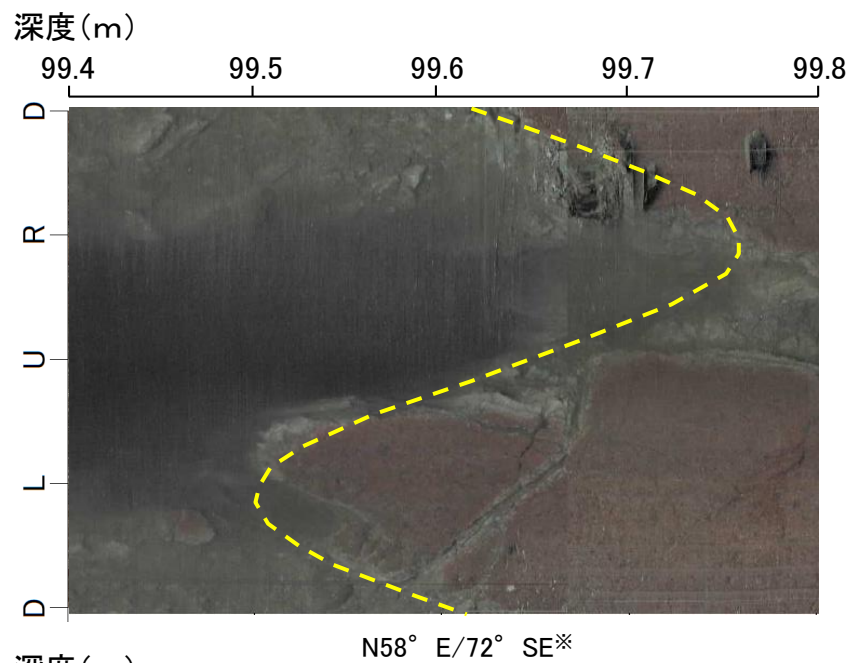
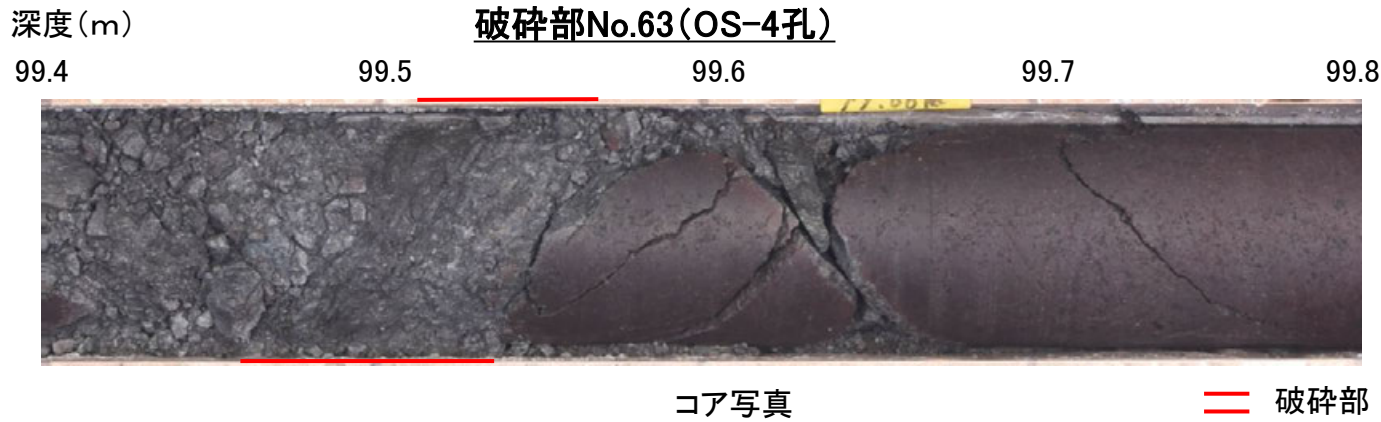
標高(m)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(FD-3孔)の想定延長範囲(0.0~35.6m)に対応する破碎部が認められない。

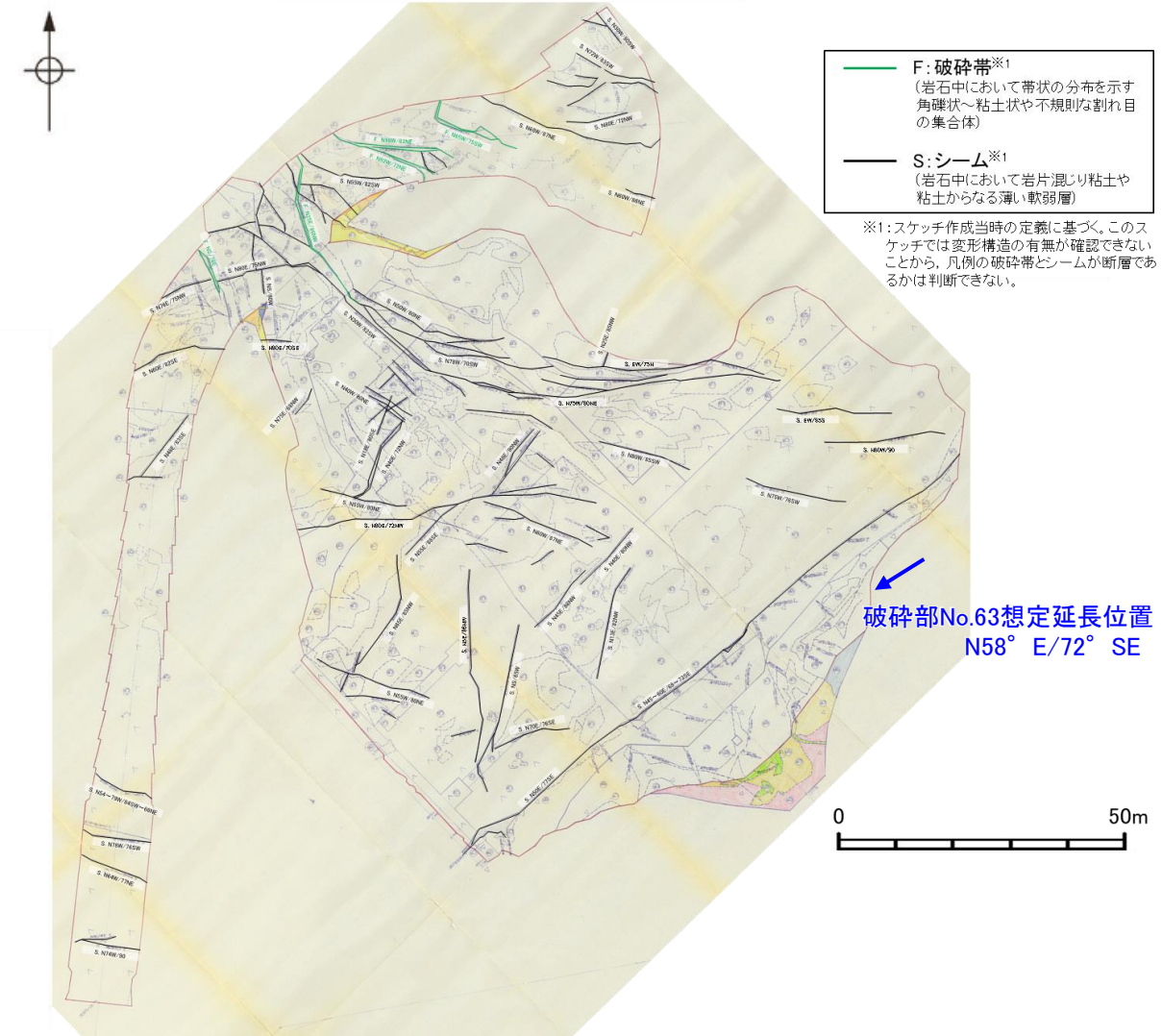
断面図

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (23/24)】



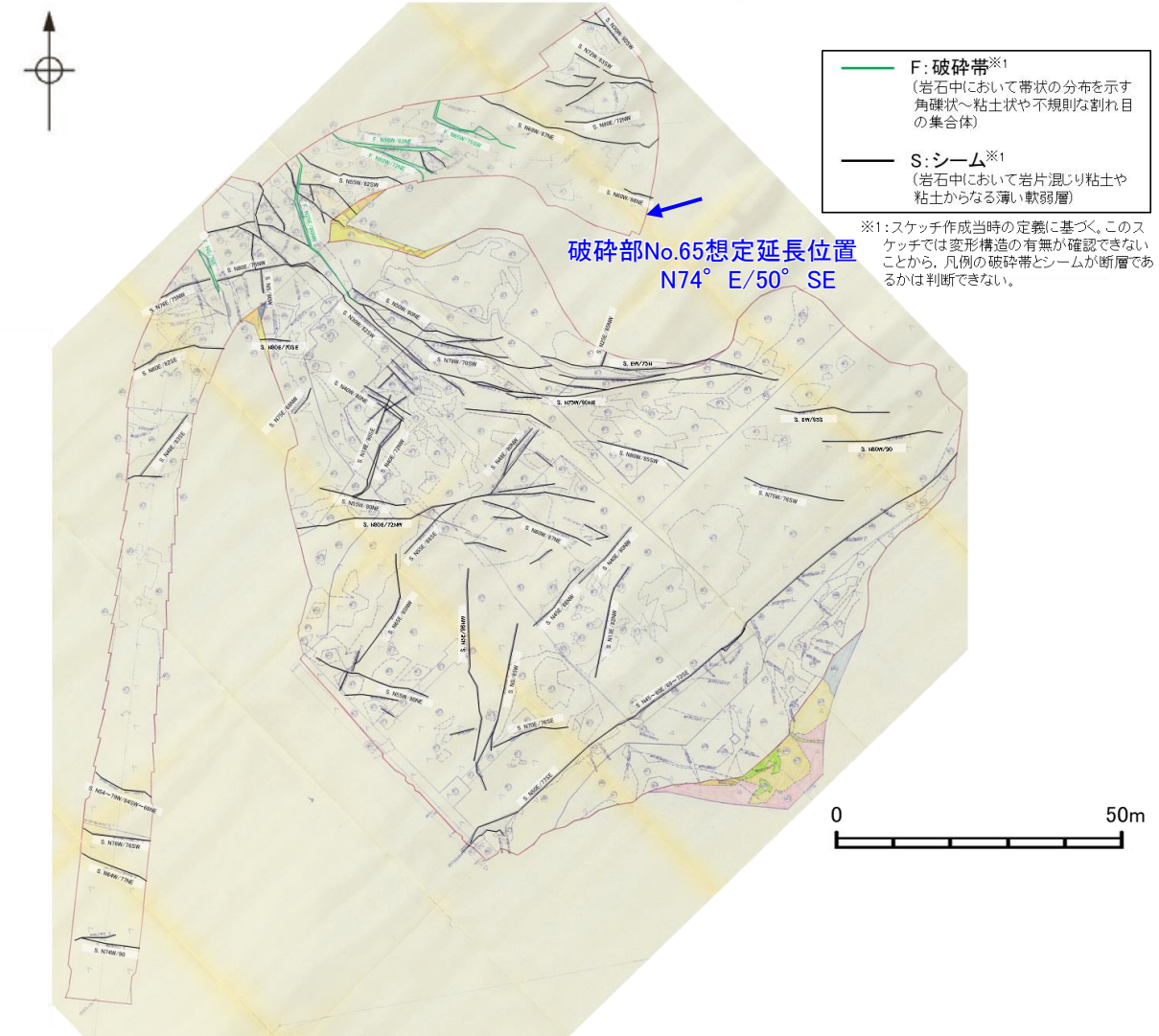
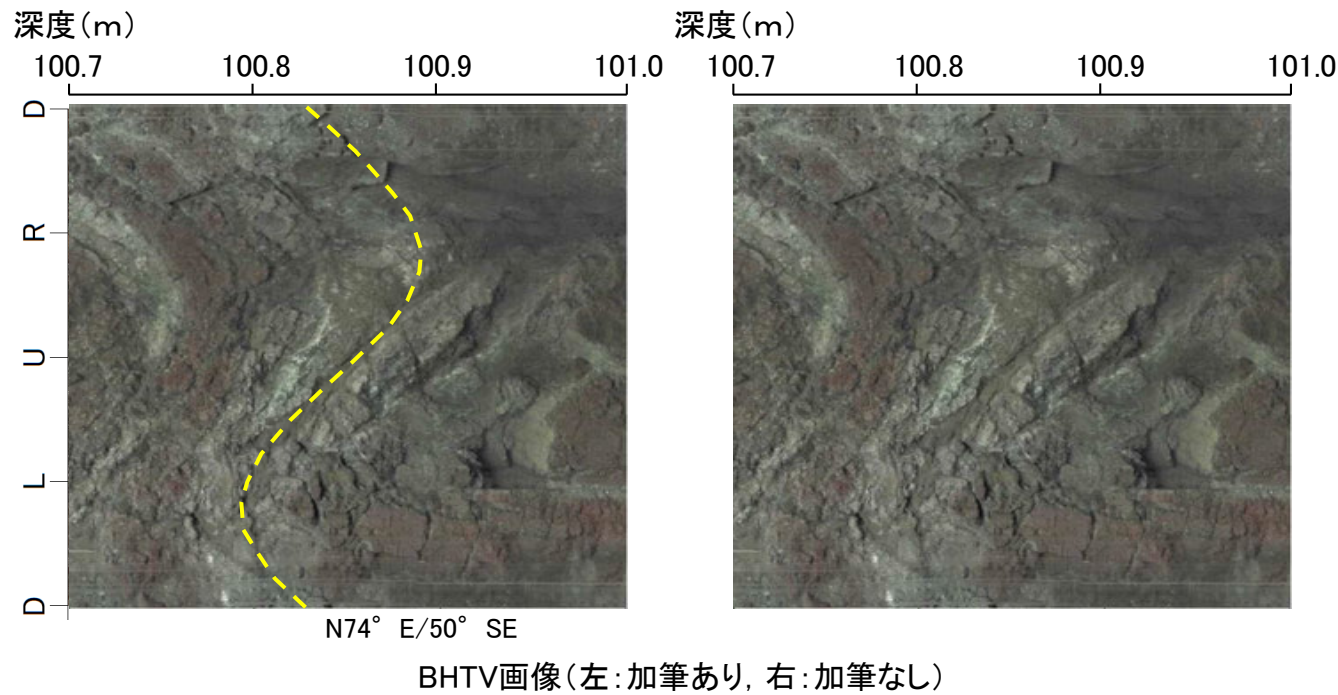
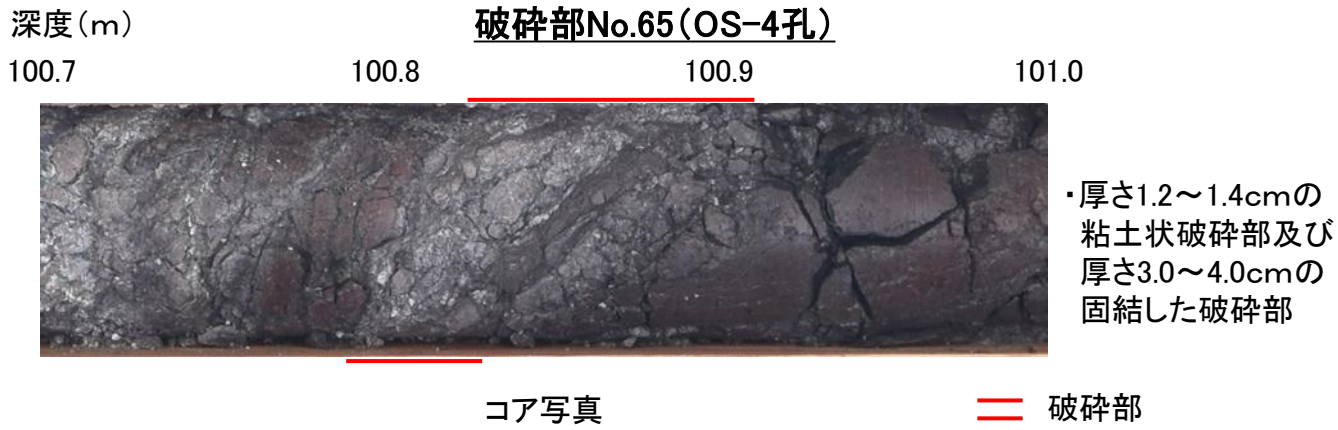
BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)

※: 破碎部の主せん断面の走向・傾斜は孔壁が崩れて確認できなかったため、破碎部下端の母岩境界の走向・傾斜を用いた。



走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

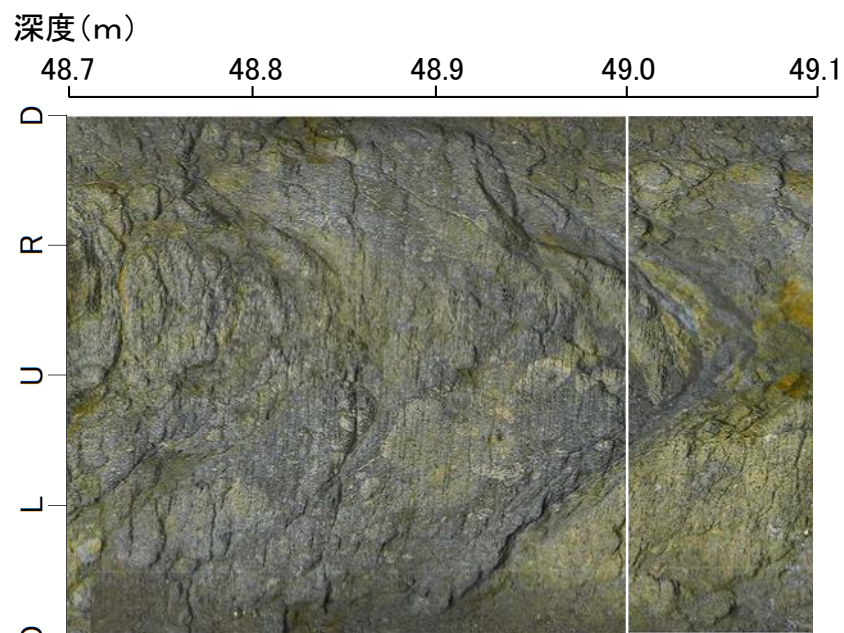
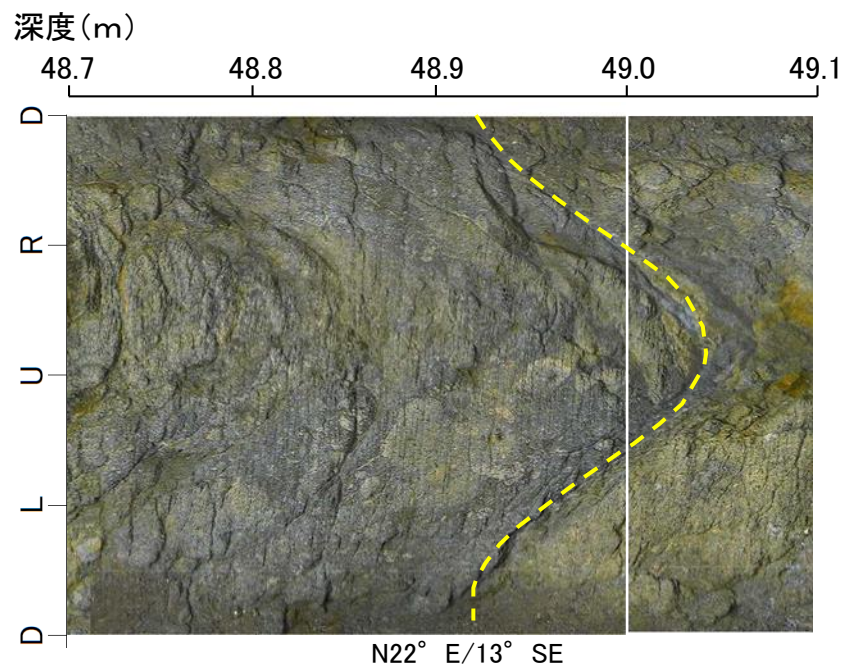
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-4孔) (24/24)】



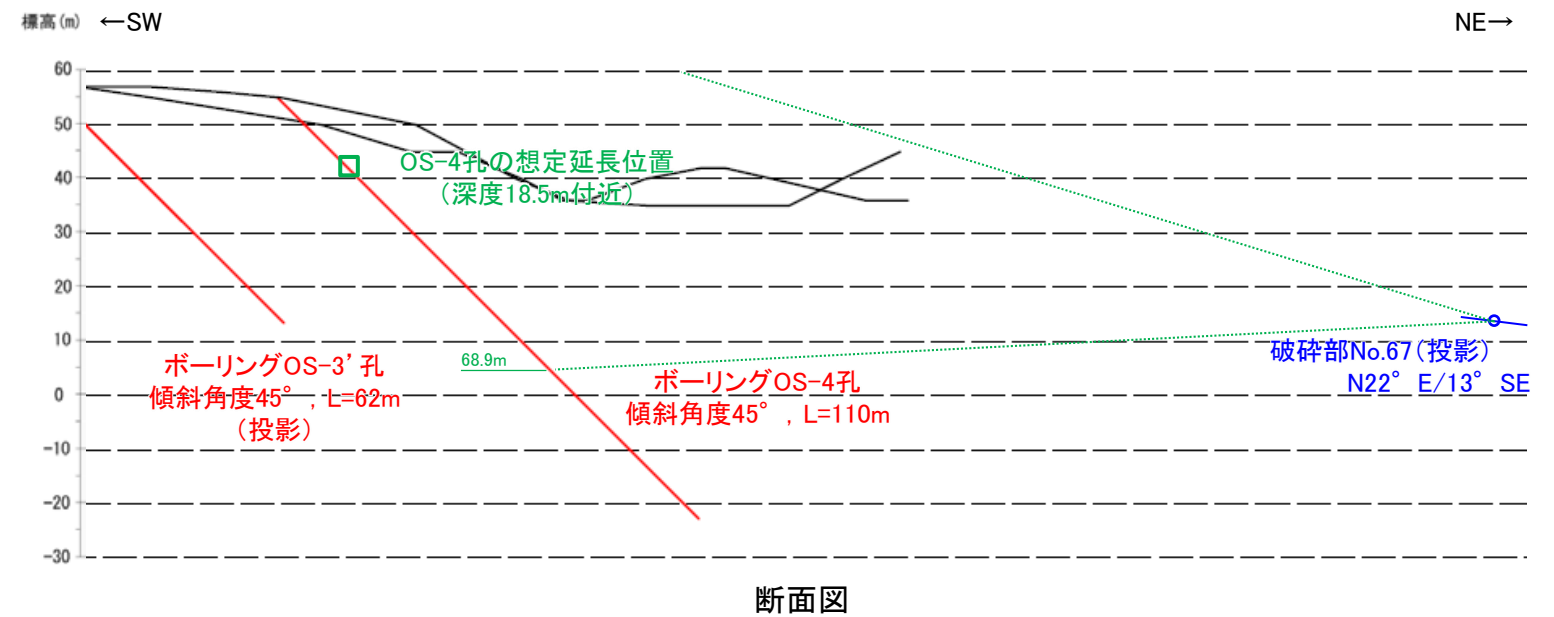
大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-8孔) (1/2)】



BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(0.0~68.9m)に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-8孔) (2/2)】

深度(m) **破碎部No.68(FD-8孔)**

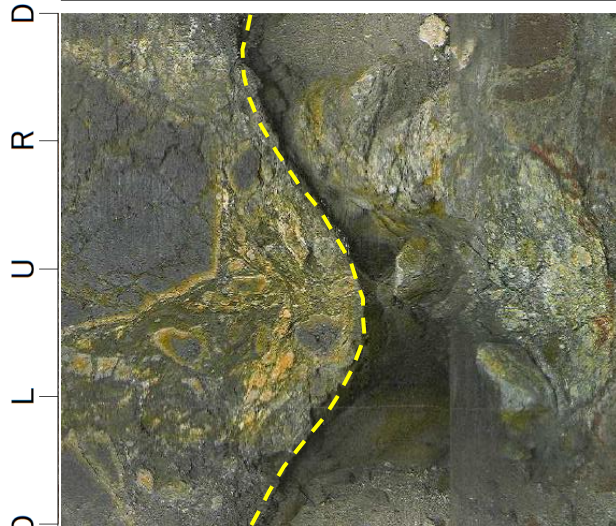
61.7 61.8 61.9 62.0



・厚さ1.5cmの粘土状破碎部及び  
厚さ10.5cmの固結した破碎部

コア写真 — 破碎部

深度(m) 61.7 61.8 61.9 62.0

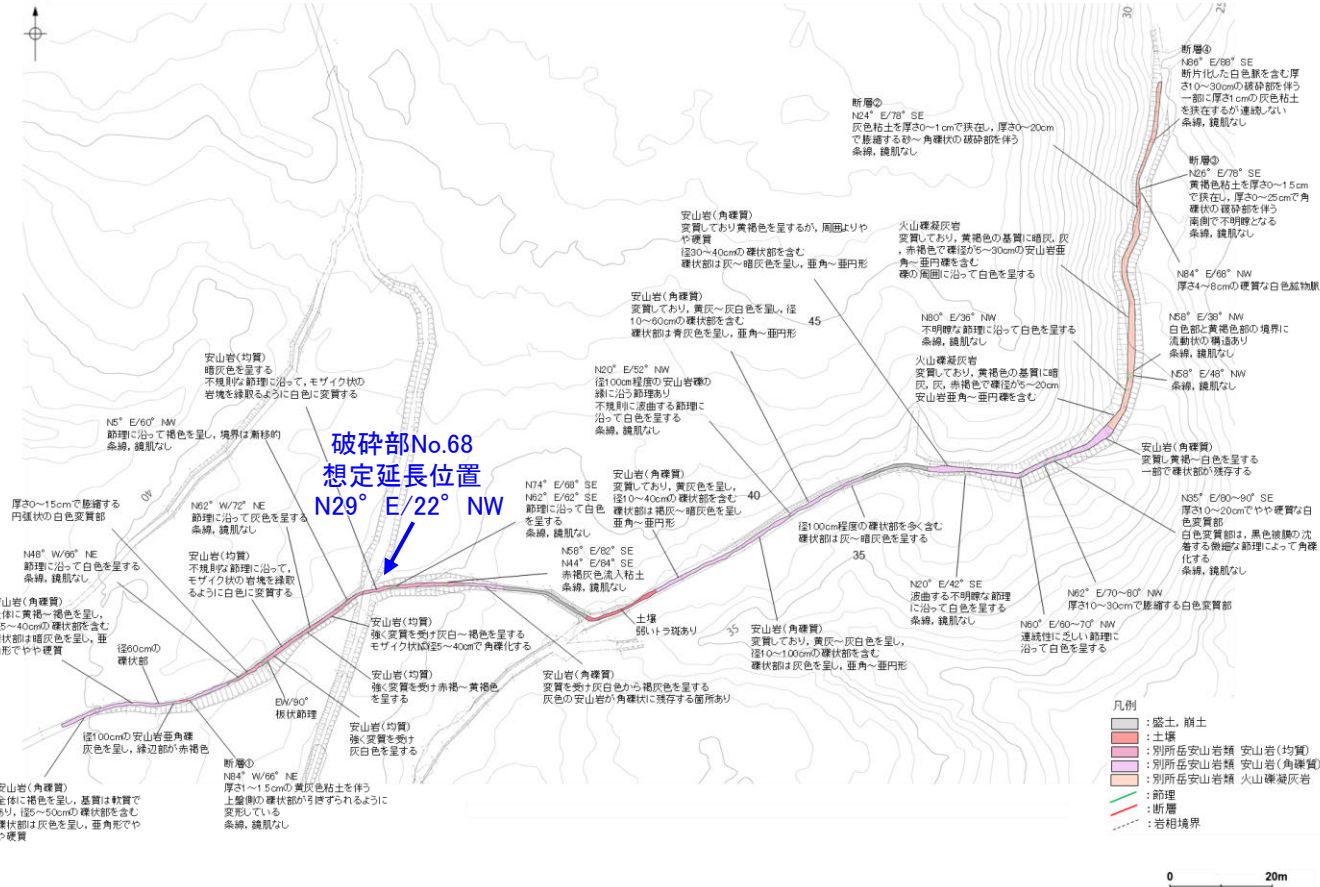


N29° E/22° NW

深度(m) 61.7 61.8 61.9 62.0



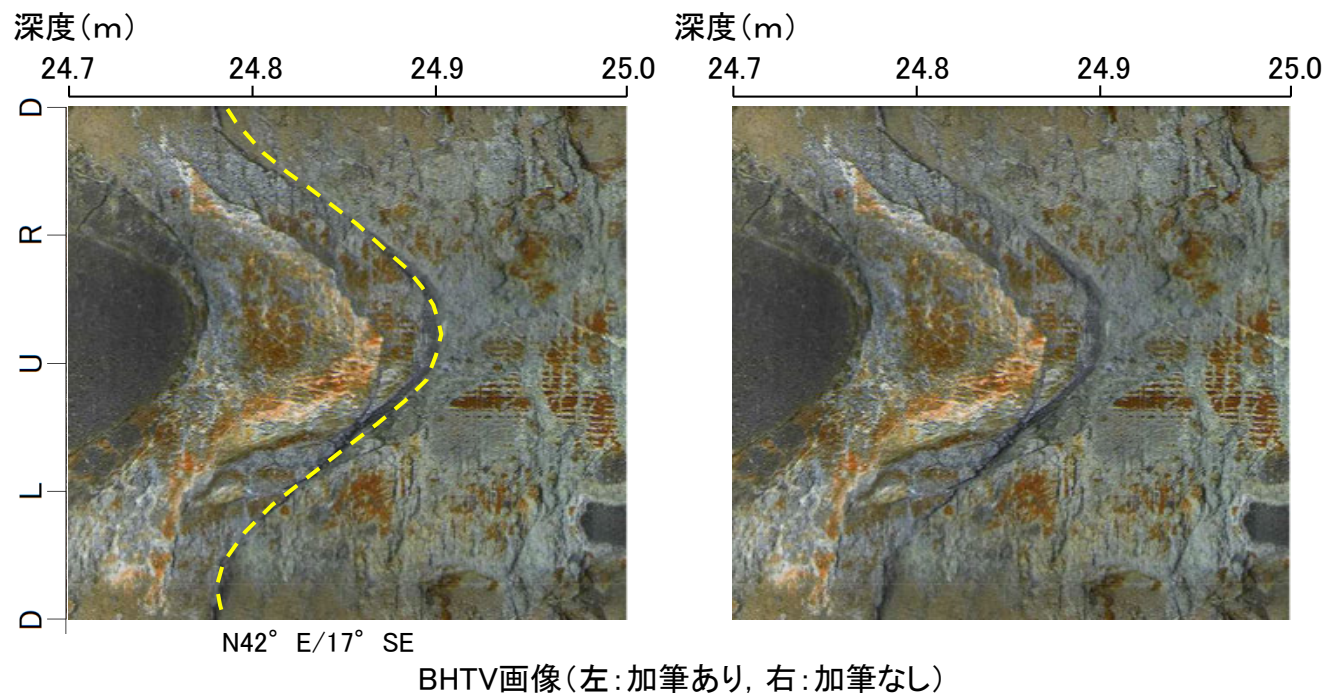
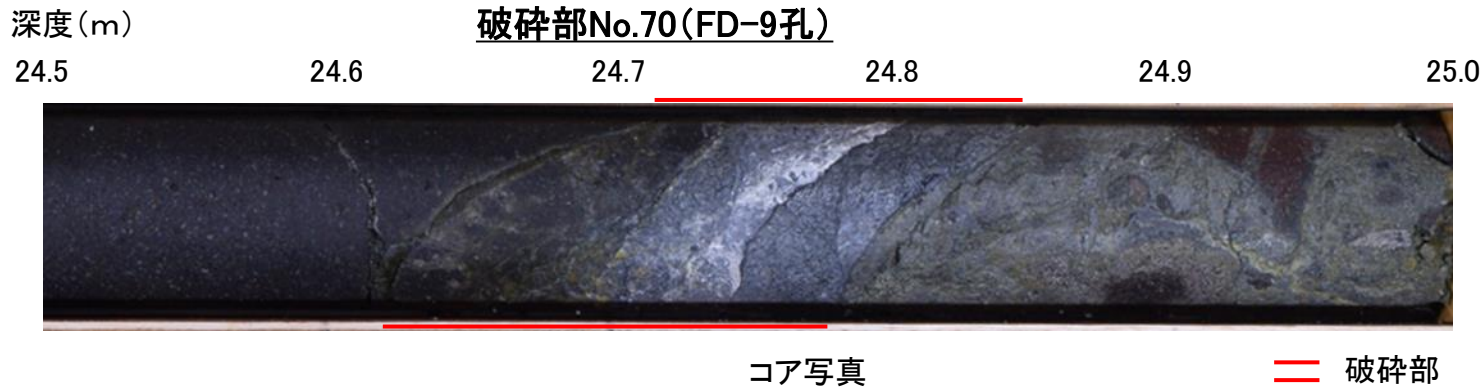
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



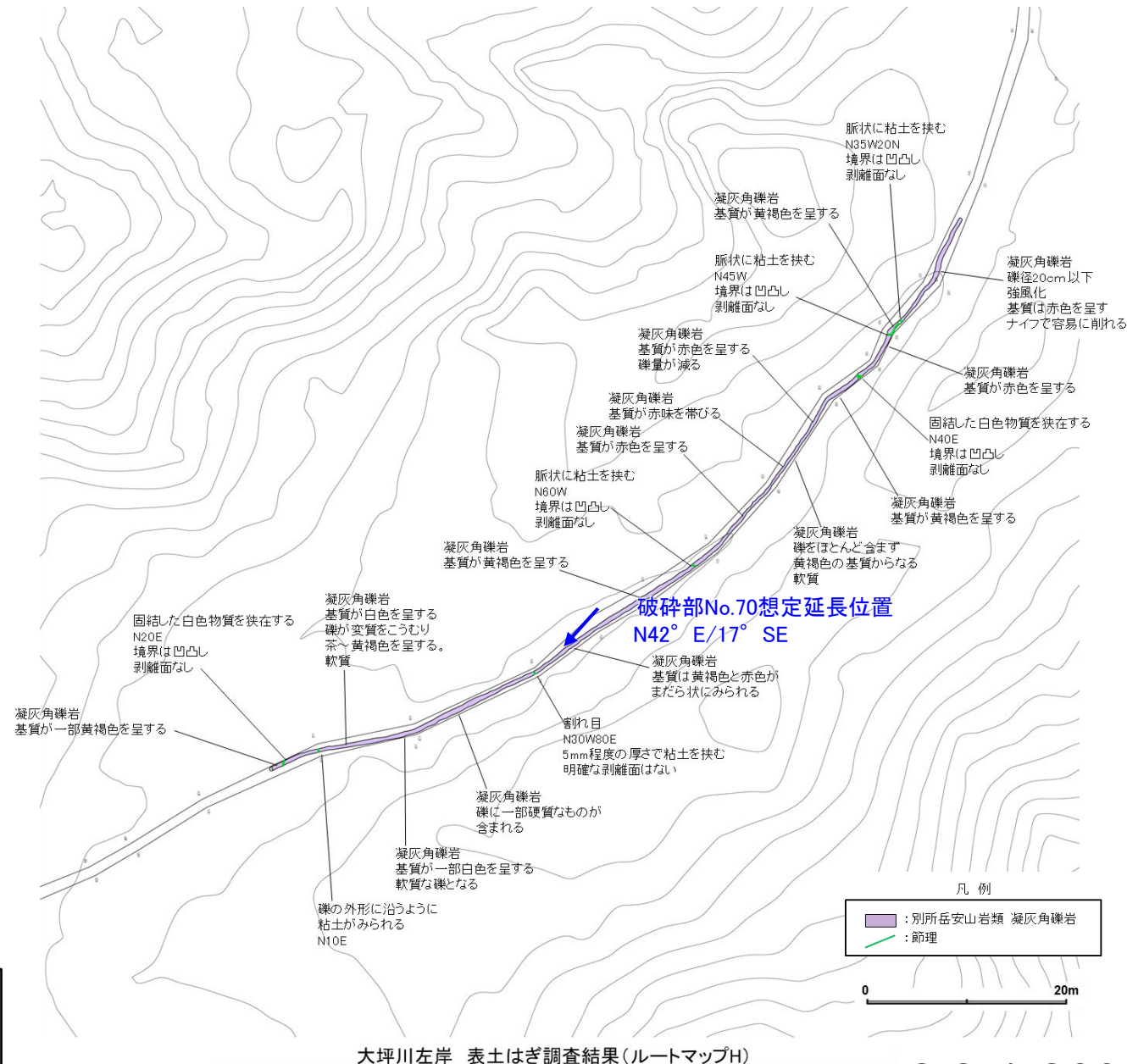
表土はぎ調査結果(ルートマップF)

走向・傾斜が福浦断層と異なり、ルートマップFの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

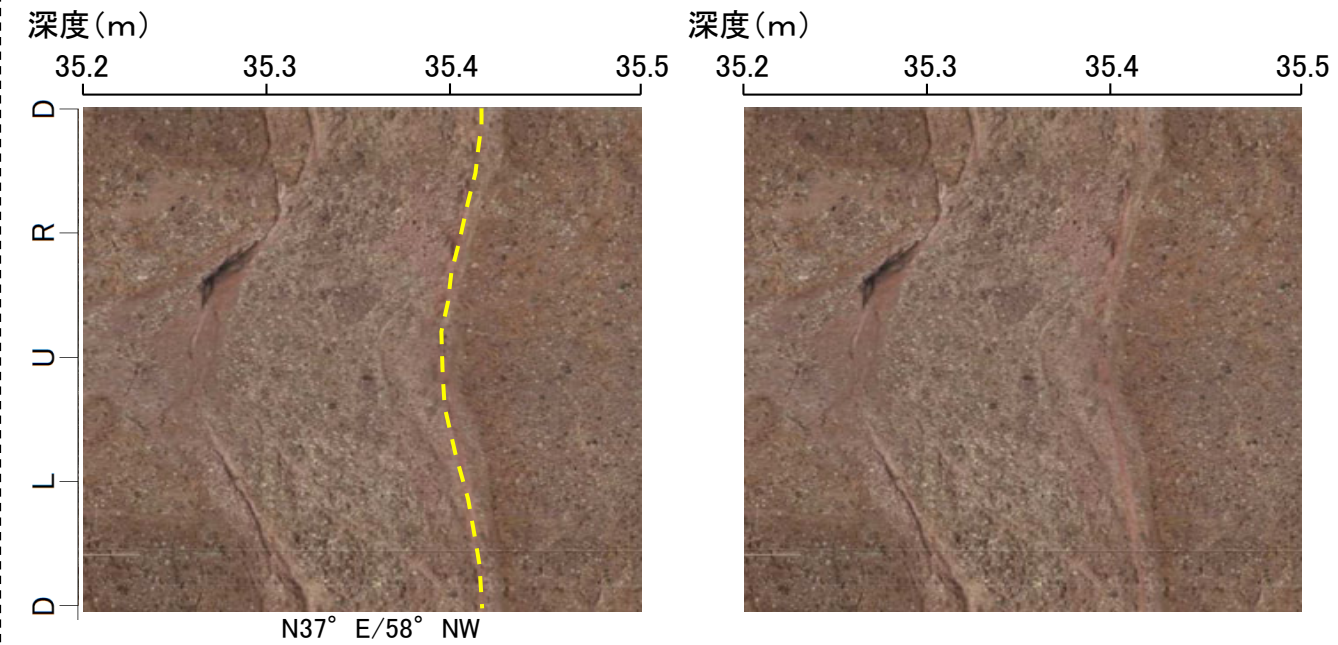
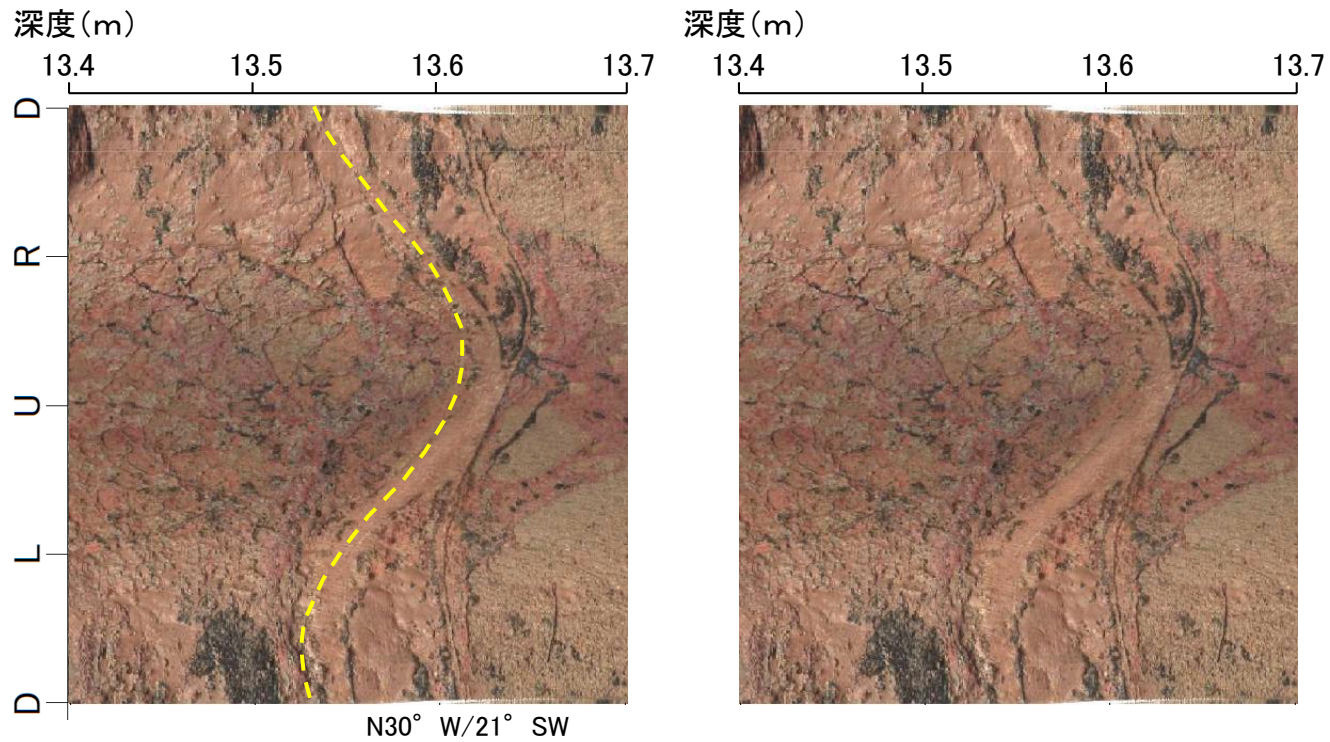
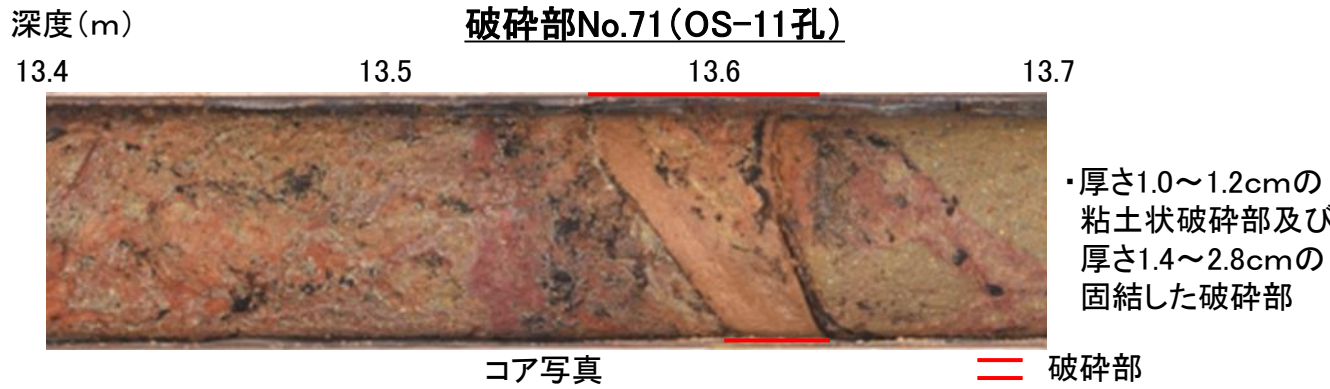
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-9孔) (1/1)】



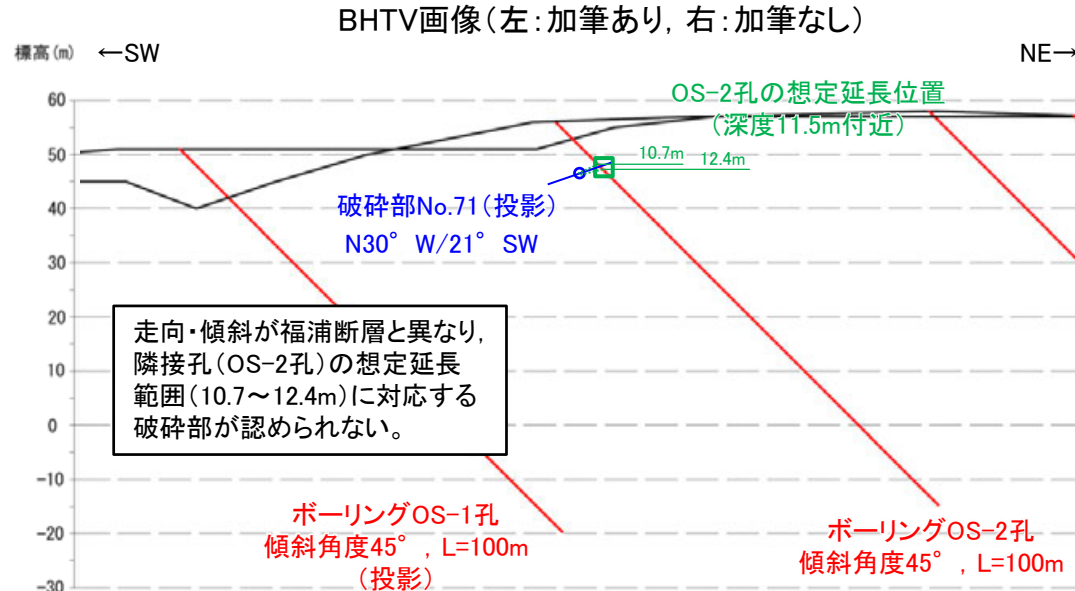
走向・傾斜が福浦断層と異なり, ルートマップHの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



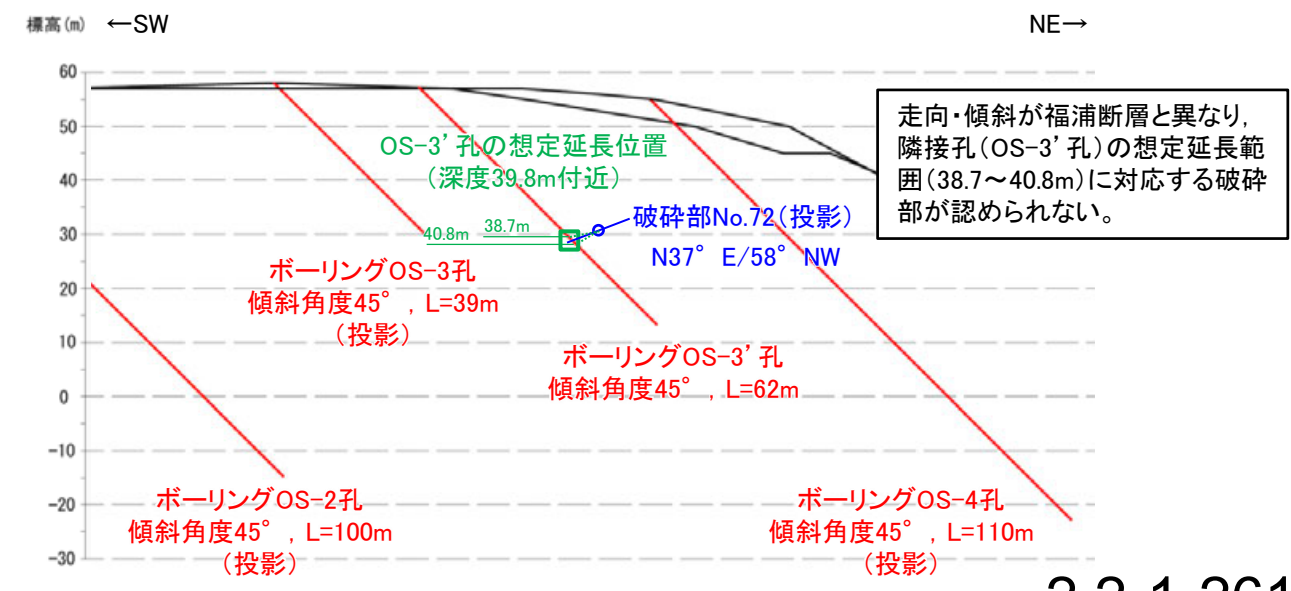
## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (1/4)】



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



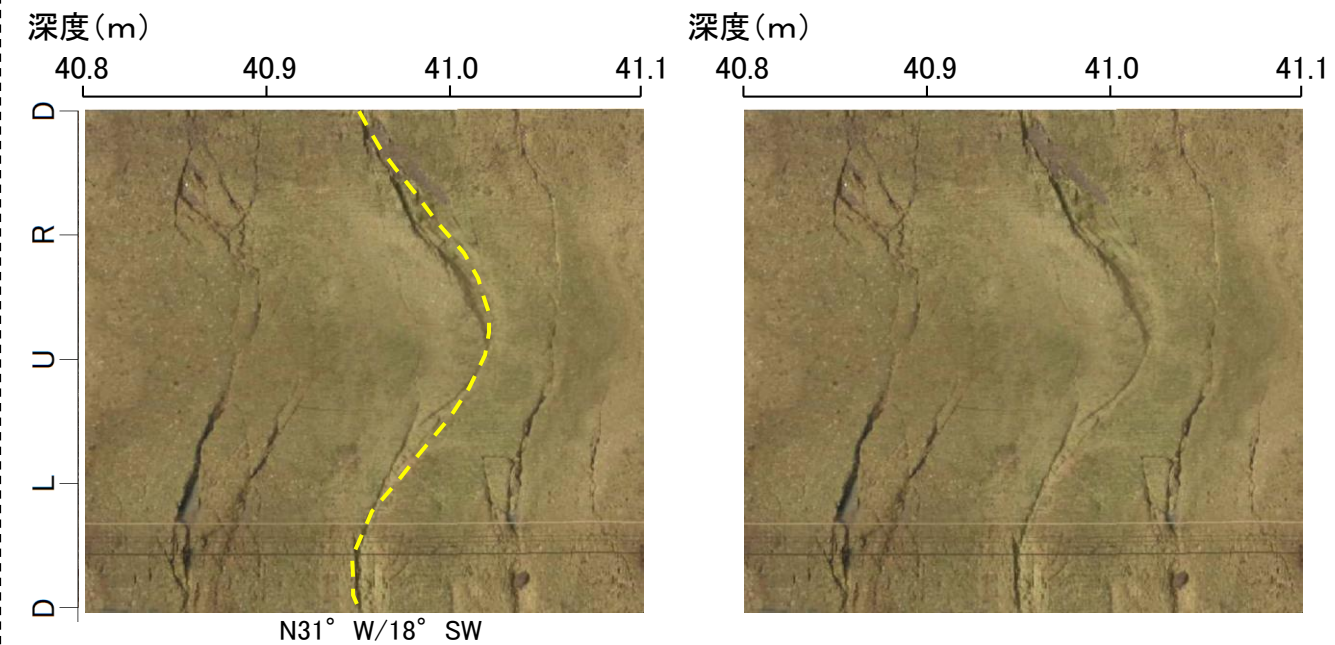
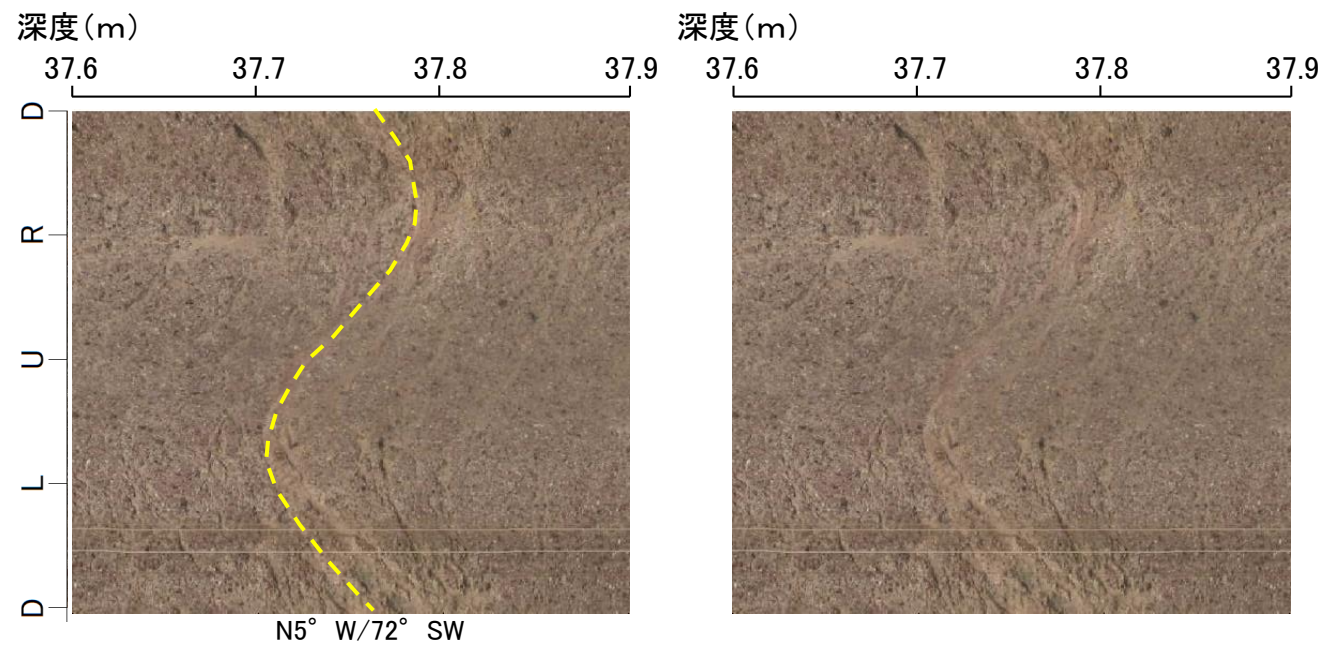
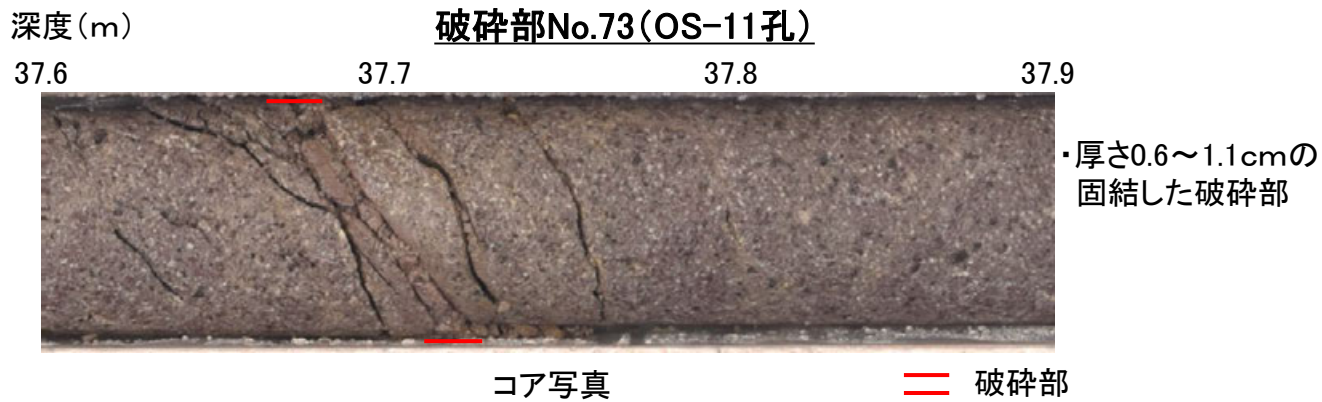
断面図



断面図

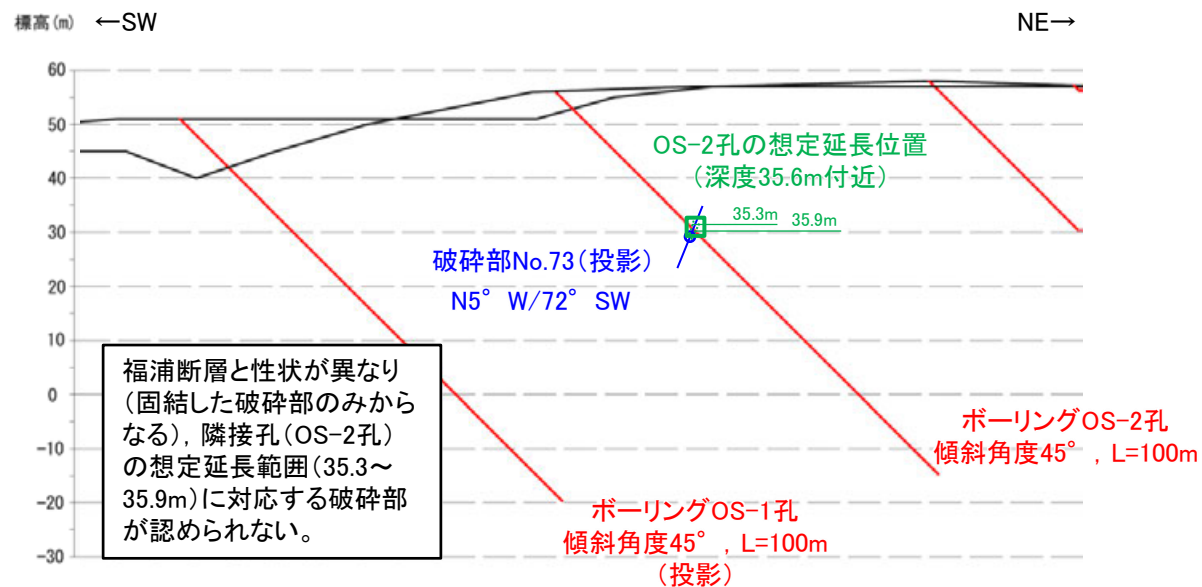


## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (2/4)】

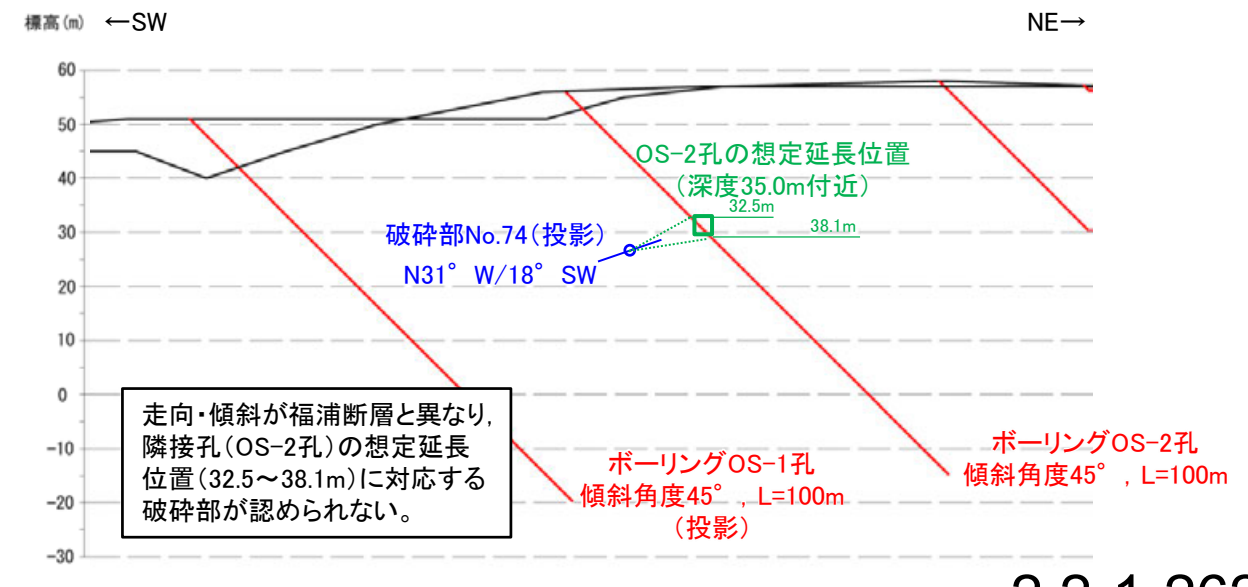


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

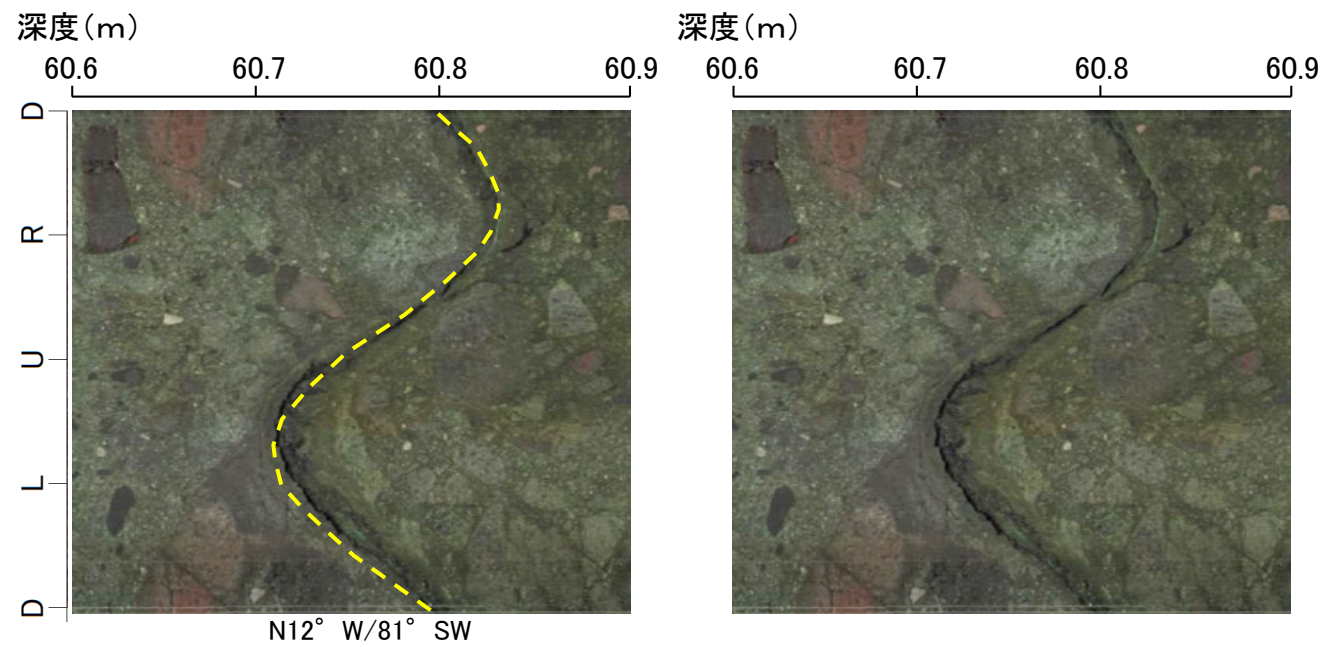


断面図

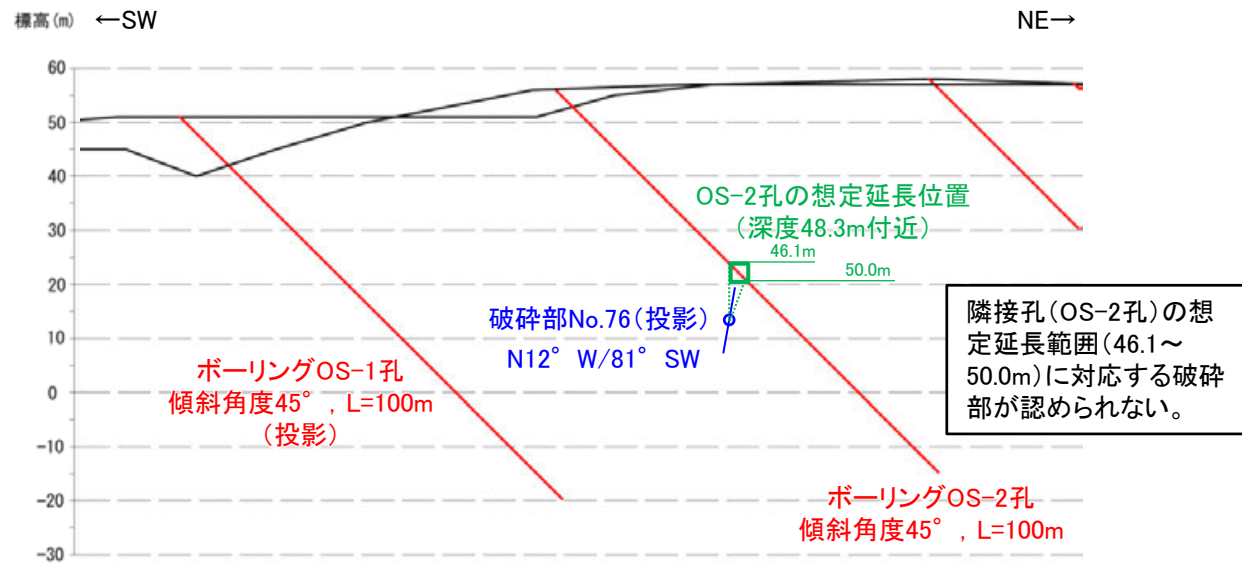


断面図

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (3/4)】

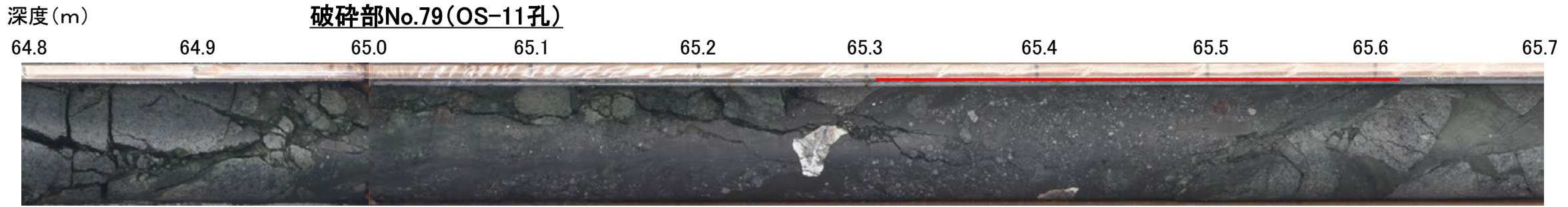


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

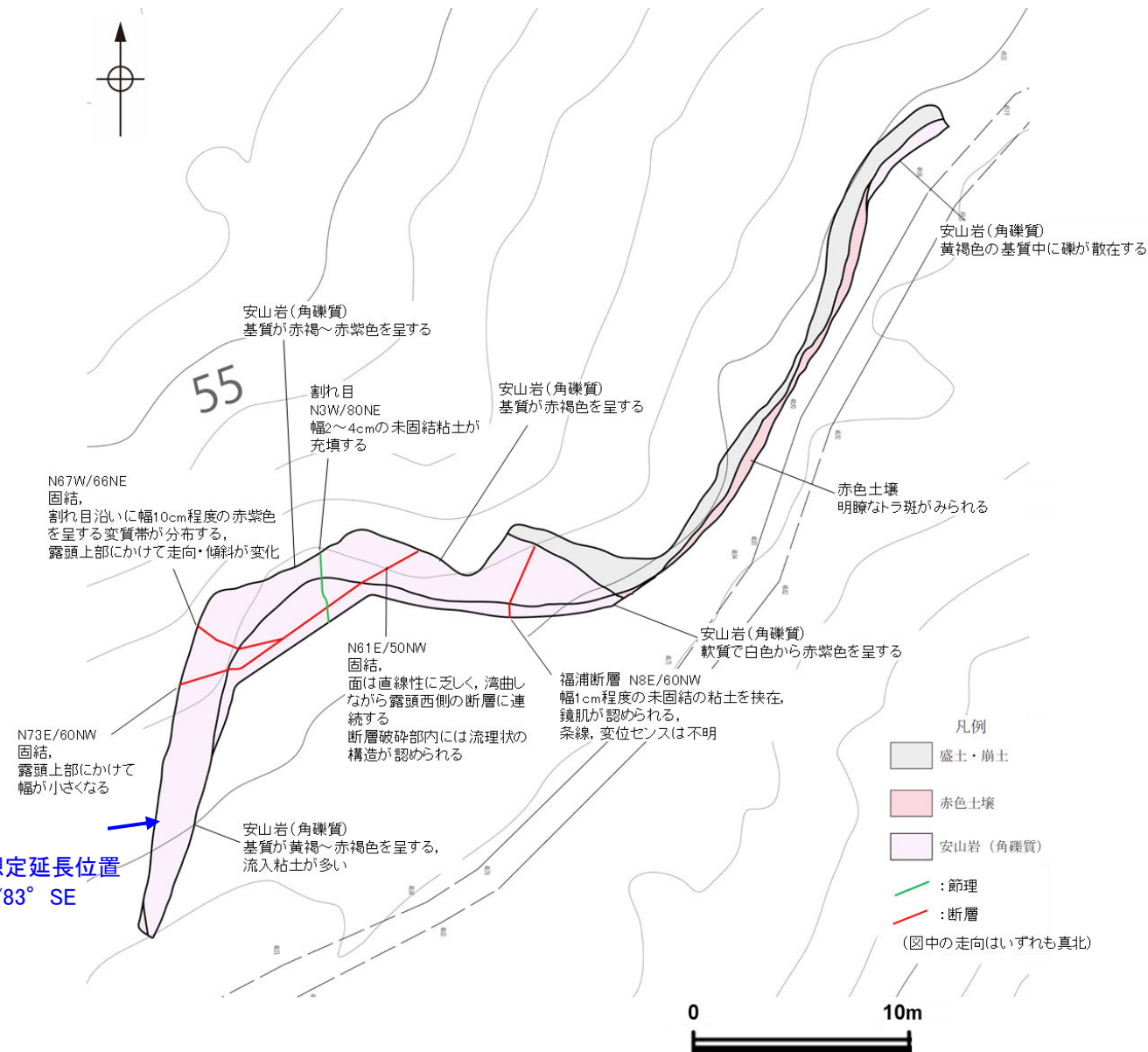
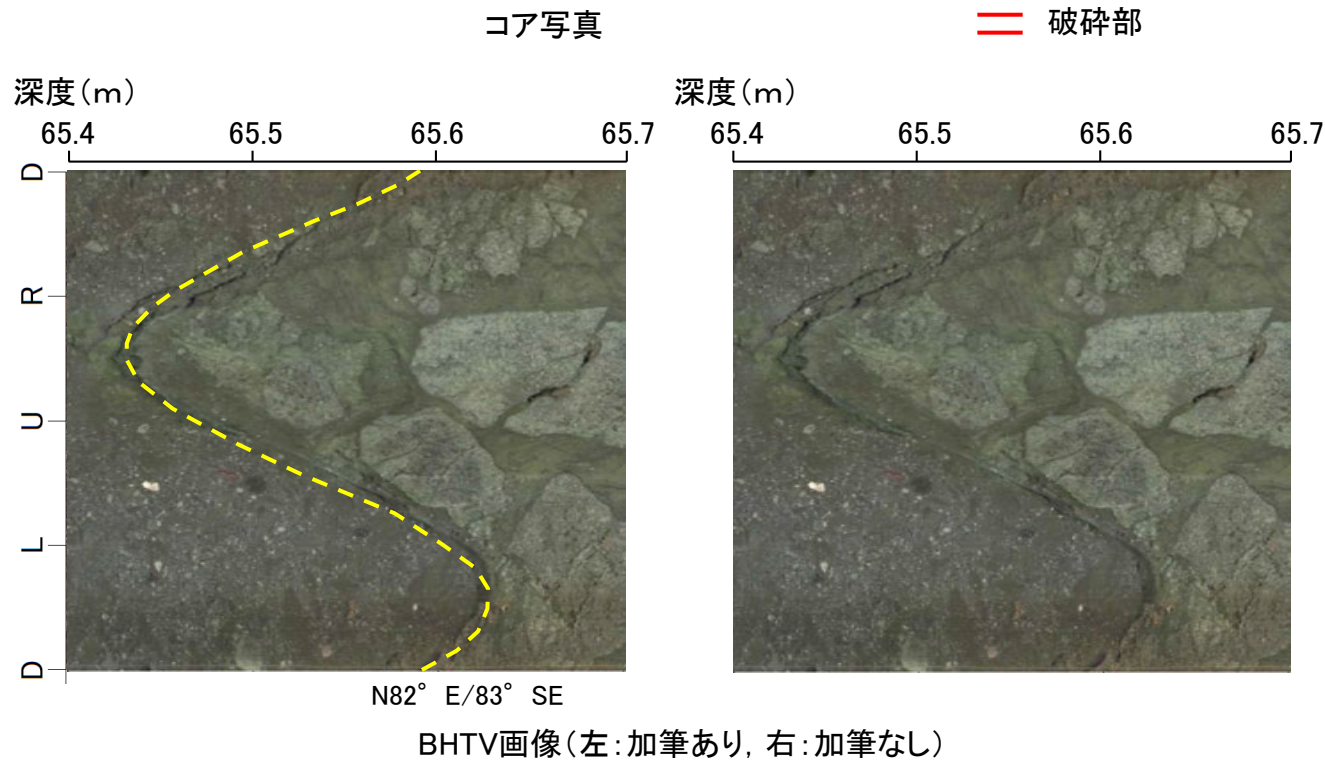


断面図

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (4/4)】



・厚さ0.2~0.5cmの砂状破碎部及び厚さ17~31cmの固結した破碎部



破碎部No.79想定延長位置  
N82° E/83° SE

走向・傾斜が福浦断層と異なり, ルートマップIの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

大坪川左岸 表土はぎ調査結果(ルートマップI)

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-6孔) (1/1)】

深度(m)  
44.8 44.9 45.0 45.1

破碎部No.80(FD-6孔)



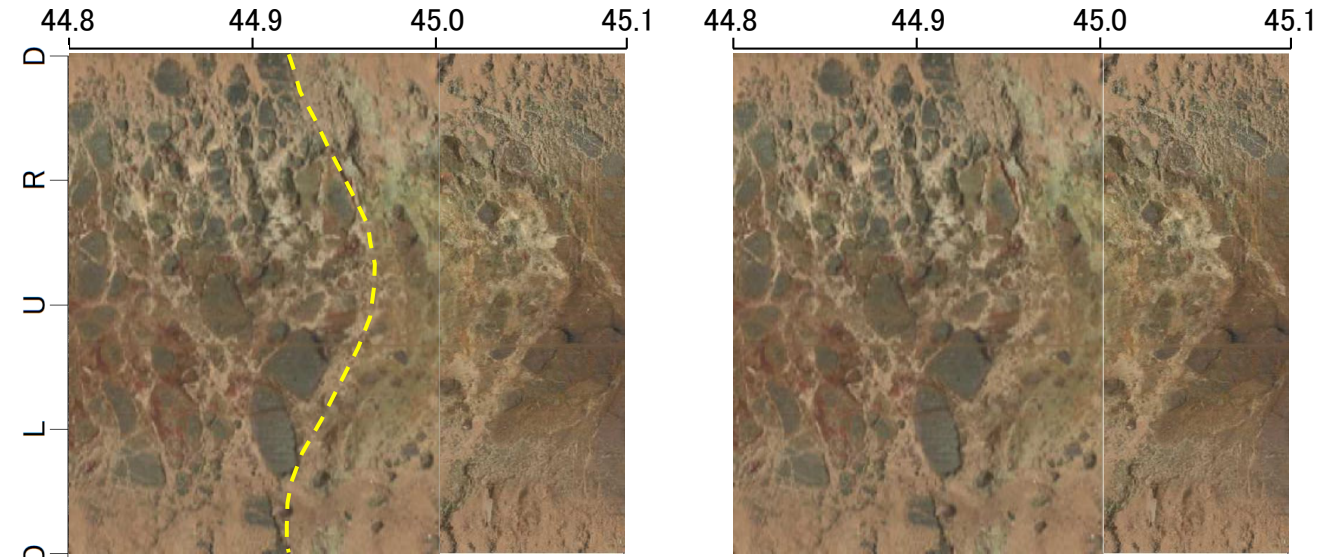
・厚さ7.0~7.5cmの砂状破碎部

深度(m)

コア写真

深度(m)

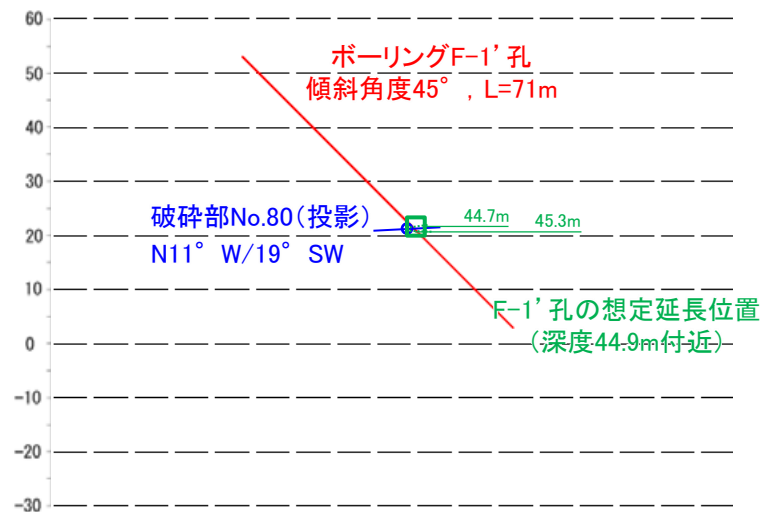
— 破碎部



N11° W/19° SW

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

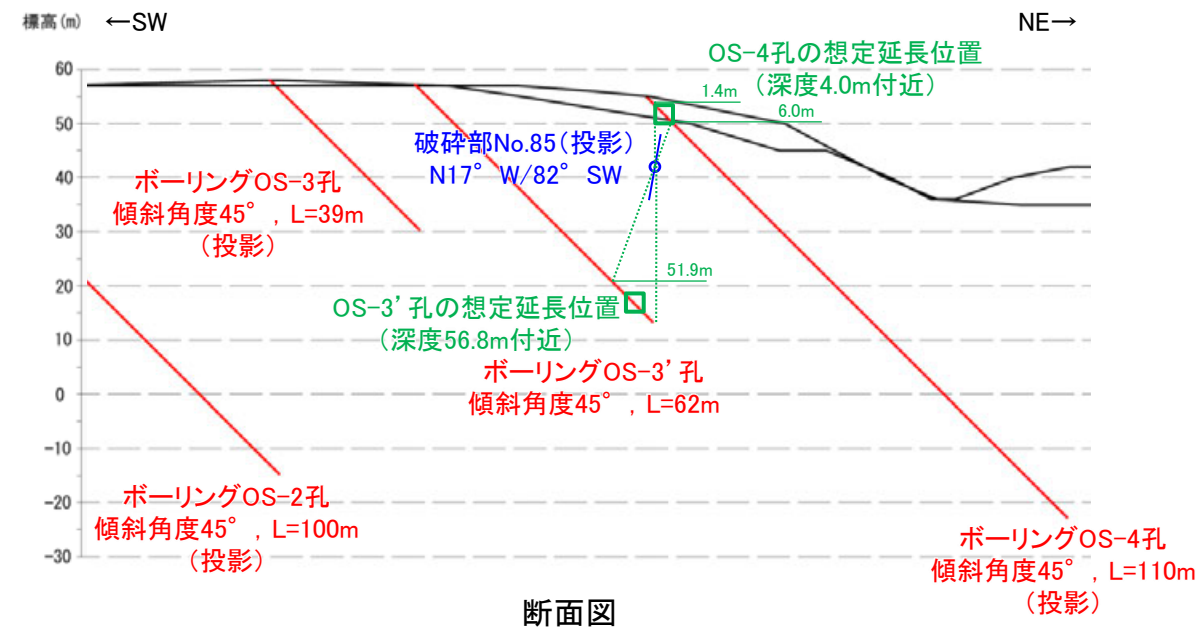
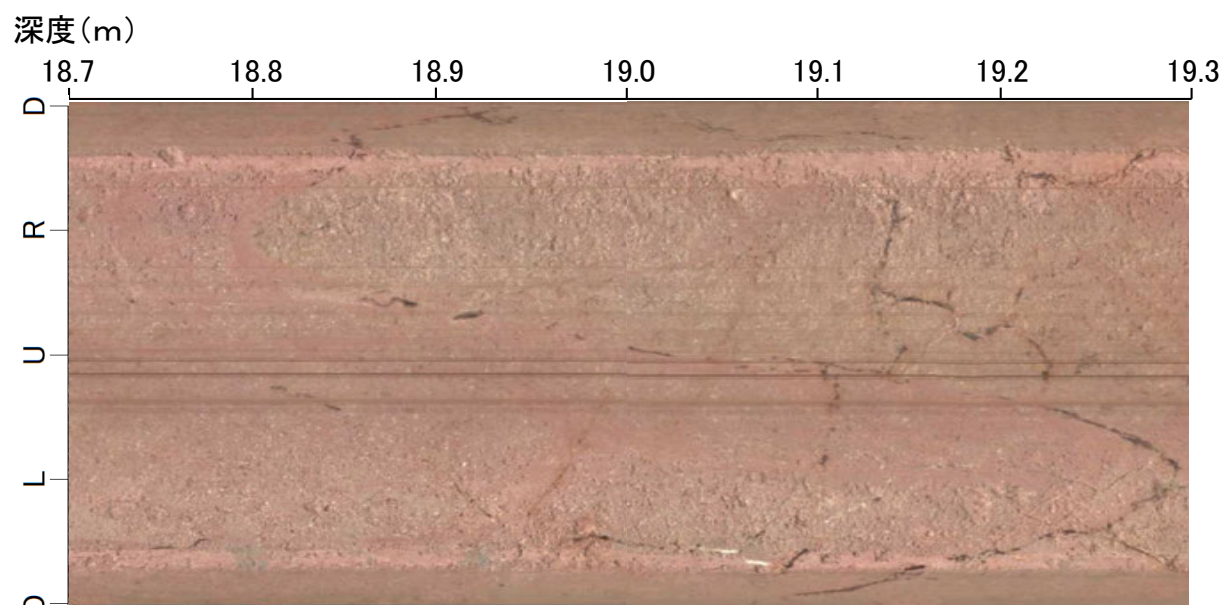
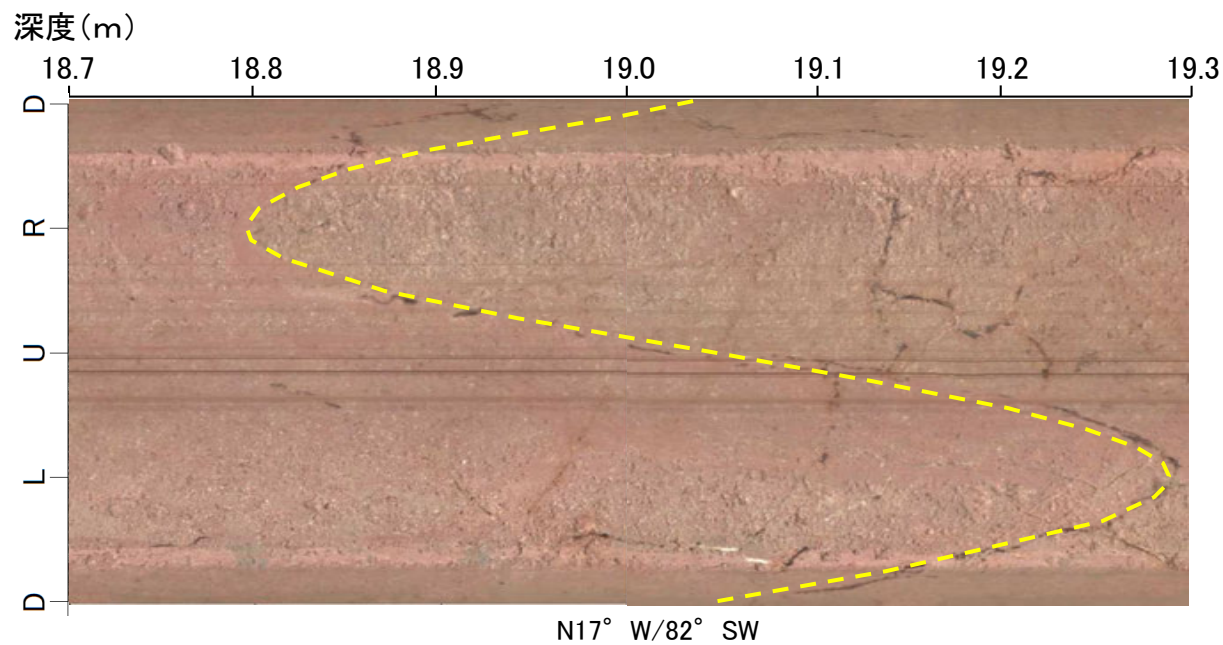
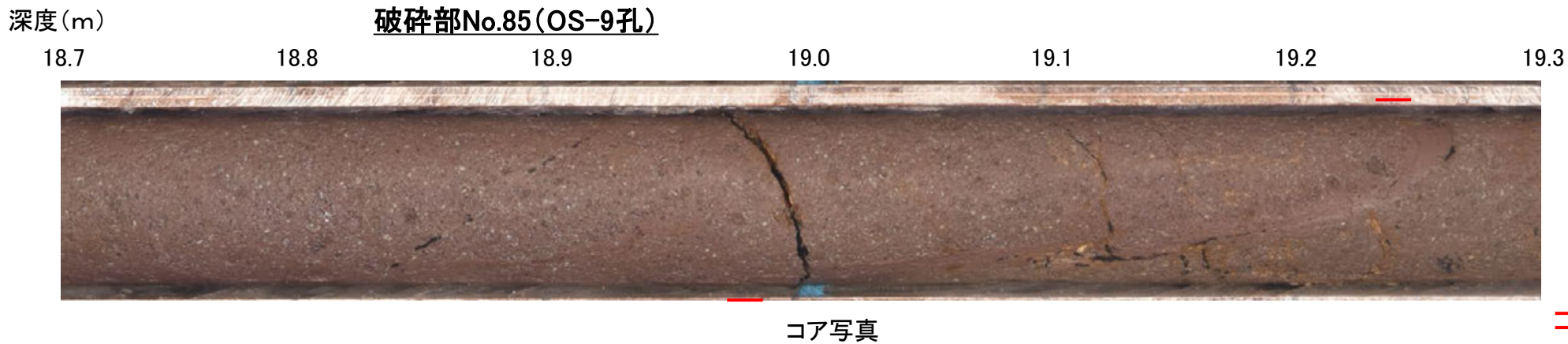
標高(m)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(F-1'孔)の想定延長位置(44.7~45.3m)に対応する破碎部が認められない。

断面図

### 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (1/8)】



性状が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-3'孔、OS-4孔)の想定延長位置(51.9~60.0m, 1.4~6.0m)に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (2/8)】

深度(m) **破碎部No.86(OS-9孔)**  
20.6 20.7 20.8 20.9 21.0 21.1 21.2

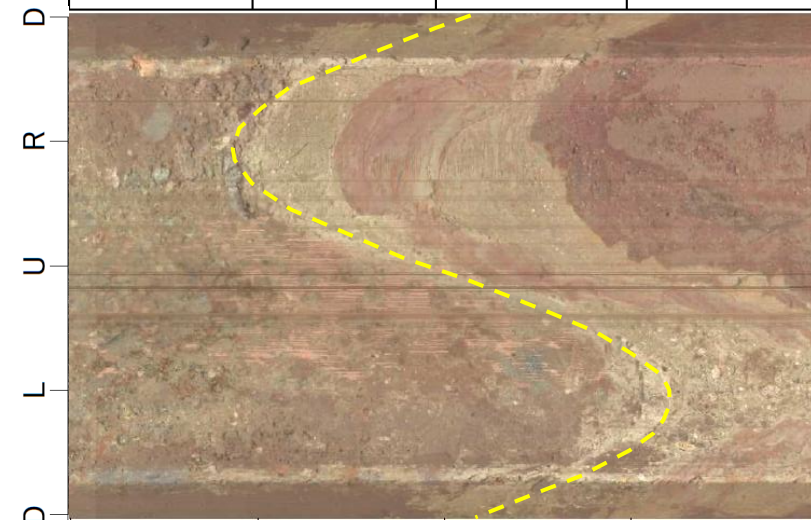


・厚さ1.8~2.0cmの粘土状破碎部及び厚さ3.7~13cmの固結した破碎部

コア写真

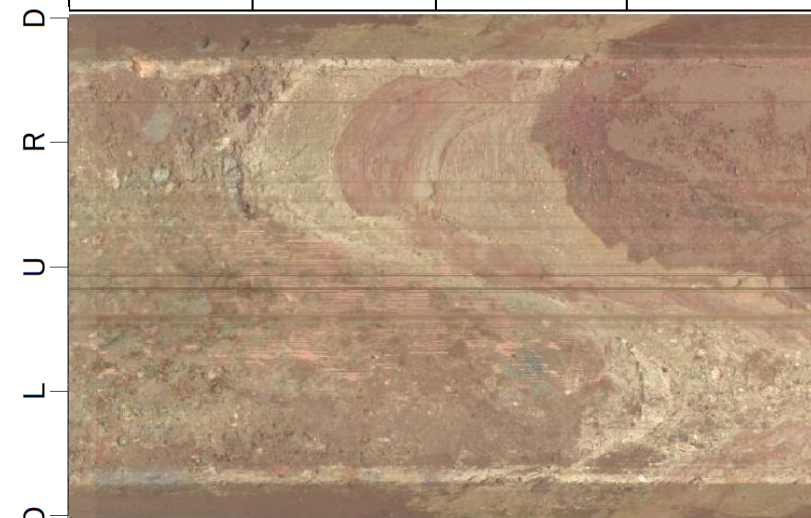
== 破碎部

深度(m)  
20.6 20.7 20.8 20.9 21.0

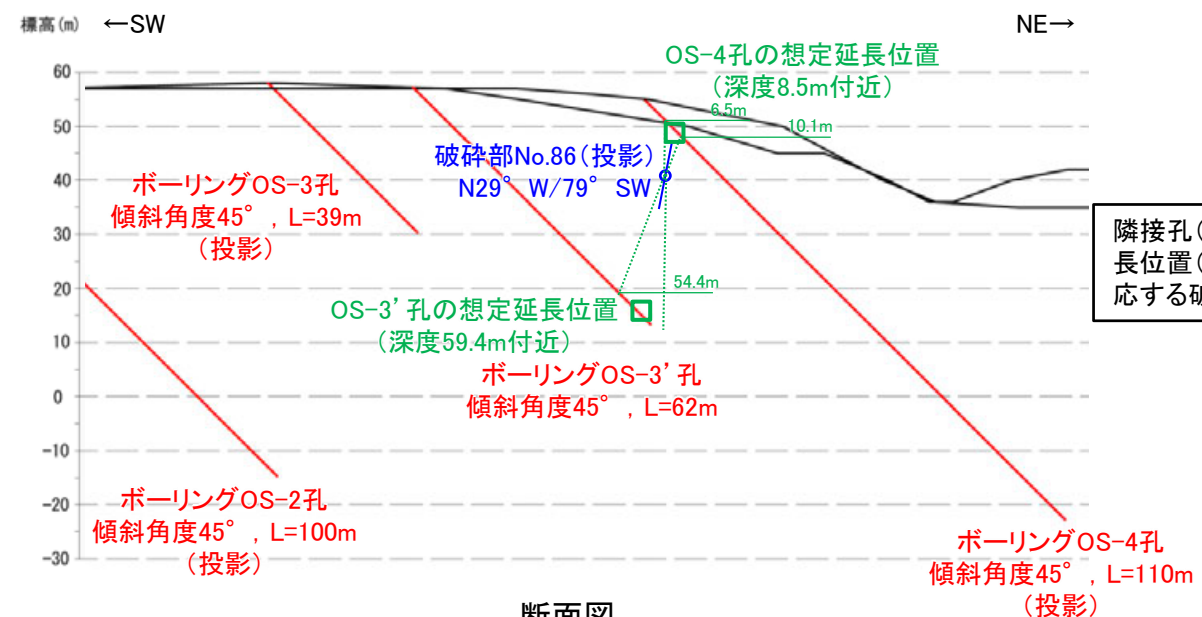


N29° W/79° SW

深度(m)  
20.6 20.7 20.8 20.9 21.0

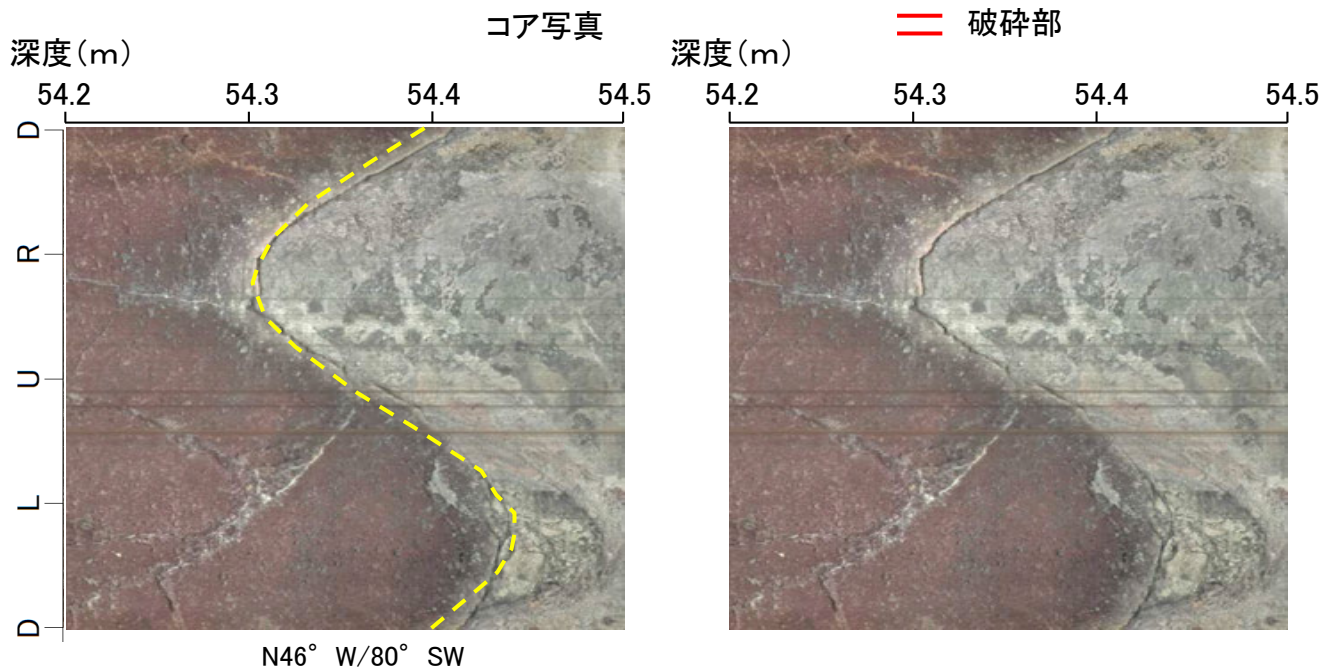
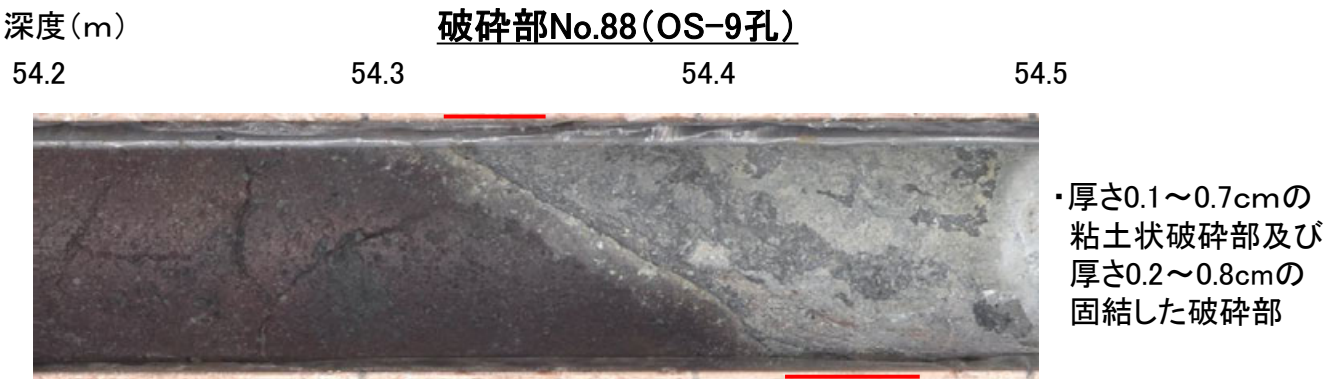


BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)

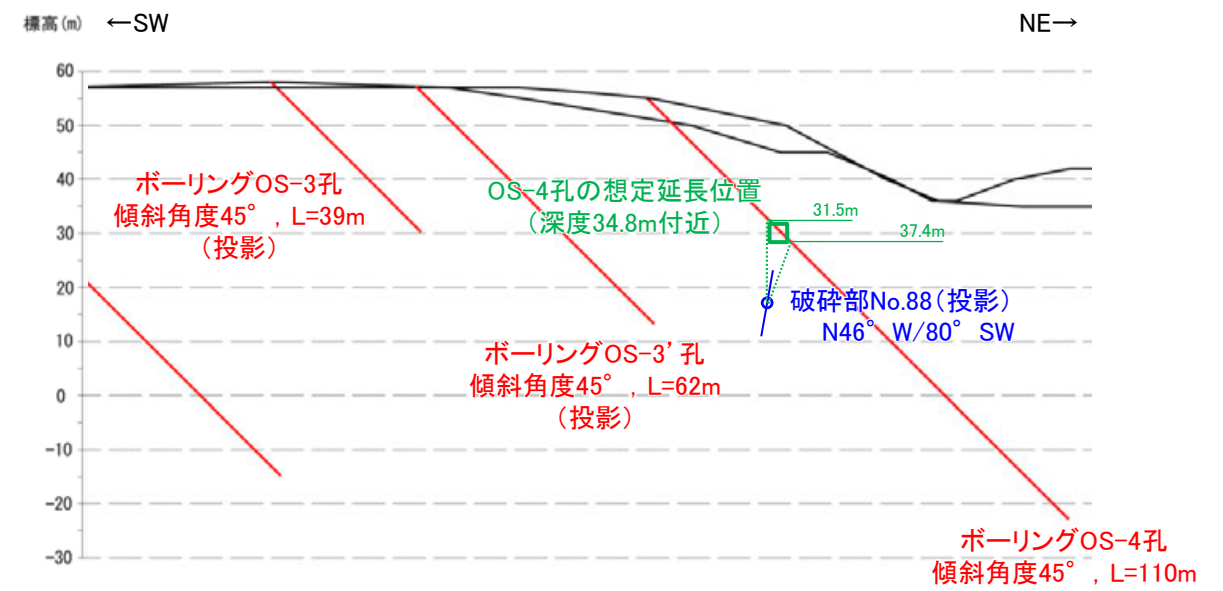


隣接孔(OS-3'孔, OS-4孔)の想定延長位置(54.4~60.0m, 6.5~10.1m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-9孔) (3/8)】



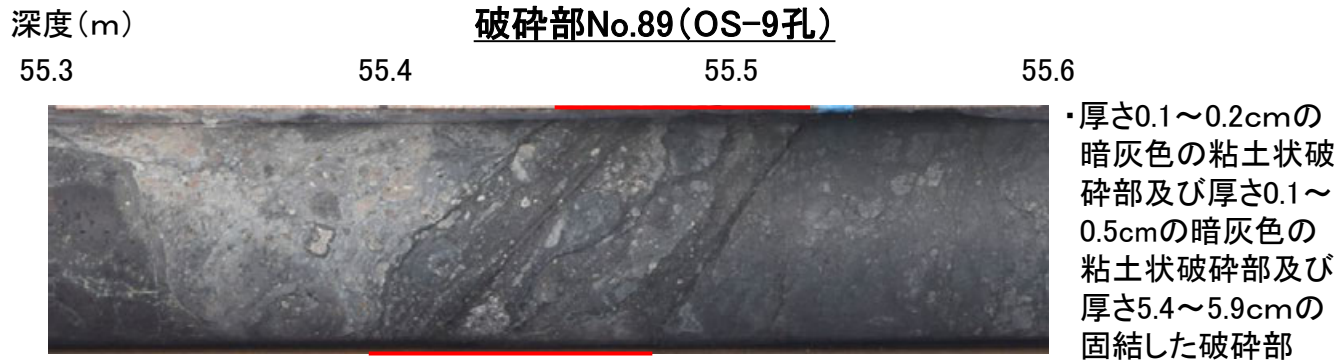
BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



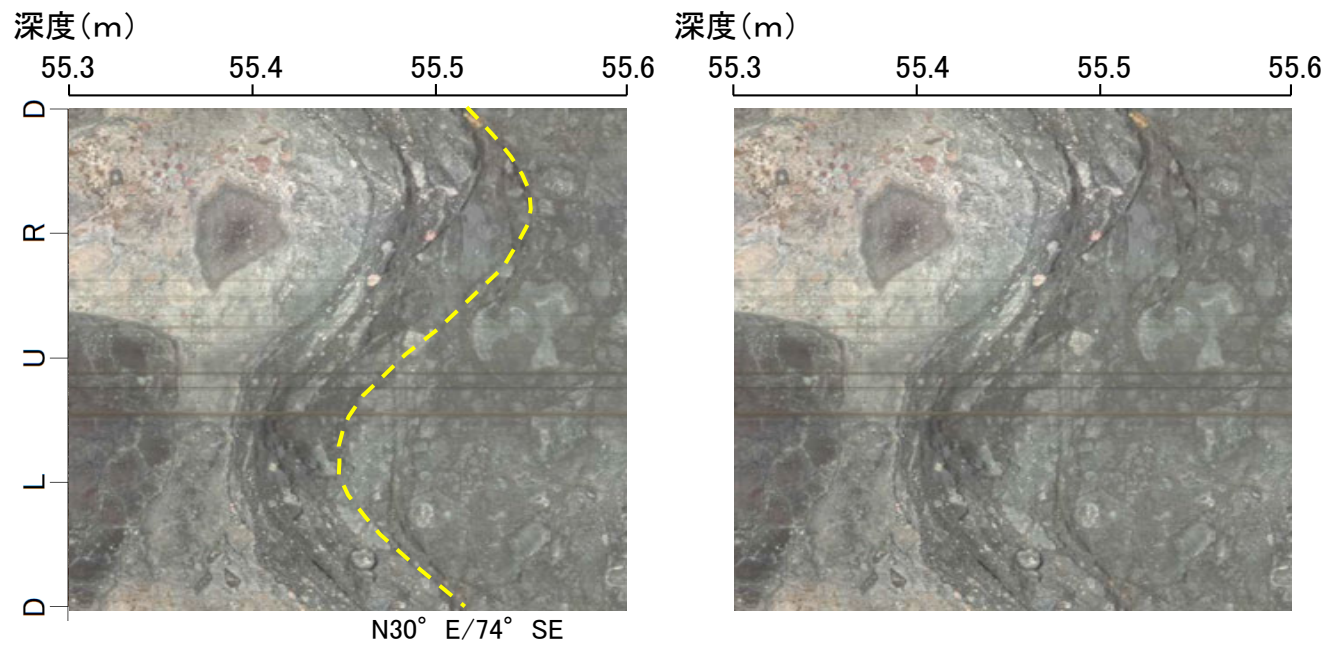
断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(31.5~37.4m)に対応する破砕部が認められない。

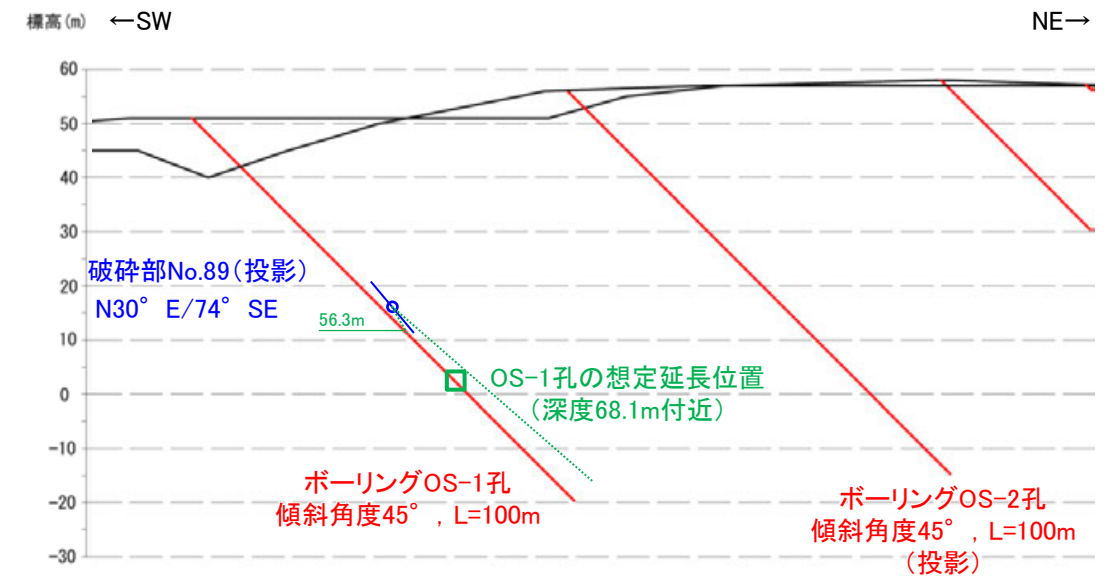
## 【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-9孔) (4/8)】



コア写真 — 破砕部



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-1孔)の想定延長範囲(56.3~100.0m)に対応する破砕部が認められない。



【福浦断層以外の破砕部の連続性確認(OS-9孔) (5/8)】

深度(m) 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9

破砕部No.90(OS-9孔)

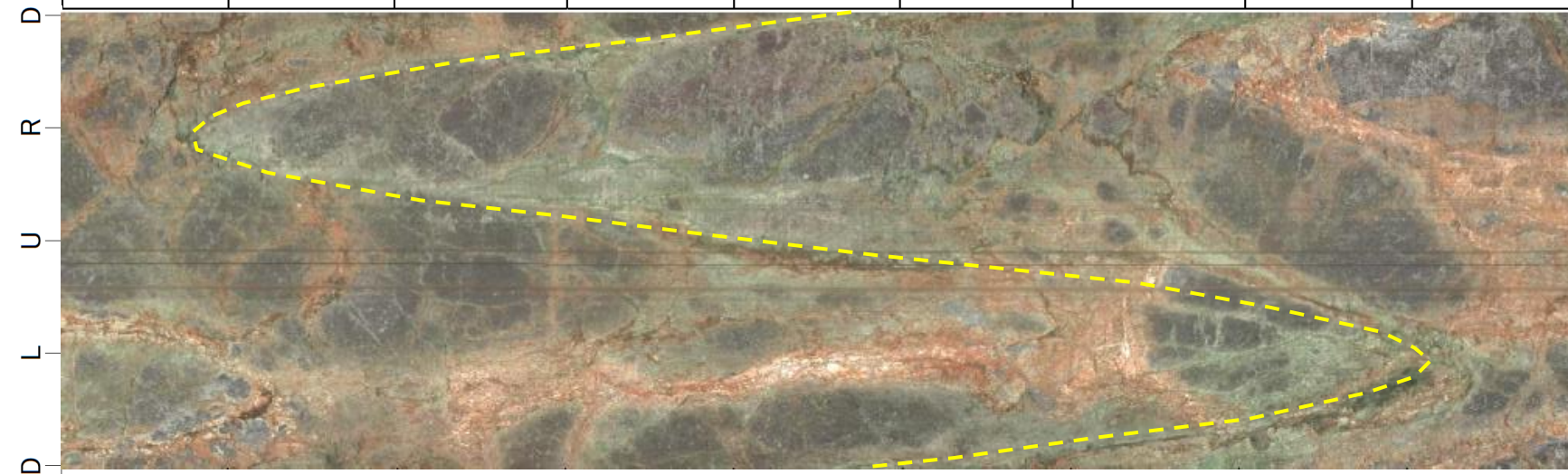


・厚さ0.3~1.1cmの  
粘土状破砕部

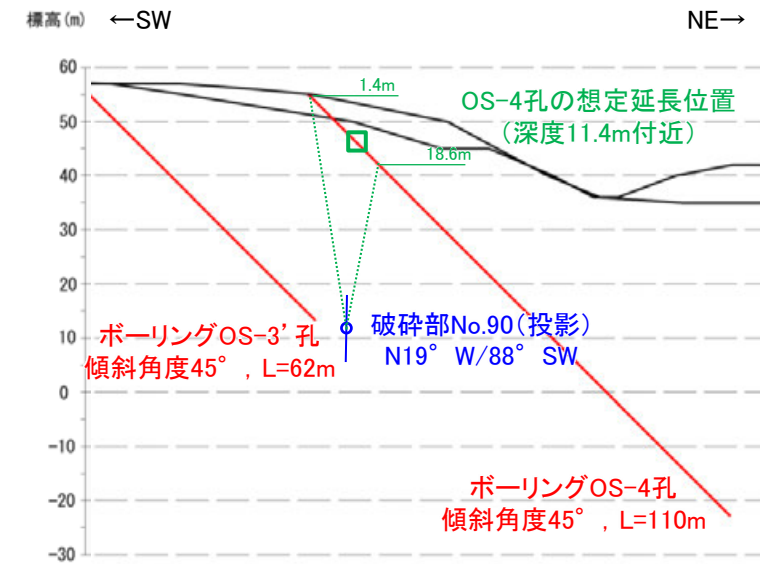
コア写真

== 破砕部

深度(m) 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9



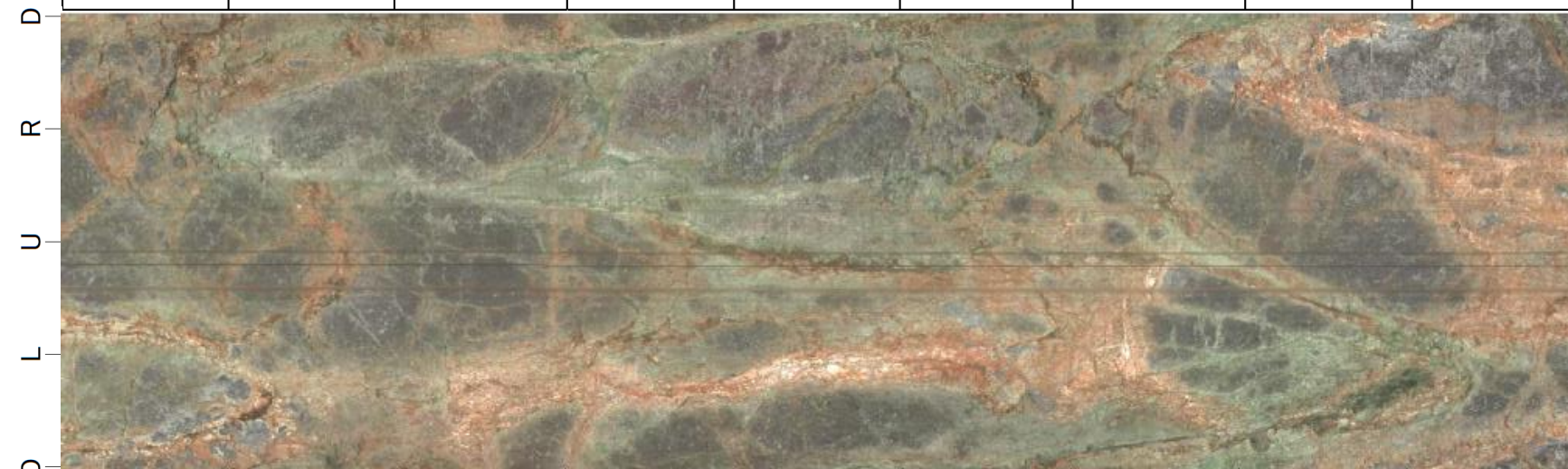
N19° W/88° SW



断面図

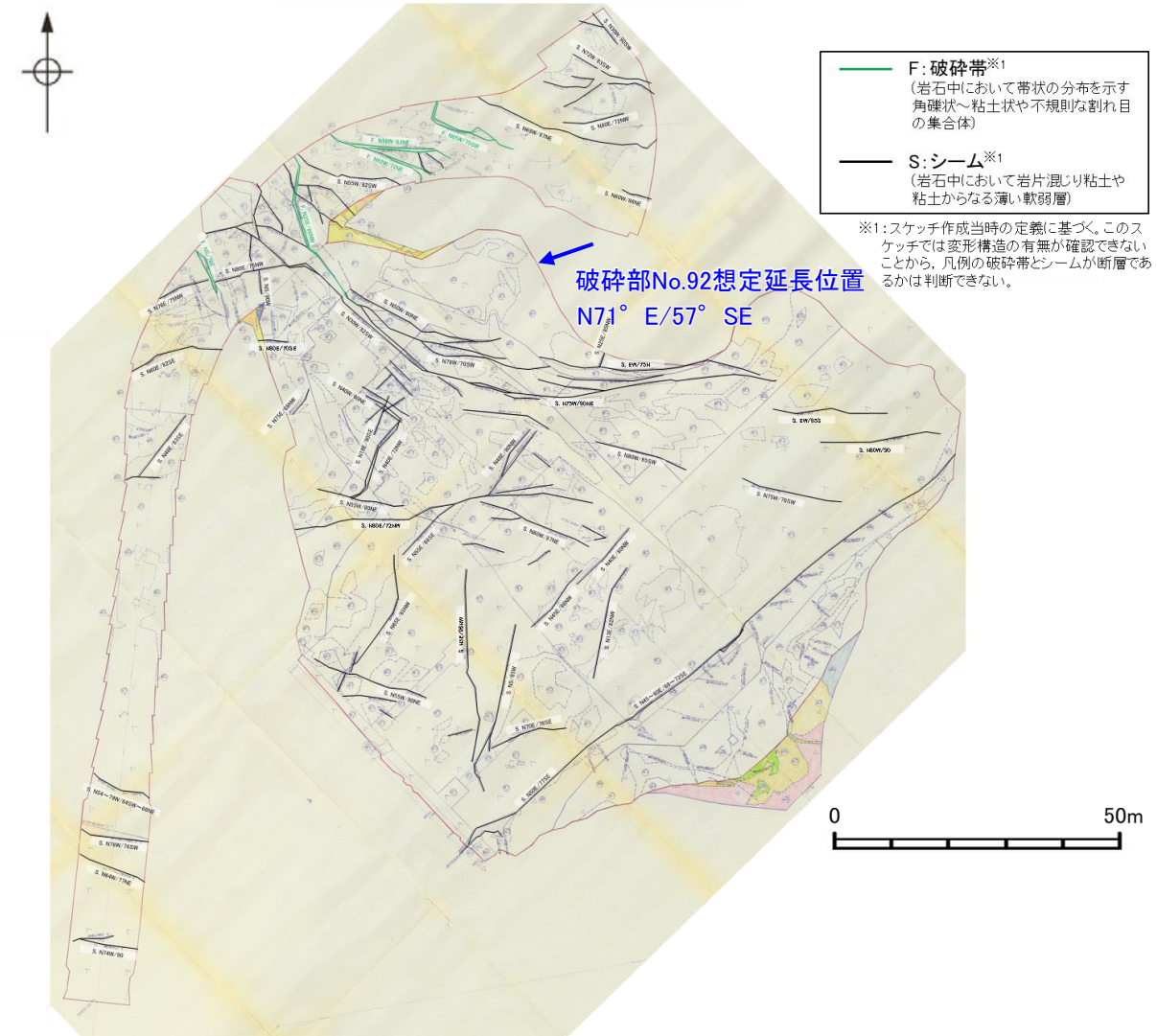
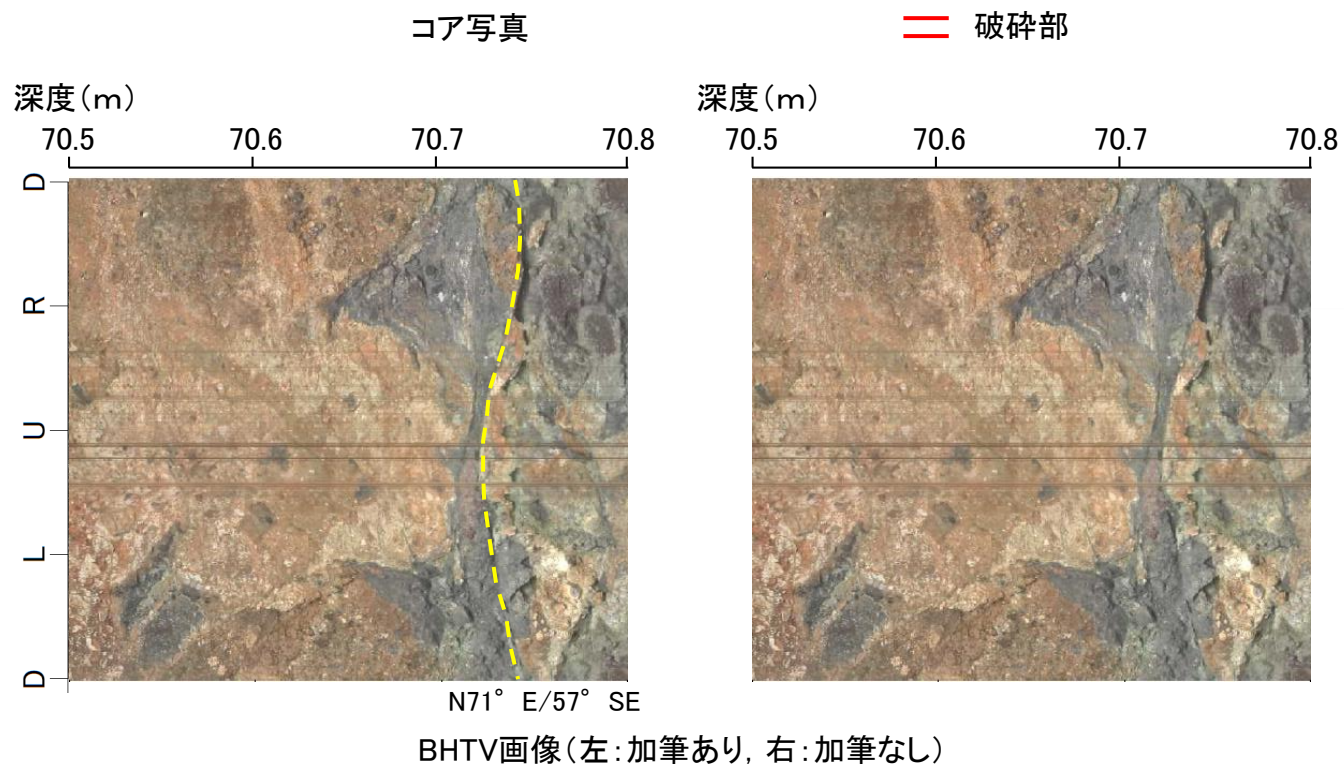
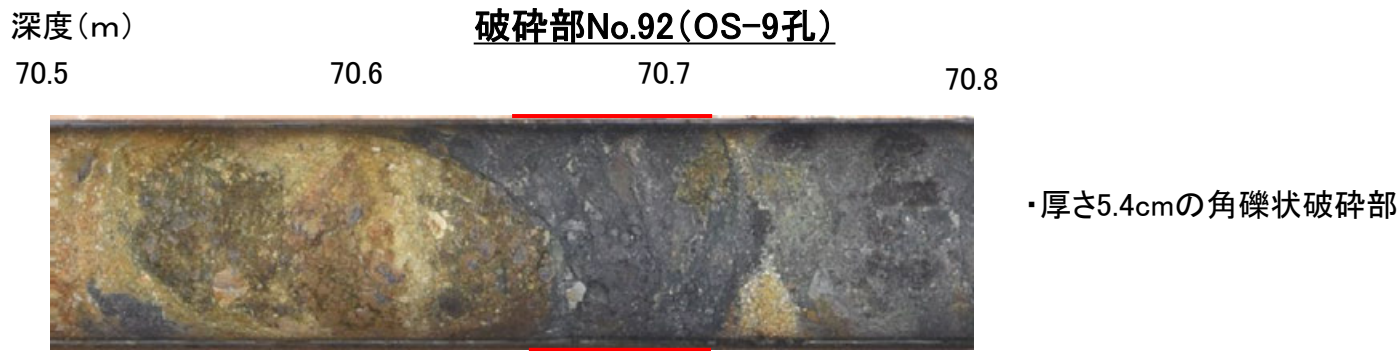
走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(1.4~18.6m)に対応する破砕部が認められない。

深度(m) 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9



BHTV画像(上:加筆あり, 下:加筆なし)

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (6/8)】



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (7/8)】

深度(m)  
71.0 71.1 71.2 71.3

### 破碎部No.93(OS-9孔)



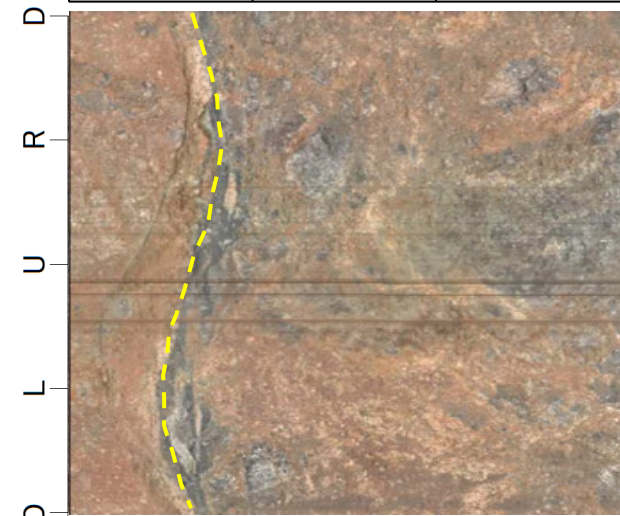
・厚さ0.1~0.5cmの粘土状破碎部及  
び厚さ0.6~2.0cmの固結した破碎部

コア写真

== 破碎部

深度(m)  
71.0 71.1 71.2 71.3

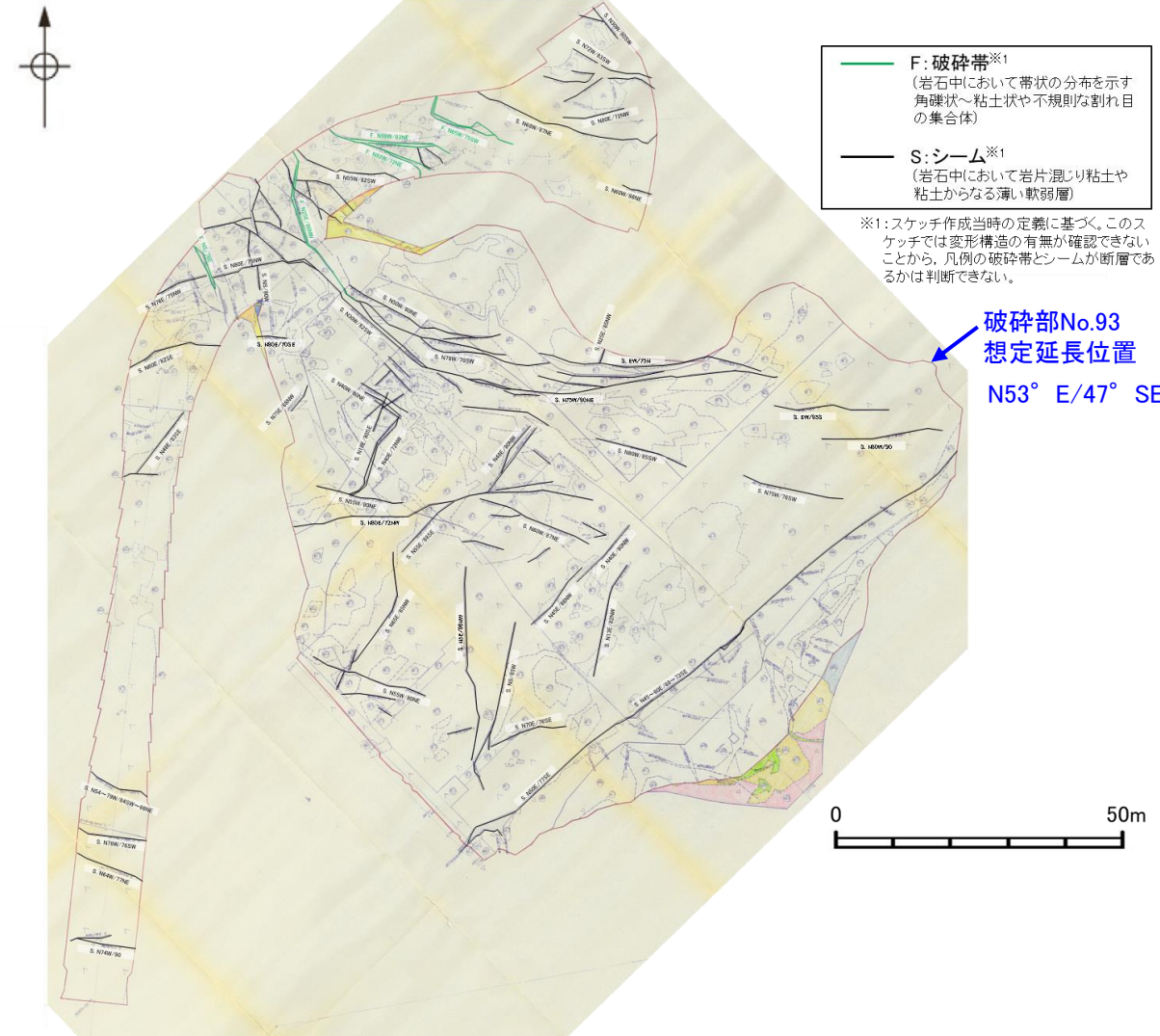
深度(m)  
71.0 71.1 71.2 71.3



N53° E/47° SE



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

## 【破砕部の連続性確認(OS-9孔) (8/8)】

深度(m) 79.5 79.6 79.7 79.8

### 破砕部No.94(OS-9孔)

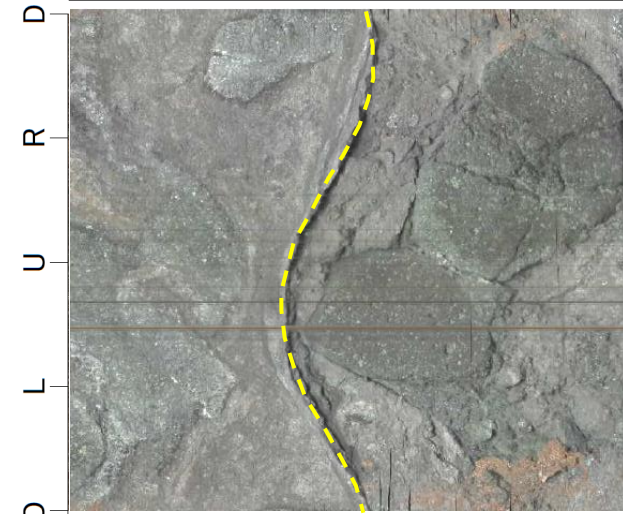


・厚さ0.2~0.7cmの粘土状破砕部及び厚さ2.3~3.3cmの固結した破砕部

コア写真

破砕部

深度(m) 79.5 79.6 79.7 79.8

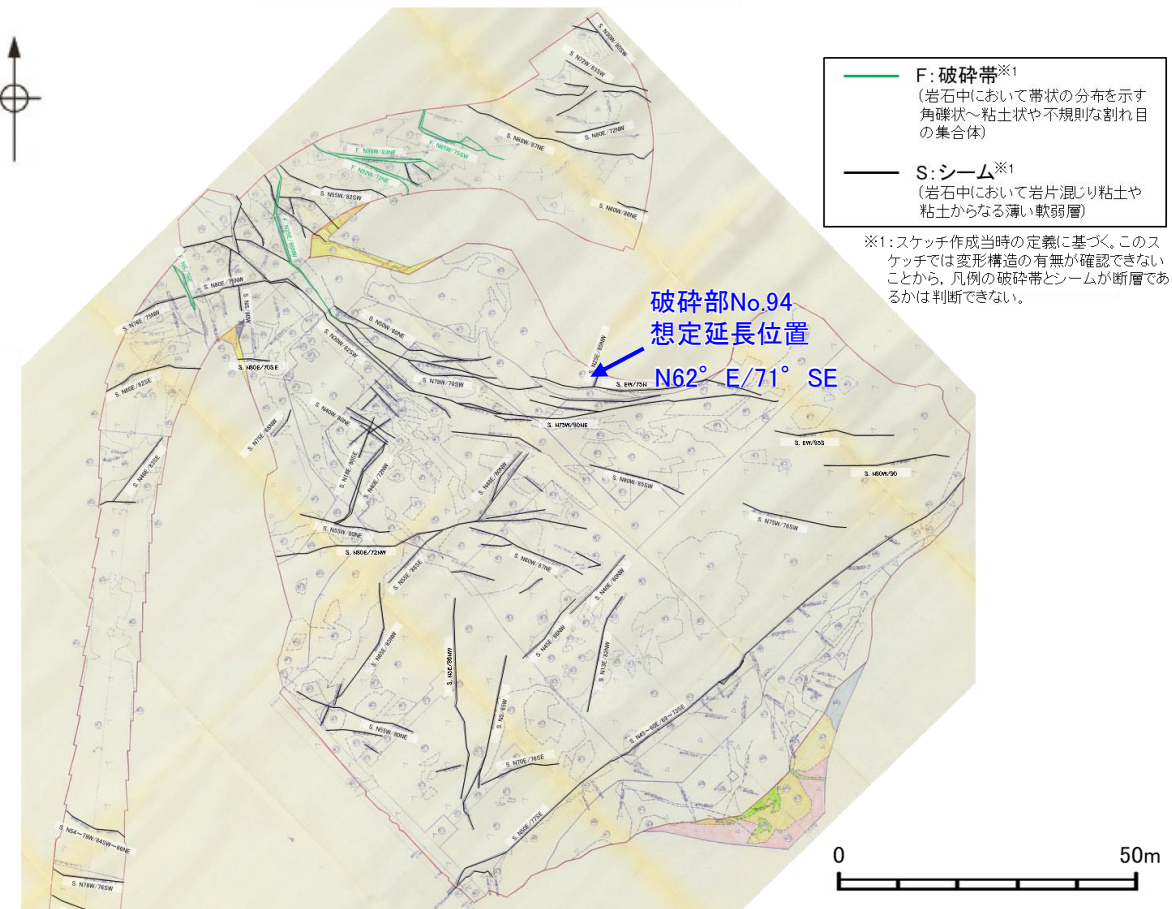


N62° E/71° SE

深度(m) 79.5 79.6 79.7 79.8



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



F: 破砕帯※1  
(岩石中において帯状の分布を示す角礫状~粘土状或不規則な割れ目の集合体)

S: シーム※1  
(岩石中において岩片混じり粘土や粘土からなる薄い軟弱層)

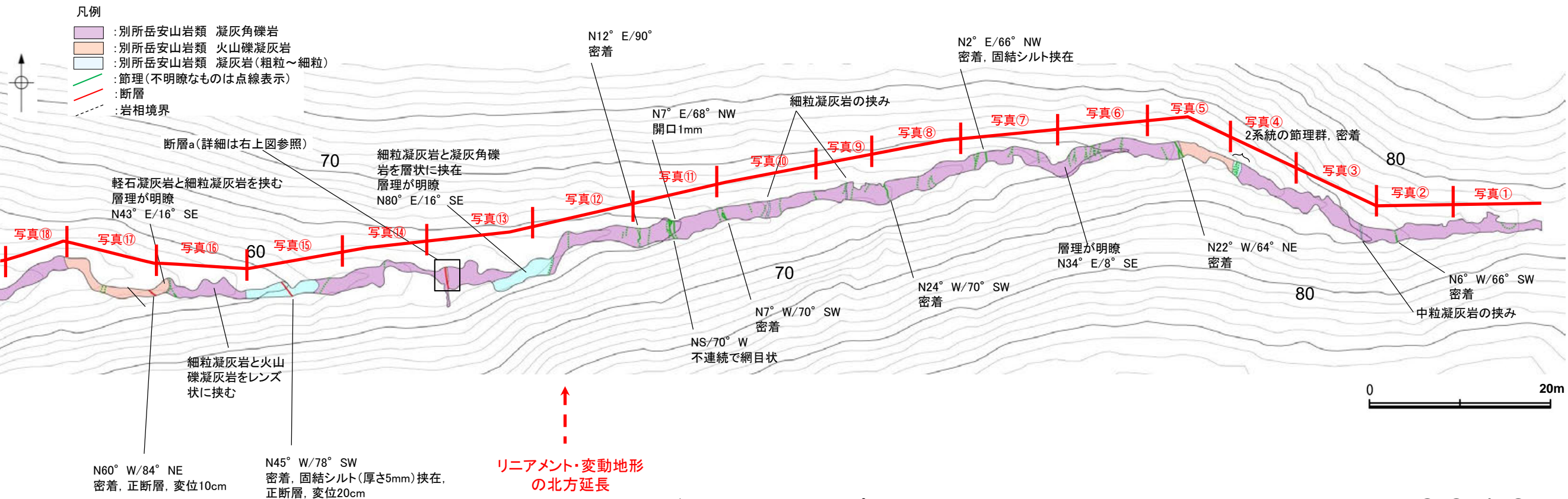
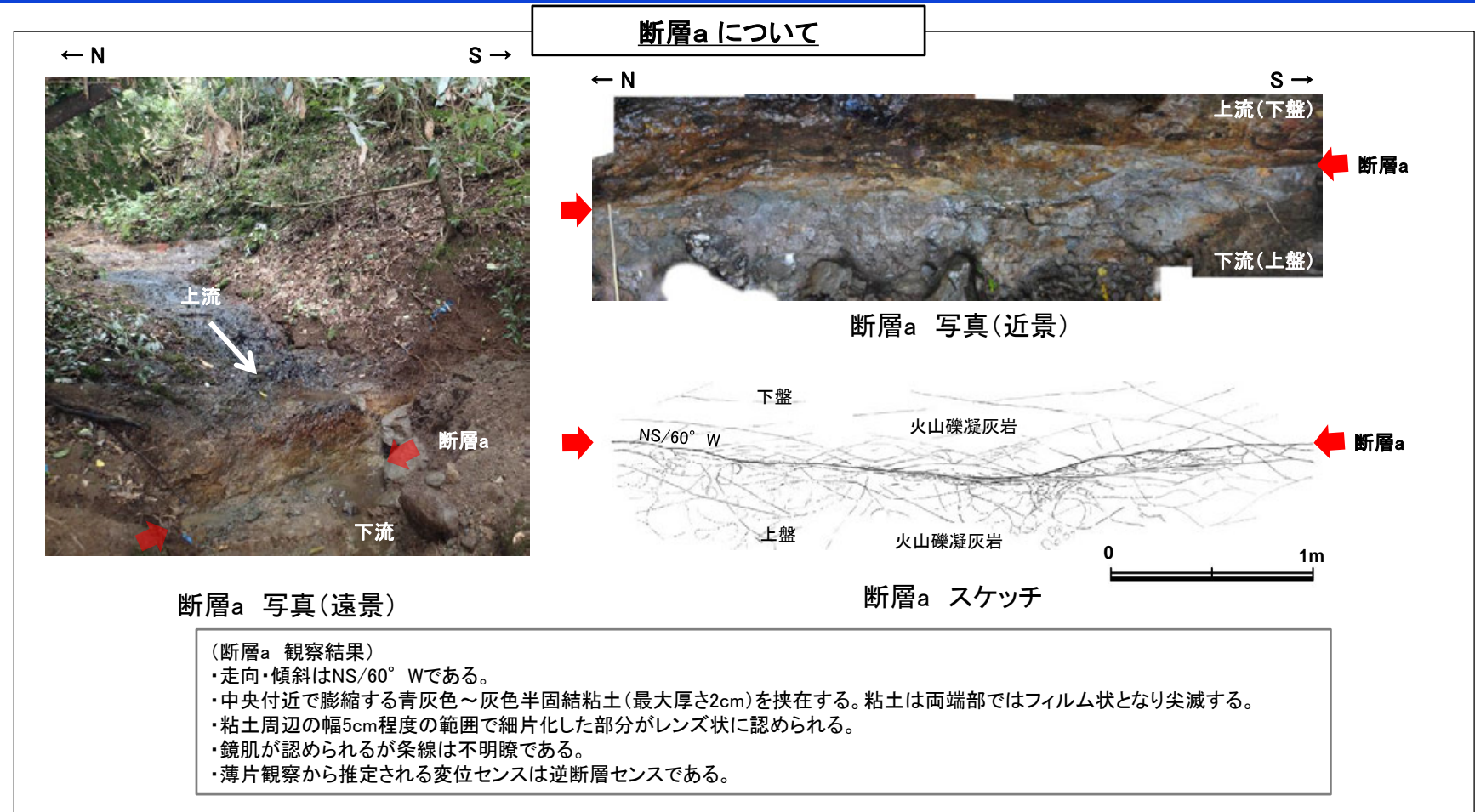
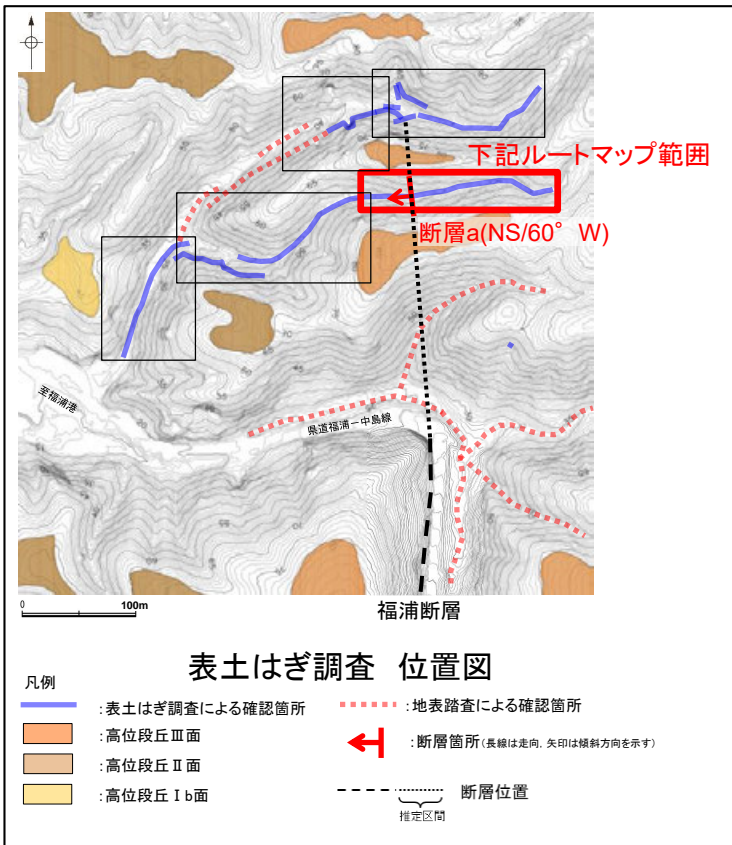
※1: スケッチ作成当時の定観に基づく。このスケッチでは変形構造の有無が確認できないことから、凡例の破砕帯とシームが断層であるかは判断できない。

大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破砕部が認められない。

---

## (7) 福浦港東部 表土はぎ調査



表土はぎ調査結果(ルートマップA) 写真位置図

←E

W→



写真①



←SE

写真②



NW→

写真③

※写真中の棒状のものが1mスケール(以下同じ)

←SE

NW→



写真④



写真⑤



←E

W→



写真⑥



写真⑦



写真⑧

←E

W→



写真⑨



写真⑩



写真⑪

←E

W→



写真⑫



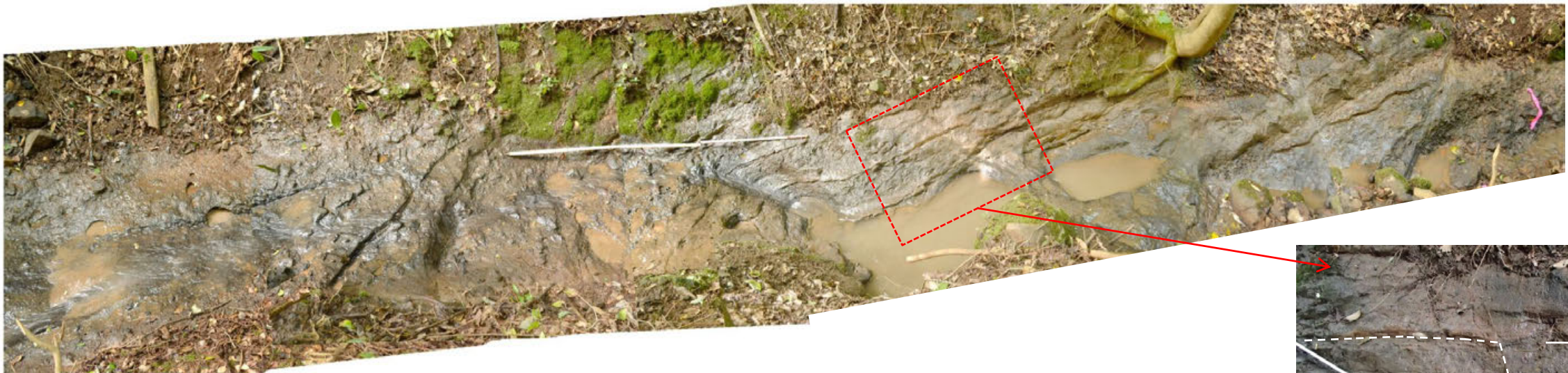
写真⑬

←E

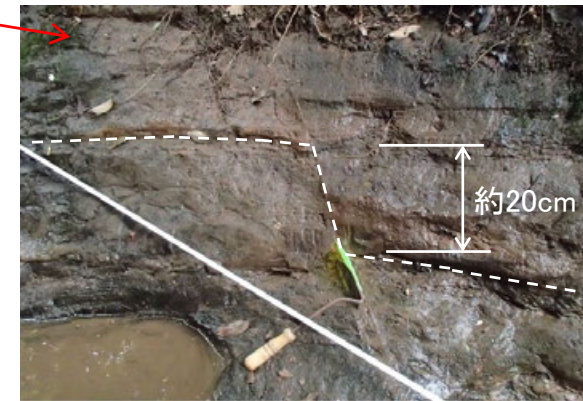
W→



写真⑭



写真⑮



正断層箇所



写真⑯

←E

W→

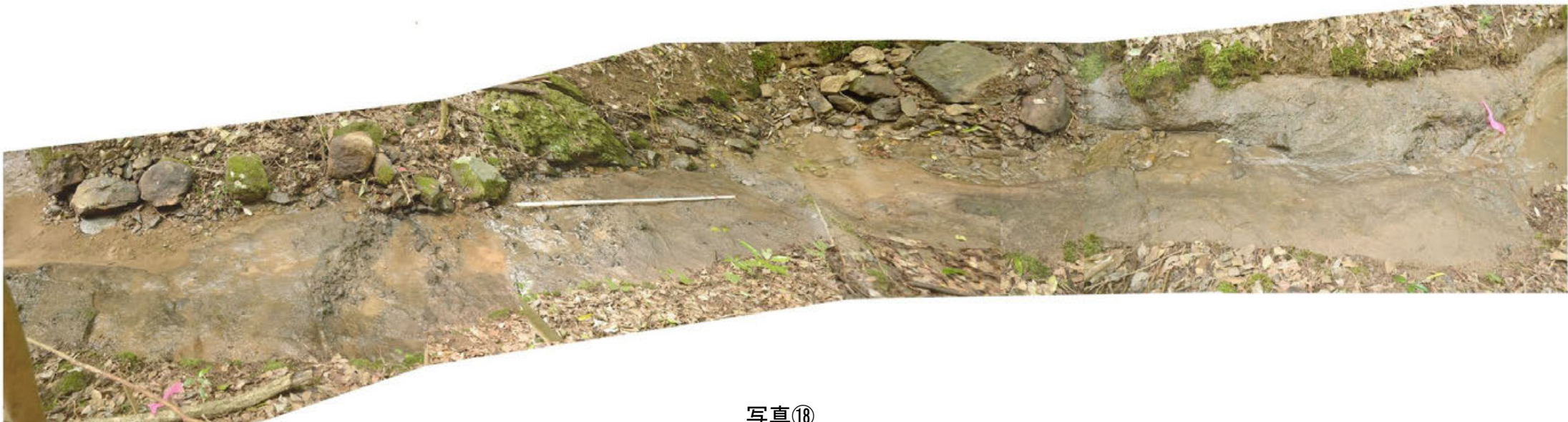


写真⑰

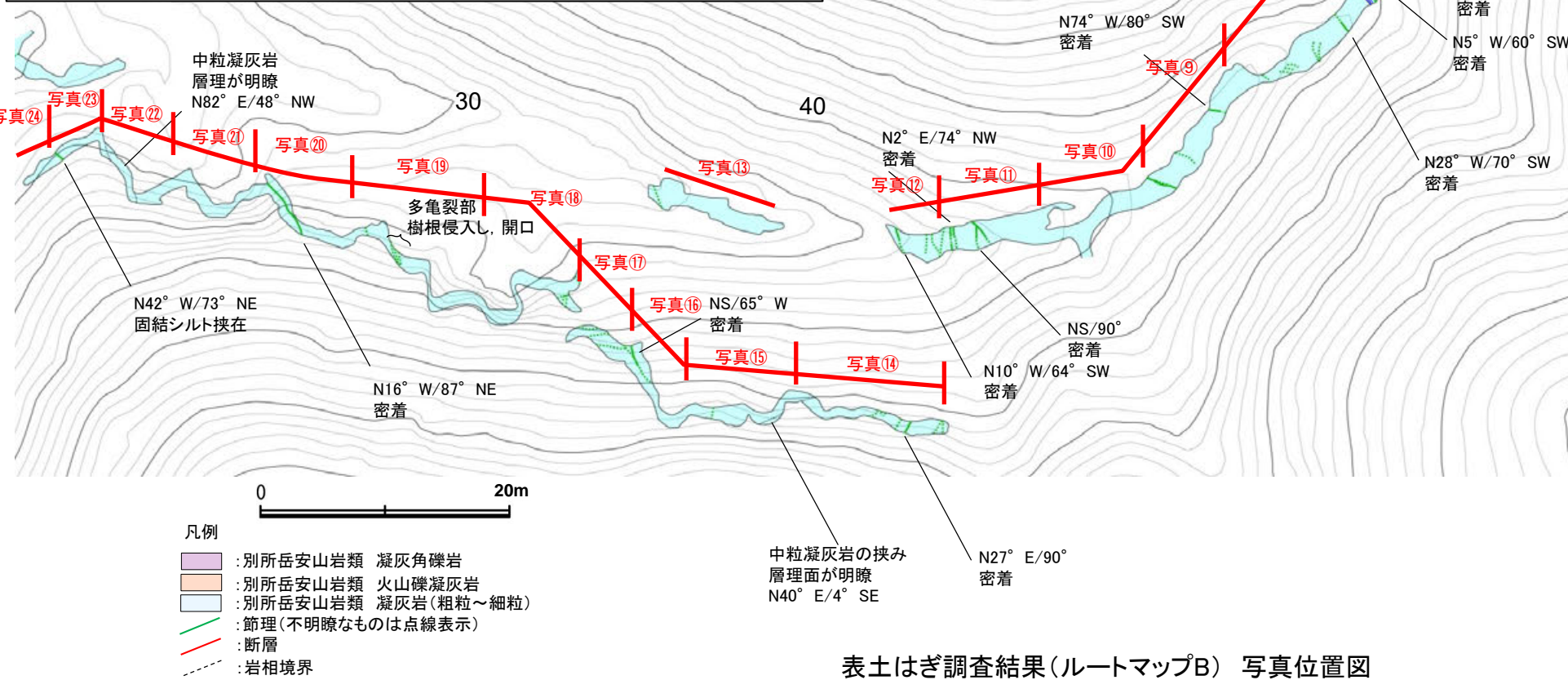
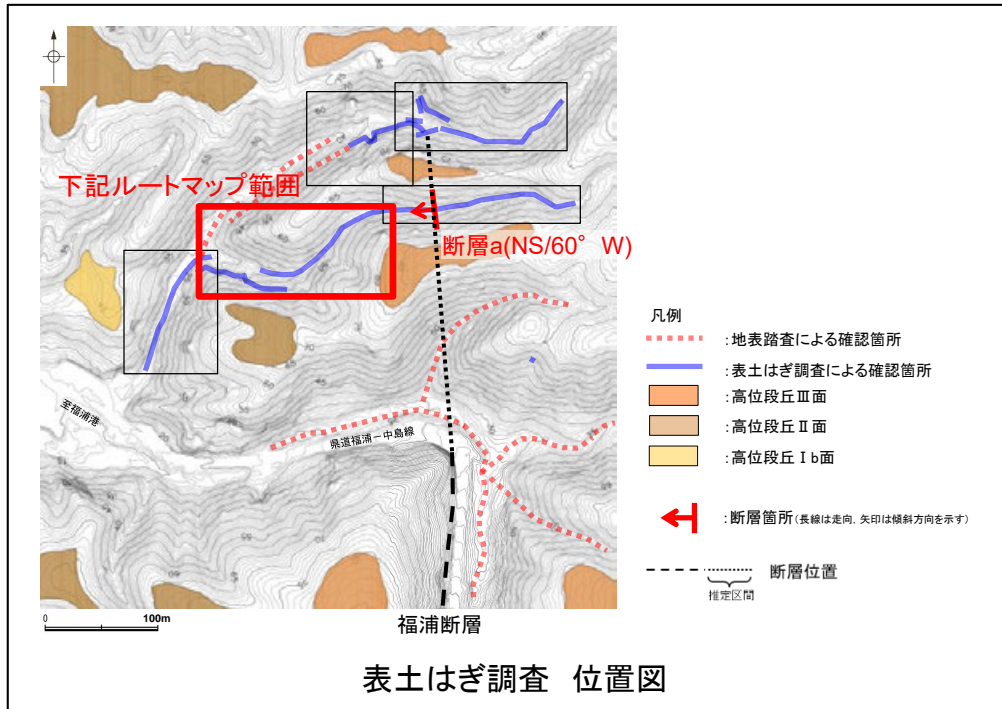
正断層箇所

←NE

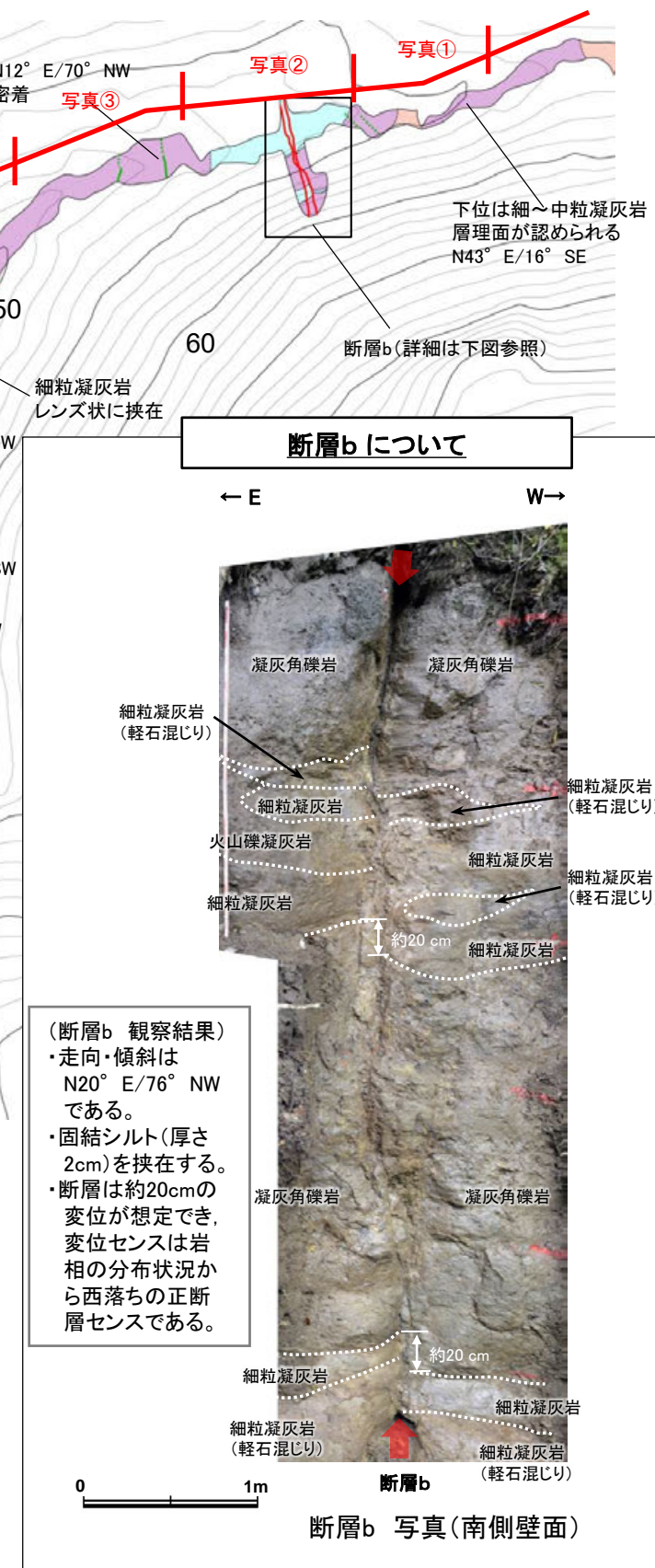
SW→



写真⑱



表土はぎ調査結果(ルートマップB) 写真位置図



・福浦断層に対応する断層は認められない。

←E

W→



写真①



写真②

← NE

SW→



写真③

← NE

SW →



写真④



写真⑤



写真⑥



← NE

SW→



写真⑦



写真⑧

← NE

SW→



写真⑨

← E

W→



写真⑩

←E

W→



写真⑪



写真⑫

←E

W→



写真⑬



写真⑭



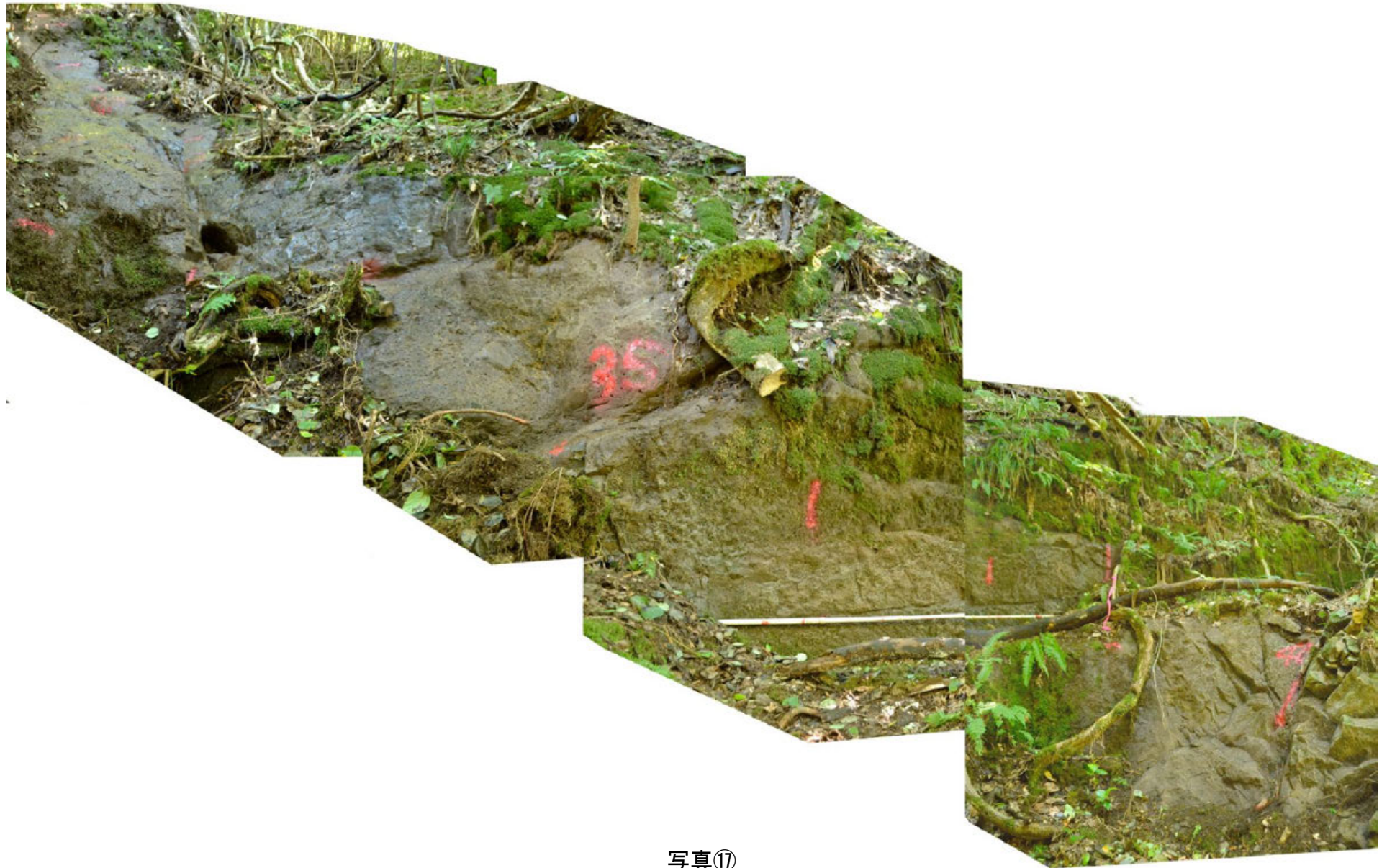
写真⑮

←SE

NW→



写真⑬



写真⑰

←E

W→



写真⑱



写真⑲

←E

W→



写真㉑



写真㉒

←E

W→



写真②②



←NE

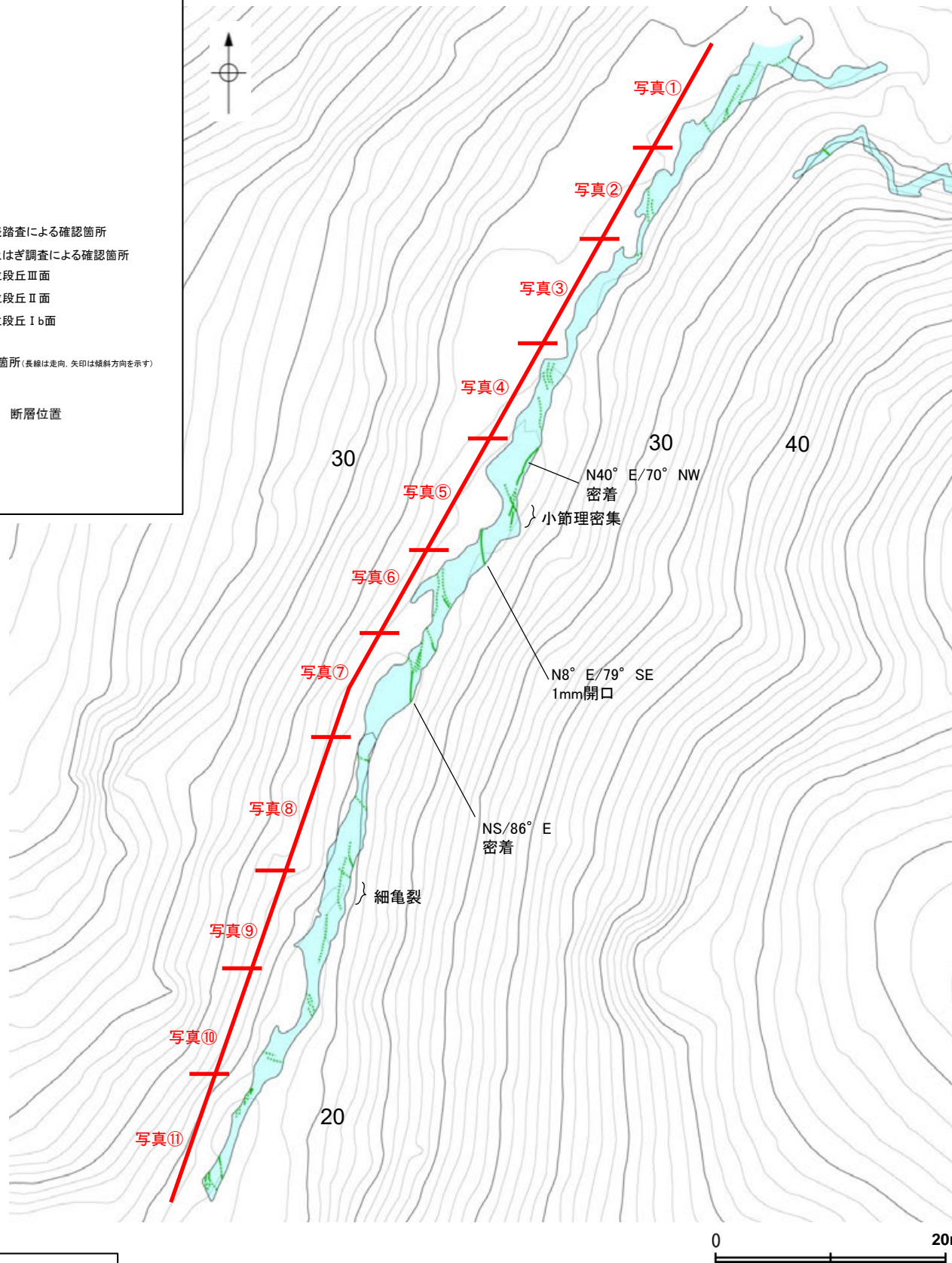
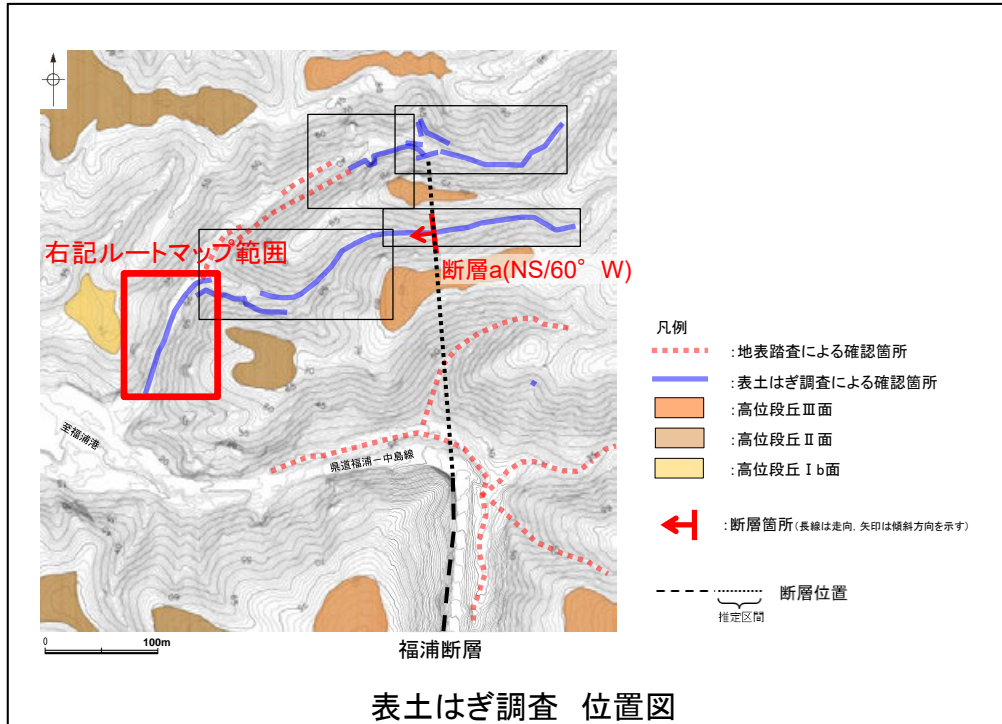
SW→



写真㉓



写真㉔



- 凡例
- 別所岳安山岩類 凝灰岩(粗粒~細粒)
  - 節理(不明瞭なものは点線表示)

・福浦断層に対応する断層は認められない。

表土はぎ調査結果(ルートマップC) 写真位置図

← NE

SW→



写真①



写真②

← NE

SW→



写真③



写真④

← NE

SW→



写真⑤



写真⑥

← NE

SW→



写真⑦



写真⑧

← NE

SW →



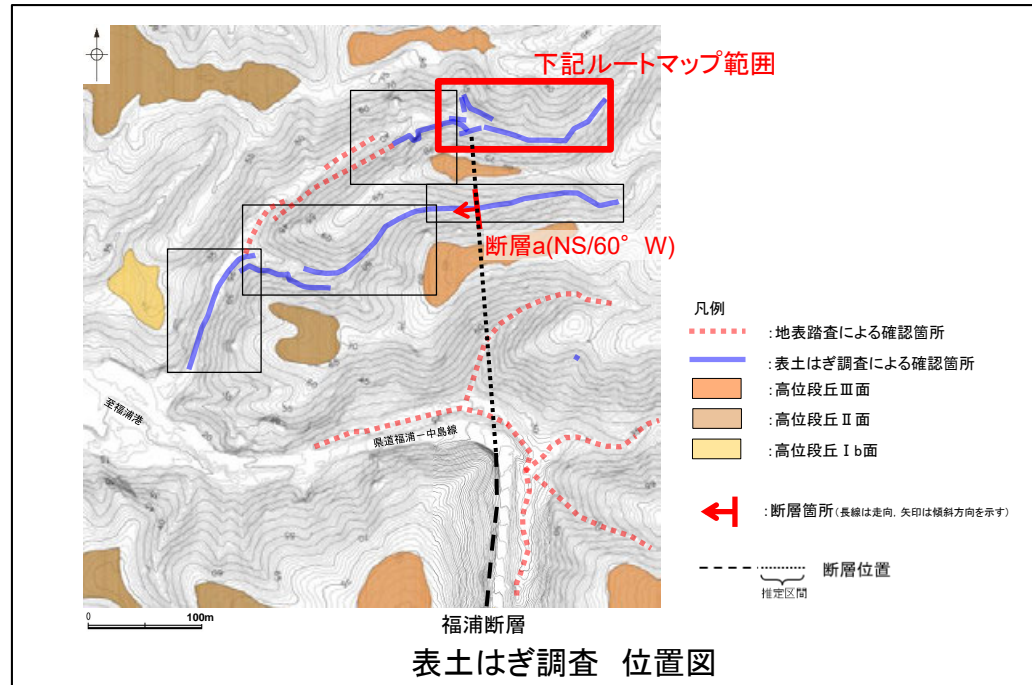
写真⑨



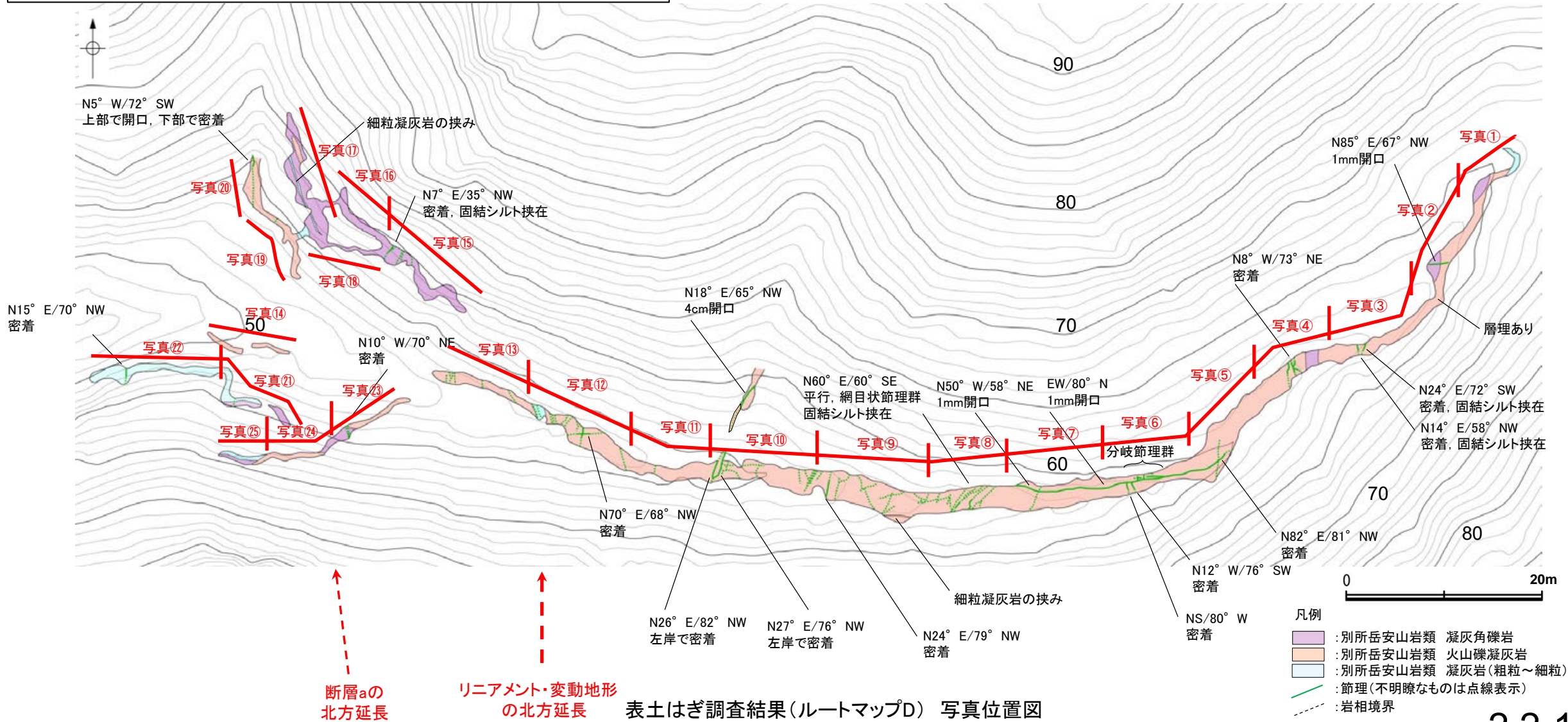
写真⑩



写真⑪



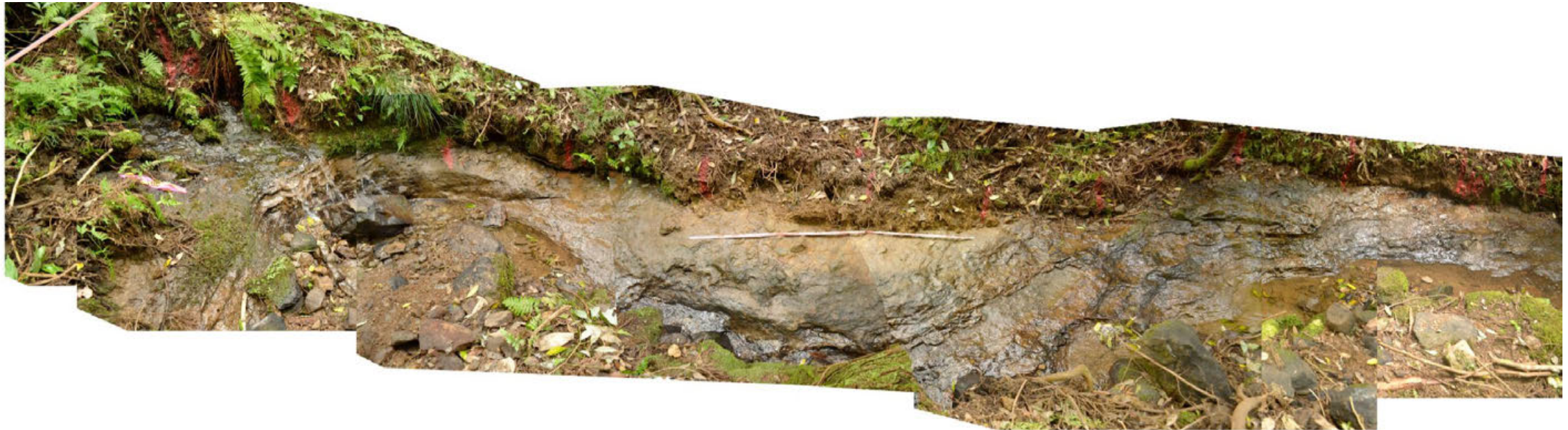
・福浦断層に対応する断層は認められない。





←NE

SW→



写真①



写真②

←NE

SW→



写真③



写真④

←NE

SW→



写真⑤

←E

W→



写真⑥

←W

E→



写真⑦



写真⑧



写真⑨

← W

E →



写真⑩



写真⑪

← NW

SE→



写真⑫



写真⑬

← E

W→



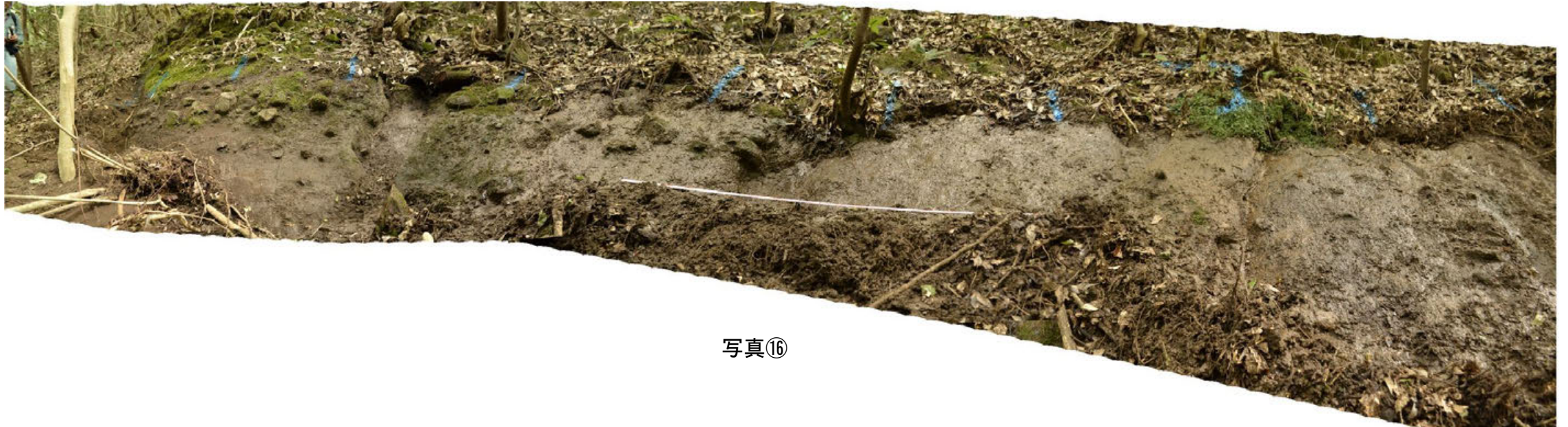
写真⑭

← NW

SE →



写真⑮



写真⑯



写真⑰